

社会福祉法人 三養福祉社会

令和4年度 事業報告書



H10.4 開設

特別養護老人ホーム三養苑



H14.6 開設

サンホーム 桑才



H15.12

特別養護老人ホーム 箕面の郷



H18.8 開設

特別養護老人ホーム 樺原の郷



H19.4 開設

特別養護老人ホーム 白浜日置の郷



H20.6 開設

特別養護老人ホームサンフォート武庫之荘



H23.5 開設

特別養護老人ホーム樺原の郷 別館



H24.4

養護老人ホーム・地域密着型特養 四宮三養苑



H24.5 開設

介護付有料老人ホーム 住之江の郷



H24.6 開設

特別養護老人ホーム 田辺の郷



H26.4 開設

ケアハウス 白浜樟の郷



H29.4 開設

事業所内保育所 わくわく保育園



H30.7.1 開設

ゆめの樹 保育園



H31.11.1 開設

特別養護老人ホーム 網島の郷



H31.4.1 開設

大正ゆめの樹保育園



令和2年11月1日開設

プライムガーデンズ高円寺

★特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
三養苑診療所
サンホーム 桑才
門真第5包括支援センター

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

★介護付き有料老人ホーム
介護付有料老人ホーム
特定施設入所者生活介護
居宅介護支援事業所

三養苑
三養苑
三養苑
三養苑
三養苑

白浜日置の郷
白浜日置の郷
白浜日置の郷
白浜日置の郷
白浜日置の郷

住之江の郷
住之江の郷
住之江の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
ケアハウス
箕面の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
サンフォート武庫之荘診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所

箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷
箕面の郷

サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘
サンフォート武庫之荘

田辺の郷
田辺の郷
田辺の郷
田辺の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所
認知症対応型共同生活介護
リハビリデイサービス
介護員養成校
事業所内保育所

養護老人ホーム
地域密着型特養
短期入所生活介護
デイサービスセンター

ケアハウス

樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷
樺原の郷

わくわく保育園

四宮三養苑
四宮三養苑
四宮三養苑
四宮三養苑

白浜樟の郷

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
デイサービスセンター
網島の郷診療所

特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
高円寺わくわく保育園

★認可保育所
ゆめの樹 保育園
大正 ゆめの樹 保育園

網島の郷
網島の郷
網島の郷

プライムガーデンズ高円寺
プライムガーデンズ高円寺

特別養護老 人ホーム 三養苑

- ・短期入所生活介護 三養苑
- ・デイサービスセンター 三養苑
- ・ヘルパーステーション 三養苑
- ・居宅介護支援事業所 三養苑
- ・門真第5包括支援センター
- ・サンホーム 桑才

令和4年度

社会福祉法人 三養福祉会

特別養護老人ホーム 三養苑

事業報告書

- ・ 特別養護老人ホーム 三養苑
- ・ 短期入所生活介護 三養苑
- ・ デイサービスセンター 三養苑
- ・ グループホーム サンホーム桑才
- ・ 居宅支援事業所 三養苑
- ・ ヘルパーステーション 三養苑
- ・ 門真第5地域包括支援センター

令和4年度各活動報告

■行事/レク委員実施報告

【レクリエーション活動内容】

毎月第3日曜日に担当者が企画し、おやつ作りを行い、インスタにアップする。

開催月	レク内容	報告
4月	マシュマロ & プリン	3/20に予定していたマシュマロデコレーションを行いました。 4/17にプリンレクを行い、コロナ禍に負けずないように甘いもので癒しを提供しました。
5月	フルーチェ	フルーチェを作り、コーヒーと一緒に提供しました。感染防止のため皆で一緒に作ることができず、職員が作っているのを見て頂くのみとなりました。
6月	四季の 和菓子	季節限定の四季の和菓子を提供しました。 コーヒーとジュース、お茶の3種から選んで頂きました。
7月	羊羹と ゼリー	冷たいゼリーや羊羹など召し上がっていただき、清涼感を味わっていただきました。
8月	シャーベット と フルーツ ゼリー	シャーベットとフルーツゼリーを提供しました。 カルピスで作ったシャーベットは冷たくておいしいと好評でした。 ゼリーは6種類の中から選んで頂きました。
9月	フルーチェ	フルーチェと飲み物を提供しました。 ジュースとコーヒーを選んで頂き、美味しいと喜ばれていました。
10月	クレープ	クレープ作りを行いました。焼くのは入居者様に手伝って頂きました。 盛り付けも一緒に楽しみ、美味しかったとおっしゃって下さいました。
11月	お汁粉	温かいお汁粉に喜ばれていました。
12月	パンケーキ	パンケーキを作り、温かいコーヒーで召し上がっていただきました。 コーヒーの香りに喜んでおられました。
1月	おしるこ	おしるこの中に具材として柔らかくしたさつまいもをトッピング。 皆様完食して下さいました。
2月	どら焼き	カルピスを作り、どら焼きとカステラを選んで頂きました。
3月	カルピス	ホワイトデーとしてどら焼きにホイップクリームでデコレーションし カルピスで召し上がって頂きました。

《反省と課題》

美味しいおやつで笑顔になって頂けるメニューを立案し、一緒に作る楽しさを味わって頂くために目的に企画しているが、企画書の提出が遅く、当日準備がスムーズにいかず、職員間の連携不足がみられた。今後は、早めの企画立案と、職員間に周知できるよう準備を行い、楽しいひと時を職員で盛り上げていきたい。

■誕生日会実施報告

【活動内容】

誕生日当日にバースデーケーキまたはココアムースを召し上がって頂けるよう管理栄養士と

連携し、昼食時に居室から出して頂き、昼食を食べ終わった頃にハッピーバースデーを歌いながらケーキを提供する。胃腸の方にはムースケーキを発送し、看護所と共に居室にてお祝いをする。プレゼントは各居室担当が家人様へ連絡し本人または家族が希望するものを準備する。

開催月	人数	報告
4月	7名	BDソングと共にケーキと家族様からのお手紙をお届けしました。
5月	4名	ビールと赤飯、から揚げに刺身を希望され、昼食を変更し召し上がって頂きました。今までで一番の笑顔で喜ばれていました。
6月	2名	粉から作る本格コーヒーを提供しました。
7月	3名	BDソングと共にケーキをお届けしました。
8月	6名	とろけるゼリーをプレゼント。 食堂にて歌と一緒にお届けしました。
9月	3名	手作りの色紙をプレゼントしました。
10月	7名	希望のたこ焼きは夕食時に提供し、昼食時にはズボンやクッションをプレゼントさせていただきました。
11月	9名	BDソングと共にケーキをお届けしました。
12月	6名	手作りの誕生日カードをプレゼントしました。
1月	10名	BDソングと共にケーキをお届けしました。
2月	13名	当日はケーキでお祝いし、後日プレゼントとしてミニパフェとプリンをお届けすると笑顔で美味しいと喜ばれていました。
3月	7名	今年も100円ビールを希望されNSに了解いただいたため提供、コーヒーとおやつなどを食堂にて歌と一緒にお届けしました。

《反省と課題》

家人様へ連絡した際に、連絡が繋がらなかったり、「お任せします」や「そっちでやってくれ」など協力を得られないことがあり、今後はあえて連絡せず施設内でお祝いをさせて頂くこととなりました。事前連絡や当日持参されたプレゼントはお預かりさせて頂き、誕生日当日にお渡しさせて頂き、心を込めたお誕生日会を開催したいと思います。

■行事実施報告

【活動内容】

毎月第1日曜日に各担当職員が企画・準備・デジカメ撮影やインスタUPまでを行う。

開催月	行事名	行事内容・報告
4月	中止	コロナ感染症にて行事中止となる。
5月	端午の節句	鯉のぼりの貼り絵を行いました。 おやつのマロンワッフルも好評で美味しかったと喜ばれていました。
6月	塗り絵	あじさい塗り絵レクを行いました。準備体操として棒体操を行いアイスクリームを提供しさっぱりしたと喜んで頂けた様子です。
7月	七夕	短冊に願い事を書いて頂き、笹に飾りつけを行いました。 ジュースは美味しいと喜ばれました。
8月	お祭り	おやつについた糸を手繰り寄せて、手元に来たおやつを召し上がって

		頂きました。点描きや色塗りなどをして楽しんで頂きました。
9月	敬老の日	マシュマロとトッピングにチョコレートソースかトッピングシャワーをかけて召し上がって頂きました。飲み物はコーヒーとオレンジジュースリンゴジュースから選んで頂きました。
10月	ハロウィン	コーヒーゼリーにホイップクリームをトッピングして楽しんで頂きました。
11月	間違い探し	間違い探しを根気よくされていたため、あんみつやプリンでひと休みして頂きました。
12月	クリスマス	クリスマスカードに色を塗って頂きました。 ミニドーナツやチョコレートなどと一緒にジュースで一息楽しまれました。
1月	お正月	お正月カードを作り、今年1年の抱負を書いて頂きました。 最後にシールでデコレーションして楽しまれていました。
2月	節分行事	鬼を貼った段ボールにボールを投げて鬼退治をして頂きました。 和菓子とコーヒーかお茶を召し上がって頂きました。
3月	桃の節句	ロールケーキとアボカドジュースでひな祭りを楽しんで頂きました。

《反省と課題》

コロナの影響もあり行事らしい行事を行えず、季節感を味わって頂くことができなかった。
5類に分類されることから、今後は季節感を味わって頂けるような企画を立てたり、外出できなかった
時期が長いので外出行事を盛り込んだ内容で楽しんで頂きたい。

■広報委員実施報告

【活動内容】

行事やレク 誕生日企画担当者が楽しまれている様子や喜ばれている表情などを、家族了解の上
三養苑ホームページ上のインスタにアップする。

「家族様への手紙」はアンケートを実施し、希望される方のみ、4か月ごとに郵送させて頂きました。

《反省と課題》

笑顔溢れる写真や動画を撮ることが少なかった。インスタ方法も全職員へ周知されておらず特定の
職員のみで対応していたためホームページ上へのアップもできていなかった時もあった。

今後は、全職員が対応できるようマニュアル化し、笑顔溢れる様子を家族様に見て頂けるようにする。

■介護サービス計画委員実施報告

【活動内容】

介護サービス計画委員が、毎月第3金曜日のサービス担当者会議に必要な確認事項を踏まえて、
日々の状態観察で得られた情報、疾病、現ケアプランに沿って、各担当者や他委員等の意見を聞き、
連携しアセスメントを行う。状態悪化などで変更が必要な利用者様については、再度アセスメントを
行う。サービス担当者会議に出席し、決定事項はスタッフ会議にて報告する。

緊急連絡先や家人希望の受診先についての連絡票を作成しケースファイルに挟む。

《反省と課題》

職員からの情報共有を行い、偏りのない意見となるように努めた。アセスメント作成時にケース
記録からの十分な情報が得られにくいことは引き続き今後の課題として、見直しを検討する。

■ 接遇推進/身体拘束/虐待防止委員実施報告

【活動内容】

接遇マナー5原則【挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかい】の向上と浸透を図ることを目的として、月に1度、他部署合同の会議を開催し、身体拘束/虐待防止/接遇推進委員会を行い虐待防止/接遇マナー向上に取り組む。

今年度はハラスメントについて強化した内容を委員会活動で行いました。
様々なハラスメントによる問題が利用者様、家族様含め職員間でも起こり得ることから接遇面の見直しと共に職員へのストレスケアまで委員会で話し合いました。
アンケートによる現場の状態把握を行い、職員への意識付けを重点的に実施しました。

《反省と課題》

委員会で話し合った内容が職員へのフィードバックに繋がっていなかった。内容が抽象的な部分が多く、理解が難しかったのが要因のひとつだと思われる。今後は納得するまで話し合い内容を理解した上でフィードバックを忘れず行う。

■ 介護技術向上委員会実施報告

【活動内容】

オンライン研修を受講し動画視聴後にレポートを入力する方法では他人事のように捉え、身に付くことが難しいため、今年度は無料配信している動画を見ながら合同で研修会を行った。当日参加できない職員には資料配布し、各自無料動画を見て頂くようにした。

開催日	勉強会内容
5/26(木)	新人学習会「感染症(新型コロナウイルス)」
6/23(木)	新人学習会「緊急時の対応」
7/28(木)	食中毒
8/25(木)	介護職員の倫理及び法令遵守
9/29(木)	認知症及び認知症ケア
10/27(木)	感染対策の基礎知識
11/24(木)	リスクマネジメント
12/29(木)	褥瘡対策
2/23(木)	虐待につながる「不適切ケア」 / 身体拘束「スピーチロック」
3/30(木)	介護事故防止

《反省と課題》

以前のように職員が講師となり対面での研修会を行っていないためか、介護技術面も知識面も低迷してきているため、今年度は個々で動画を見るのではなく、合同で視聴し、話し合える環境の中研修会を行った。しかし、動画視聴と資料配布だけではスキルアップに繋げることが難しいため、今後は以前のように職員が講師となり、資料作成から行い、個々のスキルアップに繋げる。

■ 介護事故防止委員実施報告

【活動内容】

毎月第4日曜日に当日出勤職員で、報告書やヒヤリハット報告書を見返し、事故原因を考察し、対応策を検討する。検討した内容をスタッフ会議で報告し、再度周知徹底していく。
また、事故統計を作成し、3ヶ月に一度の事故防止委員会に参加する。

《反省と課題》

昨年同様ヒヤリハット件数が少なく、介護過誤による事故が続くことがあった。危険予測に対する意識が低いのが原因かと思われる。事例検討会の開催、介護事故研修会を行うことで職員の意識向上に繋げていく。

■排泄支援・褥瘡防止委員実施報告

【活動内容】

看護師主催で開催され、褥瘡予防対策を立案・検討しスタッフ会議にて周知徹底を図る。
また、入浴時や排泄時・食事介助時などでの皮膚トラブルの現状把握と対策について委員会の中で話し合いアンケート結果、実施・評価を行う。
同時に各利用者様への個別支援の為、排泄支援計画表の作成(3月・6月・9月・12月)を行う。
排泄に関する全般の状態把握を行い、自立支援を目指していく。

《反省と課題》

排泄時や食事介助後のケアについて継続して行うことができなかった。職員への周知徹底もできておらず、排泄支援として利用者目線でケアを提供できるようスキルを上げていく。
引き続き、統一したケアの提供ができるように職員間での情報共有に努める。

■備品管理業務実施報告

【活動内容】

備品に関して、定期的に点検を行い安全な環境を維持する目的で行う。
毎月第2日曜日に当日出勤者で行い、情報収集する。

《反省と課題》

備品の不足や故障箇所などの報告・連携・相談ができていなかった。
必要な時に必要な物品が常時あるように備品管理を徹底する。

■美化業務および物品発注実施報告

【活動内容】

毎月第2・5日曜日を美化業務の日とし、午後より美化業務を行う。年間美化業務計画をもとに普段の業務の中では出来ないタンス内の整理や窓ふき等を行う。
物品発注は毎週水曜日の業務内にて物品庫の整理整頓と物品補充、不足品の発注まで行う。

期間	内容
適宜	タンス・ライト・トイレ等の破損箇所の確認
適宜	手すり・テーブル等のハイター消毒
適宜	各階棚の整理整頓
適宜	ベット廻り・ベット欄・タンス上のハイター消毒

10月	カーテン・窓・網戸の掃除
11月	不要義歯の処分（義歯リサイクル協会へ郵送）

4月	破損個所の点検・報告	10月	ダンス内整理・衣類確認（衣替え）
5月	各居室の通気口掃除	11月	カーテン洗濯
6月	ダンス内整理・衣類確認（衣替え）	12月	ベット周り掃除
7月	汚物庫整理	1月	居室棚整理
8月	掃除道具・マットBOX点検	2月	備品破損箇所点検
9月	窓・網戸拭き掃除	3月	冷蔵庫掃除・備品点検

《反省と課題》

スタッフルームや居室、共有スペースも整理整頓や掃除が行き届いておらず、雑然とした環境の中で、破損や故障などの報告が遅れ、不足した物品により業務や利用者様に支障をきたす場面もあった。今後は職員間での意識付けと徹底した環境整備に努め、感染症防止に繋げる。

特別養護老人ホーム 三養苑 令和4年度 報告
令和4年度(4年4月1日—4年9月30日)

令和4年度(4年10月1日—5年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム60名、短期入所10名										定員：特別養護老人ホーム60名、短期入所10名										全体	
特別養護老人ホーム										特別養護老人ホーム											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	4-9月平均			10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	10-3月平均	合 計	月平均			
定 数	1800	1860	1800	1860	1860	1800	1830	定 数		1860	1800	1860	1860	1860	1860	1820	21900	1825			
入居実数月累計	1799	1869	1811	1860	1865	1798	1833.7	入居実数月累計		1858	1798	1859	1857	1680	1860	1818.67	21914	1826.2			
在籍者1日平均	59.97	60.29	60.37	60.00	60.16	59.93	60.1	在籍者1日平均		59.9	59.9	60.0	59.9	57.9	60.00	59.6	718	59.87			
入院差し引く実数	1664	1760	1721	1696	1759	1738	1723.0	入院差し引く実数		1721	1700	1776	1774	1636	1755	1727	20700	1725.0			
入院者差し引く実数	55.5	56.8	57.4	54.7	56.7	57.9	56.5	入院者差し引く実数		55.5	56.7	57.3	57.2	58.4	56.6	57	680.7	56.7			
1日当り実費滞在床率	7.50%	5.86%	5.00%	8.82%	5.70%	3.33%	6.03%	1日当り実費滞在床率		7.37%	5.44%	4.46%	4.46%	2.62%	5.65%	5.00%		5.05%			
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	旧措置入所者数		0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0			
新規入所者数	2	2	1	0	2	3	1.67	新規入所者数		1	3	1	2	1	0	1.33	18	1.5			
退所者(内死亡者)	1(1)	2(1)	1(1)	1(0)	2(1)	2(2)	1.75(0.8)	退所者(内死亡者)		2(1)	2(2)	1(1)	3(2)	0	0	1.6(1.0)	16(4)	1.08(0.9)			
1日当り入院者平均	4.50	3.52	3.00	5.29	3.42	2.00	3.62	1日当り入院者平均		4.42	3.27	2.68	2.68	1.57	3.39	3.00	39.7	3.3			
入院 日数1ヵ月累計	135	109	90	164	106	60	110.7	入院 日数1ヵ月累計		137	98	83	83	44	105	91.7	1214	101.2			
平均入所率	99.9%	100.5%	100.6%	100%	100.3%	100%	100.2%	平均入所率		99.9%	99.9%	100%	99.8%	100%	100%	99.9%		100.1%			
短期入所者延べ人数	414	336	311	355	367	352	355.8	短期入所者延べ人数		406	384	418	451	394	400	408.8	4588	382.3			
特養+短期 定数	2100	2170	2100	2170	2170	2100	2135	特養+短期 定数		2170	2100	2170	2170	1960	2170	2123.3	25550	2129.2			
月当り在籍者実数	2078	2096	2032	2051	2126	2090	2078.8	月当り在籍者実数		2127	2084	2194	2225	2030	2155	2135.8	25288	2107.3			
1日当実費在籍者数	69.27	67.81	67.73	66.16	68.58	69.67	68.2	1日当実費在籍者数		68.61	69.47	70.77	71.77	72.50	69.52	70.4	831.7	69.3			
稼働率(特+短)	99.0%	96.6%	96.8%	94.5%	98%	99.5%	97.4%	稼働率(特+短)		98.0%	99.2%	101.1%	102.5%	103.6%	99%	100.63%	1188.09%	99.0%			
入所者介護度平均	3.81	3.81	3.80	3.78	3.76	3.75		入所者介護度平均		3.78	3.85	3.83	3.79	3.81	3.81	3.81	45.58	3.80			
要支援	0	0	0	0	0	0	0	要支援		0	0	0	0	0	0	0	0	0			
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0.0	要介護(1)		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0			
要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0.0	要介護(2)		0	0	0	1	1	1	0.5	3	0.3			
要介護(3)	26	26	26	26	26	27	26.2	要介護(3)		25	23	23	22	22	22	22.8	294	24.5			
要介護(4)	19	19	20	20	21	21	20.0	要介護(4)		21	23	24	24	24	24	23.3	260	21.7			
要介護(5)	15	15	14	13	12	12	13.5	要介護(5)		13	14	13	12	13	13	13.0	159	13.3			
合 計	60	60	60	59	59	60	59.7	合 計		59	60	60	59	60	60	59.7	716	59.7			
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	外泊日数		0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0			
外出数	0	0	0	0	0	0	0.00	外出数		0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.0			
通院者数	25	26	29	31	27	26	27.3	通院者数		27	27	24	21	17	30	24.3	310	25.8			
面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0	面会者数		0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0			
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	実習生(累計)		0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0			

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	5
	A2	7
重度	B1	9
	B2	18
最重度	C1	15
	C2	6
合計		60

③痴呆性老人の日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	4
	II a	6
中度	II b	7
	III a	15
重度	III b	10
	IV	11
最重度	M	7
	合計	60

④日常生活動作介助別数

	自立	部分介助	全介助	合計
移動	9	3	48	60
食事	32	15	13	60
排泄	7	16	37	60
入浴	1	26	33	60

⑤オムツ使用者状況

	人数
常時	17
夜間のみ	17
合計	34

⑥在所期間の状況

	1 年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	平均在所
男	5 人	5 人	1 人	2 人	0 人	0 人	2.2 年
女	10 人	20 人	5 人	12 人	0 人	0 人	5.0 年
計	15 人	25 人	6 人	14 人	0 人	0 人	3.6 年

⑦日常生活の状況調査

区 分				実数	割合	区 分				実数	割合
移動 立 食 事 入 浴 着 脱 衣	自立	独立歩行		9 人	15.0 %	排泄	便所	自己で可能		7 人	11.7 %
		杖等の歩行補助器使用		3 人	5.0 %			一部介助		26 人	43.3 %
		車椅子使用		48 人	80.0 %			全部介助		6 人	10.0 %
	要介助			49 人	81.7 %		ポータブル 便器	自己で可能		1 人	1.7 %
	食事	自己で可能		32 人	53.3 %			一部介助		2 人	3.3 %
		一部介助		15 人	25.0 %			全部介助		1 人	1.7 %
		全部介助		13 人	21.7 %		おむつ使用			17 人	28.3 %
	入浴	自己で可能		1 人	1.7 %		便所	自己で可能		7 人	11.7 %
		一部介助		26 人	43.3 %			一部介助		12 人	20.0 %
		全部介助		33 人	55.0 %			全部介助		4 人	6.7 %
着 脱 衣	着脱	自己で可能		2 人	3.3 %	排泄	ポータブル 便器	自己で可能		0 人	0.0 %
		一部介助		28 人	46.7 %			一部介助		4 人	6.7 %
		全部介助		30 人	50.0 %			全部介助		0 人	0.0 %
	じょうそう者数			1 人	1.7 %		おむつ使用			17 人	28.3 %
	認知症	重 度		42 人	70.0 %		トイレ誘導実施者数			33 人	55.0 %
		中 度		13 人	21.7 %						
		軽 度		5 人	8.3 %						

事業報告書

管理栄養士

■褥瘡会議について

【内容】

月1回褥瘡会議に参加。

【結果】

栄養状態が低下している方や皮膚状態の悪化がみられる方などの情報を他職種と共有し、早期に対策を立て、褥瘡への移行を防止したり、褥瘡を治癒・改善したりすることができた。

【反省・課題】

今後も継続して参加していく。

■感染症対策について

【内容】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、使い捨て食器の備蓄確保や他施設の栄養士と感染対策に関する情報共有を行った。

【結果】

感染拡大や厨房へ感染源が侵入することを防ぐため、使い捨て食器の備蓄を確保。また、栄養士会議で情報交換を行い、クラスター発生時の感染対策や食事の提供方法など参考にさせていただいた。

【反省・課題】

引き続き感染対策を徹底し、感染防止に努める。

■施設の改修工事中の食事提供について

【内容】

デイサービスや職員食堂の改修工事に伴い、食事の提供方法や配膳ルートを変更する必要があるため、適宜厨房職員や介護職員に指示を行った。

【結果】

いつからどの工事が始まり、どのルートを使わないといけないのかなど厨房職員とこまめに連絡をとりながら配膳・下膳の仕方を確認。食事時間遅れることなくスムーズに提供することができた。

【反省・課題】

厨房の追加の改修工事が残っているため、食中毒などに気を付けながら安全に食事を提供できるようにしていきたい。

■グループホームの栄養管理体制加算について

【内容】

今年度から栄養管理体制加算が取れるようになり、グループホームの栄養管理指導を行っている。

【結果】

管理栄養士が介入することで、体重管理や病態に対する栄養管理など指導を行い、

入居者様の体調や栄養状態を管理しやすくなったと考える。
誤嚥性肺炎予防や食中毒予防など、食に関する様々な問題に取り組むことができた。

【反省・課題】

グループホームへの訪問頻度が少なく、介護職員とのコミュニケーションがあまり十分に取れていなかったと考える。ミールラウンドや介護職員からの情報聞き取りなどの頻度をもっと増やし、栄養管理指導をより充実させていきたい。

また、入居者様一人一人の病態や栄養状態などをもっと把握し、より細やかな栄養管理指導が行えるよう努める。

■おやつについて

【内容】

家族様が持参されたおやつや、相談員が購入したおやつなどを管理栄養士が確認し、どのようなものを食べているのか把握するとともに、どれくらいの量食べたらいいか指示を行った。

【結果】

入居者様によっては糖尿病や心不全などの既往があり、間食の内容や量に注意が必要な方がいらっしゃるため、体調管理がしやすくなったと考える。また、栄養管理をする立場としても、どのような間食を摂られているのかを把握でき、栄養ケアマネジメントに活かせるようになったと考える。

【反省・課題】

おやつ以外のもの(梅干し・ふりかけ・お茶漬け)に関してはあまり把握・管理しきれていない現状にあり、正確な摂取量がわからない。摂取されている方に関しては今のところ血圧の異常などみられていないが、塩分過多にならないよう注意して観察していく。

令和4年度 医務事業報告

◆安全・衛生管理

(1) 健康管理

入居者・利用者の個々の健康状態を把握し、異常の早期発見・早期治療・合併症の予防のため、日々の健康管理(バイタル測定や定期的な検査、服薬・点滴・創処置)を行った。
多職種と連携をとり、入居者一人一人の身体状況を考慮し、管理医師や往診医(歯科・精神科)による治療に繋げた。
また、職員の体調不良に対しても相談を行った。

- ・糖尿病患者に対して、定期的な検査を実施し適切な内服やインスリン投与を行った。
(糖尿病患者:20名 うち内服投与:14名 インスリン投与:3~5名)
- ・バルーン留置者に対して、日々の排泄量の確認や管理を行うとともに受診先の病院の連携に努めた。
(バルーンカテーテル留置者:5~6名)
- ・在宅酸素使用者に対して、適切な管理を行った。
(在宅酸素使用者:1名)
- ・胃瘻造設者に対して、定期的な検査にて栄養状態の確認を行い、確実な胃ろう注入を行った。
(胃ろう増設者:2名)
- ・人工肛門使用者に対して、適切な管理を行った。
(人工肛門使用者:2名)

(2) 感染症対策

感染症予防対策の基本として、標準予防策(スタンダードプリコーション)の浸透を図るため、勉強会を行ったり外部研修に参加し、感染症予防意識の強化を図った。
感染症予防委員会と連携し、施設内でのコロナウイルス・インフルエンザウイルス・ノロウイルス等の発症予防・対策に取り組んだ。また、流行時期に合わせ、フロア移動制限・面会制限や外部との接触を避ける事で発生を防止することができた。
新型コロナウイルス対策について、厚生労働省や保健所・大阪府の発表情報を基に、可能な範囲での対策を講じた。
新型コロナウイルス感染発生時、速やかな隔離・ゾーニング・感染対策を行った。
また、保健所の指示の元、入院調整や往診Drの診療の補助や治療に協力した。
入居者・職員に対して、新型コロナワクチン接種を実施した。
(4回目、入居者:86名 職員:109名)(3回目、入居者:90名 職員:107名)
入居者・職員に対して、インフルエンザワクチン接種を実施した。
(入居者:91名 職員:95名)
結核予防法に基づき、入居者に対して胸部レントゲン撮影を行った。
(入居者:72名)
職員に対して、B型肝炎ワクチン接種を推進した。
(当該職員:0名)

(3) 褥瘡予防

褥創予防委員会・スキンケア委員会会議に参加し、多職種と連携し、皮膚トラブルの早期発見・早期治癒に努めた。
褥創悪化者に対して、個別の褥創ケア計画を作成し、介護・看護で統一したケアを行うことで早期の症状改善を図った。
また、栄養士とも連携を取りながら栄養状態の把握に努めた。
排泄ケアの統一を図るため、マニュアル作成を行った。

(4) 機能訓練

入居者の毎日の習慣として嚥下体操や軽作業を行うことで、認知症悪化予防に努めた。
ケアカンファレンス・サービス担当者会議への参加にて、介護・看護共に統一したケアを目指した。

(5) 職員の技術・知識向上

看護職員の資質向上・介護職員の技術、知識向上のため助言・指導研修を行った。

職員全体に身体拘束防止の意識付け徹底の働きかけを行った。

(6) 物品および衛生管理

医薬品や医療物品の使用期限や在庫管理・メンテナンスを行い、物品の無駄をなくした。
入居者居室や医務室・介護室の環境衛生保持として、室温・湿度管理や換気・環境の衛生管理及び
美化などの強化に努めた。

令和4年度 施設サービス計画書 報告

■ 暫定的な施設サービス計画の作成について。

【内容】

施設サービス計画書の作成においては、まず暫定的な施設プランの作成を行い、入居前の心身の状況や本人様の生活に対する意向、家人様の意向を収集・把握し、立案していく。

入居後1ヶ月間は暫定施設プランに基づいて様々な介護サービスを提供していく。

【結果】

新規入居者様14名の暫定プランを作成するが、入居前面接調査に基づき、各専門職より事前聞き取りアセスメントを収集し、スムーズに暫定プランの作成に努める事が出来た。

(暫定プラン作成においても、入居者様や家人様の思いや意向を汲み取り、作成することができた。)

【内容】

毎月第3水曜日にサービス担当者会議を開催する。チームカンファレンスを定期的に行い、各種専門職からのアセスメント(課題分析)シートを収集し、事前にケアマネが作成した原案をもとに情報の共有及び様々な意見交換を行い、月対象者・退院後・新入居者・状態悪化等でプラン変更の入居者様の個別プランの作成に努めた。

【結果】

毎週第3水曜日の開催を行い、他職種のメンバーが変わる事もあった為、様々な意見交換が出来た様に思う。(アセスメント収集がきちんとできている。)

入居者様それぞれが様々なニーズと課題をかかえており、各種専門職の意見や見解等を総合しプラン作成に努めた。又、状態悪化等で、プラン変更が必要な入居者様に関しては再アセスメントを行うと共に、その都度カンファレンスを行い、変更プランの作成を行った。

又、新入居者様には暫定プランを基に新プランの作成に努めた。

又、個別機能訓練・褥瘡予防・栄養ケア計画プランに基づき総合的に個々のプラン作成に対する話し合いを行えた。

毎月褥瘡対策委員会に参加し「褥瘡対策に関するケア計画」を生活相談員、介護・看護主任管理栄養士と共に作成を行い、今までより更に各入居者様の皮膚状態の把握及び確認(処置)栄養状態の把握を行い、悪化時は専門医受診を行う事等で皮膚状態悪化傾向であった入居者が良くなったり、悪化を繰り返される入居者様には再度褥瘡ケア計画の見直しを行い、少しずつ皮膚状態の改善傾向が見られた。

月対象者が病状悪化傾向の為、途中入院となり、そのまま退居となる何名かの入居者様がおられた。又、新入居者様が増えられたが、施設生活に早く慣れて頂ける様、随時居室を訪室し慣れていただけるよう随時居室を訪室し、コミュニケーションを図ることが出来ていた。

【内容】

入居後~6ヶ月間の施設サービス計画書においては、暫定プラン作成後、家族様への説明を行う際、本人様及び家族様の意向をしっかり聞き、プランに反映して行く。24時間切れ目のない生活をサポートするために、施設内の各種専門職がサービスを提供にするに当って、

様々な視点でのアセスメントを行い、サービス担当者会議で立案し、入居者様ごとに個別の正式な施設サービス計画者の作成に努める。

【結果】

暫定プラン作成後、家族様への説明を行う際、しっかりと本人様、家人様の意向を聞き、プランに反映出来た。各専門職から提出されたアセスメント表を基に、カンファレンスを行い、本人様や家人様の意向を踏まえて、ケアプラン作成に努めた。又、定期的にプランの見直しを行い再アセスメントを施行、状態の変化等モニタリングの結果を踏まえて更新プランや変更プランの作成を行えた。(入居者様ごとに個別のサービス計画書の作成を行えた。)

個別支援計画として、生活リハビリ(嚥下体操・レク活動等)を行い、個別サービス計画に導入嚥下機能の低下を防ぎ、ADLの維持・向上に努める事が出来ていた。

【内容】

入居者様、家人様の生活に対する意向や希望がアセスメント項目に反映されているがどうかの確認及び把握を行うと共に施設サービス計画書が、入居者様の自立性、安全性、快適性を踏まえた上で作成していく事に重点を置く。

【結果】

入居者様の中には、意思疎通困難な為、明確な意思の確認が出来ない事も多々見受けられたが、家人様の意向をしっかりと聞くと共に入居者様の安全性、快適性を主とし、プラン作成するように努めた。又、アセスメント実施に関しては、基本動作・移動・移乗・食事・排泄・意思の伝達・入浴・着脱・介護度・疾患等から状況を把握し、ニーズに応じた入居者様本位のアセスメント表を作成出来た。

【内容】

施設サービス介護計画と連動し、施設リスク計画を立案する。ヒアリハット等の報告や職員の気づき集に基づき、リスクマネジメントを行い、その都度サービス担当者会議を行う。又、Drよりリスクの高い入居者様に関しては、現在の状況及び今後予知される急変リスクについて、家人様とのムンテラ後、サービス担当者会議に移行し、今後の方向性をカンファレンスし家人様の希望も含めて、リスクプランの作成を行っていく。

【結果】

本年度は3名のリスク会議を行い、リスク計画を作成する。

- ①機能低下による、誤嚥性肺炎のリスク⇒咀嚼や嚥下機能の把握を行い、誤嚥に注意しながら介助を行っていく。
- ②傾眠に栄養状態の低下や脱水にて状態が悪化する可能性のリスク⇒水分をこまめに提供し、脱衣に注意する。
- ③左下肢深部静脈血栓症有り、全身状態の把握を行い、体調の変化に注意して行く。
- ④仙骨部に褥瘡有り、自力体動困難有り、今後悪化するリスク有り、皮膚状態の把握・保清強化を行い体調を管理して行く。

■ モニタリングについて

【内容】

ニーズの変化や新たな問題が発生していないか等的確に分析し、1、3、6ヶ月評価を随時行っていく。プランの変更（新たな問題が発生した際や退院後のADL低下等）を随時行っていく、再アセスメントを行う。又、目標の達成等の観察や確認、評価を行っていく。

【結果】

支援経過記録(ケース記録)をもとに常に入居者様の状態把握を行い、変化があれば必要に応じ、ケアプランの変更を考慮して行くことに努めた。

同時に3、6ヶ月評価においても計画に沿ったサービスが提供されているか、計画に基づいたサービス提供する事で課題はないか(ニーズ・解決に向けた内容になっているか)等計画の目標達成に向けたサービスとなっているか等の観点からモニタリングを進めて行きあらたな計画を作成する上でのアセスメントに必要な情報の把握を行う事に努めた。

3ヶ月毎のモニタリングにおいては、入院、退院の日等に合わせてではなく、その月の最終の日に合わせて、30日か31日に日付けを統一し、取り組んだ。

個別機能訓練においては、なるべく細かく訓練内容や実施記録を記入し、モニタリングを行えた。また、日常生活動作に対しては自己にて行える事は自己にて行えるよう他職種との統一したケアを行えた。

■ サイン及び捺印について

【内容】

立案した施設サービス介護計画書および施設リスクプランは、御家族様にケアプランの説明をし、同意を得、サイン及び捺印をいただく。

【結果】

暫定プランにおいては、新入居者様の契約の際、家人様へ説明を随時行っていたが、感染予防のため、年度末より面会自粛が続き、新入居者の家人様への説明が行われていない状況あり。

本プランも同様であり、コロナ渦の中、外部との接触を断っている為、今後、どのようにプランの説明・サイン及び捺印を行うかの検討要す。→新入居様に関しては、契約の際に、暫定プランの説明を行っている。

■ 反省点及び今後の課題について

アセスメント→暫定プラン→サービス担当者会議開催→本プラン作成→ケアの提供→モニタリングというケアプラン作成の一連の流れは計画通りに出来ていたように思う。

又、プラン作成にあたっては、入居者様のその人らしさを大切に、残存機能の維持、向上を目標に作成する事が出来たように思う。

毎月褥瘡対策委員会に参加し、褥瘡対策に関するケア計画」を相談員・介護及び看護主任、管理栄養士と共に話し合いを行い、褥瘡計画や悪化リスク等注意が必要な方・様子観察を行う方等を現在の施設計画に反映・連動し、細かな処置やケアの提供を行い、入居者様が穏やかな生活を送っていただけるよう配慮していきたいと考えている。

暫定プラン・本プランのサインについては、月に一度、相談員が領収書等を家人様へ郵送する際、二部コピーを入れ一部を返却していただく。

又、リモート面会の際や物品衣類の差し入れの際等にサインをいただくよう心得ていく。

令和4年度 短期入所生活介護 三養苑報告書

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護2	男	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
	女	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	24
要介護3	男	1	3	4	3	4	5	4	3	2	2	2	2	35
	女	6	7	8	10	9	8	7	6	5	6	6	5	83
要介護4	男	2	2	3	2	2	2	1	1	1	0	0	0	16
	女	2	4	4	2	4	4	3	4	5	3	2	3	40
要介護5	男	1	1	2	2	2	1	1	1	2	3	2	2	20
	女	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	16
合計		19	23	26	23	24	24	19	18	18	17	15	14	240
夜間人数		399	393	455	447	414	425	445	432	510	434	388	383	5125
平均		13.3	13.1	15.2	14.9	13.8	14.2	14.8	14.4	17.0	14.5	12.9	12.8	14.0

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
門真市	17	20	19	18	19	19	14	15	16	14	13	12	196
守口市	0	1	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	18
四条畷市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寝屋川市	2	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	1	13
大阪市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大東市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	2	2	2	2	2	1	1	1	0	0	13
合計	19	23	26	23	24	24	19	18	18	17	15	14	240

療養利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	1	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	7
	女	3	3	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	10
計		3	4	4	0	1	1	0	0	2	0	2	0	17

緊急ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61~65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66~70	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
71~75	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9
	女	1	1	1	1	1	1	1	2	0	0	0	0	9
76~80	男	2	2	5	4	5	4	2	1	1	2	2	2	32
	女	4	5	2	4	4	3	3	3	4	3	3	3	41
81~85	男	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	1	1	18
	女	2	3	8	4	4	5	2	2	4	3	3	3	43
86~90	男	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	15
	女	5	7	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	48
91~95	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	2	1	2	2	2	2	1	1	1	1	16
96以上	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	9
合計		19	23	26	23	24	24	19	18	18	17	15	14	240

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	3	4	4	3	3	4	2	3	3	2	1	1	33
第5包括(委託)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他事業所	16	19	22	20	21	20	17	15	15	15	14	13	207
合計	19	23	26	23	24	24	19	18	18	17	15	14	240

令和4年度 三養福祉会 デイサービスセンター 三養苑 事業報告書

令和4年度もコロナの影響により他事業所訪問ができない状態ではありましたが、

その中でもたくさんの問い合わせを頂きました。

食費が100円も地域のCMに浸透しており、体験依頼を受ける際に

利用者様に勧めやすいとたくさんのお言葉を頂戴しています。

現在利用されている利用者様・家族様のニーズを把握していく事で

利用回数の増加、安心して利用して頂ける環境構築を図って参ります。

次年度もご利用者様からの意見を取り入れて、想像力豊かにスタッフ一人一人の

提案・企画し、若い世代の方から高齢の方まで満足してご利用頂けるサービスを

提供します。令和5年度も職員一丸となって取り組みを行って参ります。

【 三養福祉会 デイサービスセンター三養苑 介護保険 令和4年度報告 】

介護保険 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	20	19	21	22	22	22	25	22	20	18	15	18	244
女 性	33	35	31	31	28	28	33	37	37	32	32	34	391
合 計	53	54	52	53	50	50	58	59	57	50	47	52	635

要介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護度 1	14	16	15	14	14	15	18	19	18	16	16	18	193
要介護度 2	20	19	21	21	18	17	21	23	22	19	17	20	238
要介護度 3	12	12	10	12	12	11	10	9	9	9	8	7	121
要介護度 4	3	3	4	4	4	4	6	5	6	4	5	5	53
要介護度 5	4	4	2	2	2	3	3	3	2	2	1	2	30
合 計	53	54	52	53	50	50	58	59	57	50	47	52	635

デイサービス 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所介護 I 11	34	33	40	42	37	27	32	30	26	28	20	27	376
通所介護 I 12	13	13	13	30	32	32	32	33	34	18	13	18	279
通所介護 I 13	8	9	9	8	9	9	0	0	0	0	0	0	52
通所介護 I 14	9	0	0	0	0	0	9	8	1	0	7	19	44
通所介護 I 15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 21	0	0	0	0	9	9	8	20	32	31	33	25	167
通所介護 I 22	35	35	32	30	31	17	18	17	21	21	21	18	296
通所介護 I 23	49	42	38	33	43	32	25	22	22	28	31	35	400
通所介護 I 24	0	0	11	10	10	8	22	22	10	8	3	1	105
通所介護 I 25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 31	59	61	32	60	28	38	13	36	21	22	22	23	423
通所介護 I 32	90	87	90	92	80	74	39	73	73	54	48	51	900
通所介護 I 33	18	13	32	34	15	13	15	35	25	24	24	27	407
通所介護 I 34	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
通所介護 I 35	0	0	0	0	0	10	9	1	0	0	0	0	20
通所介護 I 41	39	34	33	37	51	46	55	50	57	37	48	61	548
通所介護 I 42	79	45	59	60	44	39	62	73	67	51	25	62	666
通所介護 I 43	50	29	28	43	63	60	55	54	63	37	32	35	549
通所介護 I 44	30	35	35	33	36	16	35	30	34	49	52	31	416
通所介護 I 45	16	8	4	4	4	16	0	7	8	8	8	9	92
通所介護 I 51	13	13	19	33	29	12	17	16	17	4	4	4	181
通所介護 I 52	2	1	5	4	5	14	45	42	39	38	61	50	306
通所介護 I 53	48	41	16	18	24	17	14	17	17	34	18	17	281
通所介護 I 54	24	25	26	9	20	24	25	25	29	0	0	0	207
通所介護 I 55	1	5	4	3	7	0	16	10	4	5	0	4	59
合 計	603	531	562	574	607	543	626	621	600	497	470	541	6775

【 三養福祉会 デイサービスセンター 三養苑 介護予防 令和4年度報告 】

予防介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29
女 性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	47
合 計	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	5	6	76

要支援別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要支援 1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	16
要支援 2	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	48
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合 計	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	5	6	76

デイサービス 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所型サービス1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービス2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所型サービスAⅡ	46	39	36	41	39	43	47	33	30	24	22	39	439
合 計	46	39	36	41	39	43	47	33	30	24	22	39	439

令和4年度デイサービス行事

月	日付	行事	月	日付	行事
4月	1	おやつレク(職員による)	11月	9, 11	カラオケ
	6, 8	カラオケ		23, 25	カラオケ
	9	おやつレク(職員による)			
	20, 22	カラオケ			
5月	3~8	母の日週間プレゼント	12月	7, 9	カラオケ
	11, 13	カラオケ		21, 23	カラオケ
	25, 27	カラオケ		21-22	冬至イベント(ゆず湯)
				24	クリスマス会
6月	8, 10	カラオケ	1月	27	寿司バイキング
	14・15	職員奥田による授業		30	年末じゃんけん大会
	14~19	父の日週間プレゼント			
	22, 24	カラオケ			
7月	5~10	七夕週間(七夕飾りプレゼント)	2月	4~8	福笑い
	13, 15	カラオケ		10~15	春初め
	27, 29	カラオケ		25, 27	カラオケ
8月	10, 12	カラオケ	3月	3~5	節分週間
	16~18	夏祭り		7~14	バレンタイン週間
	16~18	おやつレク(職員による)		8~10	カラオケ
	24, 26	カラオケ		22~24	カラオケ
9月	7, 9	カラオケ		~3	お雛さま週間(お雛さまプレゼント)
	20~22	敬老祝賀会		8・10	カラオケ
	21, 23	カラオケ		7~14	ホワイトデー週間
				22・24	カラオケ
10月	11~13	体育祭			
	12, 14	カラオケ			
	26, 28	カラオケ			

令和4年度スタッフ会議

医務学習会

新人職員研修会

第1回 感染症について

第2回 救急対応について

※法定研修については
動画の視聴で行う。

4月	4/26(火)18:00～	場所:デイフロア
5月	5/24(火)18:00～	場所:デイフロア
6月	6/27(月)18:00～	場所:デイフロア
7月	7/26(火)18:00～	場所:デイフロア
8月	8/30(火)18:00～	場所:デイフロア
9月	10/11(火)18:00～	場所:デイフロア
10月	10/25(火)18:00～	場所:デイフロア
11月	11/22(火)18:00～	場所:デイフロア
12月	12/20(火)18:00～	場所:デイフロア
1月	1/24(火)18:00～	場所:デイフロア
2月	2/21(火)18:00～	場所:デイフロア
3月	4/14(金)18:00～	場所:デイフロア

学習会 担当栄養士

食中毒について

令和4年度 デイサービス勉強会

4月	17:30～	場所:デイフロア
	一般浴について	
5月	17:30～	場所:デイフロア
	特浴について	
6月	17:30～	場所:デイフロア
	食卓介助について	
7月	17:30～	場所:デイフロア
	排泄介助について	
8月	17:30～	場所:デイフロア
	車椅子誘導方法について	
9月	17:30～	場所:デイフロア
	歩行介助について	
10月	17:30～	場所:デイフロア
	ベットから車椅子の移乗方法について	
11月	17:30～	場所:デイフロア
	利用者様とのコミュニケーションについて	
12月	17:30～	場所:デイフロア
	ヒヤリハットについて	
1月	17:30～	場所:デイフロア
	離苑について	
2月	17:30～	場所:デイフロア
	安全な乗車・降車方法	
3月	17:30～	場所:デイフロア
	ノロBOXの使用について	

【身体介護箇所(Ⅱ)】

【身体介護箇所】

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	23	22	23	23	10	10	身体介護1	9	9	11	8	9	14	171
身体介護1・夜朝		13	13	12			身体介護1・夜朝							38
身体介護1・深夜							身体介護1・深夜							0
身体介護2							身体介護2						9	9
身体介護2・夜朝							身体介護2・夜朝							0
身体介護3							身体介護3							0
身体介護3・夜朝							身体介護3・夜朝							0
身体介護4							身体介護4							0
身体介護4・夜朝							身体介護4・夜朝							0
身体介護4・深夜							身体介護4・深夜							0
身体介護5							身体介護5							0
身体介護6							身体介護6							0
身体介護7							身体介護7							0
身体介護8							身体介護8							0
身体介護10							身体介護10							0
身体介護11							身体介護11							0
身体介護12							身体介護12							0
身体介護13							身体介護13							0
身体介護14							身体介護14							0
身体介護15							身体介護15							0
合計	23	35	36	35	10	10	合計	9	9	11	8	9	23	218

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1	12	17	13	14	14	11	家事援助1	12	12	4	3	4	1	117
家事援助1・夜朝							家事援助1・夜朝							0
家事援助2	26	25	27	26	35	34	家事援助2	33	35	34	29	32	37	373
家事援助2・夜朝							家事援助2・夜朝							0
家事援助3							家事援助3							0
家事援助4							家事援助4							0
家事援助4・深夜							家事援助4・深夜							0
家事援助5							家事援助5							0
家事援助6							家事援助6							0
合計	38	42	40	40	49	45	合計	45	47	38	32	36	38	490

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	14	11	11.5	11.5	5	5	身体介護1	4.5	4.5	5.5	4	4.5	7.0	88.0
身体介護1・夜朝		6.5	6.5	6			身体介護1・夜朝							
身体介護1・深夜							身体介護1・深夜							
身体介護2							身体介護2							0.0
身体介護2・夜朝							身体介護2・夜朝							
身体介護3							身体介護3							0.0
身体介護3・深夜							身体介護3・深夜							
身体介護4							身体介護4							0.0
身体介護4・夜朝							身体介護4・夜朝							
身体介護4・深夜							身体介護4・深夜							
身体介護5							身体介護5							0.0
身体介護6							身体介護6							0.0
身体介護7							身体介護7							0.0
身体介護8							身体介護8							0.0
身体介護9							身体介護9							0.0
身体介護10							身体介護10							0.0
身体介護12							身体介護12							0.0
合計	14.0	17.5	18.0	17.5	5.0	5.0	合計	4.5	4.5	5.5	4.0	4.5	7.0	88.0

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1	6	8.5	6.5	7	7	5.5	家事援助1	6	6	2	1.5	2	0.5	58.5
家事援助1・夜朝							家事援助1・夜朝							0.0
家事援助2	26	25	27	26	35	34	家事援助2	33	35	42	29	32	37	381.0
家事援助2・夜朝							家事援助2・夜朝							0.0
家事援助3							家事援助3							0.0
家事援助4							家事援助4							0.0
家事援助4・深夜							家事援助4・深夜							0.0
家事援助5							家事援助5							0.0
家事援助6							家事援助6							0.0
家事援助10							家事援助10							0.0
家事援助11							家事援助11							0.0
家事援助12							家事援助12							0.0
合計	32.0	33.5	33.5	33.0	42.0	39.5	合計	39.0	41.0	44.0	30.5	34.0	37.5	439.5

【精神障害者】

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1		34	38	41	43	41	身体介護1	43	38	42	43	39	45	447
身体介護2	1	2				1	身体介護2						1	5
身体介護3	1					1	身体介護3							1
身体介護4					1		身体介護4		1			1		3
身体介護5							身体介護5							0
合計	2	36	38	41	44	43	合計	43	39	42	43	40	46	456

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問回数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1		32	38	38	23	24	家事援助1	39	31	35	43	40	45	388
家事援助1夜朝							家事援助1夜朝							0
家事援助2	48	9	9	8	22	19	家事援助2	9	8	8	8	7	9	164
家事援助2夜朝							家事援助2夜朝							0
家事援助3							家事援助3							0
合計	48	41	47	46	22	19	合計	48	39	43	51	47	54	552

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1		17	19	20.5	21.5	20.5	身体介護1	21.5	19	21	21.5	19.5	22.5	223.5
身体介護2	1.0	2.0				1.0	身体介護2						1.0	5.0
身体介護3	1.5					1.5	身体介護3							1.5
身体介護4					2.0		身体介護4		2			2.0		6.0
身体介護5							身体介護5							0.0
合計	2.5	19	19.0	20.5	23.5	23.0	合計	21.5	21.0	21.0	21.0	21.5	23.5	236.0

訪問時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	訪問時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助1		18	18	19	11.5	12	家事援助1	19.5	15.5	17.5	21.5	20	22.5	194.0
家事援助1夜朝							家事援助1夜朝							0.0
家事援助2	48.0	9	9.0	8.0	22	19	家事援助2	9.0	8	8	8	7	9	164.0
家事援助2夜朝							家事援助2夜朝							0.0
家事援助4							家事援助4							0
家事援助5							家事援助5							0
合計	48	9	9	8	22	19.0	合計	28.5	23.5	25.5	29.5	27.0	31.5	358.0



令和4年度事業報告書
サンホーム桑才(認知症対応型共同生活介護)

1.入居者の状況(ショートステイ含む)

①月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数(月末)	25	26	27	27	27	27	26	25	26	25	26	26	313
新規入所数	0	1	1			1			1		1		5
延べ利用	750	806	810	837	837	810	806	750	806	775	728	806	9521
退所数	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	5
空室数	2	1	0	0	0	0	1	2	1	2	1	1	11
空延日数	60	31	0	0	0	0	31	60	31	62	28	31	334

②要介護度 25 26 27 27 27 27 26 25 26 25 26 26

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2(月末)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
介護度1	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	49
介護度2	5	5	5	5	5	6	6	6	7	6	6	6	68
介護度3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
介護度4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	43
介護度5	7	7	8	8	8	7	6	6	6	6	6	6	81
平均介護度	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1

③介護度別延利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度1	90	124	120	124	124	120	124	120	124	124	140	155	1489
介護度2	150	155	150	155	155	180	186	180	217	186	168	186	2068
介護度3	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2190
介護度4	120	124	120	124	124	120	124	90	93	93	84	93	1309
介護度5	210	217	240	248	248	210	186	180	186	186	168	186	2465
月合計	750	806	810	837	837	810	806	750	806	775	728	806	9521

④日常生活自立度(令和5年3月現在)

ランク	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	
認知度		4	3	6	8	1	4	
ランク	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
寝たきり度			4	2	2	6	7	5

⑤市町村別入所者数(令和5年3月現在)

都道府県	大阪府				府外				
市町村	門真市	四条畷市	守口市						合計
人数	25	0	1						26

⑥面会・外泊・入院・外出の状況(月末)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面会者数	2	3	3	4	4	6	5	9	6	8	7	14	71
外出者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
通院者数	7	9	8	9	5	6	6	4	5	7	5	7	78
入院者数	1	1	1	5	3	4	1	0	1	1	0	2	20

視力			言語			歩行			聴力		
普通	弱視	片盲	普通	少し不自由	不自由	自立	一部介助	全介助	普通	やや難聴	難聴
8	18		8	13	5	9	1	16		13	13
排泄			リハパン			食事			入浴		
自立	一部介助	全介助	なし	夜使用	昼夜使用	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
	12	14	2		24	14	6	6		10	16
紙おむつ			尿取りパット								
なし	夜のみ	昼夜使用	なし	昼のみ	昼夜使用						
12	3	11	3	4	19						

	男性	女性
人数	3	23
平均	85.5	88.6

月 日	行 事 名	実 施 場 所
5	5 端午の節句	サンホーム
	8 母の日(ケーキでお祝い)	
7	7 七夕	サンホーム
9	19 敬老の日	サンホーム
12	25 クリスマス(ケーキでお祝い)	サンホーム
12	31日 大晦日(年越し)	サンホーム
1	1～3 お正月	サンホーム
3	3 ひな祭り	サンホーム
	※ 上記以外はコロナ渦にて中止	

4. 外部研修

[illegible]

令和4年度事業報告書 居宅介護支援事業所 三養苑

今年度もコロナ感染は収束せず、感染予防に努めながら業務を行ってきました。
今年の5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行する事となり、
今までと違った対応になるので新たな方針を十分理解し、その都度必要な対応をしていきたいと
思います。

今年度は利用者様がサービス利用を控えるといった事は以前よりは少なかったと思います、
有料老人ホーム等に入居されている方は感染状況に合わせた対応をされていました、また面会に関して
も少しずつ以前のような状態に戻ってきている施設も多いようです。

主任介護支援専門員の更新研修を受講させて頂きました、実践の振り返り、介護支援専門員の指導、
社会資源の活用、多職種との連携、地域での課題等、あらゆる視点から物事を捉える必要があります、
まず自身のスキルアップに重点を置き、今後の業務に活かしていきたいと思います。

介護保険制度の介護予防、自立支援の考え方を利用者様、御家族様に理解して頂く事の難しさを感じてい
ます。実際に相談頂く時には支援してもらいたい、助けてもらいたい、サービスを利用したいとの思いを持って
おられる中で、上記の考え方の理解をして頂くには信頼関係が必要です、共感し、寄り添いながら、信頼を得
るにはどうすれば良いのかを考えながら、常に接していきたいと思います。

超高齢社会が続いており、利用者様は増える一方で支援する人は少ないという状況の中、介護予防、
自立支援は重要ですがまだまだ課題が多いのが現状だと思います。

{業務内容}

- ① 要支援、要介護認定代行申請
- ② スクリーニング
- ③ 重要事項説明書の説明及び契約、要支援、事業対象者の方は地域包括支援センターとの委託契約
- ④ 市への必要書類の提出
- ⑤ アセスメント
- ⑥ サービス担当者会議の開催及び事業所との連絡調整
- ⑦ ケアプラン作成
- ⑧ サービス計画書(1)、(2)、(3) 利用者様、サービス事業所への交付、同意を得る
- ⑨ サービス事業者への個別サービス計画書の提出依頼
- ⑩ 毎月の利用票の作成
- ⑪ 毎月の訪問(モニタリング)、要支援、事業対象者の方は3か月1度
- ⑫ 毎月のサービス提供票の作成とサービス事業所への交付
- ⑬ 毎月の実績のチェック
- ⑭ 毎月の給付管理
- ⑮ ケアプラン請求のチェック
- ⑯ 相談業務
- ⑰ サービス事業所へ依頼、連絡調整、報告、状況確認等
- ⑱ 各ケースの記録
- ⑲ 電話対応
- ⑳ 住宅改修、福祉用具購入、福祉用具レンタル時、事業所との連絡調整及び同行訪問にて状況把握、住宅改修、福祉用具購入に際しては意見書の作成
- ㉑ 福祉用具貸与理由書の作成(要支援1・2、要介護1)
- ㉒ 特養入居申請にあたり意見書作成
- ㉓ 短期入所サービス延長理由書の作成
- ㉔ 退院前のカンファレンス
- ㉕ 入院中の状況確認

- ②⑥ 来苑者の対応
- ②⑦ 要支援、事業対象者の方の毎月の状況確認の電話
- ②⑧ 要支援、事業対象者の方の包括支援センターへの書類提出、実績報告
- ②⑨ モニタリング以外での必要時の訪問
- ③⑩ 主治医への病状確認、医療系サービス導入に際して相談等
- ③⑪ 有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等の情報提供
- ③⑫ 配食等インフォーマルサービスの情報提供
- ③⑬ 介護保険負担限度額認定の説明及び代行申請
- ③⑭ 勉強会、研修、法定外研修等の参加

* 本年度は利用者宅訪問回数が1119 回でした。

利用者宅訪問	1119
利用者電話	1464
関係機関訪問	716
関係機関電話連絡	1159

(令和5年3月末現在)

{月別請求ケース数}

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援・事業対象者	18	18	15	15	15	15	
介護	61	60	67	65	64	66	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援・事業対象者	15	14	13	14	13	16	181
介護	67	69	67	66	67	68	787

{今年度の勉強会、研修等の参加}

・令和4年6月10日(オンライン研修)

「居宅介護支援及び訪問介護における計画作成の留意点
～適切なアセスメントによるサービス区分の位置づけ方～」

・令和4年7月2日(門真市民文化会館ルミエールホール 大ホール)

「住み慣れた場所で、みんなとともに
～最期の時まで、望みどおり“生ききる”ために」

・令和4年12月13日(オンライン研修)

「精神疾患や発達障がい～基本的な理解とそれぞれの機関の役割～」

・令和4年12月15日(オンライン研修)

「事業継続計画の考え方と現場に即した作成方法」

・令和5年1月12日(門真市保健福祉センター)

- ①「精神症状のとらえ方」～精神科の患者にたずさわる為の基本的な知識・考え方～
- ②「精神障がい者の障がい特性と支援について」

・令和5年1月23日(オンライン研修)

「知っておきたい住宅改修の知識と理由書の書き方について」

・令和5年3月15日

「総合事業基礎研修～基本をおさえる「総合事業」の仕組み～」

大阪府主任介護支援専門員更新研修(OMMビル)

4/6・4/23・5/9・6/3・6/29・7/20・8/3(藤原)

5/27・6/10・7/4・8/15・9/9・9/24・11/2(梶川)

R4年度事業報告書(三養福祉会)

門真第5地域包括支援センター

R4年度はコロナが少しずつ落ち着くにつれて、地域の通いの場が再開、住民の方々から介護予防教室の依頼の声が上がるとなり、介護予防教室の開催と新たな自治会館でいきいき百歳体操の立ち上げができました。長く続いたコロナ禍の活動制限、生活不活発による影響がありフレイル状態にある高齢者は増えており、フレイルからの脱却のための啓発活動、必要なサービスの導入等、元気を取り戻すための活動に今年度は重きを置きました。また、ゆめ伴プロジェクトとの協働事業では、圏域内の住民、通いの場の参加者、通所サービス等介護保険サービスの利用者等が参加して折鶴ツリー(2千羽)を作成し、地域に親しまれている二島郵便局に設置していただき、訪れる方々の目を楽しめています。

年次相談実績

(1)総合相談件数(相談者区別)

	本人	家族・親族	知人・近隣住民	関係機関	介護支援専門員	医療機関	行政機関	その他	合計
延べ人数	1544	1021	98	258	1023	251	298	83	4576

(2)相談内容内訳

	介護に関する相談	日常生活に関するもの	健康・医療に関するもの	介護保険に関するもの	地域支援事業に関するもの	ケアマネジャーに関するもの	高齢者虐待・権利擁護	認知症に関する相談	その他	合計
延べ人数	279	351	350	2656	28	85	227	207	673	4856

(1) 介護予防事業

- 4月26日 第1回介護予防教室 認知症予防講座VR体験(上三ツ島自治会館)
- 5月31日 第2回介護予防教室 フレイル予防(UR東門真団地)
- 6月9日 第3回介護予防教室 骨の健康と骨塩量測定(高齢者ふれあいセンター)
- 6月11日 出前講座 三ツ島南自治会館
- 6月18日 出前講座 高齢者ふれあいセンター
- 7月20日 第4回介護予防教室 歩き方解析(南門真ハイライフ)
- 7月26日 第5回介護予防教室 認知症について(UR東門真団地)
- 出前講座 千石西町A地区集会所
- 9月10日 第6回介護予防教室 笑いヨガ(千石西A)
- 第7回介護予防教室 コグニサイズ体操と体力測定(三ツ島南自治会館)
- 10月27日 介護者家族交流会(ソラストれんか)
- 11月8日 第8回介護予防教室 歩き方(上三ツ島自治会館)
- 11月16日 家族介護教室(ソラストれんか)
- 12月2日 第9回介護予防教室 腰痛予防で動ける身体をつくろう(ゆかいの湯)
- 3月14日 第10回介護予防教室 健康体操で心も身体も軽く

認知症サポーター養成講座、ステップアップ教室

- 6月27日 高齢者ふれあいセンター
- 9月16日 門真市民プラザ
- 9月22日 千石東自治会館
- 10月26日 ステップアップ教室
- 12月2日 シルバー人材センター

通いの場<いきいき百歳体操>

- 11月10、17、24日 立ち上げ支援・全3回(島頭東自治会館)
- 体力測定(東田町自治会館他8ヶ所)

市域包括ケア会議

- 4月26日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・高齢福祉課からの周知事項
- 5月24日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・中止
- 6月28日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・認知症初期集中支援チームについて他
- 7月26日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・スマホ教室について他
- 9月27日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・認知症初期集中支援チームの運営について他
- 10月25日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・全体会議について他
- 11月22日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・通所C事業所について他
- 12月27日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・システムデモに関する意見交換他
- 1月24日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・ICT化促進事業について他
- 2月28日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・通所C、ICT事業について他
- 3月28日 市域包括ケア会議(連絡部会)・・・介護予防ケアマネジメント会議の在り方について他

小地域ネットワーク委員会

(小地域ネットワークの推進について)

- 6月27日 9月16日 12月16日 3月9日 3月23日

高齢者虐待防止実務者会議・ネットワーク会議

(事例を通して虐待について考える、大阪府・門真市の虐待相談と通報状況について)

5月18日 7月20日 11月16日 1月18日 2月27日 3月15日

地域ケア会議(新介護予防ケアマネジメント検討会議)

(ケアマネジメントの質の向上や事業所の専門職の専門性の向上、高齢者の抱える問題など地域課題を把握する)

4月19日 5月17日 6月21日 7月19日 8月16日 12月20日

地域ケア会議(個別)

(個別ケースの支援内容を検討し課題を解決し、また地域課題を積み上げる)

10月25日 3月28日

認知症初期集中支援事業チーム員会議・検討委員会

(チームの活動状況、医療機関との連携について)

4月20日 5月18日 6月15日 7月20日 9月21日 11月16日 1月18日 2月15日

事例検討会

(当圏域の課題である中国残量孤児、中国人の支援について検討した)

11月28日

圏域ケア会議

(地域課題の共有と協議し多機関、多職種の参加により、ネットワークの強化につながった)

3月17日

(2) その他会議と地域福祉活動

圏域内地域密着型サービス事業所運営推進会議

南郷デイサービス(7月12日、2月21日)、ソラストれんか(10月20日)のみ開催、他は中止

あおぞら福祉推進員交流会(7月16日)

民生委員高齢者福祉部会との勉強会(3月3日)

(3) 三専門職会議

社会福祉士連絡会

①通所介護、訪問介護分科会との勉強会

②高齢者虐待対応の仕方について、社会福祉士の意見を投げかけ、検討していく

主任ケアマネ連絡会

①ケアマネ連絡会と協同し法定外研修を実施

②ケアプラン提出書類について

医療職連絡会

①認知症ステップアップ講座について

②運動サポーター養成講座について

(4) 参加した主な研修・講演等

6月14日 内部研修(地域を知り、何ができるか考えよう)

6月28日 包括職員初任者研修(渡辺)

7月25日 ICT化研修(伊藤・渡辺)

8月5、8、11日… 高齢者虐待対応現任者研修(伊藤)

8月18日 認知症キャラバンメイト研修(渡辺)

9月8日 虐待防止研修会～楽しく生きるのは私の権利～(若林)

11月17日 精神症状の捉え方、精神障がい者の障害特性と支援について(北村)

11月19日 多職種連携(渡辺)

11月24日 高齢者・障がい者の消費者被害研修会(西島)

12月12日 成年後見制度(伊藤)

2月22日 BCP研修(吉田、西島、伊藤)

12月14日 家族介護者の仕事と介護の両立支援(若林)

3月9日 ひきこもり経験者から見た社会的孤立(吉田)

3月16日 法定外研修・生活習慣病～ケアマネジャーが持つべき視点(吉田)

(5) お口と身体と心の健康サロンについて ⇒ 開催できず

(6) ゆめ伴サロン・ファーム

ファームは屋外活動であり、コロナ禍でも活動を続けてきたが、休止していたサロンも再開することができ認知症当事者とその家族等が作業を通して交流している。包括に相談があり、介護サービスをよりよくと興味活動のできる方、通所C等介護保険サービスの利用を卒業した方等の通いの場として、一人ひとりができること、やりたいことが実現できる場として効果が期待できる。

R4年度包括業務統計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
代行申請(介護保険)	17	16	13	11	14	16	19	14	20	19	19	19	197
住宅改修	0	3	2	5	4	2	0	0	0	1	3	2	22
新規	29	17	31	27	38	28	29	31	31	23	41	30	355
継続	398	419	365	311	340	358	342	330	327	350	321	354	4221
合計	427	436	396	338	378	386	371	361	358	373	362	384	4576
請求件数(給付管理)	265(総計) 要220・包40 その他5	269(総計) 要221・包41・ その他8	269(総計) 要223・包40・ その他6	281(総計) 要221・包41・ その他9	271(総計) 要221・包38・ その他3	271(総計) 要226・包40・ その他5	269(総計) 要230・包39・ その他0	270(総計) 要224・包40・ その他6	262(総計) 要232・包40・ その他10	271(総計) 要226・包40・ その他5	273(総計) 要232・包36・ その他5	269(総計) 要238・包27 その他4	3251(総計) 要2124・包 461その他86
ケアマネからの相談件数 (困難ケース対応・サービス担当者 会議等)	4	3	6	2	0	1	7	1	1	2	3	3	33
介護予防ケアプラン 作成件数	6	0	3	2	1	3	1	2	2	2	2	1	25
(新規ケースのみ配 委託 数)	12	5	10	10	6	9	5	10	12	6	7	8	100
介護予防教室・出前講座・ 家族介護教室	4/28 認知症予 防講座(上・東門 三ツ島自治会 館)	5/31フレイル 予防講座(UR東門 東門館)	6/3 認知症と暮 らしていく講座(東 門三ツ島自治会 館)	7/11暮らし方講座 (東門三ツ島自治 会館)	9/20コロナ分 散策講座(東門三 ツ島自治会館)	10/27介護者 家族交流会(東門 三ツ島自治会館)	11/8歩き方 (上三ツ島自治 会館)	11/16認知症 予防講座(東門三 ツ島自治会館)	12/2認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	1/16認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	2/15認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	3/14 介護者 講座(東門三 ツ島自治会館)	実施15回コ ロナで 中止1回)
お口と身体と心の健康サロ (口腔ケア、認知症予防教室・ 医療と介護の連携)				7/16									(コロナで 中止1回)
地域交流会													実施1回(コ ロナで中止5 回)
会議、その他の地域福祉活 動	4/28 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	5/16 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	6/15 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	7/12 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	8/16 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	9/16 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	10/20 認知症 予防講座(東門 三ツ島自治会館)	11/16 認知症 予防講座(東門 三ツ島自治会館)	12/16 認知症 予防講座(東門 三ツ島自治会館)	1/16 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	2/15 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	3/14 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	23回
認知症サポーター・ステップアップ 養成講座			6/21 認知症サ ポーター養成 講座				10/28 認知症 ステップアップ 講座		12/2 認知症サ ポーター養成 講座				5回
地域ケア会議・地域ケア 会議	4/19 ケアマネ サポーター会 議	5/11 ケアマネ サポーター会 議	6/21 ケアマネ サポーター会 議	7/19 ケアマネ サポーター会 議	8/16 ケアマネ サポーター会 議	9/16 ケアマネ サポーター会 議	10/25 認知症 予防講座(東門 三ツ島自治会館)	11/29 認知症 予防講座(東門 三ツ島自治会館)	12/20 ケアマ ネサポーター会 議	1/16 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	2/15 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	3/14 認知症予 防講座(東門三 ツ島自治会館)	10回
住民主体の週いの場 「いきいき百歳体操」		5/18 東門三 ツ島自治会館	6/28 UR東門 三ツ島自治会館		8/2 東門三 ツ島自治会館	9/20 東門三 ツ島自治会館	10/11 東門三 ツ島自治会館	11/10 東門三 ツ島自治会館	12/15 東門三 ツ島自治会館	1/3 UR東門三 ツ島自治会館			11回
ゆめサロ・ファミ	4/6 20 ファミ 4/11 ゆめサ ロ	5/4 11、25 ファミ ゆめサロ	6/1 8、15、 22、29 ファミ ゆめサロ	7/6 13、20、 27 ファミ ゆめサロ	8/10 24、31 ファミ ゆめサロ	9/7 21、28 ファミ ゆめサロ	10/5 12、19、 26 ファミ ゆめサロ	11/2 9、30 ファミ ゆめサロ	12/7 14、21、 29 ファミ ゆめサロ	1/11 18、25 ファミ ゆめサロ	2/1 8、15、22 ファミ ゆめサロ	3/1 8、15、 22、29 ファミ ゆめサロ	46回

特別養護老人ホーム 箕面の郷

- ・ 短期入所生活介護 箕面の郷
- ・ デイサービスセンター 箕面の郷
- ・ ヘルパーステーション 箕面の郷
- ・ 居宅介護支援事業所 箕面の郷
- ・ ケアハウス 箕面の郷

令和 4 年度 事業報告書

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 3 1 日)

令和4年度箕面の郷事業報告概要
特別養護老人ホーム 箕面の郷
デイサービスセンター 箕面の郷
ケアハウス 箕面の郷
ヘルパーステーション 箕面の郷
居宅介護支援事業所 箕面の郷
事故対策委員会
身体拘束・虐待防止委員会
感染症・褥瘡委員会
胃瘻喀痰吸引委員会
栄養管理・給食

社会福祉法人 三養福祉会
箕面の郷

令和4年度 箕面の郷事業報告

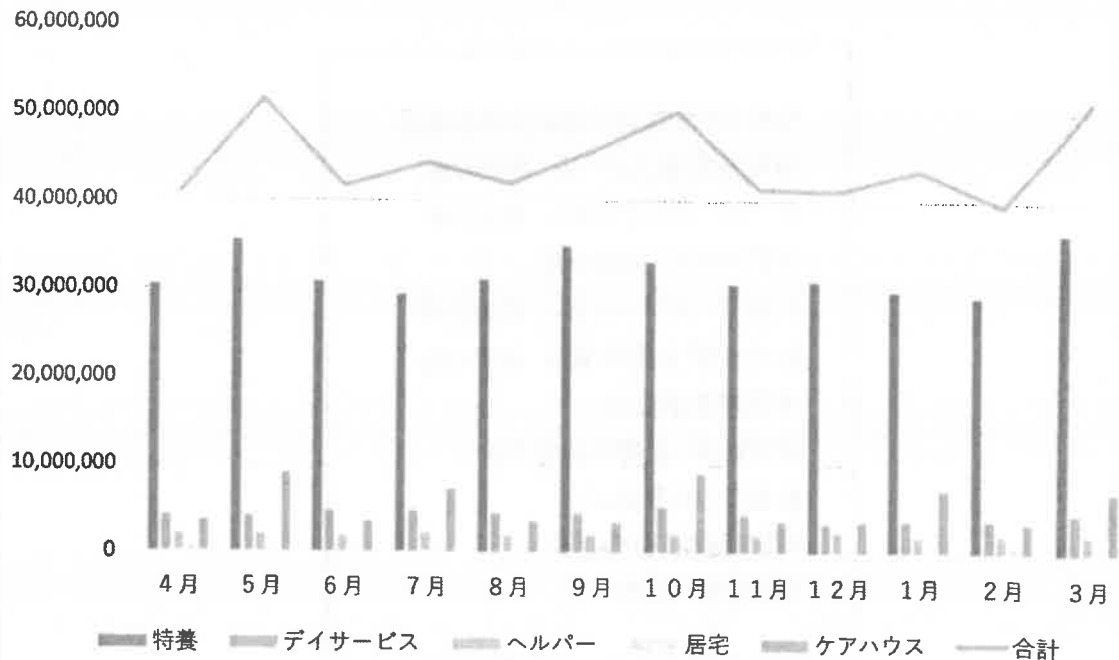
概 要

令和4年度の事業計画で述べた通り職員の新陳代謝を進めるべく、新卒生の獲得や派遣社員を0にする事が実現できました。しかし、それに伴って職員研修の充実を図り、職員育成に努める事が十分に出来ませんでした。その原因の大きな要素は新型コロナ対策に時間と人を取られたことが大きな一因となり、目的半ばと言わざるを得ません。

新型コロナ感染症の流行当初から感染防止に全員一丸となって努めてまいりましたが、11月に職員家族の発症に端を発し特養、ケアハウスと1月中旬にかけクラスターを引きお越し利用者様、ご家族様に多大なご心労とご迷惑をおかけしてしまい、痛恨の極みです。このため衛生用品や関連備品の購入量が大幅に増える結果になりました。

また、ウクライナ情勢の悪化等の諸事情により、水道光熱費をはじめ諸物価の高騰の影響を受け、経費の増加（約10%）を見ました。その結果売り上げはほぼ横ばいの微増人件費（約9%）やその他経費（約10%）が増加したため、利益が約40%減となりました。

令和4年度売上



単位：千円

	収入総額	支出総額	人件費	業者支払い	利益率	人件費率
特養R.4	381,381	332,234	229,172	95,063	12.89%	60.09%
R.3	377,870	302,737	206,795	89,472	19.88%	54.73%
前年比	100.93%	109.74%	110.82%	106.25%	64.84%	109.79%
	収入総額	支出総額	人件費	業者支払い	利益率	人件費率
デイR.4	51,658	49,740	36,267	13,472	3.71%	70.21%
R.3	53,444	42,764	33,464	9,300	19.98%	62.62%
前年比	96.66%	116.31%	108.38%	144.86%	18.57%	112.12%

	収入総額	支出総額	人件費	業者支払い	利益率	人件費率
ヘルパ	25,168	20,466	16,254	4,212	18.68%	64.58%
R.3	29,190	22,648	17,927	4,720	22.41%	61.42%
前年比	86.22%	90.37%	90.67%	89.24%	83.36%	105.14%
	収入総額	支出総額	人件費	業者支払い	利益率	人件費率
居宅R.4	8,787	11,194	7,679	3,515	-27.40%	87.39%
R.3	9,756	10,887	8,276	2,611	-11.59%	84.83%
前年比	90.07%	102.82%	92.79%	134.62%	236.41%	103.02%
	収入総額	支出総額	人件費	業者支払い	利益率	人件費率
ケアハウス	64,797	50,584	18,492	32,091	21.93%	28.54%
R.3	60,583	44,649	15,453	29,196	26.30%	25.51%
前年比	106.96%	113.29%	119.67%	109.92%	83.38%	111.88%
	収入総額	支出総額	人件費	業者支払い	利益率	人件費率
箕面の郷	531,793	464,220	307,866	156,354	12.71%	57.89%
R.3	530,845	423,688	281,917	141,771	20.19%	53.11%
前年比	100.18%	109.57%	109.20%	110.29%	62.95%	109.00%

単位：千円

上記の表の通り特養、ケアハウス以外のサービスで売り上げが前年比で落ち込んでおります。訪問ヘルパー、居宅支援サービスに於いてはサ責、ケアマネージャーの退職により、利用者数を制限せざるを得なかった為の影響が主原因考えます。

しかしながら、デイサービスに於いては、コロナ感染症の影響も大いにありますが、設備の老朽化による故障修理等による業者支払いが約45%増加し、これによって利益率が約20%から3.7%に落ち込みました。

以上簡単ですが令和4年度箕面の郷の事業報告概要を報告いたします。

施設長 生島 誼

令和4年度事業報告書

特別養護老人ホーム 箕面の郷

期間: 令和4年度(2022年4月1日～2023年3月31日)

指定介護老人福祉施設床数 定員: 指定介護老人福祉施設 56名、短期入所 14名)

I 特別養護老人ホーム

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要介護1	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護2	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女性	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20	1.7
要介護3	男性	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	23	1.9
	女性	5	6	7	9	9	10	10	10	11	11	10	10	108	9.0
要介護4	男性	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39	3.3
	女性	24	24	23	23	22	23	22	23	20	21	19	18	262	21.8
要介護5	男性	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14	1.2
	女性	19	19	19	18	17	16	16	16	16	16	19	19	210	17.5
合計		55	56	56	57	56	57	56	57	55	56	58	57	676	56.33
平均介護度		4.14	4.20	4.18	4.18	4.05	4.09	4.02	4.09	3.93	4.00	4.21	4.14	49.23	4.10

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入所者数	男性	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	8	8	76	6.3
	女性	49	50	50	51	50	51	50	51	49	50	50	49	600	50.0
退去者数	男性		1						1					2	0.2
	女性	1	1	1	1	0	1	0	1	1	4	2	1	14	1.2
入院者数	男性	1	1	1	1	0	0	1	3	2	2	0	0	12	1.0
	女性	4	2	2	1	1	2	5	12	12	9	4	0	54	4.5
外泊者数	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
新規利用者数	男性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0.3
	女性	1	2	2	2	0	1	0	2	0	2	3	1	16	1.3
外出者数		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0.2
通院者数		24	19	26	24	21	22	22	15	18	19	8	14	232	19.3
面会者数		2	47	150	31	5	17	65	62	16	45	23	108	571	47.6
実習生受入日数		0	0	0	0	13	12	0	0	0	7	3	0	35	2.9

退所者理由	死亡	長期入院	看護要請終了	ホスピス	その他
	10	0	3	1	2

昨年11月と今年1月に2回クラスター発生による入院者が一時的に増加。入院中の状態や入院期間の把握がなかなか出来ず空室の有効活用が難しかった。また、コロナによる入院により退所される方もいた。特養待機者については、郵便にて待機継続確認実施し、特養入所取り下げ希望の方も多く発生し待機人数も前年度と比べ少なくなっている。

階層別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
第4段階	27	27	26	27	33	32	30	31	29	31	33	31	357
第3段階①	6	6	7	7	4	6	6	6	5	5	6	6	70
第3段階②	15	16	16	17	14	14	15	15	16	15	15	16	184
第2段階	7	7	7	6	5	5	5	5	5	5	4	4	65
第1段階	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	55	56	56	57	56	57	56	57	55	56	58	57	676

(入所者の状況) 2023年3月31日付け

保険者市町村名	大阪府						兵庫県	
	箕面市	吹田市	池田市	豊中市	大阪市	豊能町	芦屋市	宝塚市
男性	7	0	0	1	0			
女性	38	1	3	4	1		1	1

(待機者状況)

2023年3月31日付け	箕面市	吹田市	豊中市	池田市	大阪市	茨木市	高槻市	他府県
待機者市町村名	41	1	2	0	0	0	0	6

取消理由	他施設入所	死亡	その他
	17	10	43

入所者身体状況

入所者平均年齢 53

	男性	女性
人 数	8	46
平均年齢	88	
最高年齢	93	103
最低年齢	79	64

認知症老人の日常生活自立 障害老人の日常生活自立度

レベル	人数
軽度	I 0
	IIa 2
	IIb 5
中度	IIIa 20
	IIIb 22
重度	IV 7
	M 0
合計	56

寝たきり度	人数
軽度	J1 0
	J2 0
中度	A1 0
	A2 6
重度	B1 10
	B2 32
最重度	C1 4
	C2 4
合計	56

(年間行事)

5月	菖蒲湯
8月	納涼祭
9月	敬老祝賀会
12月	餅つき・ゆず湯

今年も感染症対策のため、外出行事や全体で行う行事などを中止することとなった。
 納涼祭や敬老祝賀会等は規模を縮小しフロア毎に実施するなどの対応を行った。その他ユニット単位で誕生会や行事を縮小して行い、感染対策の中でも季節を感じて頂けるよう努めた。

(特養研修)

実施期日	研 修	内 容	参 加 者
4月	リフレ正しいパットの装着と選定	排せつケアについて	新入職員
5月	リーダーシップ研修	人材育成・業務改善	主任会議メンバー、各ユニットリーダー
5月	半固形化栄養について	株式会社クリニコ	胃ろう委員会メンバー
7月	リーダーシップ研修	伝え方・表現について	主任会議メンバー、各ユニットリーダー
8月	3か月研修	アセスメント	新入職員 山村CM
9月	身体拘束がもたらす弊害	身体拘束	施設長 身体拘束委員会職員
10月	リーダーシップ研修	リスクマネジメント	主任会議メンバー、各ユニットリーダー
11月	中止	中止	クラスター発生により中止
12月	コロナウイルス	資料確認	感染症委員会職員
1月	中止	中止	クラスター発生により中止
2月	北摂地域感染管理ネットワーク研修会	コロナ感染予防等	施設長 山村CM 森相談員 西浦介護主任 他
3月	BCPについて		山村CM 森相談員

感染症対策のため、適時施設内の状況を勘案しながら研修が中止となったり、ネットにあげてある教材での研修参加となった。
 リーダー研修はクラスター発生や感染予防から、年度後半実施することが出来なかった。
 また、新卒研修も年度後半実施することが出来なかった。

(部署会議)

実施期日	会 議
4月	リーダー会議 ユニット会議
5月	リーダー会議 ユニット会議
6月	リーダー会議 ユニット会議
7月	リーダー会議 ユニット会議
8月	リーダー会議 ユニット会議
9月	リーダー会議 ユニット会議
10月	リーダー会議 ユニット会議
11月	リーダー会議 ユニット会議
12月	リーダー会議 ユニット会議
1月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
2月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議
3月	リーダー会議・ユニット会議・特養会議

ユニット会議が定着し、ユニット職員間で話し合いを行うことで利用者様個々の状態に合わせたケアを行っていきけるような取り組みを考え、実施していきけるように今後も継続をしていく。
 令和4年の1月より、特養CM 相談員 介護主任 施設長 とで、特養の運営状況の確認を定期的実施し、早急な対応できるように努めた。

II ショートステイ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	21	24	26	24	22	24	28	24	21	19	19	24	276	23
延利用者数	385	417	385	424	432	421	413	404	341	340	312	352	4626	386
1日平均利用者数	12.8	13.5	12.8	13.7	13.9	14	13.3	13.5	11	11	10.8	11.4	154	12.9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1												1	1
要支援2													0
要介護1			4	1	1	2	3	2	2	2	2	2	21
要介護2	4	4	6	5	3	4	5	4	3	2	2	3	45
要介護3	9	12	8	10	9	8	9	6	5	6	4	7	93
要介護4	6	6	5	6	7	8	8	8	8	6	7	8	83
要介護5	2	2	3	2	2	2	3	4	3	3	4	3	33
合計	21	24	26	24	22	24	28	24	21	19	19	24	276
夜間利用者数	367	390	360	403	415	402	384	387	333	333	297	340	4411
夜間稼働率	79%	95%	88%	97%	99%	99%	86%	75%	61%	58%	80%	83%	83%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規利用者	0	1	4	4	1	2	4	0	0	0	0	4	20

(利用者階層別日数)

階層別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第4段階	10	12	17	12	12	15	18	15	13	10	10	14	158
第3段階①	2	3	3	4	3	2	2	2	1	1	1	0	24
第3段階②	6	7	5	7	5	5	6	5	5	5	6	6	68
第2段階	2	1	0	0	1	1	1	1	1	2	1	3	14
第1段階	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	21	24	26	24	22	24	28	24	21	19	19	24	276

【利用状況について】

* 令和4年11月に特養 SSにてコロナ感染者多数発生し、入退所の制限実施し完全終息までに約4カ月かかりその間の稼働率は大幅な減少となった。

* 令和4年2月は特養退所が5名もあり、ロングSSからの入所にてカバーしたがその分SS稼働も低下した。

【感染対応について】

* コロナ感染継続に伴い、ロングSSで出来る限り入退所少なくして感染リスクを少なくした。

* SS利用者の受け入れについて、令和4年1月より抗原検査を利用し、検査結果確認の上利用して頂いている。

令和4年度事業報告書 デイサービス箕面の郷

【デイサービス登録者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	132	138	151	151	175	176	171	175	164	202	185	171	1991
女	394	430	444	416	465	412	404	405	370	421	360	443	4964
合計	526	568	595	567	640	588	575	580	534	623	545	614	6955

【デイサービス登録・利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	526	568	595	567	640	588	575	580	534	623	545	614	6955
実利用者数	492	514	559	560	515	544	545	503	378	411	485	551	6057
登録者数平均	20.2	21.8	22.8	21.8	22.6	22.6	22.1	22.3	19.7	23.9	22.7	22.7	22.2
実利用者数平均	18.9	19.7	21.5	21.5	19.0	20.9	20.9	19.3	14.0	15.8	20.2	20.4	19.3
実施日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	26	24	27	313

【要介護度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合支援事業	2	2	2	2	1	2	4	3	3	2	2	2	27
要支援Ⅰ	1	2	2	3	3	3	3	5	5	3	3	3	36
要支援Ⅱ	4	5	5	5	4	5	5	3	3	4	4	4	51
要介Ⅰ	19	19	19	19	21	18	16	15	14	16	22	18	216
要介Ⅱ	11	11	14	12	11	12	12	12	10	11	9	10	135
要介Ⅲ	10	11	12	13	14	12	12	13	12	12	14	15	150
要介Ⅳ	1	1	1	2	2	1	4	3	3	5	5	3	31
要介Ⅴ	3	2	2	2	2	2	4	9	4	3	3	2	38
計	51	53	57	58	58	55	60	63	54	56	62	57	684

【障害者利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【利用状況】

令和4年度の利用実績が、6,057人 昨年比 96.0% 予算比 86.4%と昨年比・予算比とも大幅ダウン。

令和4年度の1日の平均利用実績が、事業計画の22.3名平均目標に対して19.3人と到達できませんでした。昨年20.1人からも減少となり、目標未達となりました。要因としては、施設内でのコロナ感染クラスターにより利用者様が、利用を控えたりデイサービスの営業が出来なかったことが要因。体験利用や新規利用に関してもかなり減っており、自宅で自粛される利用者様が多かった。コロナが収まった後でも、転倒骨折や体調不良で入院されたり重症化する利用者が増えていた。また、デイサービスの行事やレクリエーションに関しても、外出やカラオケは出来ないし、ボランティア様の参加も制限がかかる状況で、レクリエーション等がマンネリ化したり、脳トレや塗り絵、健康体操が中心で楽しさがあまりなかった様に思える。3月以降は、体験利用や新規利用者様が増えてきており、既存の利用者が入院や施設入所される利用者や入れ替わる状況が続いている。又、リハビリを重視した問い合わせが、特に総合支援の利用者で増えてきている他、精神疾患のある利用者様の問い合わせも増えている。出来るだけ対応できるようにしていきます。

【年間行事】

コロナウイルスの予防の為、外出及びボランティアレクリエーションは自粛しています。

施設内のコロナ感染でのクラスターで、施設行事も中止になったものが多い。

誕生日会は、毎月第三水曜日に実施。手作りケーキやゲームで楽しんでいます。

令和4年8月20日	納涼祭(デザートバイキング)
令和4年9月19日	敬老祝賀会
令和4年12月21日	Xmas会
令和4年12月22日、23日	ゆず湯
令和5年3月27日	桜鑑賞会&外食レクリエーション

【年間行事】

外出行事については、コロナ感染予防の為、自粛しました。また、毎月のボランティア様に関しても、ガンパルーン体操・音楽クラブ・アレンジフラワー・蓄音機演奏会・手品はコロナ感染予防の為、自粛しました。コロナピーク期間中は、カラオケも中止にして利用者様にはご迷惑をおかけし、脳トレや塗り絵等のプリントを中心に実施となる。

外出に関しては3月に桜鑑賞と外食レクリエーションで外出できました。1年以上外出が出来なかったこともあり利用者様は大変喜ばれていました。行事自体が、規模を縮小して密にならないようにしたため盛り上がりかけたり、中止となったりしたため、利用者様にもご迷惑をおかけしました。季節感を感じる外出と外食は喜ばれるので感染状況を確認しながら再開を順次していきます。

【食事】

1. 実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計
令和4年4月		478	476		954
令和4年5月		502	496		998
令和4年6月		543	535		1,078
令和4年7月		549	545		1,094
令和4年8月		501	500		1,001
令和4年9月		531	516		1,047
令和4年10月		531	511		1,042
令和4年11月		490	467		957
令和4年12月		365	337		702
令和4年1月		400	398		798
令和4年2月		472	469		941
令和4年3月		520	519		1,039
		5,882	5,769		11,651

【食事】

食事に関しては、毎日の選択食と月2回のイベント食や実演での昼食の提供を実施。利用者様に熱々の食事を提供し好評です。マンネリ化しないよう利用者様に喜んでもらえるようにしています。

以上

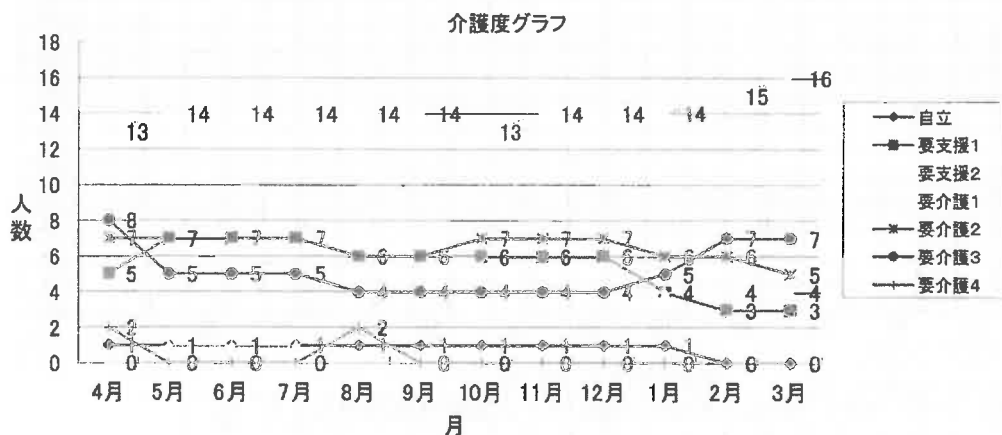
令和4年度事業報告書 ケアハウス箕面の郷(軽費老人ホーム)

・入退所および外泊入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍者数(月末)	35	35	35	34	35	35	35	36	36	34	35	35	420
新規入居者数	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	8
外泊者数	3	6	3	2	2	2	4	4	3	3	3	3	38
入院者数	1	2	2	3	0	0	1	2	1	3	2	3	20
退居者													
特養入所者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
他施設入居	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	4
病院入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家人宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡者数	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
空室数	1	1	1	2	0	0	1	0	0	2	0	1	9

・要介護度別 (2022年4月～2023年3月 各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
自立	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0.8
要支援1	5	7	7	7	6	6	6	6	6	4	3	3	5.5
要支援2	0	1	1	1	2	4	4	4	4	4	4	4	2.8
要介護1	13	14	14	14	14	14	13	14	14	14	15	16	14.1
要介護2	7	7	7	7	6	6	7	7	7	6	6	5	6.5
要介護3	8	5	5	5	4	4	4	4	4	5	7	7	5.2
要介護4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0.3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
人数	36	35	35	35	35	35	35	36	36	34	35	35	35.2
対入居者割合	97.2%	94.4%	94.4%	94.4%	94.4%	94.4%	94.4%	97.2%	97.2%	91.7%	97.2%	97.2%	34.01



〔概要〕

○今年度は、入所が8名、退所が9名であった。退所理由については、入院が0名、ADL低下によりケアハウスでの生活に不安が生じた為、箕面の郷ショートステイを含めた他施設へ入所された方が4名、箕面の郷特養入居が2名、入院中に急変されその後亡くなられた方が2名、また箕面の郷ショートステイ利用中心肺停止で救急搬送され、その後亡くなられた方が1名おられ、計3名の方が亡くなられた。

入所は8名で、直接ご家族様による入居相談、ケアマネジャーからの入居相談の上、申し込みをされる方が多かった。昨年度は自立度が高い方の入居が多かったが、今年度はコロナの影響で外出機会やコミュニケーションをはかる機会が減りADL等低下してしまったのか、要介護1以上の方の入居が多かった。また今年度は、電動車椅子を使用し週4日仕事に継続して通われる方の入居もあった。

○今年度も、ご家族様の開かれた面会を禁止させて頂いているため、新規入居をしても面会が出来ないのであれば、入居を先に延ばしたいとおっしゃるご家族様が多かった。また、施設内でコロナウイルスによるクラスターが起こった時の事を想定し、入居を打診しても延期されるご家族様が多くおられ、新規入居獲得に難航した。

○平均年齢は84.7歳となっており、緊急時に備える必要がある。既往歴、現病歴への理解を深め医療面との細かな連携を行う。

・利用前住所別

(2023年3月31日現在)

都道府県	地元市町村	同一圏内市町村					大阪市	他府県				
市町村名	箕面市	豊中市	吹田市	豊野町	池田市	高槻市	大阪市	香川県	神奈川県	滋賀県	兵庫県	富山県
人数	23	2	4	1	1	1	1	0	0	0	1	1

計 35

・在宅サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
訪問介護	27	28	28	25	26	27	27	28	27	27	28	29	27.3
通所介護	33	32	35	35	35	36	34	36	34	34	33	36	34.4
ショート利用者数	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4
福祉用具貸与	18	18	16	15	15	16	15	16	15	17	18	21	16.7
自費ヘルパー利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	79	80	79	76	76	79	76	80	76	78	79	87	78.8
対入居者割合	219.4%	222.2%	219.4%	211.1%	211.1%	219.4%	211.1%	222.2%	211.1%	216.7%	219.4%	241.7%	437.5%

・年齢状況一覧

(2022年3月31日現在)

以上	65	70	75	80	85	90	95	100	合計	構成比	最高	最小	平均
未満	70	75	80	85	90	95	100	105					
男	3	3	0	1	2	0	0	0	9	25.0%	97	68	84.8
女	0	0	1	8	7	10	1	0	27	75.0%	98	79	87.6
合計	3	3	1	9	9	10	1	0	36	100.0%	195	147	86.8
構成比	8.3%	8.3%	2.8%	25.0%	25.0%	27.8%	2.8%	0.0%	-	-	-	-	-

・事務費階層区分(2022年度)

階層区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	対入居者割合(月)
1 15000000以下	21	22	22	23	23	23	24	23	23	23	23	24	22.0%
2 1500001～1600000	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	8.3%
3 1600001～1700000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
4 1710001～1800000	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	9.0%
5 1800001～1900000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
6 1900001～2000000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
7 2000001～2100000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
8 2100001～2200000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
9 2200001～2300000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
10 2300001～2400000	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7%
11 2400001～2500000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
12 2500001～2600000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2.8%
13 2600000以上	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	6.9%
夫婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	36	36	36	36	36	35	36	36	36	36	35	36	

・待機者の状況

(2023年3月31日現在)

現居住地	箕面市	吹田市	大阪市	豊中市	茨木市	高槻市	池田市	寝屋川市	摂津市	他府県	計
男	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	8
女	21	3	1	2	0	0	0	0	1	7	35
計	28	3	1	2	0	0	0	0	2	7	43

〈クラブ活動〉(定期的月間行事)

項目	曜日	時間	内容
ラジオ体操	月～土	9:15～9:30	健康増進、身体機能維持を目的とし、VTRを見ながら体を動かす
お絵描き教室	コロナのため中止	14:00～15:00	ボランティアの先生に来て頂き、手本を見ながら下絵の採色を行う。
DVD鑑賞会	コロナのため中止	14:00～15:00	入居者様のリクエストに応え、映画を鑑賞して頂く。
ガンパルーン体操	コロナのため中止	10:00～11:00	ボールを使い軽い運動を行い、運動機能の維持をうながす
レクリエーション	不定	13:30～15:30	今年も主に室内で行える、調理レクやお散歩を行った。

〈外来訪問業者〉

- ・訪問歯科・・・毎週月・火 10:30～12:00(かつらぎ歯科)
- ・訪問理容・・・毎月第3水曜 午後
- ・ヤクルト販売・・・毎週火曜日 11:15～12:00
- ・白洋舎(クリーニング)・・・毎週土曜日 9:30
- ・生協・・・毎火曜日11:30～

・行事等報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クラブ等	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会	懇談会
	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科	訪問歯科
	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科
	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科	訪問皮膚科
	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科	訪問眼科
	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	訪問理容	訪問理容	訪問理容	訪問理容
	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会	薬局説明会
	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売	ヤクルト販売
	給食懇談会	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	身体測定	身体測定	身体測定	身体測定
									ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操	ラジオ体操
行事	たこ焼					たこ焼	たこ焼		クリスマス会		たこ焼	

〔概要〕

- ・今年度も三年前からの新型コロナウイルス流行の影響で、予定していたイベントやボランティアさんの教室等が全て開催できなくなっていました。
- ・今年度はコロナウイルスに感染された入居者様が8月に1名、年末年始にかけて6名おられた。うち2名は入院措置となりそれ以外の方は、施設療養となった。感染対策について資料や動画、また講習会等に参加し予習はしていたものの、実践となると不十分であった。先に特養でクラスターが発生していた事もあり、特養の現場の職員から感染対策や感染者の居室に入った際のルール等を学ばせてもらい、年末年始の感染者を6名で留められたと実感している。
- ・今年度も外出レクリエーションの代わりに、室内での調理レクリエーションを積極的に行った。今年度もたこやきが好評で、開催を待ち望んでいる方が多くおられた。たこやきだけでなく、ビールも販売し、たこやきとの相性に喜ばれている。出来立ての熱々を召し上がる事を楽しみにされておられるようだった。また、短時間ではあるが2年ぶりにクリスマス会を開催し、簡単なゲームをして翌年のカレンダーをプレゼントしたり、全員でクリスマスケーキを召し上がっていただいた。久しぶりの大きめのイベントだったため、皆様喜んでいただいたようで、開催後は何人もの方からお礼のお言葉をいただいた。
- ・来年度は、コロナウイルスが第5類に引き下げられる事もあり、世間の感染者状況や施設の状況を見ながら外出レクリエーションや外食を企画したいと思っている。

令和4年度事業報告書
ヘルパーステーション箕面の郷

(A)訪問介護 179 186 180 178 174 176 170 174 180 162 169 220
 355 353 344 350 312 314 349 375 341 312 331 364 (回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体01	57	55	46	25	37	38	47	57	56	45	30	44	537
身体01夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護1夜	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
身体介護1	84	81	78	90	69	92	88	107	90	79	91	115	1064
身体介護1二人	0	1	5	8	8	10	11	8	9	11	10	0	81
身体1生活1	100	98	96	97	97	80	100	91	74	71	88	82	1074
身体1生活1夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体1生活2	15	16	22	21	22	19	20	22	18	15	12	19	221
身体1生活2夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体1生活3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体介護2	34	31	39	37	24	23	29	32	38	33	39	41	400
身2二人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護2夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身2生1夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活1	4	7	9	9	9	10	10	10	11	10	11	11	111
身2生1二人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活2夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体2生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
身体2生活3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護3	4	5	2	4	3	0	1	0	0	4	1	2	26
身体介護3 夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体3生活1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体3生活2	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
身体3生活3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体介護4	1	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	8
身体4生活1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
身体4生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体4生活3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体5	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	1	7
身体5生活1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
身体5生活2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体5生活3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急時訪問介護加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問介護初回加算	2	1	1	3	0	0	0	0	0	1	2	1	11
訪問介護超過改善加算	45	45	44	44	41	41	43	46	42	42	44	47	524
合計	355	353	344	350	312	314	349	375	341	312	331	364	4100

(回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活援助2	15	15	15	14	16	14	18	14	17	14	9	8	169
生活2深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活援助3	164	171	165	164	158	162	152	160	163	148	160	212	1979
生活3夜朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	179	186	180	178	174	176	170	174	180	162	169	220	2148

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	男	110	112	113	106	82	85	92	95	96	83	70	73	1117
	女	141	144	142	153	157	150	128	130	115	100	105	135	1600
要介護2	男	30	29	22	20	43	42	45	48	48	46	47	65	485
	女	127	128	116	82	55	76	116	107	105	91	79	104	1186
要介護3	男	17	14	21	16	12	16	14	13	11	6	15	26	181
	女	36	40	39	68	70	56	55	50	46	50	86	79	675
要介護4	男	9	8	9	9	8	8	8	13	13	9	12	7	113
	女	17	18	17	17	18	16	18	18	17	18	16	17	207
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	10	0	0	0	29	28	28	24	30	149
その他	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		487	493	479	481	445	449	476	503	479	431	454	536	5713

(B) 介護予防訪問介護

(回数)

回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防	I	27	28	27	27	30	32	24	29	30	30	23	23	330
	II	57	49	47	52	54	59	56	59	57	52	44	40	626
	III	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予防I・B型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初回加算	1	1	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	6
	経過改善加算	13	13	13	13	14	14	13	14	14	15	12	11	159
合計		98	91	87	92	100	106	93	102	101	98	79	74	1121

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	男	19	13	10	12	8	8	7	8	9	13	16	14	137
	女	13	12	14	11	13	8	13	13	12	11	11	9	140
要支援2	男	0	0	0	0	0	5	8	6	5	7	5	0	36
	女	47	48	46	51	59	65	48	57	56	47	35	40	599
事業対象	男	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	5	4	4	5	4	5	4	4	5	4	0	0	44
独自	男	19	13	10	12	8	13	15	14	14	20	21	14	173
	女	65	64	64	67	76	78	65	74	73	62	46	49	783
要支援・日割り	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		169	154	148	158	168	182	160	176	174	164	134	126	1913

(C) 全額利用者負担

(回数)

回数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活援助2		6	8	8	8	6	9	9	8	12	8	7	8	97
生活援助3(1時間)		5	1	2	1	1	2	1	1	2	1	0	1	18
生活援助3(1.5時間)		0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	5
生活援助3(2時間)		1	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	6
生活援助3(3時間)		0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
身体介護1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
身体1生活1		0	0	0	10	0	7	1	0	0	0	0	0	18
身体1生活2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護2		0	0	3	0	8	12	0	0	0	0	0	0	23
身体介護3		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
身体介護4		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
身体介護5		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
身体介護6		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計		12	9	14	19	18	30	17	13	21	9	8	9	179

(D) 地域支援事業(身体障害者)

(回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護を伴う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体介護を伴わない	13	12	13	13	13	12	13	13	11	10	10	14	147
合計	13	12	13	13	13	12	13	13	11	10	10	14	147

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(E) 自立支援

(回数)

回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体日中0.5													0
身体日中1.0													0
身体日中1.5													0
身体日中2.0													0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・初回回数 内訳

(回数)

	生活	290	289	280	289	287	294	276	289	292	270	258	308	3422
身・生	307	309	304	319	304	318	340	333	317	276	300	317	ZX	
合計	597	598	584	608	591	612	616	622	609	546	558	625	7166	

(総括)

- ・今年度の訪問平均件数は597件 平均利用時間518時間
- ・ヘルパー人員は 常勤2名、登録は7名の9名体制になった
(年齢65歳以上5名)
- ・2月から初任者研修受講したヘルパー1名増員
生活支援のみだったが11月初任者研修終了され再雇用となった
- ・自費利用 通院のため利用される方 自費のみ利用の方1名
年末の大掃除 10件 介護保険は利用しないが大掃除のみ利用される方2名
ぶらすワンケアサービスの提案(15分 500円) 毎月定期利用の方 2名
- ・新規利用者様23名獲得
利用人数に制限があるため利用中止を見ながらの人数になる 営業拡大しにくい
- ・新規利用事業所 0件になった
- ・利用者人数が60名(障害1名・自費のみ利用1名含む)
コロナ感染予防を理由に利用控えるケース
- ・要支援の利用者の11名。(要介護に移行する方がいたり、要介護の新規依頼につながる)
- ・タブレット導入がケアマネへの迅速な報連相に繋がり、利用者様のリスク最小化へと繋がっている
- ・タブレット導入により事務が軽減され時間外労働の改善につながった
- ・一人サ責が1月中旬2週間濃厚接触者から感染者で休んだが、タブレット利用ゆえ在宅勤務としてシフト調整シフト作成滞ることなくできた

<研修> ヘルパー研修

開催月	研修内容	開催月	研修内容
4月20日 (水)	コミュニケーション技術 ・事例ケースについて	10月19日 (木)	口腔ケアについて ・事例ケースについて
5月18日 (水)	倫理法令順守 ・事例ケースについて	11月16日 (水)	楽ワザ介護術 ・事例ケースについて
6月15日 (水月)	感染症対策 ・事例ケースについて	12月21日 (水)	感染症対策について ・事例ケースについて
7月20日 (水)	熱中症予防 ・事例ケースについて	1月18日 (金)	緊急時の対応 ・事例ケースについて
8月24日 (水)	高齢者の栄養 事例検討	2月15日 (月)	感染症研修ユーチューブにて ・事例ケースについて
9月21日 (水)	BCP ・事例ケースについて	3月16日 (火)	家族からのハラスメント ・事例ケースについて

令和4年度事業報告書

居宅介護支援事業所 箕面の郷

令和4年度 居宅・(予防)居宅介護支援事業の利用実績について、ご報告申し上げます。

〔実際に行った業務内容〕

- ① 介護保険代行申請・・・内容及び手続きの説明及び同意・契約
- ② 介護・予防ケアマネジメント
- ③ 各ケースの把握と更新申請代行
- ④ 認定調査
- ⑤ アセスメント
- ⑥ サービス担当者会議・ケアプランの作成
- ⑦ 月ごとの利用票・提供票の作成
- ⑧ 月ごとの定期訪問 利用票確認・訪問確認簿への押印
- ⑨ 地域包括支援センター・病院・各サービス事業所への連絡調整とサービスの仲介や実施
状態の変化の発見により他職種へつなぐ等
- ⑩ 毎月の実績管理
- ⑪ 毎月の給付管理
- ⑫ ケアプラン請求のチェック
- ⑬ モニタリング
- ⑭ 新規ケースに関する業務
- ⑮ 各ケースの相談業務
- ⑯ 居宅介護支援の提供に関する記録の整備
- ⑰ 地域活動

毎月第4金曜日 8時～石丸朝市みのさとカフェ

14時～青松園グリーンタイムカフェ

※コロナ感染予防の為、中止。

〔認定調査〕

	箕面市	吹田市	豊中市	その他	計
R4.4	0	0	0	1	1
R4.5	0	0	1	0	1
R4.6	0	2	1	0	3
R4.7	0	2	0	0	2
R4.8	0	1	2	0	3
R4.9	0	0	2	1	3
R4.10	0	0	2	1	3
R4.11	0	0	2	0	2
R4.12	0	0	3	1	4
R5.1	0	1	0	1	2
R5.2	0	4	3	0	7
R5.3	2	1	1	0	4

〔居宅サービス：予防・介護給付費請求実績〕

年月日	予防	介護	計
R5. 4	10	50	60
R4. 5	12	51	63
R4. 6	11	47	58
R4. 7	12	47	59
R4. 8	18	49	67
R4. 9	20	47	67
R4. 10	21	47	68
R4. 11	22	51	73
R4. 12	22	50	72
R5. 1	22	50	72
R5. 2	23	53	76
R5. 3	25	53	78

〔研修会 参加状況〕

R4. 4	箕面市ケアマネ連絡会
R4. 5	箕面市ケアマネ連絡会総会・中東部勉強会
R4. 6	第1回箕面市主任ケアマネネットワーク会議
R4. 7	施設内リーダー研修
R4. 8	コロナ感染予防の為中止
R4. 9	認定調査研修
R4. 10	多職種元気サポート会議・ケアマネ連絡会・施設内リーダー研修
R4. 11	適切なケアマネジメント研修会（オンライン）、東部・中東部圏域ネットワーク会議
R4. 12	多職種元気サポート会議
R5. 1	箕面市主任ケアマネネットワーク会議、豊中市認定調査フォロー研修
R5. 2	認定調査研修、東部・中東部圏域ネットワーク会議、東部・中東部圏域勉強会
R5. 3	BCP研修会（オンライン）、ケアマネ連絡会、地域包括支援センター主任ケアマネ勉強会

〔居宅会議での研修〕

R4. 4	後期集中減算の結果、今後方針
R4. 5	在宅復帰支援について
R4. 6	在宅医療、看取りについて
R4. 7	困難事例ケース会議
R4. 8	身体障害者福祉法について
R4. 9	前期の集中減算の結果、後期の方針
R4. 10	業務継続計画（BCP）災害について
R4. 11	業務継続計画（BCP）感染症について
R4. 12	高齢者在宅福祉サービスについて
R5. 1	緊急時・苦情の対応について
R5. 2	困難事例ケース会議
R5. 3	人権研修 高齢者虐待・職場内ハラスメント

令和4年度 事故対策委員会実施報告書

令和4年度、事業計画に伴い事故対策委員会の活動について報告いたします。

<月別テーマ>

	テーマ		テーマ
4月	事故対策委員会の役割について	10月	各部署の事故の振り返りについて
5月	リスクマネジメントについて	11月	各部署の事故の振り返りについて
6月	各部署の事故の振り返りについて	12月	各部署の事故の振り返りについて
7月	各部署の事故の振り返りについて	1月	各部署の事故の振り返りについて
8月	各部署の事故の振り返りについて	2月	各部署の事故の振り返りについて
9月	各部署の事故の振り返りについて	3月	今年度の事故内容の振り返り

<委員会活動実績>

実施日	テーマ	実施内容
4月11日	事故対策委員会の役割について	研修及び当月発生自己の検討
5月15日	リスクマネジメントについて	研修及び当月発生自己の検討
6月13日	転倒事故	研修及び当月発生自己の検討
7月11日	SHELL分析活用について	研修及び当月発生自己の検討
8月21日	各部署の事故の振り返り	研修及び当月発生自己の検討
9月18日	転倒・転落事故	研修及び当月発生自己の検討
10月16日	各部署の事故の振り返り	研修及び当月発生自己の検討
11月20日	中止	クラスター発生により中止
12月18日	中止	クラスター発生により中止
1月15日	中止	クラスター発生により中止
2月13日	誤飲事故について	研修及び当月発生自己の検討
3月13日	事故統計発表、再発防止案	研修及び当月発生自己の検討

社会福祉の理念では「自立した日常生活を営むことができるように支援」と法に明記してあるが、どうしても事故を起こさないようにあまり、極端に管理的になりすぎてしまい、ご利用者の尊厳を奪うことになり福祉サービスの基本理念に逆行することになっているます。毎月の委員会を通じて、事故の振り返りとリスクマネジメントの基本的な視点や考え方を勉強しているが、全職員が周知でき、理解しているとは言い難いため、リスクマネジメントを進める体制整備にあたっては、組織全体での取り組みと継続的な取り組みがとても重要と再認識しました。

令和5年度は事例検討や勉強会を通じて職員による事故をゼロを目標に取り組んでいきます。

令和4年度 身体拘束・虐待防止委員会実施報告書

令和4年度、身体拘束・虐待防止委員会事業計画書に伴い委員会について報告します。

実施月	内容	担当者
4月	身体拘束・虐待防止委員会の意義及び運営方法について	松本
5月	身体拘束のための指針整備	竹端
6月	高齢者虐待防止法と虐待の種別について	小西
7月	身体拘束の種類と範囲について	渥美
8月	高齢者虐待に関する事例検討	三代木
9月	身体拘束がもたらす身体的・精神的影響について	医務
10月	プライバシー・人権について	副島
11月	利用者様及び家族様からの苦情処理体制の整備	松本
12月	介護現場における虐待防止方法について(入浴)	田中
1月	介護現場における虐待防止方法について(排泄)	植田
2月	介護現場における虐待防止方法について(食事)	柳原・チャン
3月	介護現場における虐待防止方法について(移動)	中村



実施日	内容	担当者
4月6日	身体拘束・虐待防止委員会の意義及び運営方法について	松本
5月4日	身体拘束のための指針整備	竹端
6月1日	高齢者虐待防止法と虐待の種別について	藤村
7月6日	身体拘束の種類と範囲について	松本
8月3日	高齢者虐待に関する事例検討	三代木
9月7日	身体拘束がもたらす身体的・精神的影響について	松本
10月5日	プライバシー・人権について	副島
11月2日	利用者様及び家族様からの苦情処理体制の整備	竹端
12月7日	介護現場における虐待防止方法について(入浴)	コロナ感染の為議事録回覧
1月4日	介護現場における虐待防止方法について(排泄)	コロナ感染の為議事録回覧
2月1日	介護現場における虐待防止方法について(食事)	前川
3月3日	介護現場における虐待防止方法について(移動)	浜野

計画と変更なく実施出来た。実際に施設で起こった事例検討については、皆で真剣に話し合うことができ、虐待が身近に起こりうることを実感もし大変有意義な時間であった。

今後も虐待や身体拘束の予防対策を徹底し、再発防止に努めて参ります。

令和4年度 箕面の郷 感染症・褥創委員会

令和4年度 感染症・褥創委員会について報告します。

<年間計画>

	テーマ	
4月	今年度委員会の運営について	
5月	新型コロナウイルス	
6月	食中毒	資料読み合わせの上勉強会
7月	褥瘡	資料読み合わせの上勉強会
8月	白癬	資料読み合わせの上勉強会
9月	ノロウイルス	資料読み合わせの上勉強会
10月	褥瘡	資料読み合わせの上勉強会
11月	インフルエンザ	資料読み合わせの上勉強会
12月	疥癬	資料読み合わせの上勉強会
1月	褥瘡	資料読み合わせの上勉強会
2月	肝炎	資料読み合わせの上勉強会
3月	レジオネラ菌	資料読み合わせの上勉強会

<活動実績>

	テーマ		担当
4月20日	今年度の委員会運営について		西浦
5月18日	新型コロナウイルス	資料読み合わせの上勉強会	西浦
6月15日	食中毒	資料読み合わせの上勉強会	小西
7月	褥瘡について	中止	
8月9日	新型コロナウイルス感染症に関する緊急会議		運営会議
9月21日	ノロウイルス・白癬	資料読み合わせの上勉強会	眞鍋/森
10月19日	介護&看護視点の褥瘡	資料読み合わせの上勉強会	植田/川口
11月19日	インフルエンザ	資料読み合わせの上勉強会	垣内
12月21日	コロナウイルス感染症	資料読み合わせの上勉強会	前川
12月30日	コロナウイルス対策会議		全部署
1月19日	在宅における褥瘡	資料読み合わせの上勉強会	西本
2月15日	肝炎	資料読み合わせの上勉強会	柳原
3月15日	レジオネラ菌	資料読み合わせの上勉強会	西浦

上記のとおり、毎月事例に合わせた研修を行いました。

コロナウイルス蔓延以降、今年度は利用者様・職員共に陽性者多数で、初めてクラスター発生となった。

これにより感染対策や感染物品が全く足りていない状況を目の当たりにする。改めて感染対応や対策などについて検討したり物品を揃えるなど行った。来年度は感染対策行い、予防に努めると共に、もしも陽性者が出た場合にも備えを十分にします。 日々の感染対策を怠らない。

令和4年度 胃瘻喀痰吸引委員会 事業報告

令和4(2022)年度胃ろう喀痰吸引委員会事業計画書に伴い委員会について報告します。

	テーマ		テーマ
4月	今年度の胃ろう喀痰吸引委員会について	10月	喀痰吸引時の注意事項と方法。吸引とは
5月	栄養士からみた胃ろうとは	11月	胃ろう喀痰吸引時の救急対応(トラブル対応)
6月	胃ろうにおける口腔ケアの重要性	12月	胃ろう注入時のひやりハット事例
7月	胃ろうの注入方法と注意事項(観察点)	1月	胃ろうにおける事故報告事例
8月	胃ろう喀痰吸引における感染症等のリスクについて	2月	喀痰吸引時のヒヤリハット・事故事例
9月	マニュアルの見直しについて	3月	今年度の振り返り

実施日	テーマ	内容	担当者
4月26日	今年度の胃ろう喀痰吸引委員会について	メンバーで話し合い	西浦
5月24日	栄養士からみた胃ろうとは	クリニックによる研修	川上
6月28日	胃ろうにおける口腔ケアの重要性	資料をもとに行う	小西
7月26日	胃ろうの注入方法と注意事項(観察点)		西浦
8月23日	胃ろう喀痰吸引における感染症等のリスクについて		西浦
9月27日	胃ろうマニュアル見直しについて	現在のマニュアルの見直し(議事録無)	重留
10月21日	喀痰吸引時の注意事項と方法 また吸引とは	資料をもとに行う	前川(英)
11月22日	胃ろう喀痰吸引時の救急対応(トラブル対応)	コロナクラスターにより中止	山下・ジァウ
12月27日	胃ろう注入時のヒヤリハット事例	過去の事例に学ぶ	西浦
1月24日	胃ろうにおける事故報告じれい		
2月28日	喀痰吸引時のヒヤリハット及び事故報告事例	資料をもとに行う	
3月28日	今年度の振り返り	中止 書面回覧	

※9月 話し合い行いが、議事録作成忘れでなし。マニュアル以外の手順改訂や作成を行う。

上記の通り開催いたしました。

前年(R3年度)の反省として、後半になるほど参加メンバー不足・リーダーや各月担当者が機能せず議事録不備が多くあり、一年間きっちり出来なかったということがあった。

以上から今年度はリーダーを西浦が担当。各担当やメンバーに声掛けを行い、資料準備・出席ができるだけ出来るように動いた。その甲斐あり、コロナ感染や箕面の郷でのクラスター発生があったにも関わらず、定期的にほぼ開催出来た。議事録も開催分は都度提出し、目標を達成できた。

ただ、後半になるにつれ、やはり参加メンバーが少なく、数名が資料準備がわからないと出来なかった。

この2点について次年度の課題にする。

令和4年度 事業報告 箕面の郷 給食関係

1, 特養実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比 (%)
令和4年4月	1424	1428		1428	4280	95
令和4年5月	1560	1561		1562	4683	100
令和4年6月	1504	1503		1505	4512	97
令和4年7月	1561	1566		1561	4688	99
令和4年8月	1600	1602		1603	4805	101
令和4年9月	1546	1544		1544	4634	102
令和4年10月	1566	1567		1567	4700	100
令和4年11月	1441	1445		1439	4325	101
令和4年12月	1499	1508		1510	4517	105
令和5年1月	1425	1430		1424	4279	96
令和5年2月	1409	1413		1413	4235	106
令和5年3月	1595	1593		1593	4781	107
合計	18130	18160		18149	54439	
平均	1511	1513		1512	4537	101

2, 短期入所実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比 (%)
令和4年4月	363	386	52	367	1168	106
令和4年5月	392	419	52	389	1252	103
令和4年6月	357	382	65	359	1163	101
令和4年7月	393	420	53	395	1261	100
令和4年8月	367	386	70	366	1189	96
令和4年9月	390	415	55	394	1254	113
令和4年10月	384	413	53	383	1233	108
令和4年11月	387	410	67	387	1251	92
令和4年12月	328	344	42	332	1046	76
令和5年1月	331	346	46	333	1056	78
令和5年2月	297	315	48	297	957	78
令和5年3月	340	358	58	340	1096	89
合計	4329	4594	661	4342	13926	
平均	361	383	55	362	1161	95

令和4年度 行事食

令和4年4月	お花見御膳 (たけのこご飯、鯛の塩焼き、茶碗蒸し、真薯さくらあん、ゼリー)
令和4年5月	端午の節句 (お赤飯、天ぷら、筍と真薯の銀あんかけ、抹茶ムース、清汁)
令和4年6月	
令和4年7月	七夕 (ちらし寿司、茶碗蒸し、三色そうめん清汁、七夕ゼリー)
令和4年8月	納涼祭
令和4年9月	敬老祝賀会 (赤飯、天ぷら、茶碗蒸し、紅白なます、清汁、紅白まんじゅう)
令和4年10月	ハロウィン (かぼちゃプリン)
令和4年11月	
令和4年12月	クリスマス (エビピラフ、フライドチキン、野菜サラダ、コーンスープ、クリスマスデザート)
令和5年1月	お節料理
令和5年2月	節分 (巻き寿司、炊き合わせ、いわしつみれの清汁、みかん)
令和5年3月	ひな祭り (ちらし寿司、炊き合わせ、菜の花和え物、茶碗蒸し、ひなあられ)

3. デイサービス実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比 (%)
令和4年4月		481	479		960	86
令和4年5月		505	499		1004	92
令和4年6月		548	540		1088	101
令和4年7月		552	548		1100	102
令和4年8月		503	502		1005	103
令和4年9月		535	520		1055	103
令和4年10月		534	514		1048	99
令和4年11月		494	471		965	95
令和4年12月		368	340		708	65
令和5年1月		402	400		802	79
令和5年2月		478	475		953	123
令和5年3月		525	524		1049	104
合計		5925	5812		11737	
平均		494	484		978	96

令和4年度 デイ イベント食

令和4年4月	手作りコロッケ
令和4年5月	旬野菜の天ぷら
令和4年6月	ミックスフライ
令和4年7月	冷麺
令和4年8月	夏野菜カレー
令和4年9月	芋煮会
令和4年10月	豚汁
令和4年11月	おでん
令和4年12月	ホイル焼き
令和5年1月	おせち料理と天ぷら
令和5年2月	ラーメンセット
令和5年3月	フライ定食

4、ケアハウス実食数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比 (%)
令和4年4月	981	644		967	2592	93
令和4年5月	1016	668		995	2679	95
令和4年6月	942	599		921	2462	92
令和4年7月	1033	695		999	2727	103
令和4年8月	1055	751		1023	2829	108
令和4年9月	1028	683		993	2704	109
令和4年10月	1051	715		1018	2784	109
令和4年11月	1012	693		983	2688	107
令和4年12月	1027	757		992	2776	104
令和5年1月	993	788		962	2743	101
令和5年2月	923	630		891	2444	100
令和5年3月	1013	675		973	2661	106
合計	12074	8298		11717	32089	
平均	1006	692		976	2674	102

5、職員食実数報告

	朝食	昼食	おやつ	夕食	合計	前年比 (%)
令和4年4月		278			278	105
令和4年5月		274			274	94
令和4年6月		292			292	114
令和4年7月		308			308	119
令和4年8月		329			329	115
令和4年9月		335			335	141
令和4年10月		330			330	133
令和4年11月		313			313	141
令和4年12月		305			305	149
令和5年1月		287			287	113
令和5年2月		290			290	132
令和5年3月		254			254	100
合計		3595			3595	
平均		300			300	121

6、事故報告

令和4年4月	職員食の冷小鉢に糸状の異物が混入していた。→手触りと目視による確認の強化。
令和4年5月	お粥ののせ忘れ。→配膳前の検品の強化。
令和4年6月	コンソメの包装紙の混入。→包装されている物は完全に取り払ってから調理を行う。
令和4年7月	
令和4年8月	
令和4年9月	主菜にビニール片の混入。→冷凍野菜の袋の開封方法を確認、指導する。
令和4年10月	
令和4年11月	
令和4年12月	遅配。→コロナ対策にて早出し予定が、いつも通りの時間に配膳される。→遅れる時は一報連絡を入れる。
令和5年1月	
令和5年2月	
令和5年3月	デイご利用者の冷小鉢に髪の毛の混入→白衣の着脱時に粘着ローラーがけを行うことを再指導する。

※事故報告考察

イレギュラー対応であったが、事前に遅配になることが予想されたことに対しては事前連絡し、少しでもスムーズに食事提供ができるようにしなければいけない。

※来客・ご利用のご家族さま実数報告

新型コロナウイルス感染症の流行のの為か、前年度と同様に利用実績なし。

特別養護老人ホーム

榎原の郷

- | | |
|--------------|------|
| ・ 短期入所生活介護 | 榎原の郷 |
| ・ デイサービスセンター | 榎原の郷 |
| ・ 居宅介護支援事業所 | 榎原の郷 |
| ・ グループホーム | 榎原の郷 |
| ・ リハビリデイ | 榎原の郷 |
| ・ わくわく保育園 | 榎原の郷 |

社会福祉法人 三養福祉会

檀原の郷

令和 4年度 事業報告書

- ①特別養護老人ホーム・特養 各委員会
- ②ショートステイ
- ③グループホーム
- ④デイサービスセンター
- ⑤リハビリデイサービス
- ⑥ヘルパーステーション
- ⑦居宅介護支援事業所
- ⑧わくわく保育園

特別養護老人ホーム 檀原の郷 令和4年度 事業報告書

(総評)

○運営状況について

R4年度の平均入居率は、99.15%となり、R3年度の99.12%と、微増あるも、昨年と大きく変わらなかった。昨年に続き退居者が非常に多く、また退居の人数が極端に増加した年末年始に、新型コロナのクラスターがあったことより、一時的に新規の入居者の受け入れができない状況となり、空床が目立った。
その他、R4年度は下記のような特徴がみられた。

【入院の状況】

入院延べ人数・・・1,077人(R3年度 1,219人)
平均、1日3.0人入院(R3年度 3.3人)
入院者実数・・・46人(R3年度 58人)
平均、1人あたり23.4日(R3年度 21.0日)

前年度より、延べ人数、実数共に、微減している。しかし、これは看取り対応の利用者(入院対応を行わない)が増加したこと等による減少であり、入院者1人あたりの平均入院日数は約2.4日増加しており、入居者の重度化(医療的対応の必要な方の増加)が進んでいることを示している。

【平均年齢】

R4年度(平均86.8歳 最低年齢 63歳 最高年齢 102歳)
R3年度(平均86.5歳 最低年齢 62歳 最高年齢 102歳)
※ R3年度と大きく変化なし。

【平均介護度】

R4年度 3.68
R3年度 3.67
※ 平均介護度は、R3年度と変化なし。

【入退居の状況】

退居者の状況は、R3年度と同様に、非常に多い状況が続いている。
入居期間2年以内に退居される方が半数以上おられた。また5年以上入居されていた方の退居も目立っており、重度の方が入居されていることと、長期入居されている方が重度化されていることがわかる。

○退居者数【 43名 】： R3年度 43名

(内訳) 逝去 31名 長期入院 12名 (R3年度 逝去 29名 長期入院 14名)

○新規入居者数【 42名 】

○新規入居者の入居前状況

R3年度 在宅13名 病院26名 施設等14名
R4年度 在宅15名 病院18名 施設等9名

※入居前状況は、令和3年度と特に変わりがみられず、病院が最多となった。今年度は、施設等(老健や有料、サ高住)からの入居者より、居宅からの入居者が多くなった。特に目立ったのは、定期SSを利用されている方で、認知症の進行や、家族の事情により、急に在宅生活が困難となり、ロングショートを経由して、特養入居される方が多かった。
在宅生活の限界間際までみておられ、何か一つのきっかけで特養入居を希望されることが増えてきた。

○営業活動について

前年度に引き続き、主に病院と居宅介護支援事業所に対して、訪問や電話、文書による

営業活動を、継続的に行った。営業直後には、問い合わせが特になくなったため、今後も継続的に行っていく。また、以前から交流のある病院や老健の相談員が、梶原の郷を勧めて下さったりしているため、今後も良好な関係を継続していく。

○人材育成について

⇒コロナ禍ということもあり、勉強会や研修等は、主にオンラインで行う。

(研修内容)

※ステップアップ委員会報告書参照

⇒各ユニットごとに介護技術・知識の勉強会の開催。

(勉強会の実施内容)

- | |
|--------------|
| ①身体拘束について |
| ②高齢者虐待予防について |

○感染症について

・世界的に新型コロナウイルス感染症が流行していることにより、例年以上に感染症対策に力を入れた。

- ①アルコールでの職員、利用者様の手指の消毒、うがいの徹底
- ②感染症予防に関する啓発ポスターの掲示
- ③フロア内の消毒と定時の換気を徹底
- ④感染症勉強会の実施及び感染症に関する研修会への参加
- ⑤感染症対策物品を各ユニットに完備
- ⑥職員、面会者のマスク着用と消毒を義務化する
- ⑦看護師、医師との速やかな連携
- ⑧看取りの方で直接面会される場合は、人数制限を行い、マスク、フェイスシールドを着用。
- ⑨体調不良の職員は、仕事を休み、すぐに受診する。
- ⑩職員へ、新型コロナウイルス感染者が蔓延している地域への外出や、外食等の自粛を求める。

→R4年度は、梶原の郷で初めてクラスターが起こった。複数回起こったが、その都度感染対応を見直し、マニュアルを更新した。
同一ユニットや、同一フロアでの感染の広がりがあったが、他の階へ広がることはなかった。

○リスクマネジメントについて

【報告書件数(内訳)】

- ・骨折 6件 (R3年度 9件)
- ・転倒、転落 108件 (R3年度 88件)
- ・落薬、服薬ミス、配薬ミス 21件 (R3年度 24件)

【ヒヤリハット報告書件数】

452件(R3年度 777件)

・転倒、転落件数は増加している。転倒リスクの高い方の入居が多く、ご自身で動かれて、バランスを崩して転倒されることが主だった。
認知症や、高次脳機能障害により、危機意識が低下し、転倒されるケースや職員が他の利用者様の介助中に、転倒されるケースが多い。

特別養護老人ホーム 檜原の郷 全体 令和4年度統計

令和4年度(R4年4月1日～R4年9月30日)

令和4年度(R4年10月1日～R5年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム110名 短期入所24名										定員：特別養護老人ホーム110名 短期入所24名										全体		昨年度	
4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均	定数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均	合計	月平均					
定数	3300	3410	3300	3410	3410	3300		3410	3300	3410	3410	3080	3410		40150		39540						
入居定員月累計	3300	3410	3296	3390	3410	3294	入居定員月累計	3371	3212	3370	3331	3024	3405		39813		39190						
在籍定員月累計	0	0	4	20	0	6	在籍定員月累計	39	88	40	79	56	5	51.2	337	28.1	350	29.2					
在籍者1日平均	110.00	110.00	109.87	109.35	110.00	109.80	在籍者1日平均	108.74	107.07	108.71	107.45	108.00	109.84	108.3		109.1	107.4	107.4					
入居→月退入居	100	133	101	94	60	59	入居→月退入居	10	91	112	135	98	84	88.3	1077	89.8	1219	101.6					
入居退し引(減数)	3200	3277	3195	3296	3350	3235	入居退し引(減数)	3361	3121	3258	3196	2926	3321		38736		37971						
入居退し引(増数)	106.7	105.7	106.5	108.3	108.1	107.8	入居退し引(増数)	108.4	104.0	105.1	103.1	104.5	107.1	105.4		106.1	104.0	104.0					
1日当り入居者数	3.33	4.29	3.37	3.03	1.94	1.97	1日当り入居者数	0.32	3.03	3.61	4.35	3.50	2.71	2.9		3.0	3.3	3.3					
1日当り退居者数	3.03	3.90	3.18	3.34	1.76	1.97	1日当り退居者数	1.44	5.42	4.46	6.28	5.00	2.61	4.20		3.53	3.96	3.96					
新規入所者数	1	3	4	4	2	5	新規入所者数	4	1	6	3	7	2	3.8	42	3.5	53	4.4					
退居者(内退亡者)	1(1)	3(2)	4(3)	5(4)	1(1)	5(4)	退居者(内退亡者)	6(6)	2(2)	4(2)	5(3)	4(2)	3(1)	4(2.7)	43(31)	3.6(2.6)	43(29)	3.6(2.4)					
平均入所率	100.0%	100.0%	99.9%	99.4%	100.0%	99.8%	平均入所率	98.9%	97.3%	98.8%	97.7%	98.2%	99.9%	98.46%	99.15%		99.12%						
2024年9月末入居率	487	483	515	423	433	436	2024年9月末入居率	270	395	369	392	394	444	377.3	5051	420.9	5027	418.9					
2024年9月末退居率	4020	4154	4020	4154	4154	4020	2024年9月末退居率	4154	4020	4154	4154	3752	4154	4064.7	48910		48910						
月当り定員超過者数	3687	3770	3710	3719	3783	3671	月当り定員超過者数	3631	3516	3627	3588	3320	3765	3574.5	43787	3648.9	42998	3583.2					
1日当り定員超過率	122.90	121.61	123.67	119.97	122.03	122.37	1日当り定員超過率	117.13	117.20	117.00	115.74	118.57	121.45	117.8		120.0	117.8	117.8					
超過率(特+増)	92%	91%	92%	90%	91%	91%	超過率(特+増)	87%	87%	87%	86%	88%	91%	87.95%		89.53%	87.92%	87.92%					
入所者1日当り平均	3.65	3.69	3.69	3.72	3.72	3.69	入所者1日当り平均	3.71	3.70	3.67	3.66	3.64	3.67	3.67	3.68	3.68	3.67	3.67					
要介護(1)	3	3	4	4	4	4	要介護(1)	4	3	3	3	3	2	3.0									
要介護(2)	5	5	5	5	5	6	要介護(2)	4	5	5	5	5	7	5.2									
要介護(3)	37	34	31	31	31	31	要介護(3)	30	31	34	34	38	34	33.5									
要介護(4)	47	49	51	48	48	48	要介護(4)	51	50	50	48	47	49	49.2									
要介護(5)	18	19	19	22	22	21	要介護(5)	19	18	17	17	17	18	17.7									
合計	110	110	110	110	110	110	合計	108	107	109	107	110	110	108.5	1311	109.3	1294	108					
外泊日数	0	0	0	0	0	0	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0					
外出数	0	0	0	0	0	0	外出数	0	1	2	0	0	0	0.5	3	0.3	4	0.3					
通院者数	32	26	30	28	24	27	通院者数	31	23	25	16	22	26	23.8	310	25.8	355	29.6					
面会者数	90	79	92	32	12	28	面会者数	17	10	26	26	7	5	15.2	424	35.3	418	34.8					
要介護生(累計)	0	0	0	0	0	28	要介護生(累計)	28	0	0	0	0	0	4.7	56	4.7	0	0.0					

特別養護老人ホーム 橿原の郷 全体 令和4年度 報告書

利用者別状況表(R5年4月1日現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別		保険者別	住所地別
橿原市	69	71	高取町	1	1
御所市	1	1	吉野町	1	1
天理市	1	1	天川村	4	4
大和高田市	4	4	十津川村	1	1
葛城市	1	1	東吉野村	1	1
桜井市	3	3	大阪市	2	2
奈良市	2	2	松原市	1	1
大和郡山市	1	1	尼崎市	1	1
田原本町	13	12	古座川町	1	1
下市町	1	1	宝塚市	1	0
計			110	110	

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	25	85	110
平均年齢	85.1	88.4	86.8
最高年齢	99	102	
最低年齢	63	70	

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度	人数
軽度	J1 0
	J2 0
中度	A1 15
	A2 18
重度	B1 14
	B2 48
最重度	C1 6
	C2 9
合計	110

③認知性老人の日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	10
	IIa	9
	IIb	11
中度	IIIa	50
	IIIb	2
重度	IV	25
	M	3
合計		110

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	31	29	50	110
食事	57	24	29	110
排泄	15	40	55	110
入浴	0	34	76	110

⑤オムツ使用者状況

	人数
なし	35
夜間	29
常時	46
合計	110

令和4年度 QC委員会(運営計画書)報告書

報告者: 加護・亀田・辻本・萩原

【今年度の活動内容】

●ユニット年間予定表

年度初めに、年間の予定表を作り、担当職員を割り振った。
新型コロナウイルス流行状況をみながらの実施となった。

コロナの影響で全体のレクは実施できなかったが、
各フロアでのレクの実施は昨年度よりも多に行った。

●出納帳

実施した企画ごとに金額等を記入。記入後は毎月、月末に出納帳を提出する。

●新型コロナウイルス対策

- ・年間を通しての換気や消毒実施。
- ・利用者様への直接介助時、食事介助、入浴介助、口腔ケア時はフェイスシールド、マスク着用を義務付ける。
- ・新型コロナウイルスの流行状況に合わせて、蜜を避けての行動を促す職員への啓発。
- ・感染症キットを作り、静養室での管理。
- ・BCPの観点からの新型コロナウイルス感染症のガイドライン作成。
- ・新型コロナウイルスに感染したフロアへの人員確保、協力態勢。連絡を密とり、現状の把握や必要物品の配布。

【反省と今後の課題】

・本年度もレクの実施状況はフロアによってばらつきがあった。
感染症があり、感染リスクを考えると、人員の行き来が難しく、他フロアからのフォローも出来ない状況であった。

・新型コロナウイルスの感染が職員だけでなく、利用者様にも広がり、
感染対応をしながらでも、感染状況の広まりを抑える事が出来なかった。
正確な原因はわからないが、急遽始まった感染対応であり、早期の対応や
ガウンやマスクの正確な着脱方法などの伝達が来ていない場面も
あったと感じている。

【来年度の目標】

・感染状況の中ではあるが、引き続き、レクを実施できるように各フロア取り組んでいく。
実施するための人員調整については、各フロアの人員調整時にレクの事も踏まえた
人員配置に出来る限り近づく様に異動時の検討材料の一つとする。

・4年度の感染したフロアの経験、対応を裨益、感染症委員と共に誓面化するなど
行い、迅速に情報が全体に申し送れるような体制をとっていく。
毎月の主任会議、ユニット会議でもそういったことの話設けるようにする。

令和4年度 ステップアップ委員会 報告書

報告者 :加護・亀田・辻本・萩原

【今年度の活動】

4月	倫理(書面にて)	担当者 島原副施設長
5月	新型コロナウイルス感染症対策 前編・中編・後編	オンライン にて実施
6月	クレーム対応 中級・上級	
7月	高齢者のからだシリーズ 高齢者の病気の特徴・「いつもと違う」に気づく視点	
9月	基本的人権・高齢者虐待防止法・不適切ケア	
11月	感染症の基礎知識	
1月	看取りについて	
2月	メンタル不調を理解する	
3月	職員でもできるリハビリ	

・新型コロナウイルス感染防止の為、昨年同様、勉強会を書面・オンラインにて実施した。

また、感染状況を見ながら2月の勉強会は会議室にて行う予定。

・オンライン勉強会についてのアンケートは実施していない

・業務内に閲覧可能にする勤務形態の作成は、パートさんや勤務帯で人員が多い時は勤務内に閲覧できている所もあった が、全体までは出来ていない。また、新型コロナウイルスの感染により、フロアでの職員の欠員や感染に伴っての職員の増減もあり、十分な人員を確保できなかった。

【反省と今後の課題】

・オンライン研修受講への意識が、だんだんと薄れて来ており、毎月の研修参加者が減ってきている。改めて研修の必要性を全職員に再周知し、研修受講への意識づけを行い、職員の介護の質の向上を図っていきたい。

令和4年度 ケアプラン委員会 報告書

報告者: 杉本 裕之、松岡 優佳、新川 加奈子

今年度の活動

- ・毎月各フロアで、ケアマネジャー・管理栄養士・委員会職員でサービス担当者会議を実施。
転倒や体調により、状態に大きな変化が見られた利用者様については、その時点で担当者会議を開催するよう、ケアマネジャーと話し合い迅速な対応に努めた。
- ・各職員に、サービス担当者会議の資料作成や1ヶ月・3ヶ月評価の入力をしてもらい、委員会職員が確認した。
不備があれば、理由を説明して修正するよう指導した。
- ・業務に慣れていない職員には、1回目は委員会職員が指導しながら一緒に取り組み、2回目は1人で取り組んでもらった後に確認した。
不備があれば、理由を説明して修正するよう指導し、また1人で取り組んでもらうという流れで指導した。
- ・バーサルインデックス入力の管理、確認を行った。
3月・9月の入力月以外で、新規の方の入力や1ヶ月以上入院された場合は一旦サービスが中止になり、入院時と退院後にそれぞれ入力が必要となった。
再度周知、指導を行った。該当の入力が必要な場合は都度担当職員に通知し、入力後確認を行った。

今後の課題・反省

- ・1か月評価とモニタリングの入力を忘れていたり、入力場所を間違えていることがあった。
委員会職員が確認して訂正が必要なときは居室担当職員に指導を行っていたが、確認もれ等で正せていないことがあった。
- ・ADLの変化等でケアプランの内容が合わなくなった際に、担当者会議を実施していたが、プラン変更後、評価を変更前のプランと2つ行う必要があるが、理解できていない職員が正しく入力できていないことがあった。
- ・ケアチェック等、居室担当職員が入力した内容が間違っていないか、確認を毎月出来ていなかった。
- ・人事異動で委員の入れ替えがあったフロアでの引き継ぎが、上手くできていないことがあった。
- ・バーサルインデックスの入力を委員会職員自身が正しく把握できておらず、誤った入力方法を指導していたフロアがあった。
- ・ロングショートの利用者様が、特養入居で他フロアへ移動となった際、移動前のフロアの居室担当職員がフェイスシートを作成し、移動先のフロアへ事前に渡している。
しかし、複数の利用者様の移動が重なってフェイスシートの作成が遅くなり、移動直前に作成して内容に不足や誤りがあり、対応に困ることがあった。

来年度の課題・目標

- ・1ヶ月評価、3ヶ月評価、ケアチェックの入力月・場所を再度職員に周知徹底していく。
毎年の課題となっているが1ヶ月評価、3ヶ月評価、担当者会議時のケアチェックの入力について仕組みを理解せず、やり方だけを覚え入力している為、入力するべき月を間違えていることが多かった。間違えている担当職員へは、委員会職員よりマニュアル等を用いて今一度説明を行うようにする。
- ・利用者様の状態を把握し、こまめにフェイスシートを更新する。
特に新規の利用者様が入居された際は特に細かく情報をあげ、共有するよう努める。
また、ADLの著しい低下等大きな変化があった場合はケアプランの変更も検討する必要がある為、各職員と連携の上しっかり利用者様の状態を観察、把握するよう努める。
フェイスシートについても、今年度より入院時に介護サマリーとしての使用を開始したこともある為、こまめに更新や確認を行う。
- ・バーサルインデックスの入力について周知行う。
入力月や評価日について再度委員会職員が理解した上で、他の職員にも周知を行い、全員が理解し入力できるようにする。

- ・居室移動時、利用者様の情報をしっかり引き継ぐ。
ロングショートの利用者様が特養入所する際にフェイスシートを使用し引き継ぎを行っているが作成時は基本項目を埋めるだけではなく、注意事項やその他の欄を活用し不穏時の対応や介助時に留意していること、注意点もしっかり記載するようする。
フェイスシート作成後は、移動先フロアに渡す前に必ず複数人の職員で確認し、記載漏れが無いかを確認する。
また、移動先フロアの職員は上記をしっかり把握した上で介助にあたるよう努める。
- ・情報がすぐに確認できるようにケースファイルの整理整頓を行う。
救急搬送時等、緊急時に必要な情報をすぐに閲覧できるよう、こまめに整理を行うようにする。
各書類や情報をケースファイルのどこに挟むのかを各職員に指導し、そのフロア以外の職員でも対応ができるようにする。

令和4年度 リスクマネジメント委員会 報告書

報告者:加護主任、萩原主任、前田UL、巽UL、
小山UL、松浦UL、森田UL、中本UL、

令和4年 4月 ～ 令和4年 12月までのヒヤリハット 統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本館2階	5	2	11	9	8	6	1	4	22
本館3階	6	18	15	31	48	17	14	10	26
別館1階	5	11	8	7	11	1	1	4	7
別館2階	6	4	4	8	7	6	10	17	12
別館3階	4	10	7	8	8	9	15	6	3
合計	26	45	45	63	82	39	41	41	70

452

令和4年 4月 ～ 令和4年 12月までの事故件数 統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
本館2階	10	5	3	3	4	2	2	2	1
本館3階	9	9	8	1	9	5	4	2	2
別館1階	2	1	2	4	3	0	0	1	2
別館2階	3	4	1	2	3	1	5	4	7
別館3階	4	3	2	2	5	2	2	7	4
合計	28	22	16	12	24	10	13	16	16

事故件数 内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
転倒	19	13	12	8	14	6	11	11	14
薬	4	2	1	2	2	3	1	4	2
他	5	7	3	2	7	2	1	1	0
救急搬送	6	2	2	4	6	1	4	7	3
合計	34	24	18	16	29	12	17	23	19

108

21

28

35

今年度の活動報告

- 今年度も継続して感染症拡大防止の為、STEP・UP勉強会は開催出来なかった。
その為、リスマネ会議にて各フロアのリスク管理についての情報を共有、現状の課題として何が必要かを上げ、会議後各フロアにて周知や注意喚起を行った。
- ヒヤリハットは可能な限り減らす事が望ましいが、大きな事故や怪我だけでなく、小さな内出血や剥離を減らす為にも、職員間でヒヤリハットを共有する必要がある為、こまめに申し送りを行い、その上で対策を講じる様周知した。
- 特養日誌やSS日誌は日々膨大な量の申し送りが上がっており、重要な情報が埋もれてしまい易い。その為、内服の変更など重要な申し送りについては日誌の申し送りだけでなく、連絡帳やユニットへの張り紙なども活用し、情報の共有を徹底するよう、全館に注意啓発を行った。
- 毎月の会議にて、レジュメ内でピックアップした事故等にフォーカスを当て、その内容に沿った標語を決めエレベーター内の目につく箇所に掲示し、各職員が意識して仕事に入れる様にした。
5月【利用者様がしっかり食事・水分を飲み込んでいるか確認できていますか？】
6月【細かな「ヒヤリハット」を共有出来ていますか？】
7月【ベッドのギャッジ操作の際、安全確認出来ていますか？】
8月【車椅子のリクライニングを上げる際、利用者様の腕を巻き込みそうになっていませんか？】
9月【服薬介助の際、声出し確認してから介助していますか？】
10月【利用者様の状態は日々変わりやすいので詳しく申し送りを行いましょう】
11月【食事の際、義歯を装着出来ていますか？】
12月【小さな油断が大きな事故に】

今後の課題・反省点

- ・今年度全体として、ヒヤリハットが多い利用者様や転倒事故が予測できるであろう利用者様が転倒する事故が多かった。
利用者様が普段と違った行動をされ、予測がつかなかったり事故防止に努めていても防げない偶発的な事故もあるかもしれないがヒヤリハットや利用者様の情報を共有している反面それによる新たな対策に繋がっていないことも原因のひとつと考えられた。
見守り・巡回、行動制限するのには限界があり、同様の事故が起きているのが現状である。
利用者様の行動やライフスタイルに合わせて対策・対応をする必要がある。
- ・リハビリを受けられる為、反対のユニットで過ごされていた利用者様が他者様が床に落とされた食べこぼしを拾おうとされ、転倒される事故が見られた。
フロア内に職員がいる、という認識下で他者の介助に入るのではなく、各職員が其々フロア内の利用者様の状態、状況を把握できる様、意識をしていく必要がある。
- ・夕食時、薬ボードに誤って翌日の朝食後薬をセッティングしてしまい、服薬時の確認も不十分だった為、そのまま6名の利用者様に誤って翌日の朝食後薬を服薬させてしまう事故が発生した。
薬は直接命に関わるものであり、忙しさから流れ作業で介助を行う事で重大な事故に繋がりがかねない為、改めて重大性や責任が伴う介助であることを常に意識して貰う必要がある。

来年度の目標

- ・ヒヤリハットの多い利用者様の転倒を未然に防ぐ事が出来る様、利用者様の状態の変化を都度申し送り、意向を伝えられた際は可能な限りそれに沿った形で対応した上で、こういった思いをお持ちだという事を職員間で共有し、今後の対策に活かせる様働きかけていく。
- ・出勤している職員全員でフロア全体の見守り、状況を把握できる様、職員同士の連携に対する意識向上を啓発していく。
- ・服薬介助を行う際は、一度気持ちを引き締め、一つ一つ確認をした上で介助を行う様、定期的な啓発や確認をしていく。

しまっている事などが有り、改善が出来そうな原因も有った。
忘れ物が有った事をショートステイを管轄しているユニットだけの事と考えてしまい
全体で取り組もうとする意識が欠けているのではないか、と言う指摘もあった。

- ・相談員が業務の都合で会議に参加する事があまり出来ない事も有った。

【来年度の目標】

- ・苦情に繋がる様な言葉遣いや接遇などを見直す目的として各フロアできちんと取り組む行為の勉強会を実施する。
- ・日常的に、ユニット内で利用者様に対する言葉かけがどうであったか、また、家族様に安心してもらうための情報伝達の方法など、毎月のユニット会議で話し合いを苦情委員会中心で行っていく。その内容や伝えなければならないことを話しあう場として苦情会議を行う様にする。
- ・苦情会議には相談員も参加し様々な職種の目からきちんとした言葉遣い等の対応が出来ているかを確認していく。
- ・現在話し合っている忘れ物をしたときの原因をショート、苦情会議の度に話し合い具体的にどうするか案を考え実施していくようにする。
（現在は、中身を把握するため荷物を直すのは遅出。退居時の対応も遅出。と言う内容で実施。また、最終の居室確認チェック表も導入し様子を見てい今後において発生した事例はその都度原因を検討し忘れ物件数ゼロを目標とする。忘れ物が無い様にしていくという意識は、フロア全体の職員で持てるように主任、UL、苦情委員会中心に、ユニット会議などの場面で啓発を続けていく。

令和4年度 苦情処理委員会報告書

報告者: 亀田主任、辻本主任、今村、谷上、畑中

【今年度の苦情・要望・相談・SS忘れ物報告書件数】

◎苦情 …21件

◎要望 …25件

◎相談 …2件

◎SS忘れ物報告書…22件

計 70 件

【今年度の活動】

1) 人事異動で対応が曖昧にならないようにしていく。

人事異動が行われました。それに伴い利用者様の状態把握に努める事が必要ですので分からない事も有るかとは思いますが、曖昧にせずしっかりと把握をする様に啓発を行う。また、その事から利用者様への対応が不十分な場合は、家族様や利用者様からの苦情に繋がるので正しく把握・対応・確認を行っていく事を職員間で共有する。

2) 勉強会の参考資料制作(クレーム)

「クレームが発生した際の対応方法」「クレームを未然に防ぐ為の対応方法」の資料作成を行う。
資料の制作後、各フロアに配布しユニット会議等の参考資料にして頂く。
また、他部署に於いても参考資料として配布する。

3) 苦情への啓発

今年度は苦情が21件有り昨年度より2件程減っていますが、その内容の中で利用者様への丁寧な声掛け・丁寧な対応を怠った事で発生した事例が有りました。当事者職員には注意を行った上で各主任、苦情委員会を通じて各フロアの職員一人一人に啓発が行われる。

4) ショートステイの忘れ物

ショートステイの忘れ物が続いている事から苦情委員会として過去の事例を含めピックアップを行う。
その後、その意見を持ってショート会議に苦情委員会担当主任が出席しピックアップした事例をショート会議の参考資料として提出を行い、ショートの入居・退居チェックの現状のやり方の確認を行い共に改善案を考え実施している。

【反省と課題】

- ・言葉遣いや接遇などが、きちんと出来ていない事で利用者や家族様からの苦情に繋がる様子は何件かあったが、表面的に現れるものだけしか把握が出来ていない。
又、特養内で過ごされている利用者様への対応の不備も把握し切れていない場面もあり事務所内からの報告でわかる。といったことがあった。
- ・忘れ物の件数は、発生していない月もありましたが毎月の様に何件かの忘れ物がありました。忘れ物をしてしまう原因を会議などで調査した結果、退居直前に業務が立て込むことや複数の職員が携わる事で直した荷物の内容を分かれて把

令和4年度 広報委員会報告書

報告者: 藤田 和也

【今年度の活動】

* こもれび新聞

・年に4回の郷新聞『こもれび』の発行(6月、8月、10月、2月)

新聞を発行する前に、各部署(特養・GH・居宅・リハデイ)の広報委員が集まり、掲載内容や担当記事を決めた。そして締め切り日までに各部署が写真等を保存し、編集担当者が1つの新聞になるように編集を行った。その後、島原副施設長に確認してもらい必要に応じて修正を行った。1月の会議にて来年度分の発行月と編集担当を決めた。

令和5年度 こもれび新聞年間計画

発行月	編集担当	会議(17時～)
6 月	GH	5/9(火) 5/18(水)締め切り 5/23(水)最終確認
8 月	デイ	7/4(火) 7/18(火)締め切り 7/25(火)最終確認
10 月	居宅	9/5(火) 9/19(火)締め切り 9/26(火)最終確認
2 月	特養	1/8(火) 1/22(火)締め切り 1/29(火)最終確認

*状況次第で変更の可能性あり

令和5年度 ひまわり新聞年間計画

・年3回特養新聞(ひまわり)の発行(7月、9月、3月)

新聞発行前に、各フロアの広報委員が集まり、掲載内容、担当記事を決め締め切り日までに担当者がフォルダーに記事を入力し、編集担当者が一つの新聞になるよう編集を行った。その後、島原副施設長に確認して頂き、修正を行った。また、1月の特養広報委員会会議にて、来年度分の発行月、年間計画、編集担当を決めた。

令和5年度 ひまわり新聞年間計画

発行月	会議(16時～)
5 月	4/18(火) 5/9(火)締め切り 編集…本館2階
9 月	8/15(火) 9/5(火)締め切り 編集…別館
1 月	12/28(火) 1/9(火)締め切り 編集…本館3階

*状況次第で変更の可能性あり

【今年度の反省・今後の課題・来年度の目標】

～こもれび新聞～

昨年同様に新型コロナウイルス感染症で行事が大幅になくなり、記事の題材が少なかった。少ないながらも、それぞれの部署で話し合い、「日常」(レクやリハビリ等)にスポットを当てた内容の記事を中心に記載を行った。例年通りのA3の2ページに戻すことが出来た。来年度には、コロナも落ち着いてくると思うが行事が、行えない行事もあると予想されるため、引き続き「日常」をメインにした掲載内容も加えながら、掲載内容に幅を持たせる努力を行っていきたい。

～ひまわり新聞～

コロナの影響もあり、今年度は1回の発行となった。レクリエーションなどの情報も委員会内で連絡をしていたが、予定されていた行事がコロナなどで中止になる事が多く、特集号なども見送ることになった。来年度も大きな行事が中止になることも予想されるため、発行月に関わらず、日常生活における

小さなレクや利用者様の日常の様子などを掲載できるように努力していきたい。

全体

各フロア間の伝達が遅れたりして、写真を撮影が出来なかった回もいくつかある。
来年度は、連絡を密に取り合って出来るだけ多くの写真撮影が出来るようにしたい。
写真掲載が可能か不可能か記した表があるが、空欄も多く、上手く活用出来なかった。
必要箇所は相談員やケアマネージャーに協力を仰ぎ、完成させる必要がある。

令和4年度 物品委員会報告書

報告者: 別館 辻本・萩原・山崎・赤滝・高橋
本館 上村・中・南

【前年度の目標に対する活動】

・業務マニュアルについて

L字柵・センサーマットの使用の有無の更新が各フロアでバラバラであり全体に把握が出来なかった為、データを1つにまとめ

各階に業務マニュアルを作成し職員(常勤・非常勤)は把握し
マニュアルに沿って実施されている。

・L字柵・センサーマットの使用状況について

毎月、L字柵とセンサーマットの管理を備品委員が担当となる。

特養L字柵は本館3階、特養センサーマットは本館2階

SS用センサーマット・SS用L字柵は別館1階が担当となり

毎月の会議で故障や紛失がないかを報告している。

↑反省点でもある

10月分

・車椅子の台数について

車椅子の台数と状態が分かるよう表を作成し、各ユニットに配布し

備品委員が調査し、車椅子の台数と状況は把握している。

・劣化したベッド柵について

ベッド柵の劣化状況を各フロアの備品委員が調査し、破損しているベッド柵は
修理に出し、会議で報告している。

・眠リスクャンについて

本館2階と本館3階に各5台あり管理していた。会議での話し合いで

眠リスクャンと、コードと、マットをセットにして袋に入れて物品委員が管理する事なる。

あと番号を付ける事で使用状況の把握しやすいように行いパソコン上

でも表を作成し使用状況の把握する。

本館2階…①～⑤を管理し、本館3階…⑥～⑩を管理する事となる。

眠リスクャンとセンサーマットを併用されてセンサーマットが不足している時もあった為、
眠リスクャンと、センサーマットの使用者様の見直しを各ユニットで行った。

【今年度の活動】

・車椅子の修理について

虫ゴムの交換やタイヤのパンクについての実践や講習を
行った。

・空気入れについて

本館3階と別館2階の空気入れが故障中だったので、2台購入し
各階に1台を設置した。

・ベッド柵の管理について

使用できるベッド柵は別館3階の備品委員が管理を行い、使用できなくなったベッド柵とベッド柵と交換し、今後ベッド柵が破損した場合は新しいベッド柵と交換し、破損したベッド柵は一旦物品庫に保管する事となる。

・災害キットについて

BCP(事業継続計画)の対応が出来るように各階の委員会は災害キットが備品倉庫に保管されているかの確認を行い設置する。予備(例:ガウン等)は事務所倉庫にあり貼り紙で分かりやすく設置している。

・ストレッチャー浴のベルトについて →確認

安全ベルトのバックルを差し込む部位が破損していたので、交換を行う。

・L字柵について

L字柵が不足だった為、3本購入し合計25本になる。

購入したL字柵に使用する固定ベルトを購入し、使用方法をラミネートを行い各L字柵に付けて番号を貼付し本館3階倉庫に備品委員会が保管する。

【今年度の活動に対する反省と今後の課題】

・L字柵・センサーマットの使用状況について

毎月、L字柵とセンサーマットの使用状況や破損・紛失等の報告を会議で報告する事になっていたが出来ていない時もあったので、必ず会議で報告を行い、使用状況や破損・紛失等を周知を徹底する。

・ベッド柵の修理について

月1回の会議でL字柵・センサーマットが決められた居室で使用されているか確認をしていく。

破損したベッド柵を調査を行い職員の家人様が修理をして頂いたが、破損したベッド柵が全部修理をされていないので、修理を行っていくが職員の家人様より断りがあった為、修理が出来ていない柵があるので、修理を行っていく。

【来年度の目標】

・車椅子の修理について

備品委員だけが修理出来るのではなく、主任やリーダーや他の職員にも簡単な修理等は行えるように説明を行い、修理できる職員を増やしていく。その為にも備品委員の修理のスキルアップが必要なので、会議で修理のスキルアップの勉強会を作り、スキルアップに努める。

・ベッド柵の修理について

全てのベッド柵を修理できていないので、どのように修理を行っていくか、会議で話し合う様にする。

令和4年度 褥瘡・感染症予防委員会報告書

前年度(令和3年度)の目標結果

●感染症関連

- ①感染症対応の備品セットの内容明細を作成する事が出来なかった為
内容明細を作成する。

→コロナウイルスが出た際、必要な物品を、本2静養室にまとめておくこととなり、
感染が判明した時点で、使用できるようになっている。
必要物品の一覧表も作成。管理は主任が行う。

- ②新型コロナウイルス感染症の対応マニュアルを作成する事が出来なかった為
対応マニュアルを作成する。

→業務継続計画(BCP)を作成する。

、A4用紙1枚にまとめたフローチャートを作成し各フロアに配布行う。

- ③ノロウイルス感染症の対応マニュアルを作成する事が出来なかった為
対応マニュアルを作成する。

→作成行い、各フロア配布行う。

- ④血液感染症の対応のマニュアルを作成する。

→作成行い、各フロア配布行う。

●褥瘡予防関連

- ①褥瘡予備軍の利用者様も多くおられ、今後予防備品の不足が懸念される為、
購入を検討する。

→令和5年2月現在、エアマット2つ購入許可され、稟議書提出している。
また、寄付分の薄めの低反発マットレスを新たに使用開始している。

- ②皮膚状態チェック欄の活用が上手く行えていない事が判明した為、
チェック欄の見直しを行い また活用の啓発も行っていく。

→皮膚状態チェック表は継続使用し、各フロアの

●感染防止への取り組みについて

新型コロナウイルスの感染が全国的に広がっていく中、当施設では利用者様への
感染も見られず日頃より職員一同の手洗い・うがい等、基本的な感染防止に

努めた事により防げる。

●褥瘡予防への取り組み

初期段階での褥瘡発生時には、医務と連携を取りながら早期の処置対応で治癒する事ができた。

褥瘡保持者については、今以上に悪化させない様に様子観察を行いながら看護師と相談しながら対応する。

本年度の活動について

●感染症防止対策

感染症対策の活動として下記を行う。

①感染症発生時に使用する備品の備え

各フロアの感染対策用の備品管理状況の見直しを行う。

・セット内容を決める為、看護主任と相談し取り揃える。

・各フロア毎に設置場所を取り決めた後、職員への伝達を行い発生時には速やかに対応出来る様にする。

②感染者用の食事時の容器について

食器等は厨房より使い捨ての食器が配膳され食事毎に適正に処分する。

居室内に使い捨ての食器専用のごみ袋を設け対応する事になる。

③シャンプー等の容器の管理について

今までシャンプー及びボディーソープの補充は継ぎ足しにて行っていたが衛生管理の観点から継ぎ足しを行わず洗浄された空き容器に補充し使用する事となる。使用後の容器は洗浄を行い乾燥後保管する。

④新型コロナウイルス感染症の対応マニュアルの作成

マニュアル作成の前に感染対応の流れを知る必要があるとの事で

新型コロナウイルス感染時のフローチャートの作成を行う。

作成後、ラミネートを行い各フロアに配布を行う。

⑤ノロウイルス感染症の対応マニュアル作成

マニュアル作成の前に感染対応の流れを知る必要があるとの事で

ノロウイルス感染時のフローチャートの作成を行う。

看護主任と相談を行いノロウイルス感染時のフローチャートを作成する。

作成後、ラミネートを行い各フロアに配布を行う。

⑥血液感染症の対応のマニュアル作成

血液感染症の対応のマニュアルは作成中

反省点

感染対応の備品セット内容明細、及び新型コロナウイルス感染症対応マニュアルノロウイルス感染症対応マニュアルの作成を行う予定でしたがフローチャートを優先する事となり対応マニュアル作成が間に合わなかった。

●褥瘡予防について

- ・褥瘡保有者の処置状況の把握が出来る様に取り組む。
- ・褥瘡保有者・予備軍の状態に応じた、除圧や予防対策に取り組む。
- ・マット関連の管理方法について取り決めを行う。

反省点

褥瘡保有者や予備軍について、エアーマットや青マットを使用する上で、優先度の順に使用されていない状況があったと報告があり見直しが必要。
排泄チェック表の皮膚確認欄の活用が出来ていないと報告があった。(12月会議)

来年度の目標について

●感染症関連

- ・感染症対応の備品セットの内容明細を作成する事が出来なかった為
内容明細を作成する。
- ・新型コロナウイルス感染症の対応マニュアルを作成する事が出来なかった為
対応マニュアルを作成する。
- ・ノロウイルス感染症の対応マニュアルを作成する事が出来なかった為
対応マニュアルを作成する。
- ・血液感染症の対応のマニュアルを作成する。

●褥瘡予防関連

- ・褥瘡予備軍の利用者様も多くおられ、今後予防備品の不足が懸念される為、
購入を検討する。
- ・皮膚状態チェック欄の活用が上手く行えていない事が判明した為、
チェック欄の見直しを行い また活用の啓発も行っていく。

[illegible]

新規利用者(月別・事業所別内訳)

新規 利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R3 合計
	男	2	2	1	1	1	2	2	4	7	1	1	6	30	29
	女	2	5	3	3	0	6	8	7	1	4	3	8	50	46
	計	4	7	4	4	1	8	10	11	8	5	4	14	80	75
	(LSS)	(1)	(2)	(2)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(4)	(13)	13
居宅介護支援 事業所別	檀原の郷	3	2	1	0	0	3	0	2	1	2	0	5	19	30
	他事業所	1	5	3	4	1	5	10	9	7	3	4	9	61	45
	計	4	7	4	4	1	8	10	11	8	5	4	14	80	75

緊急・追加ショート利用者数

緊急ショート 追加ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	R4年	10	12	6	4	3	13	3	8	9	10	9	13	100
	R3年	4	14	22	12	15	9	4	6	10	5	3	10	114

市町村別利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R3合計
檀原市	43	48	46	43	40	43	46	48	52	43	44	50	546	570
田原本町	4	5	6	4	3	3	3	5	5	8	5	5	56	60
大和高田市	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	8	0
その他市町村	2	3	2	1	1	1	1	2	1	1	2	2	19	33
他府県	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
合計	50	57	55	49	45	49	52	57	60	54	53	60	641	675

年齢別利用者内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R3合計
60才以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
61～65	男	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	10	4
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66～70	男	0	1	0	0	2	1	1	1	2	0	2	0	10	3
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13	15
71～75	男	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	2	10	11
	女	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	2	9	14
76～80	男	2	3	3	1	0	1	1	1	2	1	1	3	19	33
	女	3	4	4	3	3	5	4	3	3	2	2	3	39	51
81～85	男	3	3	2	2	2	0	1	1	3	2	1	0	20	49
	女	9	10	13	9	7	9	9	11	11	10	9	9	116	122
86～90	男	5	4	6	5	4	7	9	12	12	10	8	9	91	55
	女	12	13	10	12	11	14	14	13	12	14	16	17	158	170
91～95	男	3	3	2	3	2	2	1	2	1	1	1	3	24	39
	女	8	11	10	9	8	6	8	7	7	7	5	6	92	81
96才以上	男	0	1	1	1	1	0	0	1	2	1	1	1	10	10
	女	1	1	0	1	1	1	1	3	2	3	3	3	20	14

合計	男	15	16	16	13	13	12	15	19	24	17	16	18	194	
	女	35	41	39	36	32	37	37	38	36	37	37	42	447	
		50	57	55	49	45	49	52	57	60	54	53	60	641	675

担当居宅介護支援事業所(自事業所・他事業所)利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R3年合計
自施設事業所	19	24	22	20	20	20	17	17	18	20	18	22	237	235
他事業所	31	33	33	29	25	29	35	40	42	34	35	38	404	440
合計	50	57	55	49	45	49	52	57	60	54	53	60	641	675

新規ロングショート受け入れ数

	R4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規ロング ショート	入居	1	4	3	3	0	3	2	1	1	4	2	4	28
	退居	1	6	4	4	0	4	2	0	2	3	5	3	34
	入居	1	2	0	1	4	3	3	0	2	1	1	2	20
	退居	0	5	0	1	0	4	4	2	4	1	3	1	25

グループホーム榎原の郷(認知症対応型共同生活介護) 令和4年度 事業報告書

【総評】

1.入退居の状況

今年度は、退去者が2名おられたが、早い段階で新入居を確保することができ空床日数24日と、入退去がスムーズであった。入院も長期ではなく、早期退院して頂く事が出来、利用日数は昨年より上回る事が出来た。

新型コロナウイルスの対応が始まってから3年目となり、感染症対策を更に注意して行ってきたが11名の利用者と、7名の職員が新型コロナウイルスに感染した。

感染者の発生時には医師との連携をにより、早急に対処する事が出来、幸いにも結果、重症化することなく乗り越える事が出来た。

2、入居者様の処遇について

- ・今年度の目標を中心にケアを行う事によって、多くの気づきを得る事ができた。

結果→「開かれた施設を目指す」、「介護技術の向上と寄り添う介護の徹底」を基本目標とし、コロナ禍ではあるが、利用者様のニーズに寄り添いながら、出来る事を実現できた。
面会が出来ない中、イベントごとに家族様にラインや郵送で利用者様の写真を、送らせて頂いた。
コロナ禍において利用者様に日々楽しいと思って頂くには何をすればよいかアイデアを出し合い寄り添う介護が実現できた。(別表1参照)
毎月ひだまり新聞を発行し、利用者様の生活の様子を伝える事ができ、家族様からは感謝の言葉やねぎらいの言葉を沢山いただいた。

- ・看取りを希望される家族様が4名、その内看取りにて逝去された方が2名おられた。

- ①家族様、主治医、看護職員との話し合いを持ち、看取りに対する指針を確認し合った。
- ②ユニット会議、送りなど、細かい事を話し合う事ができた。
- ③終末期ケアの倫理的課題、医療的考え方を再確認する事ができた。
- ④看取りプランを作成しより家族様に安心して頂く事が出来た。

3、職員の連携、情報の共有

・申送り、ケアカンファレンス、ケアプラン評価

- ①申し送りは、夜勤者・早出・日勤・遅出と引き継いだ。
- ②1日から15日までは、入居者様第1回目2週間評価。
- ③16日から31日までは、入居者様第2回目の2週間評価。
- ④適宜、モニタリングや担当者会議を実施し、報告、対策などを周知徹底した。
- ⑤本年度の目標に向けてケアの充実を図った。

結果→上記の実施により、職員間の話し合いを頻繁に持ち日頃の業務に対する振り返りができた。足りないところは、ユニット会議にて話し合い、前向きな案を出し合う事が出来た。ユニットごとの連絡帳を活用し、申送りの漏れのないように工夫した。

ユニット会議での研修内容

実施月	内 容
5月	職員倫理、身体拘束、今年度の事業計画、
9月	職員の心得、身体拘束、看取りケアについて
11月	虐待防止、身体拘束
3月	身体拘束、感染症対策

※上記以外に施設全体のリモート研修を1か月に1回行い、視聴する事が出来た。

4、感染予防・対策について(新型コロナウイルス)

対策→①新型コロナウイルス、インフルエンザの大流行やノロウイルスに対する対策として手洗い、うがい、換気、マスク、フェイスシールド着用などの徹底を行った。

②新型コロナウイルス対策よって外部から面会は、禁止させて頂き家族様には書面、電話にて説明を行った。面会はリモートによる面会とした

③汚染物の処置として、対象者の居室に蓋つきバケツを設置し、ベランダよりゴミ処理を行った。

④キッチン、手摺、フローア(床、椅子、テーブル)の塩素消毒。

⑤利用者様が、密にならないようひとテーブル3人までとし、昼食時は職員は黙食を心掛けた。

⑥利用者様にマスク着用を促したが全員の徹底は出来なかった。

⑦施設より職員への告知により、感染症予防の意識を高め施設全体で取り組んだ。

結果→ 利用者様の感染症は11名。職員7名の感染があったが重症化はしなかった。
職員一人一人が感染症対策の反省を行い、職員アンケートによって
今後の改善すべき点をまとめた。

⑧ワクチン接種はに関しては、14名の方が5回目接種を終え、2名の方は
4回目接種終了、3回目で終了希望の方1名、2回目で終了希望の方1名
となった。

5、身体拘束について

対策→ ①身体拘束にあたる行為や言動について、ユニット会議にて毎回話し合い
介護を振り返り、対策方法を考えた。

特に言葉の身体拘束については、職員と定期面談を行い、個々に
話し合いを行い、質の向上に向け改めるべきことを確認した。

結果→ 日々の業務の中で、職員一人一人が気付きや疑問を持ちながらケアの質を
向上する事ができた。意見を言いやすい環境を作り、細かいところまで話し合う
事が出来た。

6、リスクマネジメントについて

対策→ ①ユニット会議、リーダー会議にて事故の分析や勉強会を開いた。

②フロアー見守りの注意点を話し合った。

③服薬マニュアルの再確認をし、日にち、名前の読み上げの徹底を図り
服薬ミスの改善を行った。

結果→ 居室、フロアーでの転倒が15件と、去年より多く発生した。

転倒による骨折はなかったが、同じ利用者様の事故が多く

認知症の進行や、コロナ感染者によるものが原因であった。

誤薬はなし、落薬が6件あった。

再度マニュアルに基いて服薬するよう、周知徹底した。

【年間行事】

日 時	企 画 名
4月 13日	桜まつり
5月 12日	焼肉パーティー
5月 27日	ビアガーデン
5月 30日	父の日、母の日お祝い
6月 3日	そうめんレク
6月 24日	紫陽花祭り
7月 1日	夕涼み会
8月 6日	夏祭
9月 20日	敬老会
10月 21日	運動会
12月 19日	クリスマス会
1月 1日	年始料理
3月 17日	スイーツバイキング

各利用者様夢を叶える、ひな祭り、節分など利用者様が楽しめる催しを、その都度行った。

コロナ禍ではあったが、職員がアイデアを出し合って、楽しいイベントが出来た。

家族様にも写真を通して報告し、大変喜んで頂けた。

①月別入退居状況（毎月末日集計）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年
在籍者数 畝傍	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	106
新規入居者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
在籍者数 耳成	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	105
新規入居者数	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	2
延べ利用日数	533	538	540	558	531	515	556	522	558	558	488	558	6455	6326
退居者数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	5
空ベッド数	0	0	0	0	4	0	2	18	0	0	0	0	24	4
空延べ日数	0	0	0	0	4	0	2	18	0	0	0	0	24	151
延べ入院日数	7	20	0	0	23	25	0	0	0	0	16	0	91	80

②要介護度（月末日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年
要支援	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
要介護1	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	77	61
要介護2	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	67	67
要介護3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	27	56
要介護4	1	1	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	20	12
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	5
平均介護度	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0	2.0	2	2.0	2

③要介護度別延利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年
要支援	23	11	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	338	365
要介護1	180	186	180	186	159	180	186	192	217	217	180	217	2280	1787
要介護2	180	186	180	186	209	180	186	150	155	155	140	155	2062	1977
要介護3	90	93	90	62	62	60	62	60	62	62	56	62	821	1704
要介護4	30	31	30	62	39	35	60	60	62	62	56	62	589	342
要介護5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	151
月合計	533	538	540	558	531	515	556	522	558	558	488	558	6455	6326

④日常生活自立度

ランク	I	II	IIa	IIb	III	IIIa	IIIb	IV	M
認知症度	0	0	1	6	0	0	0	11	0
ランク	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
寝たきり度	0	0	8	6	0	2	0	2	

⑤面会・外泊・外出の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年
面会者数	0	0	7	3	3	10	11	0	1	1	10	10	56	89
外出者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑥入居者身体状況

視力			言語			歩行			聴力		
普通	弱視	全盲	普通	少し不自由	不自由	自立	一部介	全介助	普通	やや難聴	難聴
16	2	0	13	3	2	7	5	6	14	2	2
排泄			オムツ/リハパン			食事			入浴		
自立	一部介	全介助	無し	夜使用	昼夜使	自立	一部介	全介助	自立	一部介	全介助
3	10	5	4	0	14	11	5	2	2	9	7

1

⑦入居者平均年齢(3月末現在)

	男性	女性
人数	5	13
平均	88	87

デイサービスセンター樫原の郷 令和4年度事業報告書

○利用者数の推移、利用者状況の傾向について(令和3年度比較)

→新規利用者・登録者数は増加しているが、利用者延べ人数に反映されなかった。

(要因)

- ①感染症予防に気を付けながら、見学希望・体験希望・新規依頼に対し随時対応出来た為登録者数は増加した。
- ②総合事業対象者・要介護1・3・4の利用者の増加があった(特に総合事業と要支援1の増加が大きい)。
- ③コロナ感染の為、保健所からの要請により営業を1日間休止した。コロナの影響により利用を見合わせる方もおられたが、同時にサービスを続けたいという利用者も多くみられた。
- ④毎日利用されていた利用者が在宅生活困難になり、入所・入院の為中止された利用者も増加した。

○利用者依頼件数について

→当施設の居宅介護支援事業所からの依頼件数は増加したが、他事業所からの依頼は減少した。

→樫原の郷の他事業所との併用利用希望者は昨年同様多かった。

○サービス内容について

→午前中:入浴の合間をみて脳トレ(計算プリント・間違いさがし・カレンダー作り、)。

→昼食前:ラジオ体操・計算プリント答え合わせ・口腔体操。

→午後:職員による軽体操・歌体操と同時間に、運動指導士による6名～10名程度のグループリハビリ体操を開始した。(家人様・利用者様希望者優先)

体操後は合同でゲーム・リモート演奏会・カラオケは出来ないが曲を流し聞いて頂いた。

漢字・数字等の脳トレボード(利用者に合わせて提供)は、熱心に取り組まれる方も多かった。

季節の行事に合わせたレクリエーション・ゲーム等への参加時の様子を写真に取り、後日配布
本人様、家族様より喜びの声も多く頂いた。

○登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度合計	R3年度合計
男	15	16	16	16	17	18	16	16	14	13	16	19	192	171
女	56	59	57	60	59	55	59	59	56	53	54	56	683	697
合計	71	75	73	76	76	73	75	75	70	66	70	75	875	868

○利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度合計	R3年度合計
総合事業	0	0	0	1	5	4	4	9	7	7	13	1	51	6
要支援1	26	34	37	30	31	37	38	36	32	33	29	45	408	246
要支援2	66	53	55	59	68	60	68	62	54	56	58	66	725	1109
要介護度1	273	292	295	309	326	288	278	288	243	222	233	235	3282	3197
要介護度2	178	188	166	161	149	165	171	151	139	131	128	145	1872	2585
要介護度3	102	88	97	98	60	81	90	85	66	98	79	106	1050	956
要介護度4	48	65	75	76	90	77	73	76	67	59	68	84	858	788
要介護度5	0	0	2	3	0	0	7	7	6	6	9	7	47	73
合計	693	720	727	737	729	712	729	714	614	612	617	689	8293	8960
1日平均(人)	27	28	28	28	27	27	28	27	23	26	26	26	27	28.7

○新規利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度合計	R3年度合計
2	5	1	2	5	3	3	1	1	3	5	6	37	26

○体験利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3年度合計	R2年度合計
	3	1	2	4	1	3	3	0	1	4	8	1	31	32
本契約となった利用者数	3	1	1	4	0	3	3	0	1	4	8	1	29	23

○利用追加者

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3年度合計	R2年度合計
2	3	5	1	2	3	2	0	1	2	2	2	25	24

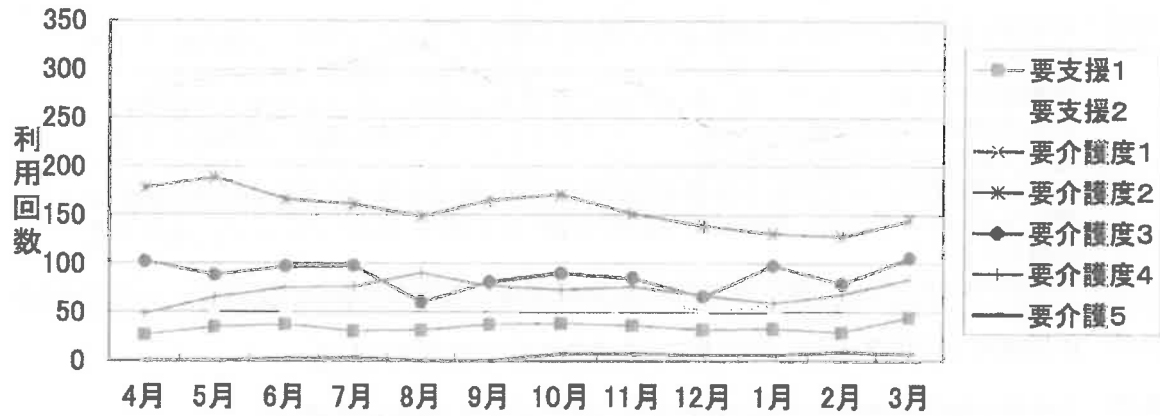
○利用休止者

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3年度合計	R2年度合計
入院	2	1	0	0	3	4	0	5	9	7	3	1	35	30

○利用中止者

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3年度合計	R2年度合計
逝去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
当施設入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3	4
他施設入所	2	1	1	1	1	2	0	0	0	2	1	0	11	7

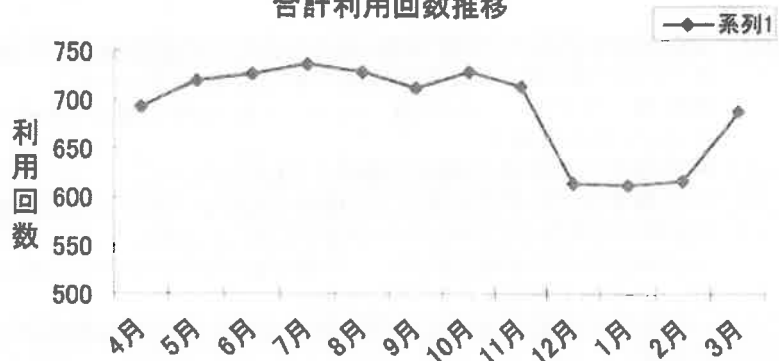
要介護度別利用回数推移



行事内容

4月	桜の花見ドライブ
5月	母の日
6月	父の日
7月	塗り絵
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	公園散策
11月	クリスマス準備
12月	脳トレ
1月	百人一首
2月	開運厄除け
3月	ひな祭り

合計利用回数推移



令和4年度 事業報告書 リハビリデイサービス

(表1) 今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で制限や自粛となる中、困難な状況ではあったが、自粛者も一昨年に比べ数名となり比較的通常に稼働する事ができた。
当事業所では毎年8月のお盆、年末年始には私用での休み希望が増加する傾向にあり、振替利用などの提案も実施しながらであったが、今年度も毎年と同様その月は延べ人数500名を下回る結果となった。
また、介護度については総合事業者(事業対象者・要支援①・要支援②)の利用率が約70%から80%を占め、地域密着型通所介護(要介護者)は20%から30%と毎年同様の傾向であった。
令和4年度より、毎月の稼働率を割出し、職員全体で意識付けをおこなった。

(表2) 作業療法士の従事により、昨年度に引き続き加算の算定ができた。

(表3) 今年度の他市町村からの問い合わせは、総合事業者(事業対象者)1名。
現在の登録利用状況で定着しているが、他市町村からの新規利用の問い合わせが減少傾向にあるのは変わらない状況である。

(表4) 体調不良・私用により『時間・減』の算定あり。(5月・12月)

(表5) 空き状況などのチラシを作成・毎月配布し、営業活動をおこなった。

コロナ禍でありながらも体験利用のお問合せが多かった。

R3年度 74.3% R4年度 84.3% (本利用に繋がった率)

《キャンセル理由》

- ・他事業所での体験で電気治療をしてもらった。
→当事業所でも早急に対応し、体験でもウォーターベッドの実施を検討、現在実施中。
- ・マッサージがあった/マッサージをしてほしかった。
→当事業所では『筋緩和』とし、介護保険でのマッサージはしない方針と統一。
- ・行こうと思ってたけどドキドキしてきた
→初めての介護保険での利用を試みるも緊張され結果キャンセルとなる。
- ・その他…

(表7)(表8) 入院者は前年と変わらず21名であった。詳細については、『誤嚥性肺炎』『骨折』等、毎年ほぼ同じ事由であった。逝去は3名。(心不全・誤嚥性肺炎等…)
認知症進行により、家族様から随時相談を受け当施設のグループホームへの入居斡旋をおこなった。他施設入所については、遠方の家人様近くの施設へ入所された方が数名おられた。自己都合の利用中止については、介護保険改正により当事業所の方針と合わず終了された方やもっと強めの運動がしたいと他事業所へ移られた方もおられた。

《総評》 コロナ禍で色々な行事や行動制限があり、また感染者発生にて保健所よりサービスの自粛要請の指示があったが、利用者様の快いご理解を頂きながら職員全体で協力し乗り越える事ができた。コロナ禍でも運動の必要性や当事業所での取り組みに感謝してくださる利用者様の声を伺う事ができ、例年以上に達成感を感じる事が出来た。
意見箱の設置やレクリエーション週間の考案、麻雀など新たな取り組みにも挑戦。
新規利用者獲得に体験利用者へ『リハビリグッズプレゼントキャンペーン』など、これまでと違う事にも職員全員で取り組んだ。
また監査指導の元、令和5年度に向け通所介護計画書の書式の変更や体力測定の種類変更等、更なるサービス向上と利用者様への満足度向上を目指し、職員全体で取り組んでいきたいと思います。

○利用者登録状況 総合事業(榑原市)・通所型サービス(田原本町)・地域密着型通所介護

(表2)

* 橿原市総合事業

(表3)

サービス項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度 (実人数) 合計	R3年度 (実人数) 合計
通所型1	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	27	23
通所型2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	11

(表4)

○地域密着型通所介護

サービス項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度 (実人数) 合計	R3年度 (実人数) 合計
地域密着型通所介護21.時給	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
地域密着型通所介護22.時給	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
地域密着型通所介護11	17	19	19	18	17	18	18	17	15	14	11	13	196	188
地域密着型通所介護12	6	5	6	6	6	7	8	8	8	8	9	8	85	61
地域密着型通所介護13	4	4	4	4	3	3	4	3	3	3	3	2	40	46
地域密着型通所介護14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
地域密着型通所介護15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(表5)

○体験利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度 合計	R3年度 合計
本館利用者	5	7	4	5	3	2	7	3	5	1	6	3	51	39
本利用者数	3	6	3	4	3	1	7	2	5	0	6	3	43	29

(表6)

○新規利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度 合計	R3年度 合計
要介護	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	8
総合事業	0	6	2	4	2	1	7	2	5	0	6	3	38	21

(表7)

○利用休止者数

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度 合計	R3年度 合計
入院	5	2	1	0	2	1	2	2	1	2	1	2	21	21
自宅療養	0	1	2	3	0	1	0	1	3	4	2	3	20	17
私用その他	2	0	3	1	2	1	1	1	0	0	0	1	12	23
※感染症予	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	5	11

※新型コロナウイルス感染症予防の為利用自粛

(表8)

○利用中止者

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度 合計	R3年度 合計
逝去	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	1
当施設入所	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	4
他施設入所	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	7
自己都合	2	2	0	0	0	1	2	4	0	1	2	2	16	23
非該当(卒)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(表9)

○利用延べ人

合計利用回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4年度	483	516	541	514	492	584	556	591	534	479	476	590	6356
R3年度	551	515	547	563	520	562	532	551	557	462	435	519	6314
R2年度	441	391	527	573	513	535	580	540	544	496	496	588	6224
R1年度	573	627	532	600	532	522	555	511	534	480	473	528	6467
H30年度	548	580	540	537	547	493	593	556	526	480	487	506	6393
H29年度	435	506	535	515	522	526	557	566	494	462	489	569	6176
H28年度	426	452	481	444	471	463	455	457	449	407	430	527	5462

令和 4年度事業報告書

居宅介護支援事業所 樫原の郷

【総 評】

○業務実績について

・要介護者登録延べ件数 1084 件 (R3年度 1112件)

・要支援者登録延べ件数 734 件 (R3年度 646件)

・要介護新規依頼件数 38件 (R3年度 47件)

・要支援新規依頼件数 22件 (R3年度 18件)

⇒月間登録人数は平均で151件で昨年度と比較して年間介護報酬が3%減少している。

⇒職員の休職に伴い、1月以降の利用者件数が減っている。

⇒利用者様・家族様からの希望、樫原市地域包括支援センターからの依頼で要支援者の新規利用者に繋がるケースが多い。

＜要介護者新規依頼内訳＞

要支援から介護	9件	ロングショートステイ	11件
田原本包括紹介	1件	ランチからの依頼	8件
利用者様から紹介	1件	他事業所からの依頼	0件
その他(家族希望等)	8件		

・自法人への紹介率

デイサービス樫原の郷が紹介率67.3%、リハビリデイサービス樫原の郷が100%、

ショートステイ樫原の郷が紹介率96.6%

⇒リハビリデイ、ショートステイは上昇しているが近隣に1日リハビリ型のデイサービスが出来た為
デイサービスの紹介率は横ばいである。

○最近の地域ニーズを把握する。

⇒スマートフォン導入により、写真の送受信やラインアプリを活用でき業務効率化に繋がった。

⇒近隣事業所の情報やチラシを収集し他部署に回覧、情報提供した。

○地域から信頼され求められる介護支援専門員になる。

⇒ターミナル加算・通院時連携加算、入退院連携加算等の算定回数が増えている。

⇒コロナ禍で訪問実習が出来ない為介護支援専門員実務研修でタブレットを活用した。

⇒週1回の事例検討会を行い特定事業所加算Ⅱの算定を継続している。

⇒安定的・継続的に提供できるよう感染症予防マニュアルを作成した。

○地域包括ケアシステムを推進する。

⇒介護相談の多い土橋町、新賀町、葛本西、十市西へブランチのチラシを全戸配した。

⇒ブランチの周知活動と社会資源の情報収集の為、地域の清掃活動に参加した。

⇒月1回地域の薬局で出張介護相談室を開催し150件チラシを配布、数件相談があった。

⇒相談には迅速に対応し代行申請だけではなく実態調査し基本チェックリストを行った。

⇒まちの介護相談室周知の為、『ブランチ便り』を年4回作成し、自治会へ配布を行った。

⇒地域からの要望で認知症サポーター養成講座・施設の選び方講座等8回講座を行った。

要介護者ケアプラン作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
4年度	26	25	22	11	24	24	17	23	11	20	12	25	240	20.0
3年度	13	19	20	21	20	30	13	20	24	27	27	26	260	21.7

新規 要介護利用者比較表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
4年度	4	6	3	5	2	5	2	3	3	3	0	2	38	3.2
3年度	4	3	2	5	11	8	1	5	6	5	5	2	57	4.8

業務実績

(4年度 要支援件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	26	25	25	27	26	27	27	26	26	26	26	29	316
要支援2	32	32	31	31	32	31	31	32	34	34	34	38	392
事業対象者	1	1	1	1	1	1	2	3	5	4	3	3	26
計	59	58	57	59	59	59	60	61	65	64	63	70	734
3年度計	49	52	56	58	60	61	61	62	59	61	60	57	696

(介護度別 利用件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
要介護1	38	41	38	38	39	36	36	36	34	32	30	30	428	35.7
要介護2	27	27	29	26	22	23	23	21	21	20	19	18	276	23.0
要介護3	22	20	16	17	19	18	16	18	17	17	15	17	212	17.7
要介護4	9	10	8	7	9	8	9	9	13	13	14	13	122	10.2
要介護5	3	4	5	3	3	4	3	3	4	4	5	5	46	3.8
計	99	102	96	91	92	89	87	87	89	86	83	83	1084	90.3
3年度総合計					1113	4年度総合計					1084			

(加算内訳)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初回	5	6	2	3	3	3	2	2	3		1	2	32
ターミナル	1		1										2
入院時Ⅰ	2	2	1		2	3		5	3	3	1	3	25
入院時Ⅱ			1			1	1			1	1	1	6
退院退所ⅠⅠ			1							1	1		3
通院時連携	3		1	1						1	1		7
退院退所ⅠⅡ					2			1			1		4
退院退所ⅡⅠ													0
退院退所ⅡⅡ					1			3	1	1			6
計	11	8	7	4	8	7	3	11	7	7	6	6	85

(介護報酬)

4月	1,617,335	10月	1,416,478
5月	1,697,065	11月	1,511,297
6月	1,499,554	12月	1,432,356
7月	1,544,017	1月	1,537,374
8月	1,573,505	2月	1,430,141
9月	1,465,588	3月	1,366,627
上半期計	9,397,064	下半期計	8,694,273
合計	18,091,337		

R3年度介護報酬

合計	18,518,230
----	------------

ブランチ 総合相談

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
15	28	22	41	28	31	34	30	25	45	18	31	348	29.0
3年度総合計				401	4年度合計							348	

総合相談件数 内訳(小学校区別)

	真菅北	耳成	耳成西	合計
相談件数	146件	114件	95件	355件
代行申請	40件			
基本チェックリス	17件			

(教室等の開催・介護保険制度の説明)

日時	開催場所	対象	教室名	参加人数
5月24日	中曽司本町会館	ひまわりサロン	介護保険一步手 前講座	25名
6月25日	葛本第二集会所	つどう・会	高齢者施設の選 び方・認知症を 学ぶ	17名
7月3日	多地区公民館	地域住民 (一步会遊楽主催)	みんな笑顔で介 護保険	65名
7月15日	なびプラザ	ひめみこ楽学会	高齢者施設の選 び方	34名

10月1日	新口町集会所	喜楽会いきいき体操の参加者	樺原市一步会体操	24名
1月16日	磐余自治会集会所	集いの会	認知症の話、体操	9名
2月25日	葛本第二集会所	つどう・会	認知症サポーター養成講座	20名
3月14日	小槻公民館	ひまわりサロン	福祉用具の話	27名
毎月第二火曜日 (計12回)	ウエルカフェ 中曽司店	地域住民	介護相談	延150名

(地域行事・会議参加)

日時	開催場所	行事名	校区
4月17日	中曽司本町会館	真菅北小学校区地域福祉推進委員会総会	真菅北
4月23日	葛本第二集会所	つどう・会	耳成
4月26日	中曽司本町会館	ひまわりサロン	真菅北
4月29日	多地区公民館	耳成西小学校区地域福祉推進委員会総会	耳成西
5月7日	耳成地区公民館	耳成小学校区地域福祉推進委員会総会	耳成
5月14日	真菅地区公民館	真菅地区自治連合会総会	真菅北
5月22日	飛鳥荘苑西公園	公園清掃ボランティア	耳成西
4月28日	十市団地集会所	ふれあいサロンみみなし(十市団地)	耳成
6月25日	十市町	田植え・収穫祭	耳成
6月28日	十市御縣坐神社 社務所	十市かがやきの会	耳成

6月28日	新中町自治会館	新中町ミニサロン	耳成
7月10日	耳成地区公民館	ふれあいサロンみみなし(葛見住宅)	耳成
7月10日	多地区公民館	子供教室	耳成西
7月17日	新ノロ駅前	新ノロ花いっぱい活動	耳成西
7月17日	飛鳥荘苑西公園	公園清掃ボランティア	耳成西
9月27日	正覚寺	十市かがやきの会	耳成
10月11日	中曽司本町会館	ひまわりサロン	真菅北
10月29日	十市町	収穫祭	耳成
11月16日	多地区公民館	ふれあい交流会	耳成西
11月20日	耳成地区公民館	ふれあい交流会	耳成
11月24日	新中町自治会館	新中町ミニサロン	耳成
11月27日	中曽司本町会館	ふれあい交流会	真菅北
11月27日	正覚寺	仏像お披露目会・老人会作品展	耳成
12月13日	十市町集会所	十市かがやきの会	耳成
1月27日	十市町集会所	ふれあいサロンみみなし(十市町)	耳成
2月18日	中町集会所	神社の清掃	耳成
3月3日	多地区公民館	耳成西小学校区ふれあい交流会	耳成西

3月12日	耳成地区公民館	ふれあいサロンみみなし(葛見住宅)	耳成
3月21日	真菅北小学校⇄ 多神社	ふれあいウォーク	真菅北
3月25日	葛本第二集会所	つどう・会	耳成
3月30日	葛本第二集会所	寿楽会	耳成

(多職種交流勉強会・生活支援地域ケア会議)

日時	開催場所	対象	会議名	参加人数
10月2日	多地区公民館	樫原中学校区の医療関係者・介護事業所	多職種交流勉強会	30名
10月16日	多地区公民館	耳成西小学校区地域福祉推進委員会役員(かがやきの会)	生活支援地域ケア会議	14名
12月3日	リサイクル館かしはら	耳成小学校区地域福祉推進委員会役員	生活支援地域ケア会議	25名
2月16日	ZOOM	八木中学校区(北)の医療関係者・介護事業所	多職種交流勉強会	17名
1月29日	中曽司本町会館	真菅北小学校区地域福祉推進委員会役員	生活支援地域ケア会議	15名

(地域との連携)

【真菅北小学校区】

- ・地域福祉推進委員会役員に相談室の周知活動、生活支援地域ケア会議の相談。
 - ・小槻町・土橋町(本村)・大垣町・飯高町・豊田町に町アセスメントシートの聞き取り。
 - ・小槻町局長へ挨拶と交流スペースの利用相談。
 - ・校区内の新聞配達店、JAならけん真菅駅前出張所・奈良中央信用金庫ますが支店・南都銀行真菅支店にランチの説明、挨拶。
 - ・デイサービスセンター鈴にランチの説明。
 - ・ウェルシア中曽司店へ介護介護相談室開催(毎月第二火曜日)
 - ・真菅地区コミュニティバス会議
- ※土橋町、ランチチラシ全戸配

【耳成西小学校区】

- ・地域福祉推進委員会・飛鳥荘苑ボランティアの会に周知活動、生活支援地域ケア会議の相談
 - ・新口町本村と飛鳥荘苑会長に町アセスメントシート聞きとり。
 - ・新口町喜楽会代表、一歩会遊楽代表に教室の開催相談。
 - ・ますが薬局へ多職種交流勉強会の講師依頼。
- ※十市町西、葛本町西、ランチチラシ全戸配

【耳成小学校区】

- ・地域福祉推進委員会役員へ相談室の周知活動、生活支援地域ケア会議の相談。
 - ・十市町(十市団地)、葛本町、東竹田町、中町、新中町、葛本町(葛見住宅)・新賀町自治会長に町アセスメントシートの聞き取り。
 - ・つどう会・東竹田町ふれあいサロンでの教室開催の依頼。
 - ・渡辺歯科・吉田薬局へ相談室の周知活動、多職種交流勉強会講師の依頼。
- ※新賀町、ランチチラシ全戸配

(他事業所との連携)

日時	場所	内容	
12月16日	クリーンセンター	事例検討会	橿原市ケアマネ連絡会
3月10日	ZOOM	事例検討会、他	ケアマネ意見交換会
3月23日	県社協	総合診療について、他	橿原市ケアマネ連絡会

事業所内保育所 わくわく保育園 令和4年度(2022年度) 事業報告書

(総評)

○運営状況について

・今年度の保育利用状況については16名で新年度を開始し、地域枠で途中退園が1名、従業員枠での途中入園が4名おり、1月より定員の19名を満たすことができた。(表1参照)

最終的には従業員枠11名、地域枠8名と、今年度も事業所内保育所としての役割、また地域の待機児童解消に役立つことができたのではないかと考えている。(表2参照)

職員については4月に2名の職員が入職し、万全の態勢でスタートできたが、7月に1名、8月に1名が退職となり、定着には至らなかった。昨年度に続き、年度途中から職員不足は続いたが、非常勤職員の協力態勢に加え、職員間の連携がうまく機能したことで大きな事故や怪我もなく無事に今年度の保育を終えることができた。

・新型コロナウイルス感染症の第7波が、これまでを上回る規模で感染が拡大したことにより、濃厚接触者の特定や感染拡大防止の観点から、年齢別の活動が中心となる一年となった。園内でも陽性者が発生したことで登園自粛要請を行い、急な迎えや家庭保育の協力を求めることが度々あった。園内で感染が拡大することにはなかったものの、園児に加え、職員が濃厚接触者に特定されるなど対応に追われる一年となった。

また、保護者に入室してもらっていた登降園時の対応を保育室の入り口で行うなど、できる限りの対応に努めた。保育室で子どもと一緒に準備をしたり、保育者と子育てについての話をしたりする機会が減ることで、保護者にとって不安に繋がらないかと心配されたが、送迎時の限られた時間の中で、園での様子や子育ての相談やアドバイスをを行うなど、きめ細やかな対応を心がけ、保護者支援に努めた。

・令和4年度の企業主導型保育事業指導・監査において、指摘事項はなかったものの、口頭指導があった部分については見直しと改善を行い、引き続き安全の確保と一層質の高い園運営に努めていきたい。

○保育内容について

・コロナ禍で様々な規制はあったものの、年間を通して概ね計画通りにすすめることができた。自園の保育方針でもある「保育の質の向上とサービスの充実にも努めるとともに、安らぎのある家庭的な保育を目指す」ということを大切に、子どもの気持ちと発達段階に寄り添いながら保育を展開できるよう工夫に努めた。保育士の「キャリアアップ研修」「安全研修」「施設長研修」も計画通り受講することができ、保育の質の向上を目指して取り組んだ。

・新型コロナウイルス感染拡大防止対策もあり、今年度は各年齢別に担当保育士を決めて年齢別の活動を中心に保育をすすめることにした。担当を決めることで個々の成長をしっかり捉え、発達を踏まえた遊びや活動環境を整えることができ、心身の発達のサポートに努めることができた。日々の保育においても、見通しがもてることで、計画が立てたてやすく反省と再構築を繰り返しながら活動が途切れることなく、つながりのある保育を行うことができた。

来年度は自園の特色である異年齢児での関わりを大切にしながら、各年齢の発達が確保できるよう引き続き、保育士間の連携を図っていきたい。

・今年度も菜園活動で、様々な野菜や花を育てた。高年齢児は水やりや草引きに意欲的に取り組み、生長と収穫を楽しむことができた。クッキングでは簡単で子ども達が喜ぶメニューを考え、3歳児は自分でトッピングしたものを食べるという経験を喜び、食への興味や関心が深まった。

低年齢児においても食に対する興味関心につながることを目的に、苗や種植え、水やり等の世話、収穫、クッキングへとつながる一連の活動を実施した。(表5参照)

○安全対策、危機管理への取り組み

・自園の保育内容や保育環境を基に職員間で見直しを繰り返しながらBCP計画と安全保育計画の作成を行った。今後も定期的に見直しと訂正を行っていきたい。また、全国的に不適切保育が問題となったことをきっかけに職員研修を行い、職員一人一人が自分の保育や園全体の保育を振り返る機会とした。

・今年度は感染症や自然災害、園内外での事故、不適切保育など様々な「危機管理」を考える良い機会となった。今回のような想定外の事態に直面し、通常の保育が困難になってしまう状況の中で、子ども達がより安心・安全に過ごせる環境を整えるとともに、感染を防ぐ一方で、子ども・保護者・職員が人と人との繋がりがしっかり感じられ、心身ともに安心・安全な保育を継続することが重要であると考えている。

○他部署・地域との交流について

・年度の始めはコロナが落ち着いており、「こどもの日の集い」でデイサービスのご利用者様に歌や体操を披露し、喜んでいただくことができた。夏から年度末にかけてはコロナの拡大で檀原の郷への立ち入りができない状況となった。

・2年ぶりに、奈良県高等養護学校2年生の『福祉』の学習において保育園演習の依頼があり、3月に4名の受け入れを行った。園の活動に参加してもらうとともに、生徒からはペープサートや手話などの演習もあり、子ども達にとって初めて触れる「手話」に対して自ら手を動かして真似ようとしている姿が見られた。短時間であったが、一緒に活動することで親しみが生まれ、子ども達にとっても貴重な経験となった。

○行政機関・自治会等との関わりについて

・奈良県からの「認可外保育施設衛生安全対策補助金」の助成事業の期限が3年間ということで、今年度からは除外となった。

・奈良県奈良っ子はぐくみ課から昨年度に続き「新型コロナウイルス感染防止対策支援に係る補助金」の交付があり、マスクや消毒液などの衛生用品や感染防止のための備品購入などを購入し、適切な対策を図ることができた。

・奈良県より光熱費・食材費等の高騰による利用者負担の増加を抑制し、認可外保育施設の継続的な運営を図るため「認可外保育施設における光熱費等高騰対策事業支援金」が創設され、支援金が交付された。

表1【在籍児童数】

令和4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
乳児	1	1	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4
1.2歳児	13	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
3歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	16	17	17	18	18	18	18	18	18	19	19	19
R2年度合計	17	17	17	18	18	18	19	19	19	19	19	19
R3年度合計	15	16	17	18	18	18	19	19	19	19	19	19

表2【利用児童の内訳】

令和4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
従業員枠	7	8	9	10	10	10	10	10	10	11	11	11
地域枠	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
R2年従業員枠	10	10	10	12	12	10	11	11	11	10	10	10
R2年地域枠	7	7	7	6	6	8	8	8	8	9	9	9
R3年従業員枠	7	8	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10
R3年地域枠	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9

表4【行事報告】

4月	ご入園・ご進級おめでとう	10月	秋の遠足
5月	こどもの日の集い	11月	落ち葉拾い
6月	水遊び開始	12月	クリスマス会・大掃除
7月	七夕まつり・水遊び	1月	お正月遊び
8月	夏まつりごっこ	2月	保育参観(発表会)
9月	運動会ごっこ	3月	お別れ会

※毎月、身体計測(身長・体重)、誕生会、避難訓練(火災・地震・水害・不審者)を実施

表5【菜園活動】

4月	スナップエンドウ収穫	10月	サツマイモ掘り
5月	イチゴ摘み・サツマイモ植え・タマネギ収穫	11月	焼き芋パーティー・タマネギ苗植え
6月	夏野菜苗植え (キュウリ・ナス・ミニトマト・オクラ)	12月	コカブ・ラディッシュ種植え
	タマネギクッキング(2回実施)	2月	コカブ収穫
7月～9月	夏野菜収穫	3月	ラディッシュ収穫

○健康管理について

- ・内科検診 年2回実施(6月8日・11月30日)
- ・歯科検診 年1回実施(6月20日)
- ・尿検査 年2回実施(6月1日・10月26日)

○職員研修実施状況

- 4月 保育理念・基本方針・今年度の事業計画について
- 5月 新型コロナウイルス感染症対策について
- 6月 安全な水遊びをするために(事故と対策)
- 8月 病気とケガのケア(対応と処置について)
- 11月 感染症の基礎知識について
- 12月 アレルギー対応について
- 1月 保育園における虐待について
- 3月 救命救急について(香芝消防署にて)

特別養護老人ホーム

白浜日置の郷

- ・ 短期入所生活介護 白浜日置の郷
- ・ デイサービスセンター 白浜日置の郷
- ・ 居宅介護支援事業所 白浜日置の郷

令和4年度 白浜日置の郷 報告書

特別養護老人ホーム 白浜日置の郷 令和3年度 報告書
令和4年度(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

令和4年度(令和4年10月1日～令和5年3月31日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名										定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名										全体	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均	定数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均					
定数	1500	1550	1500	1550	1550	1500	1525		1550	1500	1550	1550	1400	1550	1517	18250	1520.83					
入居実数(月累計)	1491	1491	1488	1515	1535	1488	1501	入居実数(月累計)	1541	1489	1471	1550	1400	1546	1500	18005	1500.4					
在籍者1日平均	48.1	48.1	48.0	48.9	48.5	48.0	48.43	在籍者1日平均	49.7	48.0	47.5	50.0	45.2	49.9	48.4	17597	48.40					
入院差引き人数	1470	1445	1489	1500	1488	1469	1473.67	入院差引き人数	1531	1452	1434	1525	1326	1487	1459	17597	1466.4					
入院差引き人数	98.0%	93.2%	97.9%	96.8%	96.1%	97.9%	96.66%	入院差引き人数	98.8%	96.8%	92.5%	98.4%	94.7%	95.9%	96.19%	17597	96.42%					
1日当り実費発生率	1.40%	2.97%	1.27%	0.97%	2.97%	1.27%	1.81%	1日当り実費発生率	0.65%	2.47%	2.39%	1.01%	5.28%	3.81%	2.70%	17597	2.25%					
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0	旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0					
新規入所者数	1	1	2	4	3	1	2.00	新規入所者数	2	1	2	0	0	1	1.0	18	1.5					
退所者(内死亡者)	2(1)	0(0)	3(2)	4(4)	2(2)	1(0)	1.5(0.8)	退所者(内死亡者)	2(2)	1(1)	2(2)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0.5)	15(8)	1.25(0.7)					
1日当り入居率平均	0.68	1.48	0.61	0.48	1.48	0.61	0.89	1日当り入居率平均	0.32	1.19	1.19	0.81	2.39	1.30	1.30	15(8)	1.1					
入居日数(1日当り月累計)	21	46	19	15	46	19	27.87	入居日数(1日当り月累計)	10	37	37	25	74	59	40.3	408	34.0					
平均入居率	99.4%	98.2%	98.2%	97.7%	99.0%	99.2%	98.5%	平均入居率	99.4%	99.3%	94.9%	100.0%	100.0%	99.7%	98.89%	2802	98.7%					
短期入所者数	261	293	241	212	175	266	241.3	短期入所者数	252	230	192	208	210	262	225.7	2802	233.5					
特養+短期 定数	1800	1860	1800	1860	1860	1800	1830	特養+短期 定数	1860	1800	1860	1860	1680	1860	1820.0	21800	1825.0					
月当り在籍者数	1731	1738	1710	1712	1664	1735	1715	月当り在籍者数	1783	1682	1626	1733	1536	1749	1684.8	20399	1699.9					
1日当り実費発生率	55.84	56.06	55.16	55.23	53.08	55.97	55.32	1日当り実費発生率	57.52	54.28	52.45	55.90	49.55	56.42	54.3	20399	54.8					
稼働率(特+短)	96.2%	93.4%	95.0%	92.0%	89.5%	98.4%	93.75%	稼働率(特+短)	95.0%	93.4%	87.4%	93.2%	91.4%	94.0%	92.56%	20399	93.15%					
入所者介護度平均	3.89	3.72	3.69	3.65	3.68	3.68	3.69	入所者介護度平均	3.72	3.72	3.75	3.74	3.74	3.76	3.74	20399	3.71					
要支援	0	0	0	0	0	0	0.0	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0.0	要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0.0	要介護(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
要介護(3)	24	24	24	25	24	25	24.3	要介護(3)	25	25	24	24	24	23	24.2	291	24.3					
要介護(4)	16	16	16	16	18	16	16.3	要介護(4)	14	14	16	15	15	16	15.0	188	15.7					
要介護(5)	9	10	9	8	8	9	8.8	要介護(5)	11	11	11	11	11	11	11.0	119	9.9					
合計	49	50	49	49	50	50	49.50	合計	50	50	51	50	50	50	50.2	598	49.8					
外泊日数	0	2	0	1	0	0	1	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	3	0.3					
外出数	1	0	0	0	0	0	0	外出数	0	0	0	0	0	1	0.17	2	0.2					
通院者数	28	29	25	20	29	23	26	通院者数	30	18	20	33	29	29	26.5	313	26.1					
面会者数	36	40	46	23	4	10	27	面会者数	34	21	14	12	17	22	20.0	279	23.3					
実習生(累計)	0	0	20	12	0	0	5	実習生(累計)	32	4	5	4	37	21	17.2	135	11.3					

利用者別状況表(令和5年3月末現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別
白浜町	23	27
すさみ町	14	13
田辺市	7	6
上富田町	0	0
みなべ町	1	1
串本町	3	2
十津川村	1	1
紀北広域連合	1	0
	50	50

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	14名	36名	50名
平均年齢	89.7歳	87.5歳	88.1歳
最高年齢	100歳	101歳	
最低年齢	79歳	59歳	

②障害老人の日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	1
	J2	0
中度	A1	8
	A2	9
重度	B1	9
	B2	17
最重度	C1	4
	C2	2
合計		50

③認知症高齢者の日常生活自立度

	レベル	人数
自立	自立	2
軽度	I	6
	II a	3
	II b	10
中度	III a	17
	III b	7
重度	IV	5
	M	0
合計		50

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	14	12	24	50
食事	34	4	12	50
排泄	8	20	22	50
入浴	0	25	25	50

⑤オムツ使用者状況

	人数
日中	18
夜間	8
常時	18
合計	44

令和5年4月1日

令和4年度事業報告書 短期入所生活介護

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
要介護1	男	2	2	1	2	1	2	1	3	3	4	4	4	29
	女	1	1	1	1	0	3	4	1	1	2	2	3	20
要介護2	男	2	1	2	1	1	2	2	3	3	2	2	3	24
	女	6	6	5	7	7	11	10	9	8	10	9	7	95
要介護3	男	8	7	6	6	4	6	8	4	3	2	2	3	59
	女	12	11	10	10	9	10	9	7	6	5	6	7	102
要介護4	男	1	1	2	2	0	1	2	1	2	1	1	2	16
	女	6	8	7	7	5	6	7	7	7	5	7	9	81
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	3	2	1	1	1	3	3	3	2	4	5	5	33
合計		42	40	38	37	29	45	46	38	37	36	38	43	469

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要支援1	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
1	3	3	2	3	1	5	5	4	4	6	6	7	49
2	8	7	7	8	8	13	12	12	11	12	11	10	119
3	20	18	16	16	13	16	17	11	9	7	8	10	161
4	7	9	9	9	5	7	9	8	9	6	8	11	97
5	3	2	1	1	1	3	3	3	3	4	5	5	34
合計	42	40	38	37	29	45	46	38	37	36	38	43	469

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
白浜町	17	17	15	14	8	17	16	11	17	16	14	17	179
すさみ町	17	16	16	16	16	21	22	19	12	15	20	21	211
田辺市	4	4	5	5	3	3	6	6	6	3	3	4	52
上富田町	3	2	1	1	2	3	2	2	2	2	1	1	22
福知山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
堺市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
串本町	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
													0
													0
合計	42	40	38	37	29	45	46	38	37	36	38	43	469

新規利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	2	1	1	2	0	2	2	1	0	1	2	1	15
女	3	4	3	2	2	5	6	0	2	2	4	2	35
計	5	5	4	4	2	7	8	1	2	3	6	3	50

緊急ショート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4
女	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	5
計	1	2	0	2	1	1	1	0	0	0	0	1	9

年齢		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	女	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	1	2	2	2	1	0	1	1	1	12
66～70	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	2	1	2	3	2	1	1	1	2	18
71～75	男	1	1	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	10
	女	3	1	1	2	1	2	2	1	2	2	1	3	21
76～80	男	2	0	1	1	0	1	1	0	1	2	1	2	12
	女	1	2	0	0	0	1	4	1	1	1	1	1	13
81～85	男	3	4	2	3	1	3	3	3	2	0	0	1	25
	女	3	3	3	3	3	6	2	2	4	3	5	4	41
86～90	男	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	3	28
	女	8	9	7	5	7	9	8	8	8	10	10	10	99
91～95	男	4	3	3	3	2	4	4	4	5	4	5	4	45
	女	9	9	8	7	6	7	8	8	6	5	7	7	87
96以上	男	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	2	10
	女	3	2	3	4	2	4	3	3	2	2	2	2	32
合計		42	40	38	37	29	45	46	38	37	36	38	43	469

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	9	5	9	9	8	11	12	10	9	10	12	14	121
他事業所	33	32	29	28	21	34	34	28	28	26	26	29	348
合計	42	40	38	37	29	45	46	38	37	36	38	43	469

事業所別延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
居宅	70	60	69	55	38	54	60	52	40	43	58	71	670
他事業所	205	233	172	157	137	212	192	178	132	165	152	191	2126
合計	275	293	241	212	175	266	252	230	172	208	210	262	2796
平均	9.2	9.5	8.0	6.8	5.6	8.9	8.1	7.7	5.5	6.7	7.5	8.5	0.8

事業所別延べ利用 人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
白浜日曜の郷	70	60	69	55	38	54	60	52	40	43	58	71	670
田辺の郷													0
すさみ社協	60	65	64	53	79	81	76	69	30	28	29	45	679
すさみ包括	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
白浜社協	29	60	37	27	13	48	32	19	28	35	39	36	403
愛の園	16	15	13	9	14	16	16	16	4	2	0	0	121
ピースフル	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
真寿苑ケアプランセンター	8	19	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	40
はまゆう病院	3	8	0	2	1	3	4	4	2	2	4	4	37
田辺社協	0	0	0	0	0	0	8	14	16	4	8	8	58
串本社協	3	3	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	15
ケアプランセンターつむぐ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
ふるさと	11	11	10	10	2	15	16	14	10	26	6	0	131
白浜包括	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
百々千園	12	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
ケアプランセンター叶	0	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	12
田辺メディカル	18	13	23	19	15	12	15	16	13	12	15	19	190
ひまわり	0	0	0	0	0	0	0	0	6	7	6	6	25
はばたき	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
けんゆう	0	0	0	0	0	0	3	0	0	7	10	18	38
上富田社協	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
おたっしや倶楽部	14	22	8	29	11	23	20	18	11	26	16	55	253
小南病院	26	6	0	0	0	4	0	8	12	16	16	0	88

令和4年度 行事委員会事業報告書

白浜 日置の郷

委員会メンバー

委員長 坂口紗矢香

委員長補佐 金崎一也

委員 久森岳 三代管理栄養士 南里砂 泰間美鈴 中嶋明美 ウスヤンティ 西岡憲司
川本教子 イグステシアユ 河上太郎

委員会開催日

開催日 時間: 第1水曜日 14:00～15:00

第3水曜日 14:00～15:00 (必要に応じて開催)

1、目的

- ・入居者様・利用者様の記憶に残る1日にする。
- ・入居者様・利用者様個々への支援の幅を広げ、それぞれの入居者様の意思と自己決定を最大限尊重し個別ケアを実現していく。

2、目標

- ・コロナ禍の中ではあるが、出来る事を模索し、家族・地域との交流を深める。
- ・広報誌を活用し家族との交流を図る。
- ・コロナ禍ではあるが施設行事を通じ、地域との関係性を崩さないように努める。
- ・各ユニットがユニット単位、個別単位での行事を立案、実行する。

3、実施日

・5月22日 縁日

・2月3日 節分

・ユニット単位又は個人単位の行事は各ユニットが立案、実行する
(誕生日、季節の行事、敬老会、クリスマスなど)

(会議進捗状況詳細)

4月7日 縁日について

4月21日 縁日について 看板作成、必要物品の確認等

5月6日 縁日について 屋台の担当者 屋台の具体的な内容

5月19日 縁日について 最終確認

6月2日 縁日終了後の反省点・改善点・提案

7月7日 クリスマスイルミネーション、催しについて

8月4日 クリスマスイルミネーション、催しについて 必要物品の確認、催しの内容

9月1日 クリスマスイルミネーション、催しについて 装飾品の確認

9月15日 クリスマスツリー(貼り絵)の作成

10月1日 クリスマス、正月準備について

10月20日 クリスマスツリー(貼り絵)プレゼントボックスの作成
11月3日 クリスマス、正月準備について
11月17日 クリスマスツリー(貼り絵)、プレゼントボックスの作成
12月1日 クリスマス、正月、節分について
12月15日 正月飾りの羽子板の作成 節分の企画書、稟議書提出。
1月5日 クリスマスの振り返り、正月準備の振り返り、節分について
1月19日 節分について
2月2日 事業計画書の振り返り、雛人形飾り付けについて
2月16日 節分準備、当日の振り返りについて
3月16日 事業報告について。令和4年度「縁日」について

4、評価

- ・計画に沿って行事の開催は出来た。
- ・クリスマス会においては、2ユニットがコロナ感染発症したため、計画していたクリスマス行事を中止し実行できず、用意していたプレゼントの配布となりましたが、出来る事を実行しました。
縁日、節分行事については、感染症対策に配慮し前年度同様ユニット単位で行いました。地域の方々との交流に関しては、外部の方々との交流が難しい状況が続いており行えていません。家族様との関わりについても、広報誌を活用した家族様への発信も行えてなく、もっと工夫が必要だったように思います。
- ・ユニット立案の行事は、季節ごとのイベント、誕生日、お菓子作り等、各ユニットが立案・実行が出来ていないユニットがありました。来年度からは毎月委員会で計画を報告し把握していきたいと思っています。

以上

令和4年度 教育研修委員会事業報告書

白浜日置の郷

教育研修委員会メンバー

委員長 野村 清太郎

補佐 久森 岳

委員 南 里砂、場谷 さおり、坂口 紗矢香、田村 聡志、森邊 悠、金崎 一也

委員会開催日

毎月 第1水曜日

時間 10:00～10:30

目的 ・介護職員の知識、技術の向上を行い、入居者に安心、安全な暮らしを提供できる施設作りを行う。

・新人職員、中堅職員、リーダーの育成を行う。

・仕事に対してのやりがいや、意欲の向上を行う。

方法 ・勉強会を開催し、個々のスキルアップの手助けを行う。

・外部研修の参加を促す。

・月1回の委員会の開催。

目標 ・介護職員の知識、技術が向上する。

評価

勉強会開催について、2ヶ月間、同じ内容で勉強会を開催し参加人数の確保を行なう。

前回同様、参加人数は、出勤者の中で、ユニットの見守りの職員を除くと、多くとも一回の開催で参加できる職員数は8名程度であり、全職員への勉強会参加は難しい部分があった。

また、公休者の勉強会参加がなかった。

新人職員、中堅職員、リーダーの育成については、時間を作る事が難しく、全職員対象の勉強会になっており、リーダーは他の職員に勉強会への出席を促す形となった。

仕事についてのやりがいや、意欲向上については勉強会後の感想文のコメントからも再確認ができた。また、勉強不足であったが、参加して理解でき、良かった等の意見が出ており、知識や技術を理解したことで、意欲が生まれ、仕事の中でのやりがいになっている様に感じた。

外部研修への参加については、コロナウィルス感染予防の為、会場で行われる研修はほぼ中止になっていた。オンラインでの研修を実施した。

総評

令和 3 年度より開始した勉強会は、今年で 2 年目となるが、今後も回数を重ね、内容も充実させていくことで、職員への基本ベースの底上げが出来ていくと考える。習熟度に関しては、人それぞれであるが、勉強するきっかけとなる事や、興味をもってもらう事が先ずは重要と考え、勉強会を継続し、介護職員の技術や、知識の向上を行っていく。

また、講師の育成や、プリセプター制度導入に繋がる中堅職員の指導力向上も視野に入れて、介護職員のレベルアップを目指したい。

令和4年度 褥瘡予防委員会実施報告書

委員長 早川弘美

副委員長 福田光宏

委員 南 里砂リーダ長 関本禎子 堀野光一 河上太郎 挟間美穂子 水本好美
佐々木宏江

委員会開催日 毎月第1水曜日

時間 14:30～15:00

褥瘡発生状況

持ち込み発生者数2件 再発者2件

新規発生21件

仙骨	頭部	背部	臀部	踵部	大腿部	肩	両下肢
7	1	1	7	2	1	1	1

発生原因

長時間の離床や低反発のクッションを使用していなかった為。

適切な体位交換が出来ていなかった為。

目標

- ・異常の早期発見に努め予防する。
- ・全身状態、栄養状態、活動量（自力にて体位変換が出来ない人）把握し適切な寝具の選択を行う。
- ・冬は皮膚が乾燥傾向に陥りやすい為、保湿クリームを活用。弱酸性の石鹸を使用する。
- ・褥瘡の基礎を理解してもらい、予防を行う。
- ・看取り期の対象者についてはエアーマットの使用。適切な体位交換、褥瘡後発部位（肩甲骨、仙骨部、踵）の除圧を行う。体位交換時、シーツや衣類のシワを伸ばす。

評価

今年度は、臀部や仙骨部の発生者が最も多くみられ再発者も数名あった。原因としてやはり、低栄養や活動量が低下され入居者に発症者が多い。また、長時間の離床や低反発、クッション等の使用が適切になされなかった。体位交換を行うもクッション等を自己にて直ぐ外す等の問題点もみられた。

対応として、栄養状態の把握や評価を行い、ラコールなどの補食や低反発マットの活用などを試みた。また、褥瘡部が乾燥して治癒傾向になるとワセリンで保湿し再発予防に努めるようにユニット職員に伝達を行った。早期発見により今年度は治癒が早く、大きな潰瘍や悪化なかったので良かったと思われる。

令和4年度 感染委員会事業報告書

委員会メンバー

委員長 吉田智津子

副委員長 福田光宏

ユニット 南 里砂 関本 禎子 佐々木 宏枝 中嶋 明美 挾間 美穂子
西岡 憲司 堀野 光一 原川 忍

- 目標
1. 新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等の感染症の持ち込みや感染拡大を防ぐ。
 2. 感染症に対する知識や対処方法を身につける。
 3. 発症時には施設内感染を最小限に留めるため感染症対策を徹底する。

1. (インフルエンザ)

感染者、持ち込みなし。

R4.11/4.11/8 入居者 R4.12/4.12/16 職員 予防接種実施
(感染性胃腸炎)

家庭内等で職員2名発症。施設内への持ち込みはなし。

(新型コロナウイルス)

7月 デイ利用者 3名

8月 入居者 2名 職員 7名(内、家庭内感染4名)

※7/27 ゾーン分け開始 8/1 解除

12月 入居者 8名 職員 16名(内、家庭内感染5名)※クラスター認定

※12/19 ゾーン分け開始 1/2 解除

2. 施設内での新型コロナウイルス感染の拡大により、感染症マニュアルの見直しが途中になっている。引き続きコロナウイルス感染対策も含めマニュアルの見直しを行っていく。
また、ガウンテクニックなどの練習も委員会で実施し、全職員への周知徹底が出来るようにしていく。
3. 新型コロナウイルスの状況については、委員会でも共有。
手洗い、換気などの基本的な感染対策については理解出来ている。
陽性者が出た際の感染対策については、間違った知識・理解で対応してしまう

事もあり、今後も勉強が必要である。特に陽性者が発生し感染対策対応を経験していないユニット職員への指導が必須と考える。

8月の感染発生時には、南和歌山医療センター 救命救急科医長 島医師よりゾーン分けや感染者居室とリビングでの感染対策などの仕方を習い、12月の感染発生時に役立たせる事が出来た。

令和4年度 ユニットケア推進委員会実施報告書

行事委員会メンバー

委員長：野村清太郎

委員長補佐：久森 岳 金崎一也

委員：三代真理子 福田光宏 南里砂 看護職員1名

坂口紗矢香 場谷さおり 森邊悠 田村聡志

委員会開催日

毎月 第1水曜日 第3水曜日（必要時）

時間 10:30～11:30

○目的

- ・ユニットリーダー実地研修施設としての維持と向上
- ・ユニットケア理念（暮らしの継続）の維持と向上

○目標

- ・入居者様に寄り添い、なじみの関係が深まるよう努める。
- ・入居者様にとって落ち着いた暮らしが出来るように、ユニット・居室内の設えや環境の改善に努める。
- ・ユニットリーダー実施研修施設更新調査に向けての準備。（前回更新調査での指摘部分の改善）
- ・ユニットリーダー、施設職員へユニットケアに対する知識と技術の向上と理解を深める。

○実施計画に対しての実施内容及び評価

- ・前回の更新調査の指摘を受けた部分や受けなかった部分全体を見直し、改善・向上を図る。
→年2回（9月・2月）に実施する日本ユニットケア推進センターの「ユニットリーダー研修実地研修施設 自己評価チェックシート」を活用し各ユニット出来ていない部分の把握は行うが改善出来ていないユニットも見られる。
- ・24シートとケース記録の完成と引き続きマニュアルの構築を行う。
→24シートに関しては未完成のままでも更新も出来ていない状況。原因としては入居者の生活リズムやケアプランに対して正確なシートの作成ができていないことが考えられる。そのため更新の必要性を重んじていない職員が多い。ケース記録に関しては、全面改良の実施を試みるが現状のケース記録を継続して行うこととなる。
- ・入居者がより有益に過ごせる生活に配慮した設えづくり。
→コロナ禍において入居者が生活するリビングや居室の重要性が増しているが寛ぎスペースなど有効活用されていない等改善すべき部分が各ユニットに見られる。
- ・居室担当制度の有効活用。
居室担当を決めてはいるが、今年度も有効活用は出来ていない。居室担当という役割が具体的に何をすべきか明確にされていないことが要因。

- ・全施設職員へユニットケアの理解を深めるための機会の提供

→年度後半でユニットケアの座学の内容を講義し確認する機会を委員会内で実施するが全ての内容を網羅はできず。

(評価・課題)

- ・ユニットケアに関してリーダーが積極的に意見を出したりすることが少ない。座学内容の定期報告を行っていないことが原因と思われるので次年度はリーダー全員がユニットケアについて自信をもって話ができるように毎年度、座学の内容、変更等をユニットケア連絡会後の5月の委員会から共有が必要。
24シートに関しては早急に正確な24シートを作成し全職員（リーダーを含む）に正確な24シートは活用用途があることを実感してもらう取組みが必要。
- ・次回更新調査に関しては日時が不明。今年度はチェックシートで各ユニットが出来ていない部分を把握しているので次年度は出来ていない部分を改善、実施。

以上

令和4年度 苦情対応委員会実施報告書

委員責任者：久森 岳

補佐：南里砂

委員：吉田靖宏、坂口紗矢香、場谷さおり、野村清太郎、田村聡志 森邊悠
金崎一也

委員会開催日

毎月1回 第1水曜日

時間 11:30～12:00

令和4年度の苦情報告書

31件（苦情報告書 別紙あり）

1. 目標の評価

1) 件数に関して

(1) 苦情件数については26件で目標に対して未達

前年度と比較して12件増えている。

令和3年度に比べて家族からの苦情が増えており、コロナ禍での面会制限により家族への関わり、入居者の現状情報提供不足などが考えられる。

入居者からの苦情も減ってはならず、前年度から継続して職員の態度や言葉遣いなど接遇に対して注意する必要がある。

(2) 苦情内容の多くは施設職員によるケアに関することや入居者、利用者、家族への不注意な言動、対応が原因となるものが多い。利用者、入居者、家族との円滑な関係性が作られていないことも要因の1つとなっている。

連絡・報告・相談が出来ておらず苦情に発展しているケースもあった。

2. 令和4年度計画に対しての振り返りとまとめ

1) 苦情を受けた際は、苦情受付票に記入し解決に向けての話し合いの場を設け改善に努めたが、入居者、家族、職員へ苦情内容の聞き取り対応が不十分であり解決に時間を要した。

2) 意見箱の活用は、今年度もコロナ禍のため、家族や外部の方からの意見箱の活用が出来なかった。

施設職員から意見を聞き取るツールとして、再度全職員に周知し活用する。

寄せられた意見については、苦情対応委員会で検討し対応を掲示する。

3) 日々の生活の中で、入居者とのコミュニケーションを図り、入居者の意向や要望に耳を

傾け、意見を記録に残し委員会で検討を行った。苦情を通して改善できたことも増えた。

4) コロナ禍で面会が出来ず入居者様と家族様が会えない中で、手紙などのツールを活用することで苦情はありながらも家族への不安を解消できたことも多くあった。今年度も継続し活用していきたい。

5) コロナ禍のため外部研修の開催が減ったが今年度は施設職員が「接遇」などの内部研修を行うなどして職員へのフォローを行っていた。

6) 課題を持ちより委員会で改善策を考え対策をとっていく方向であったが委員会が意見の報告の場として活用されることが多かった。次年度はもっと話し合う内容で進めていく。

3. 今後の課題

- ・苦情に関しての対応については速やかに苦情受付票に記入し解決に向けての話し合いの場を設け迅速な改善に努める。日々の生活の中で、入居者様とのコミュニケーションを図り、入居者様の意向や希望に耳を傾ける。また、その意見を記録に残し、委員会で検討していく。コロナ禍であることを考慮し、家族に対して電話や手紙などのツールを使い、より細やかなコミュニケーションを図り、小さな意見や要望を汲み取れるようにしていく。

入居者と信頼関係を築くために接遇マナーを身につけ特に話し方や態度は注意するよう心がける。

令和4年度 広報委員会実施報告書

委員会メンバー

委員長 榎本忠良
副委員長 桂幸広
委員 金崎一也 場谷さおり 河上太郎 山本英雄

委員会開催日

開催日 第1水曜日
時 間 16:00～16:30

1. 目的

- ① ご家族に施設での取り組みや行事などを知っていただく。
- ② 施設内の催しや行事・クラブ活動などの参加の呼びかけ。
- ③ 広報誌やユニット通信を通じ、入居者様の様子を知らせる。

2. 目標

- ① 広報誌・ユニット通信を通して、施設の行事やクラブ活動・各ユニットのレクリエーション活動を知らせる。
- ② 広報委員の文章構成能力の向上とスキルアップ。
- ③ 期限内に広報新聞、ユニット通信、年賀状を完成させる。

3. 実施計画

① 広報新聞

- ・年3回の広報新聞を作成し、決められた月に請求書と共に発送する。
- また、ご希望の家族様にも発送する。発送予定日:4月、8月、1月
- ・広報新聞のサイズは、基本A3サイズとし文字フォントサイズは12とする。
- ・広報新聞は、玄関・エレベーター内に閲覧できるよう掲示する。また、各ユニットに配布。
- ・広報新聞作成にあたり、各広報委員が進捗状況を細かく確認し完成させる。

② ユニット通信

- ・基本年間3回ユニット通信を作成し、決められた月に請求書と共に発送する。

また、ご希望の家族様にも発送する。 発送予定日:6月、9月、2月

- ・ユニット通信をユニット内で閲覧できるように配布する。
- ・写真掲載を望まないご家族様については個別発送とする。

③年賀状

- ・年賀状は12月20日に投函する。

④写真撮影について

- ・広報新聞に掲載する写真撮影を行う。ただ単に、表情やしぐさを撮影するのではなく、「今・何を・どう過ごされているか。」という事がはっきり分かるように撮影する。
- ・広報新聞やユニット通信で写真掲載が禁止となっている入居者様のプライバシーを守る。

○実施計画評価

1. 目的評価

家族様への発送は広報新聞・ユニット通信ともに行えており、評価としては達成できている。

2. 目標評価

文章構成のスキルアップは出来ていない。

期限を設けたが期限を守ることが出来なかった。委員は記事を役割分担している担当記事のみ作成し最後まで責任感を持っていなかった。

3. 実地計画に対して

期限内に広報新聞やユニット通信を作成、完成までに至らなかった。

8月、1月発送分の広報新聞はコロナ感染対策のため、制作に委員長が関わることが出来なかった。以外の委員が率先し新聞を完成させておらず8月発送分は個別発送に切り替えました。

1月発送の新聞は、事務所職員で完成させ発送に間に合った状態でした。

また、一部の職員は担当の記事も作成しておらず記事を差し替え完成させました。

ユニット通信も期限内を守れず発送ギリギリの完成になっていたユニットが多かった。

広報新聞、ユニット通信共に文章構成のスキルアップは出来ておらず何度も手直しが必要な状態であった。

年賀状に関しても、事務所職員が作成した。コロナ感染対策中のユニットは期限を守れていなかったため、年賀状をユニットから持ち出すことが出来ず、再度、作り直し投函しました。

全てに関し予定期限が守れなかった。人任せにしていた。

今後は、記事に期限を設け委員長、副委員長が進捗状況を確認していく。

パソコンの取り扱いになることを防ぐ目的で期日を定める。委員には指導していく。

令和4年度 事故予防委員会事業報告書

事故予防委員会メンバー

委員長 島 伊津美

副委員長 久森 岳

委員 南里砂 浦翔太 三倉恵里子 江野上加代子 堀野光一 野村清太郎
田村聡志 浦里美 早川弘美

委員会開催日

毎月 第1水曜日

時間 13:30～14:00

1. 目標の評価

目標

(総合目標) ユニットケアを考慮して職員の気付きにより入居者の事故を減らす。

(事故予防) 毎月事故報告書を10件以内減らす。

2. 評価

1) ヒヤリハット報告書件数…466件 事故報告書件数…290件

ヒヤリハット報告件数が前年度と比較して半分以下に減少している。

原因としてはヒヤリハット報告書の中で改善策の記入欄を設け検討することで繰り返し発生するヒヤリハットに対しては予防することで増加を防いでいることも考えられる。しかし解決まで至らず繰り返し発生しているヒヤリハットもまだまだあるのも事実である。

2) 事故報告書は年間通して18～40件の間を推移しており目標に届いていない。

原因として、今まではヒヤリハットと事故の区別が曖昧であったが、厳密に区別するようにしたこと事故件数が増えたと考えられる。

事故発生後のミーティングは実施されているが介護職のみで行われていることが多く多職種への介入が出来ていない。

事故後は多職種を含めて分析、対策を検討し期限を決めて取り組み早期対応を行う。

3. 令和4年度のまとめ

1) 委員会で活用方法を考え、過去の事故報告書の原因を見直すことで増えている事故防止に努める。

改善策を考え再度発生するヒヤリハット、事故を防止に努めるが今後も継続して行い、多職種が積極的に関わり期限を決めて分析、対策を実施する。

多職種との連携が弱かったため次年度は積極的な連携を目指す。

2) 事故報告書の書式が職員により理解度に違いがある為、書き方の平均化を行っていた。

全体的なレベルは向上しており、今後も継続していく。

3) ヒヤリハット報告書の枚数は意図的に増やすのではなく、事故予防員委員会の中でヒヤリハット報告書の活用方法を考え、事故委員から部署やユニットへアナウンスし事故件数の減少に努めていく。

令和4年3月31日

令和4年度 物品管理委員会事業報告書

委員会メンバー

委員長 森邊悠

委員長補佐 浦里美

委員 黒河真由 河上太郎 川本教子 江野上加代子

委員会開催日

開催日 第1曜日水曜日

時 間 16:30～17:00

○目的

- ・物品の整理整頓・維持・管理
- ・排泄用品はご本様に合ったものを選び不快なく使用して頂く
- ・コストを考え無駄を省く

○目標

- ・消耗物品の維持管理に努める
- ・感染症発生時等の物品不足においても、業者との連携で欠品を防ぐ
- ・排泄物品の使用目的を理解し、モニタリングを通してご本人様に見合ったものを
使用することで無駄をなくす
- ・物品使用数の把握と経費削減に努める
- ・サンプル等あれば職員からの意見を聞き商品の入れ替えや必要な商品の購入に
繋げていく

○実施計画

- ①毎週月曜日に物品倉庫の在庫確認と発注を行う。
- ②排泄物品は各ユニットで発注用紙に記入し提出。
- ③月末には物品の使用数をデータに出し委員会で評価していく。
- ④経費の把握を行い、物品管理委員会を通して経費削減を呼び掛ける
- ⑤物品管理委員は全員が排泄用品と物品の管理と発注ができるようにする。
- ⑥年2回、物品倉庫の掃除をする。(9月・3月 第1月曜)

評価

商品の価格が上がっている。

食品用手袋の在庫が切れてしまったが、3年近く発注を掛けていなかった為、発注元が不明になってしまった。

業者三社に試供品をもらいコストや使いやすさを検討し発注元を決定した。

だが、委員の中にはどこの商品を使用しているのかなど理解出来ていない職員がいた事から次年度は、すべての委員が理解し発注できるように担当を決め直し引き継いでいくこととした。

排泄用品はメール、排泄以外の物品はファックス、一部の商品は電話での発注である。発注数により送料が発生するものや、決められたケース数や固定金額以上からの発注になっている商品がある。コストを考え無駄のないように発注している。

発注数には不足がないかダブルチェックしている。

物品、排泄用品は毎月開催の委員会で分析し使用量を確認している。

商品の見直しは業者に問い合わせサンプルなどを頂き検討する事が出来た。

排泄用品に関してはモニタリングの結果で種類を決めているが、決められた排泄用品と違うものを使用する職員がいた。排泄用品の使用は適切な商品を使い、不用意な遣い方をしないよう各委員から発信する。

倉庫の掃除に関しては、業務都合で日程変更したが実行することができいつもきれいな状態を保たれている。

令和4年度は7月、8月、12月、1月にコロナ感染者が発症した為、物品や排泄用品の追加発注し在庫管理が難しく持ち出し数の把握が出来なかった。

感染症が発生した場合の物品持ち出し数をどのような方法で管理するのか課題は残った。感染症対策として保管している、一部商品は長期保管していると劣化に繋がるため定期的に入れ替えている。

年度末にすべての在庫数を調べ在庫の把握に努めます。

令和4年度 人権委員会実施報告書

委員長：島 伊津美

白浜日置の郷

委員会メンバー

委員長 島 伊津美 副委員長 坂口 紗矢香

委員 金崎 一也、野村 清太郎、田村 聡志、佐々木 宏枝、榎本 忠良

水本 好美、浦 翔太、早川 弘美

委員会開催日

毎月 1回 12回開催（内、11回外部講師）

目標の評価

目標：①権利擁護に関する知識の向上。

②虐待を防止する勤務シフトまで考えられる。

③権利擁護について人権委員会から全職員に周知出来るようになる。

④ハラスメント、ストレスに関する理解を深める。

評価：①権利擁護に関する知識は向上しているものの、職員同士での情報共有の甘さや人員不足を理由にしたケアの粗雑さがみられる。

②シフトの組み換えや、業務の組み立てを考慮するのではなく、漠然と「人員不足で業務が回らない」などの不満や苛立ちが見えている。

③職員の入退職、人事異動に伴い人権委員の入れ替えもあり充分に理解した職員ばかりではなくなり、他職員への周知は難しかった。

④チームケアで対応することで職員がお互いに気遣える関係を築く重要性を学んではいるものの、注意や本音が言えずストレスを溜める傾向にある職員もいる。

令和4年度の人権委員会のまとめ

今年度もほぼ外部講師参加による委員会が開催でき、権利擁護に対する理解がより深まっていると思われる。全体会議でも全職員に対して権利擁護について学んでもらっているが、周知徹底までは及んでおらず引き続き繰り返しの学習が必要である。また、他委員会でケアの粗雑さが確認される場面があり、適切なケアの提供に各部署、多職種による関わりが今まで以上に必要と思われる。

入退職による人員不足やそれに伴う人事異動により、慣れない環境での業務で職員にもストレスがかかる状態にあり、より一層のチームケアの充実、個人に対する面談等職員へのメンタルヘルスケアも重要視していかなければならない。

令和4年度事業報告書

居宅介護支援事業所 白浜日置の郷

1、 基本理念と基本方針について

「利用者様が望む限り 望む場所で安らぎのある生活を 自らが継続していけるように 真心を持って支援」できるように努めた。本当に自立支援に向かうことができていたのか、伝達等会議の中で検証していく。介護保険制度以外の情報(主に障害の制度)についても積極的に収集に努めることはできた。また、中立的な立場でサービス事業所の提案をしなかったが、特にデイサービスにおいて慢性的な不足が発生。選択してもらうことができず、中立性が疑われる状況になっている。

対応の姿勢として「素直」「謙虚」「熱意」をもって対応を心掛けているが、いまだ十分とは言えず、今後も精一杯取り組む。総合的には、この理念と基本方針を継続していきたい。

2、 業務方針について

一部、コロナウィルスの感染対策により自宅への訪問がかなわなかったり、地域住民への介護保険制度等の啓蒙活動など、実行しがたいものがあった。

総合的には、この業務方針に則って利用者様及びその家族様が望む暮らしに向けて業務遂行できたと考えたいが、一部のサービス事業所の定員が満員となったことにより、利用者様が選択したくてもできない状況に陥ることとなった。結果的にサービス事業所の選択の幅が無く中立性を担保することができなくなったが、来年度もこの業務方針に従い、業務を遂行していきたい。また、来年度こそは啓蒙活動等についても実行できるように取り組んでいきたい。

専門性を高めるため、外部・内部にこだわらず研修会等を開催したり、参加することができた。来年度も参加を促し、内部研修も計画実施していきたい。

3、 業務内容について

業務内容については問題なく実行できた。来年度についても追加・削除の必要なく、同内容を継続する。

☆月別契約件数

単位: 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
予防	22	22	25	23	24	25
介護	95	94	94	94	94	91
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防	24	25	25	27	27	26
介護	94	96	90	88	92	99

☆年間訪問回数等

単位: 回

	利用者等	サービス事業者等
電話連絡	665	1367
訪問・面会	507	341

4、年間目標の達成状況について

(1)について

利用者様やその家族様に向けたアンケートは未実施。利用者様にとって自立した生活とはどういうものかについてアセスメントすることを心掛けた。また、利用者様にはそのように気持ちが向けられるような声掛けも行っていた。

(2)について

椿地区から日置地区にかけての避難経路を確認したり、民生委員様を中心に現状や要望を確認したが、コロナウィルス感染予防のため、対外的な活動が思うようにできず災害対策に向けた取り組みが進捗せず。今年度はBCPを策定したい。

(3)について

令和5年3月末時点での稼働率は90%。目標まで2%足りず。令和5年1月末時点でターミナルケアの方や緊急入院の方が重なったため83.2%と今年度で一番低下したが、2月3月と新規の相談が相次ぎ、今年度一番の稼働率を稼ぐことができた。日置川地区において居宅介護支援事業所は1件しかないことも挙げられるが、名指しで相談されることも多くなってきた結果でもあると考える。

5、内部研修実施状況

日付	テーマ	講師役
令和4年4月20日	国保連への請求(伝送システムまでの流れ)方法を覚える	西崎 雄二郎
令和4年5月18日	支援経過の記入の仕方について	横手 美佐子
令和4年6月29日	床ずれの好発部位と発生のメカニズムについて	嶋中 多賀子
令和4年7月27日	I：喫食について(食への理解)、II：排便コントロールについて	西崎 雄二郎
令和4年8月17日	サービス担当者会議と接遇について(ロールプレイ等)	嶋中 多賀子
令和4年9月21日	包括支援センターとの連携について	奥野 知江美
令和4年10月21日	障害福祉との連携について	西崎 雄二郎
延期	アセスメントやモニタリングのポイントや進め方、面接における接遇(年金所得の聞き方についても)	嶋中 多賀子
令和4年12月23日	訪問看護(医療保険と介護保険の違い)について	横手 美佐子
令和5年1月18日	住宅改修の適応と過去事例	西崎 雄二郎
令和5年2月15日	施設系サービスの利用料金の仕組み、(社会福祉法人等による利用者負担軽減制度についても)	横手 美佐子
令和5年3月29日	骨格と骨格筋の名称とフレイルについて	西崎 雄二郎

6、外部研修参加状況

開催日	テーマ等	参加者
	↓主催及び共催が和歌山県介護支援専門員協会(支部含む)または行政等の場合に「○」	
令和4年4月13日	○ WCMA 定例研修会 悩める認知症ケア・視点変換を試みよう	奥野
令和4年4月19日	医療介護連携を進める会 第64回 田辺市のフレイル対策を学ぶ	西崎
令和4年4月21日	○ WCMA 定例研修会 予防プランの立て方・ケアプラン新様式の記載要領について	横手、奥野
令和4年5月17日	医療介護連携を進める会 第65回 認知症カフェ白浜町の取り組み	西崎
令和4年5月19日	○ 和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 初日	奥野
令和4年5月24日	○ 和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 二日目	奥野
令和4年6月2日	○ WCMA 定例研修会 家族ストレスモデルについて	西崎、奥野
令和4年6月6日	○ 和歌山県介護支援専門員研修 更新研修(専門課程Ⅱ相当) 初日	横手
令和4年6月7日	○ 和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 三日目	奥野
令和4年6月14日	○ 和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 四日目	奥野
令和4年6月19日	○ WCMA 定例研修会 災害時のケアマネジャーのあり方について	西崎
令和4年6月20日	○ 和歌山県介護支援専門員研修 更新研修(専門課程Ⅱ相当) 二日目	横手
令和4年6月21日	○ 和歌山県介護支援専門員研修 更新研修(専門課程Ⅱ相当) 三日目	横手
令和4年6月21日	医療介護連携を進める会 第66回 認知症疾患医療センター研修会の録画視聴会	西崎

令和4年6月24日	○	和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 五日目	奥野
令和4年7月4日	○	和歌山県介護支援専門員研修 更新研修(専門課程Ⅱ相当) 四日目	横手
令和4年7月11日	○	和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 六日目	奥野
令和4年7月12日	○	和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 七日目	奥野
令和4年7月15日	○	和歌山県介護支援専門員研修 更新研修(専門課程Ⅱ相当) 五日目	横手
令和4年7月19日		医療介護連携を進める会 第67回 熱中症 ZOOM参加	西崎
令和4年7月20日	○	和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 八日目	奥野
令和4年7月21日	○	和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 九日目	奥野
令和4年7月29日	○	和歌山県介護支援専門員研修 更新研修(専門課程Ⅱ相当) 六日目	横手
令和4年7月30日		記載例で学ぶ居宅介護支援経過(第一法規:後藤佳苗先生)ZOOM参加	嶋中、横手、奥野、西崎
令和4年8月3日	○	WCMA 定例研修会 質の高いケアってなんだろう	西崎
令和4年8月10日	○	和歌山県介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅰ 十日目	奥野
令和4年9月20日		医療介護連携を進める会 第69回 糖尿病と歯科 ZOOM参加	西崎
令和4年9月23日	○	WCMA 定例研修会 創立20周年記念講演会 ZOOM参加	嶋中、横手、奥野、西崎
令和4年9月27日		WEBセミナー、実地指導から運営指導へ:小濱道博さん	嶋中、西崎
令和4年10月15日		南和地域医療連携カンファレンス「感染予防について考える」 ZOOM参加	嶋中、横手、奥野、西崎
令和4年10月18日		医療介護連携を進める会 第70回 わたしの古い支度 ZOOM参加	西崎
令和4年10月27日		キャラバンメイト養成講座	横手
令和4年11月12日	○	WCMA 定例研修会 訪問看護・ケアマネージャー交流会	横手、奥野
令和4年11月15日		医療介護連携を進める会 第71回 認知症と生きる ZOOM参加	西崎
令和4年11月16日		記載例で学ぶ 居宅介護支援経過(第一法規:後藤佳苗先生)ZOOM参加	嶋中、横手、奥野
令和4年12月20日		医療介護連携を進める会 第72回 65歳問題 ZOOM参加	西崎
令和5年1月17日		医療介護連携を進める会 第73回 新型コロナウイルス感染!! ZOOM参加	西崎
令和5年1月25日	○	エンドオブライフ・ケア～現場で生かす援助的コミュニケーション～ ZOOM参加	嶋中、横手、奥野、西崎
令和5年2月17日	○	第21回日本介護支援専門員協会近畿ブロック研究大会inわかやま	嶋中、横手、奥野、西崎
令和5年2月18日	○	第21回日本介護支援専門員協会近畿ブロック研究大会inわかやま	嶋中、横手、奥野、西崎
令和5年2月21日		医療介護連携を進める会 第74回 夫の見送りを通して感じたこと ZOOM参加	西崎
令和5年2月22日		BCP作成支援に関する研修 ZOOM参加	嶋中、西崎
令和5年3月7日	○	WCMA 定例研修会 相談支援専門員との交流会	横手、西崎
令和5年3月14日		医療介護連携を進める会 第75回 上富田町の介護予防について ZOOM参加	西崎

7、 苦情の受付について

1 件	住宅改修の提出書類について、工務店が用意してくれた書類に不備。利用者自宅へ確認に伺った際、ケアマネの方で何とかならないのかと激昂された。白浜町と相談し工務店に修正は求めず、手書きで書類を修正することで受理してもらった。
-----	---

デイサービスセンター白浜日置の郷 令和4年度報告

介護予防通所介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	3	2	2	3	3	3	3	2	3	4	4	4	36
合計	3	2	2	3	3	3	3	2	3	4	4	4	36

通所介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	11	11	10	10	10	9	11	11	10	10	11	9	123
女	38	36	36	36	36	36	36	36	35	34	34	35	428
合計	49	47	46	46	46	45	47	47	45	44	45	44	551

登録者総数	52	49	48	49	49	48	50	49	48	48	49	48	587
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

要介護度 一般型

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	20
要支援2	0	0	0	1	1	1	1	1	2	3	3	3	16
要介護度1	22	21	18	19	16	17	17	17	15	16	16	14	208
要介護度2	15	12	15	13	14	14	14	14	15	16	16	15	173
要介護度3	7	8	8	8	8	8	7	6	6	2	3	5	76
要介護度4	3	6	5	5	6	4	6	7	6	7	7	7	69
要介護度5	2	0	0	0	2	2	3	3	3	3	3	3	24
計	52	49	48	48	49	48	50	49	48	48	49	48	586
男性	11	11	10	10	10	9	11	11	10	10	11	9	123
女性	41	38	38	38	39	39	39	38	38	38	38	39	463

デイサービスセンター実

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防通所介護1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	10	8	9	4	7	9	7	4	4	4	4	4	74
予防通所介護2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	8	8	8	10	18	19	19	90
通所介護 I 11時減	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 11	男	0	0	0	1	6	6	4	3	0	0	0	0	20
	女	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	4
通所介護 I 21	男	2	5	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	14
	女	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	6

通所介護 I 31	男	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	7
	女	3	2	3	0	2	2	2	1	0	0	2	1	18
通所介護 I 41	男	26	25	25	9	7	11	14	30	16	28	0	39	230
	女	140	162	121	98	103	126	105	92	74	98	118	97	1334
通所介護 I 51	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
通所介護 I 12時減	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 12	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	3
通所介護 I 22	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
通所介護 I 32	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	1	1	0	2	1	2	1	0	1	1	1	14
通所介護 I 42	男	12	22	20	13	18	20	19	19	13	16	14	15	201
	女	114	106	123	73	81	102	114	111	101	115	123	120	1283
通所介護 I 52	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 13	男	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	0	0	8
	女	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
通所介護 I 23	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 33	男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	2	1	3	0	2	1	0	2	0	1	0	1	13
通所介護 I 43	男	25	13	23	20	7	22	30	28	26	14	16	0	224
	女	42	66	57	20	35	27	21	32	18	7	20	37	382
通所介護 I 53	男	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 14	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	4
通所介護 I 24	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	4
通所介護 I 34	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	4
通所介護 I 44	男	13	9	7	12	0	0	0	0	0	0	0	0	41
	女	4	18	24	18	22	30	30	37	37	26	27	36	309
通所介護 I 54	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	13	11	10	7	41
通所介護 I 15	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	2	8	7	8	5	0	8	9	47

通所介護 I 25	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 35	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 I 45	男	0	0	0	0	0	0	4	8	9	8	8	9	46
	女	4	0	0	0	2	9	9	8	9	8	7	9	65
通所介護 I 55	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		409	439	424	280	299	386	379	394	346	358	379	408	4501

4月 リハビリについて
5月 介護保険制度について
6月 口腔ケアについて
7月 避難訓練について
8月 介護技術について
9月 人権について
10月 介護事故について
11月 人権について
12月 認知症について
1月 個人情報について
2月 認知症について
3月 介護技術について

4月 散歩 (花見会)
5月 端午の節句
6月 散歩 (あじさい見学)
7月 七夕(笹飾り作り)(綿菓子)
8月 夏祭り(かき氷)
9月 敬老週間
10月 運動会
11月 散歩 園芸
12月 クリスマス飾り付け クリスマス会 作品展
1月 羽根つき 福笑い
2月 節分
3月 ひな祭り (雛あられ)

(その月々に誕生日会)

特別養護老 人ホーム サンフオー ト武庫之荘

- ・短期入所生活介護 サンフオート武庫之荘
- ・デイサービスセンターサンフオート武庫之荘
- ・ヘルパーステーションサンフオート武庫之荘
- ・居宅介護支援事業所サンフオート武庫之荘

令和4年度 事業報告書

令和年4月1日 ～ 令和5年3月31日

目 次

I 令和4年度事業概況

(1)事業概況

(2)事業別収支状況表

II 事業別報告

(1)特別養護老人ホーム

- ・入所者状況
- ・年間行事
- ・委員会活動(会議・研修・新聞・拘束虐待防止・感染褥瘡防止
事故・再発防止)

(2)短期入所生活介護

- ・入所者状況

(3)デイサービス

- ・利用者状況
- ・年間行事

(4)ヘルパーステーション

- ・事業状況
- ・研修状況等

(5)居宅介護支援

- ・事業状況
- ・請求概要

特別養護老人ホーム サンフォート武庫之荘

令和4年度事業報告書（事業概要）

（事業概況）

	期別	金額(千円)	前年比(%)	前年差額(千円)	備考
収入	上期実績	280,026	99.8	-496	
	下期実績	281,419	100.9	2,679	
	通期実績	561,445	100.4	2,183	
人件費	上期実績	144,319	105.6	7,685	
	下期実績	140,254	98.8	-1,651	
	通期実績	284,573	100.2	6,034	人件比率 50.69%
収支	上期実績	71,866	93.2	-5,477	
	下期実績	71,372	96.9	-2,228	
	通期実績	143,238	95.2	-7,705	収支差額率25.5%

（事業運営）

- ・収入は通期で前年比**100.4%**を収めました。ベースアップ加算等あり実収入ベースでは、**99.3%**でした。稼働率はコロナ等の影響を受け、デイ・ショートでの伸び悩み、前年に比べると

特養・ショート：95.74%⇒95.28%

デイサービス：67.09%⇒61.54%

の実績でした。しかし、新年度（4月）に入り挽回の傾向であり、今後に期待が持てる状態です。

- ・収支は4年連続して利益**1.5億**の確保に努めましたが、**残念ながら未達に終わりました**。収入はコロナクラスター（190万円減）に見舞われつつも、**ほぼ前年並み確保しましたが**、支出面で電気料金の支出増（621万円）・退職金支出（死亡・転出181万円）等あり、**前年未達（770万円）に終わりました**。

電気料金の高騰に対応すべくLED化を検討しておりますが、資材難もあって見積段階で容易に進みませんが、長期的な視野に立ち、リース対応で行いたいと思います。

（人事管理）

- ・介護職員の確保は事業経営の要諦ですが、令和4年度正職員の退職は特養1名でしたが、3月に入り家業の引継ぎ（僧職）、結婚（ベトナム）で2名退職、引き続き不安定な状況が続いています。グローバルライフを通して1名採用、更に追加を検討しているところですが、**人財コストUPが避けられない状況です**。
- ・事業計画『②研修の充実』は前年度の外部講師依存を避け、**中堅幹部（リーダー）**研修を施設長中心に行いました。本年度は再度、外部講師を招聘するなど充実を図りたいと考えます。
- ・内部研修に止まらず、**国家資格取得のための研修に費用1/2施設負担等**で参加させました。結果として介護福祉士3名、実務者研修2名、初任者研修2名の実績を収めました。本年度は更に受講者を増やし資格者確保に努めたいと考えます。

以上

サンフォート武庫之荘・令和4年度事業別収支(速報値)状況表

R.4年度・決算整理(対前年度比較・事業別内訳)

2023.5.1

事業名	項目	4年度収支	3年度収支	2年度収支	参考・元年度	対前年度比較(4年度対3年度)		備考	人件費		
		金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	増減(千円)	増減(%)		4年度	3年度	増減(千円)
特養	収入	408,052	395,259	390,309	349,249	12,793	3.28%	定員増70→80 R1.11月から			
ショート	収入	53,766	58,092	55,628	85,269	△ 4,326	-7.78%	定員減20→10 R1.11月から			
特養計	収入	461,818	453,351	445,937	434,518	8,467	1.90%				
	支出	341,377	329,832	317,102	307,327	11,545	3.64%		235,575	229,285	6,290
	収支差	120,441	123,519	128,835	127,191	△ 3,078	-2.39%				
デイ	収入	52,394	57,245	53,499	53,135	△ 4,851	-9.07%				
	支出	45,238	46,797	42,873	42,537	△ 1,559	-3.64%		24,735	25,158	△ 423
	収支差	7,156	10,448	10,626	10,598	△ 3,292	-30.98%				
ヘルパー	収入	21,483	21,961	25,227	23,431	△ 478	-1.89%				
	支出	15,771	15,950	16,411	15,155	△ 179	-1.09%		14,316	14,522	△ 206
	収支差	5,712	6,011	8,816	8,275	△ 299	-3.39%				
居宅	収入	9,417	10,689	10,119	9,840	570	5.63%				
	支出	11,531	11,271	10,447	9,539	260	2.49%		9,946	9,574	372
	収支差	△ 2,114	△ 582	△ 328	300	△ 1,532	467.07%				
診療所	収入	16,332	15,972	16,995	15,184	360	2.12%				
	支出	4,289	4,458	5,639	4,192	△ 169	-3.00%				
	収支差	12,043	11,514	11,356	10,992	529	4.66%				
喫茶	収入		44	41	34	△ 44	-107.32%				
	支出		11	10	13	△ 11	-110.00%				
	収支差	0	33	31	21	△ 33	-106.45%				
合計	収入	561,445	559,263	551,818	536,142	2,182	0.40%				
	支出	418,207	408,320	392,482	378,767	9,887	2.52%		284,572	278,539	6,033
	収支差	143,238	150,943	159,336	157,375	△ 7,705	-4.84%				

令和4年度 事業報告書
特別養護老人ホーム 入所状況

令和4年度(令和4年4月1日～令和4年9月30日)

特別養護老人ホーム		定員：特別養護老人ホーム80名、短期入所10名					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4月～9月
定数	2400	2480	2400	2480	2480	2400	14640
入所実数月累計	2290	2354	2242	2413	2419	2372	14090
在籍者1日平均	76.33	75.93	74.73	77.84	78.03	79.07	76.99
入院差し引く実数	2395	2477	2389	2480	2480	2400	14621
入院者差し引く実数	99.8	99.87	99.54	100	100	100	99.8
1日当り実質空床率	4.37%	4.87%	6.12%	2.70%	2.41%	1.00%	3.58%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0
新規入所者数	3	3	1	1	2	3	13
退所者(内死亡者)	3(3)	2(1)	1(1)	1(0)	2(1)	3(3)	12(6)
1日当り入院者平均	3.50	3.90	4.90	2.161	1.93	0.80	2.87
入院日数1ヵ月累計	105	121	147	67	60	24	524
平均入所率	95.4%	94.9%	93.4%	97.3%	97.5%	98.8%	96.2%
短期入所者数	230	243	247	268	295	267	1550
特養+短期 定数	2700	2790	2700	2790	2790	2700	16470
1月当り空床者実数	2520	2597	2489	2681	2714	2639	15640
1日当り実質空床率	84	83.7	83.0	86.5	87.5	88.0	85.4
定入率(特+短)	93.3%	93.1%	92.2%	96.1%	97.3%	97.7%	94.94%
夜間帯稼働率	93.3%	93.1%	92.2%	96.1%	92.3%	97.7%	94.11%
入所者介護度平均	3.66	3.658	3.72	3.70	3.72	3.71	3.66
要支援	0	0	0	0	0	0	0
要介護(1)	3	3	2	2	1	1	12
要介護(2)	5	5	4	4	4	4	26
要介護(3)	25	24	24	25	26	27	151
要介護(4)	33	35	36	35	37	37	213
要介護(5)	16	15	15	15	14	14	89
合計	82	82	81	81	82	83	491
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0
外出数	0	0	0	0	0	0	0
通院者数	33	26	28	25	30	23	165
面会者数	0	0	0	0	0	0	0
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0

令和4年度(令和4年10月1日令和5年3月31日)

定員：特別養護老人ホーム80名、短期入所10名								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月～3月	年間合計
定数	2480	2400	2480	2480	2240	2480	14560	29200
入居実数月累計	2436	2342	2381	2379	2172	2404	14114	28204
在籍者1日平均	78.58	78.07	76.80	76.74	77.57	77.50	77.54	77.26
入院差し引く実数	2479	2400	2475	2470	2440	2480	14744	29364
入院者差し引く実数	99.95	100.0	99.7	99.59	96.96	100	99	99.4
1日当り実質空床率	1.73%	2.41%	3.66%	2.25%	2.63%	3.06%	2.62%	3.10%
旧措置入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0
新規入所者数	1	1	0	6	1	1	10	23
退所者(内死亡者)	1(1)	1(1)	2(1)	4(4)	1(0)	1(1)	10(8)	22(14)
1日当り入院者平均	1.38	1.93	2.90	2.25	2.10	2.45	2.17	2.52
入院日数1ヵ月累計	43	58	91	70	59	76	397	921
平均入所率	98.2%	97.6%	96.0%	95.9%	97.0%	96.9%	96.9%	96.55%
短期入所者延べ人数	291	268	315	276	231	258	1639	3189
特養+短期 定数	2790	2700	2790	2790	2520	2790	16380	32850
月当り在籍者実数	2727	2610	2697	2646	2370	2618	15668	31308
1日当実質在籍者平均	87.97	87.00	87.00	85.30	84.60	84.40	86.04	85.7
延べ稼働率(特+短)	97.7%	96.7%	98.6%	95.7%	95.3%	93.8%	96.3%	95.6%
夜間稼働率	97.7%	96.7%	96.7%	94.8%	94.0%	93.8%	95.6%	94.9%
入所者介護度平均	3.72	3.70	3.71	3.57	3.67	3.7	3.68	3.67
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護(1)	1	1	1	1	1	1	6	18
要介護(2)	4	4	4	4	4	3	23	49
要介護(3)	26	27	26	30	30	30	169	320
要介護(4)	35	35	35	34	31	31	198	411
要介護(5)	15	14	14	15	15	16	89	178
合計	81	81	80	84	81	81	488	979
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0
外出数	0	0	0	0	0	0	0	0
通院者数	35	39	30	29	30	29	192	357
面会者数	0	0	0	0	0	0	0	0
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0	0

(入所者別状況表)

①保険者別入所者数

	保険者別	住所地別
尼崎市	75	75
宝塚市	1	1
西宮市	2	2
伊丹市	17	17
神戸市中央区	1	1
神戸市垂水区	1	1
大阪市	1	1
藤井寺市	1	1
猪名川町	1	1
川西市	2	2
計	102	102

②入所者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	22	80	102
平均年齢	84.1	88.4	87.5
高齢年齢	94	102	
低年齢	71	62	

③障害老人の日常生活自立度別人数

寝たきり度		人数
軽度	J1	1
	J2	4
中度	A1	7
	A2	13
重度	B1	22
	B2	34
最重度	C1	13
	C2	8
合計		102

④認知症老人の日常生活自立度別人数

	レベル	人数
軽度	自立	2
	I	5
	Ⅱa	20
	Ⅱb	15
中度	Ⅲa	19
	Ⅲb	19
重度	Ⅳ	18
	M	4
合計		102

⑤ 日常生活動作・介助別人数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	25	14	63	102
食事	57	10	35	102
排泄	15	38	49	102
入浴	7	41	54	102

⑥オムツ使用者状況

リハパン	37
夜間のみ使用	20
常時オムツ	45
合計	102

(年間行事)

	イベント名	内 容	実施場所
4月	○お花見	桜の鑑賞を通じて季節感を味わって頂く	山田神社
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
5月	○母の日	日頃の感謝を伝えお祝いする	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
6月	○父の日	日頃の感謝を伝えお祝いする	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
7月	○七夕	短冊に願いを書き、季節感を味わって頂く	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
8月	○納涼祭	夏祭りの雰囲気を感じ、各フロアで楽しんで頂く	サンフォート武庫之荘
9月	○敬老会	ご利用者に向けて日々の感謝と敬意を払う	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
10月	○コスモス鑑賞	コスモスの鑑賞を通じて季節感を味わって頂く	武庫川河川敷
	○ハロウィン	お化けの恰好をして写真を撮っていただく	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
11月	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
12月	○クリスマス会	クリスマスの雰囲気を感じて頂く	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘
1月	○初詣	新年のお参りを行い季節感を感じて頂く	山田神社
2月	○節分	豆まきを行い、季節感を感じて頂く	サンフォート武庫之荘
3月	○ひな祭り	ひな壇の前で記念撮影	サンフォート武庫之荘
	○脳活性化体操	体を動かし、脳に刺激を与え活性化を図る	サンフォート武庫之荘

(研修活動)

実施月	研修内容	参加職種
4月	介護基礎研修(排泄・入浴・食事・移乗)認知症研修(法定)	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員(新人)
5月	個人情報について(法定)・夜間救急対応研修・身体拘束研修1回目	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員
6月		
7月	接遇・人権擁護(法定)・法令遵守倫理とプライバシー(法定)	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
8月	身体拘束研修2回目・虐待研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
9月	緊急対応研修(法定)	事務長・介護支援専門員・生活相談員・介護主任・ユニットリーダー職員
10月	リスクマネジメント研修(法定)・感染症研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
11月	身体拘束研修3回目	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
12月		
1月	災害対策に関する研修(法定)	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
2月	接遇に関する研修	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士
3月	褥瘡予防(ポジショニング)研修・AED心臓蘇生研修・コロナBCP研修(法定)・身体拘束研修4回目	介護支援専門員・生活相談員・各ユニットリーダー職員・介護職員・栄養士

・12月に関しては、施設内でコロナウイルスクラスター発生のため研修は出来ませんでした

(部署・委員会 会議)

()内は開催日

実施月	
4月	リーダー会議(12)・新聞、行事(26)・拘束、虐待(27)・感染、褥瘡(28)・事故防止(29)
5月	リーダー会議(14)・新聞、行事(24)・拘束、虐待(25)・感染、褥瘡(26)・事故防止(27)
6月	リーダー会議(12)・新聞、行事(21)・拘束、虐待(22)・感染、褥瘡(23)・事故防止(24)
7月	リーダー会議(10)・新聞、行事(26)・拘束、虐待(27)・感染、褥瘡(28)・事故防止(29)
8月	リーダー会議(9)・新聞、行事(23)・拘束、虐待(24)・感染、褥瘡(25)・事故防止(26)
9月	リーダー会議(13)・新聞、行事(27)・拘束、虐待(28)・感染、褥瘡(26)・事故防止(27)
10月	リーダー会議(11)・新聞、行事(24)・拘束、虐待(25)・感染、褥瘡(26)・事故防止(27)
11月	リーダー会議(14)・新聞、行事(22)・拘束、虐待(23)・感染、褥瘡(24)・事故防止(25)
12月	リーダー会議(13)・新聞、行事(20)・拘束、虐待(21)・感染、褥瘡(22)・事故防止(23)
1月	リーダー会議(10)・新聞、行事(24)・拘束、虐待(25)・感染、褥瘡(26)・事故防止(27)
2月	リーダー会議(14)・新聞、行事(21)・拘束、虐待(22)・感染、褥瘡(23)・事故防止(24)
3月	リーダー会議(14)・新聞、行事(21)・拘束、虐待(22)・感染、褥瘡(23)・事故防止(24)

令和4年度 新聞・行事委員会

サンSUNだよりに関して、昨年度同様コロナ禍により面会も出来ずご家族様にはご心配をおかけしました。
施設内の様子が知りたい、顔を見たいとの要望があり文章ばかりではなく出来る限り入所者様の写真を掲載しました。
また、施設のインスタグラムも併せて活用し委員会中心となって日常の風景やレクリエーション時の様子を発信しました。
来年度も継続していきます。

委員会担当者名

委員長名	構成員						
	1F	2F		さくらひまわり		つつじりんどう	
角岡	信時	萬	尾崎	島		友田	角岡

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月26日	新聞行事委員会	新聞に関して・納涼祭企画
5月	5月24日	新聞行事委員会	納涼祭企画
6月	6月21日	新聞行事委員会	納涼祭内容打ち合わせ
7月	7月26日	新聞行事委員会	8月発行サン機関紙記事打ち合わせ・納涼祭内容打ち合わせ
8月	8月23日	新聞行事委員会	夏祭の反省点整理
9月	9月27日	新聞行事委員会	10月発行機関紙打ち合わせ・敬老会企画
10月	10月24日	新聞行事委員会	クリスマス会企画
11月	11月22日	新聞行事委員会	新年発行機関紙記事・デザイン打ち合わせ・クリスマス会内容打ち合わせ
12月	12月20日	新聞行事委員会	新年発行機関紙記事打ち合わせ・クリスマス会の反省会
1月	1月24日	新聞行事委員会	3月発行機関紙記事打ち合わせ
2月	2月21日	新聞行事委員会	3月発行機関紙記事打ち合わせ
3月	3月21日	新聞行事委員会	今年度の振り返りと次年度へ向けて・4月の行事

令和4年度 拘束・虐待防止委員会

拘束・虐待防止委員会の年間計画を立てる際、委員会メンバー自身が意識改革に取り組みました。

研修活動以外にも、前年度に引き続き職員の目につく所(例えばロッカールームや詰所や食堂など)に啓発ポスターを貼り、意識を持って業務に当たるように伝え続けました。拘束に関しては入所前に拘束していた御利用者様に対して拘束をなくしていくよう努力しました。来年度も引き続き、職員の意識改革と接遇面での満足度を向上させていきます。

委員会担当者名

委員長名	構成員							
	1F		2F		さくらひまわり		つつじりんどう	
野口	岡本	上山	谷口	野口	山本(高)		山口(良)	

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月27日	拘束虐待防止委員会	年間計画の実地に向けての取り組みの確認
5月	5月25日	拘束虐待防止委員会	拘束研修の打ち合わせ
6月	6月22日	拘束虐待防止委員会	拘束の研修に関しての打ち合わせ
7月	7月27日	拘束虐待防止委員会	拘束虐待防止研修内容総括
8月	8月24日	拘束虐待防止委員会	虐待に関する研修についての討議
9月	9月28日	拘束虐待防止委員会	虐待に関する研修に関するテーマについての討議
10月	10月25日	拘束虐待防止委員会	研修内容についての話し合い
11月	11月23日	拘束虐待防止委員会	研修の打ち合わせ総括
12月	12月21日	拘束虐待防止委員会	身体拘束の現状についての反省と対策
1月	1月25日	拘束虐待防止委員会	来年度の研修についての討議
2月	2月22日	拘束虐待防止委員会	来年度の研修についての討議
3月	3月22日	拘束虐待防止委員会	今年度の振り返りと次年度の活動へ向けての討議

令和4年度 感染・褥瘡防止委員会

今年度はコロナウイルス感染による施設内クラスターが起き、日頃の感染予防対策や一人ひとりの感染予防行動が重要であるが痛感しました。大規模感染には至りませんでしたが、終息後にはクラスター発生状況の振り返り・次回発生時の初動のロールプレ何度も繰り返し、二度と施設内感染を起こさないと委員会中心となって施設全体で取り組みました。感染予防対策は今後も継続し褥瘡に関しては、除圧・体圧分散等の基本介護の見直しや介護の統一をし、改善と予防を徹底しました。

委員会担当者名

委員長名	構成員						
	1F	2F		さくらひまわり		つつじりんどう	
岡崎	柴田	中井	ヒダル	岡崎	トウオイ	山本(就)	ガー

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月28日	感染褥瘡防止委員会	食中毒研修内容打ち合わせ
5月	5月26日	感染褥瘡防止委員会	持込み物について・研修内容打ち合わせ
6月	6月23日	感染褥瘡防止委員会	食中毒研修反省点整理
7月	7月28日	感染褥瘡防止委員会	脱水症状に関する勉強会
8月	8月25日	感染褥瘡防止委員会	ノロウイルス、インフルエンザ研修内容打ち合わせ
9月	9月29日	感染褥瘡防止委員会	ノロウイルス、インフルエンザ研修内容打ち合わせ
10月	10月26日	感染褥瘡防止委員会	ノロウイルス、インフルエンザ研修の反省
11月	11月24日	感染褥瘡防止委員会	次回の研修についての話し合い
12月	12月22日	感染褥瘡防止委員会	褥瘡の研修の打ち合わせ
1月	1月26日	感染褥瘡防止委員会	褥瘡の研修の評価・反省点の話し合い
2月	2月23日	感染褥瘡防止委員会	研修の反省会
3月	3月23日	感染褥瘡防止委員会	今年度の振り返りと次年度の活動へ向けての協議

令和年度 事故・再発防止委員会

昨年同様、防げる事故を防ぐという当たり前のことを目標とし、今年度は活動しました。職員にも注意啓発・指導をしてきましたが、依然防ぐべき事故や同じ事故が発生してしまっていました。来年度は更なる事故防止策の検討が必要であります。

職員一人ひとりが起こった事故の振り返りと再発防止策を考え、事故を起こさないための意識改革や介護の見直しも必要です。

すべての入所者様が安全で安心した生活を送っていただけるよう日々業務を行う必要があります。

委員会担当者名

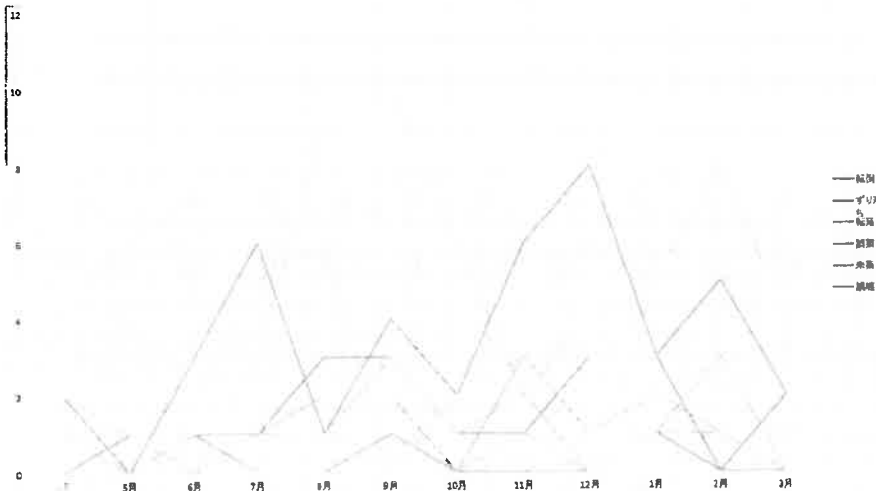
委員長名		構成員					
	1F		2F	さくらひまわり	つつじ・いんどう		
木村	木村	萬	宮崎	藤原	奥田	大川	

(委員会活動内容)

月	実施日	委員会	内 容
4月	4月29日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
5月	5月27日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
6月	6月24日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
7月	7月29日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
8月	8月26日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修内容打ち合わせ
9月	9月30日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察・事故防止研修反省点整理
10月	10月27日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
11月	11月25日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
12月	12月23日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
1月	1月27日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
2月	2月24日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察
3月	3月24日	事故・再発防止委員会	事故件数・事故内容集計、考察

年間事故報告集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	2	0	3	6	1	4	2	6	8	3	0	2	37
すり落ち	0	1	0	1	3	3	1	1	3	3	5	2	23
転落	2	1	0	1	1	3	1	2	0	1	3	0	15
誤薬	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3
未着	1	0	1	1	2	2	0	3	1	2	1	0	14
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3
割傷	1	4	2	3	6	0	2	3	3	3	4	4	37
その他	6	4	0	3	9	10	6	2	4	5	8	4	61
合計	12	10	7	17	22	23	12	18	19	19	22	12	183



短期入所生活介護

令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(介護度別 利用状況)

介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	11
要介護1	4	5	3	2	4	4	4	4	7	1	4	4	46
要介護2	6	6	7	7	8	8	8	6	9	4	2	9	80
要介護3	9	9	12	12	9	14	11	11	12	8	10	14	131
要介護4	3	2	3	3	4	2	4	2	4	1	9	3	40
要介護5	3	4	4	5	5	3	3	4	4	2	4	4	45
合計	27	27	30	30	31	32	31	28	37	16	30	34	353

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
尼崎市	20	21	23	22	24	25	23	22	28	13	22	23	266
伊丹市	5	4	5	6	5	5	6	4	7	2	6	9	64
芦屋市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
名古屋市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11
合計	27	27	30	30	31	32	31	28	37	16	30	34	353

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	4	1	3	1	3	0	0	2	1	5	1	21
	女	5	1	2	3	3	4	3	2	6	0	3	4	36
	計	5	5	3	6	4	7	3	2	8	1	8	5	57

緊急利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(年齢別 利用状況)

年齢層	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
65未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～75	0	1	1	2	2	1	3	2	2	0	1	2	17
75～85	5	4	4	6	6	8	6	6	8	4	6	6	69
85以上	22	22	25	22	23	23	22	20	27	12	23	26	267
合計	27	27	30	30	31	32	31	28	37	16	30	34	353

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	6	5	4	4	4	5	7	5	7	4	5	5	61
他事業所	21	22	26	26	27	27	24	23	30	12	25	29	292
合計	27	27	30	30	31	32	31	28	37	16	30	34	353

減額度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
1段階	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	0	13
2段階	2	2	1	1	2	1	2	1	4	1	2	3	22
3段階	9	8	10	8	9	10	10	11	13	8	10	13	119
4段階	14	16	18	20	19	20	17	15	19	6	17	18	199
合計	27	27	30	30	31	32	31	28	37	16	30	34	353

令和4年度事業報告書

デイサービスサンフォート武庫之町

令和3年(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(事業概要)

- ・令和3年度はコロナ禍という逆風の中で、ご利用者は6,238名(前年比103.5%)の実績を収めました。
- ・新規ご利用者の獲得にも努め、前年と同様17名確保することが出来ました。
- ・しかし、事業計画では月平均650名としていましたので、前年比は103.5%ですが目標に対しては77.3%と未達でした。
- ・令和3年度の傾向としては、ご利用者が5名も亡くなられたり、入院されたご利用者が10名以上という過去に見られない状況でした。
- ・現在では、従来の10名ほどのボランティアの方が来られない中、職員が工夫を凝らし、レクを考案する一方、作業レク・脳トレや嚥下体操、リハビリ体操などADLの維持強化に努め、ご利用者・ご家族様から喜んでいただきました。
- ・来年度にも繋いで行きたいと考えます。

(月間延べ利用者推移)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	単月平均
要支援	16	12	28	33	28	26	27	28	19	33	19	22	291	24.3
要介護	478	474	472	477	486	445	444	430	461	454	437	466	5,524	460.3
合計	494	486	500	510	514	471	471	458	480	487	456	488	5,815	484.6
令和3年度	509	483	469	484	479	495	578	521	576	555	544	580	6,273	502.0

214名増加

(利用者分析) 介護度別利用状況(実人数/延べ回数)

(内容:介護予防通所介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	7	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0
要支援2	2	9	3	12	5	26	6	33	6	28	6	26
合計	3	16	4	12	7	28	6	33	6	28	6	26

(内容:通所介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	13	163	13	165	14	172	13	145	13	161	22	147
要介護2	13	130	15	136	14	144	17	169	16	157	20	156
要介護3	13	114	13	116	9	68	6	65	6	62	11	59
要介護4	6	41	4	36	5	62	7	66	7	71	9	61
要介護5	5	30	6	21	5	26	5	32	6	35	5	22
合計	50	478	51	474	47	472	48	477	48	486	67	445

(新規利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護	1	0	2	0	1	2	0	3	2	1	0	0	12
合計	1	0	4	0	1	2	0	3	2	1	0	0	14
令和3年度	0	1	0	1	1	4	2	2	2	1	1	1	16

(請求状況)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防通所介護	69,344	77,043	119,212	148,001	148,001	126,916	128,223	128,223	92,993	92,993	92,993	92,993
通所介護	3,647,335	3,586,911	3,548,741	3,546,846	3,579,662	3,177,420	3,429,823	3,121,136	3,539,920	1,876,987	3,137,384	3,677,275
合計	3,716,679	3,663,954	3,667,953	3,694,847	3,727,663	3,304,336	3,558,046	3,249,359	3,632,913	1,969,980	3,230,377	3,770,268

(行事内容) 主な祭旅行事

4月	さくらまつり
5月	母の日
6月	父の日
7月	七夕祭り
8月	夏祭り
9月	敬老会
10月	運動会
11月	おやつレク
12月	クリスマス会
1月	初詣
2月	節分
3月	ひな祭り

協力ボランティア団体と活動内容

団体名	活動内容
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—

令和4年度事業報告書

ヘルパーステーション サンフォート武庫之荘

令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(業績結果)

- ・重度の在宅生活者の減少により、訪問内容は身体介護を必要としたケアは少なく、生活援助が中心となりました。
又、ヘルパーの高齢化もあり身体中心としたケアを引き受けられないのが現状です。
- ・居宅介護支援事業所からの依頼で、訪問型独自サービスを受けない事業所の利用者様を引き受け、利用者様の増加につなげました。
- ・自費サービスの通院介助の依頼が増加し、ショートステイ利用の通院も依頼されるなど、介護保険外サービスの増加につなげました。

(1) 職員の知識・技術を向上させる活動を行いました。

- ・定期会議で個々の情報交換をメールで行い、特に登録ヘルパーに介護方法や介護方法や各種サービスに関する情報提供を行いました
- ・また訪問時指導や接遇や法令順守など様々な研修を行い、介護の質を高めるべく、職員の専門性向上を図りました。

(2) 利用者が安心できるサービス提供を行いました。

- ・利用者の生活環境に応じたサービス提供が行えるよう、ヘルパー間での情報交換を行い、統一したサービス内容になるように心がけました
- ・ご利用者の持っているニーズの把握や問題等を早期に把握し、解決に向けて取り組むためにチームケアにて支援するよう心がけました。
- ・介護者の立場も同時に考慮し支援していくために、状況確認し寄り添うように心がけました。

(3) 今後の課題

- ・在籍している登録ヘルパーの高齢化と常勤ヘルパー欠員の為、若い人材確保に取り組みましたが厳しい状況です。
- ・災害時や緊急事態時の業務継続に向けた取り組みの強化が必要です。(BCP)

(研修)

研修内容

月 日	内 容	場 所
4/18	接遇マナー、倫理及び法例順守 プライバシーについて	サンフォート武庫之荘 会議室
5/16	自分を守る介護術、入浴介助	サンフォート武庫之荘 会議室
6/20	熱中症の予防と対応	サンフォート武庫之荘 会議室
7/25	緊急時対応「急な体調変化に対する対応」	サンフォート武庫之荘 会議室
8/15	高齢者虐待	サンフォート武庫之荘 会議室
9/26	ケアの統一、手順書作成	サンフォート武庫之荘 会議室
10/17	低栄養予防、食中毒	サンフォート武庫之荘 会議室
11/21	認知症理解	サンフォート武庫之荘 会議室
12/19	今年1年振り返り	サンフォート武庫之荘 会議室
1/16	高齢者の体を知る	サンフォート武庫之荘 会議室
2/20	プライバシー保護	サンフォート武庫之荘 会議室
3/20	事例検討	サンフォート武庫之荘 会議室

(1) 訪問時同行指導

- ・同行し、サービス提供時間、援助内容、移動距離等を見直すことにより効率的に訪問介護業務が行えるよう指導しました。

(2) 会議

- ・職員会議～毎月実施(登録職員含む)しました。あわせて上記の研修も実施しました。
- ・情報交換～職員会議時の報告のほか、必要時に実施しました。

・自費サービス対応時間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自費生活援助	2	4.5	3.5	4	3.5	3.5	4.5	4	1	3	5	2	40.5
自費通院介助	15	7.5	8	7.5	7.5	11.5	21.5	16.5	21.5	18	17	22.5	174
合 計	17	12	11.5	11.5	11	15	26	20.5	22.5	21	22	24.5	214.5

・訪問時間内訳

訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	94.5	81.5	51.5	53	63.5	50.5	63.5	63	63.5	60.5	58.5	68	544
生活	548	520.5	490.5	525.5	576.5	580	573.5	600	646	588.5	573	665	5876
合計	642.5	602	542	578.5	640	630.5	637	663	709.5	649	631.5	733	7016

令和4年度事業報告書
居宅介護支援事業所 サンフォート武庫之荘
 令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和4年度は、入所や逝去が多かったが営業活動を通じ新規利用者獲得は定期的に出来ました。
 地域包括からの新規依頼は要支援者が多いが、要介護者獲得の為に出来るだけ受けていこうにしました。
 今後も、より一層営業に力を入れ顧客獲得に努めていきます。

令和4年度は、下記の通り居宅介護支援業務を実施しました。

〔実施業務内容〕

- ① 介護保険代行申請
- ② 地域包括支援センターへの基本情報提出・再委託契約・ケアプラン作成・評価
- ③ 各ケースの把握と更新申請代行
- ④ 認定調査
- ⑤ アセスメント
- ⑥ サービス担当者会議
- ⑦ ケアプラン・計画書の作成
- ⑧ 月ごとの利用票・提供票の作成
- ⑨ 月ごとの利用票を確認して頂く為の家庭訪問
- ⑩ 各サービス事業所への連絡調整とサービスの仲介や実施
状態の変化の発見により他職種へつなぐ等
- ⑪ 毎月の実績管理
- ⑫ 毎月の給付管理
- ⑬ ケアプラン請求のチェック
- ⑭ モニタリング
- ⑮ 新規ケースに関する業務
- ⑯ 各ケースの相談業務
- ⑰ 居宅介護支援の提供に関する記録の整備

〔居宅サービス:介護給付費・介護予防支援費 請求実績件数〕

年 月	介護給付費	介護予防支援費
令和4年 4月	59	16
5月	59	16
6月	59	16
7月	57	20
8月	53	20
9月	53	20
10月	54	21
11月	55	24
12月	55	24
令和5年 1月	51	24
2月	53	26
3月	56	25

664

252

〔認定調査〕

市外の認定調査も積極的に受け入れました。

	尼崎市	その他	計
令和4年 8月		1	1
10月	1		1
11月		1	1
12月		1	1
令和5年 3月	5		5

令和4年度 認定調査合計 9件

令和4年度は、下記の研修会に積極的に参加し、情報獲得と援助技術向上に務めました。

〔研修会 参加状況〕

年月日	内容	場所
令和4年 4月19日	尼崎市医療介護連携支援センター テーマ 多職種アンケートの結果から サービス担当者会議について考えよう	尼崎市中央北生涯学習プラザ 大ホール
5月24日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会・全体研修会 【総会】 13:30～13:55 (1)令和3(2021)年度事業報告、収支決算及び監査報告について (2)令和4(2022)年度事業計画及び収支予算についてその他 【全体研修】 14:00～16:00 テーマ 成年後見人の意義と専門職社会福祉士の役割 講師 ソーシャルCOCOLO事務所代表中村美香氏	尼崎市立中小企業センターホール
7月22日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ 認知症にどう向き合うのか？ 講師 園田病院 脳神経内科 岸上 仁 医師 14:00～15:30	尼崎市立中小企業センターホール
9月12日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ 尼崎市第4期地域福祉計画 講師 尼崎市健康福祉局福祉課 須佐美 陽一係長 テーマ 障害者背景の理解 講師 尼崎市健康福祉局障害者福祉政策担当 中村翔太係長 尼崎市健康福祉局南部障害者支援課 西田真也係長 14:00～16:00	尼崎市立中小企業センターホール
10月18日	武庫・立花地区ケアマネ交流会 テーマ 消防署(救急隊)との交流会 10:00～12:00	ZOOM
11月29日	尼崎居宅介護支援事業所連絡会 テーマ 介護サービスに関するクレーム対応 講師 (株)安全な介護 代表 山田 滋氏 14:00～16:00	ZOOM
令和5年 1月24日	尼崎市地域包括支援センター テーマ 高次脳機能障害の病態や特性、対応方法について 講師 はくほう会セントラル病院 理学療法士 テーマ 就労支援の進め方、特性に合わせた支援方法について 講師 兵庫障害者職業センター 10:00～12:00	尼崎市立中央北生涯学習プラザ 1階大ホール
3月14日	尼崎市 テーマ 令和4年度介護保険サービス事業者等集団指導	ZOOM

四宮三養苑

- ・ 地域密着型特養 四宮三養苑
- ・ 短期入所生活介護 四宮三養苑
- ・ 養護老人ホーム 四宮三養苑
- ・ デイサービスセンター 四宮三養苑

令和 4 年度
社会福祉法人 三養福祉会
四宮三養苑
事業報告書

- ・ 特別養護老人ホーム 四宮三養苑
- ・ 短期入所生活介護 四宮三養苑
- ・ デイサービスセンター 四宮三養苑
- ・ 養護老人ホーム 四宮三養苑

定員：特別養護老人ホーム29名、短期入所10名								全体	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均
定 数	899	870	899	899	812	899		10614	
入居実数月累計	841	835	876	876	812	837	846.2	10333	861.1
在籍者1日平均	27.1	27.8	29.2	28.3	28.0	27.0	27.9		28.31
入院差し引く実数	783	800	853	853	803	803	816	10010	834.2
入院者差し引く実数	25.3	25.8	27.5	27.5	28.7	25.9	27	328.4	27.4
1日当り実質空床率	12.9%	8.0%	5.1%	5.1%	1.1%	10.7%	7.16%		5.65%
新規入所者数	1	0	1	1	0	1	0.67	7	0.6
退所者(内死亡者)	1	0	0	0	0	1	0.83		
1日当り入院者平均	1.87	1.17	0.74	0.74	0.32	2.00	1.14	11.5	1.0
入院 日数1ヵ月累計	58	35	23	23	9	62	35.0	351	29.3
平均入所率	93.5%	96.0%	97.4%	97.4%	100.0%	93.1%	96.3%		97.4%
短期入所者延べ人数	272	257	261	261	199	241	248.5	3163	263.6
特養＋短期 定数	1209	1097	1097	1101	1092	1209	1134.2	13942	1161.8
月当り在籍者実数	1055	1057	1114	1114	1002	1044	1064.3	13173	1097.8
1日当実質在籍者数	34.0	35.2	35.9	35.9	34.6	33.7	34.9	431.9	36.0
稼働率(特＋短)	87.3%	96.4%	101.5%	101.2%	91.8%	86.4%	94.08%		94.6%
入所者介護度平均	4.34	4.34	4.34	4.45	4.48	4.48	4.41	51.79	4.32
要介護 (1)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
要介護 (2)	1	1	1	0	0	0	0.5	14	1.2
要介護 (3)	2	2	2	4	3	3	2.7	28	2.3
要介護 (4)	12	12	12	8	9	9	10.3	140	11.7
要介護 (5)	14	14	14	17	17	17	15.5	166	13.8
合 計	29	29	29	29	29	29	29.0	348	29.0
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
外出数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
通院者数	11	11	0	4	9	13	8.00	107	8.9
面会者数	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0

2022年度 事業報告書

短期入所生活介護 四宮三養苑

1. 介護度別利用者数

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男													0
	女													0
要支援2	男													0
	女													0
要介護1	男		1					1	1					3
	女	1							1					2
要介護2	男													0
	女	2	1	2	2	2	1	1			1	1	1	14
要介護3	男	2			2	3	2						1	10
	女	6	9	7	6	6	5	6	6	7	6	5	5	74
要介護4	男						1	1	1	1	1	1	2	8
	女													0
要介護5	男								1		1	1		3
	女	3	3	4	2	2	2	2	2	2	1	2	2	27
合計		14	14	13	12	13	11	11	12	10	10	10	11	141
夜間人数		261	291	277	277	275	285	267	257	261	262	199	241	3153
平均		8.70	9.39	9.23	8.94	8.87	9.50	8.61	8.57	8.42	8.45	7.11	7.77	8.63

2. 保険者別利用者数

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
門真市	13	13	12	11	12	10	10	11	9	9	9	10	129
守口市													0
四条畷市													0
東大阪市													0
寝屋川市													0
大阪市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	14	14	13	12	13	11	11	12	10	10	10	11	141

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男												1	1
	女	1	1		2		2	1	1				1	9
	計	1	1	0	2	0	2	1	1	0	0	0	2	10

緊急ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男													0
	女													0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男													0
	女													0
61～65	男													0
	女													0
66～70	男													0
	女													0
71～75	男	1	1	1	1	1								5
	女	1	1		1	1	1	1	1					7
76～80	男							1	1					2
	女	3	1	2	1	1	2	1		1	1			13
81～85	男	1	2	1	1	1	1	1	1	1		1		11
	女	2	2	2	3	3	4	4	5	5	5	5	5	45
86～90	男												1	1
	女	4	3	2	2	2	1	1	2		1			18
91～95	男					1								1
	女		1	2	1	1				1	1	2	3	12
96以上	男													0
	女	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
合計		14	14	13	12	13	11	11	12	10	10	10	11	141

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
三養苑居宅	2	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1		18
第5包括(委託)													0
他事業所	12	11	11	10	11	9	10	11	9	9	9	11	123
合計	14	14	13	12	13	11	11	12	10	10	10	11	141

事業所別 延べ利用人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
三養苑居宅	60	65	30	62	62	51	31	30	31	31	24		477
第5包括(委託)													0
他事業所	207	242	224	233	218	236	241	231	204	231	206	276	2749
合計	267	307	254	295	280	287	272	261	235	262	230	276	3226
平均	8.90	9.90	8.47	9.52	9.03	9.57	8.77	8.70	7.58	31.00	7.93	8.90	10.69

事業所別延べ利用人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
三養苑	60	65	30	62	62	51	31	30	31	31	24		477
第5包括(委託)													0
SOMPOケア門真						22	31	30	31	31	28	31	204
あいずケアプランセンター門真	2	6	10	19	31	30	31	30	31	31	28	47	296
あきケアプラン													0
囲炉裏ケアプラン	40	40	38	39	35	36	44	38	40	48	32	45	475
えくぼケアセンター													0
萱島ラガール	30	62	51	31	36	30	31	30	31	31	28	31	422
クオレ古川橋	30	31	30	31	9								131
ケアサービス まるせ	1			17	31	58	62	60	62	62	28	43	424
ケアサポート都													0
ケアパートナー大東													0
ケアプランなるなる	30	31	30	31	31	30	31	30	31	16	28		319
島頭ケアプランセンター													0
ちどりケアマネジメント													0
柏友会ケアプランセンター	36	33	32	34	36	30	11						212
まあるけあぶらん													0
みどりケアプラン	38	39	33	31	9			9			3	30	192
さくらケアプランセンター								4	9	12	3	8	36
													0
													0
													0
													0
													0
													0
他事業所合計	207	242	224	233	218	236	241	231	235	231	178	235	2711
合計	267	307	254	295	280	287	272	261	266	262	202	235	3188

■ 令和4年度 3階イベント委員実施報告書

担当:橋本 弘美

【活動内容】

イベント名	月	開催日	イベント内容・報告	支出
夏祭り	8月	8月21日	壁に折り紙で制作した提灯や花火等飾り付けを行い、夏らしい雰囲気味わっていただきました。おやつ時にフローズンゼリーの提供を行い、涼しさを感じてもらいました。 参加者数 20名	¥3,520
敬老祝賀会	9月	9月25日	敬老のお祝いを行いました。おやつ時に少しでも季節を感じていただける様に季節の和菓子を提供しお祝いをしました。経口摂取が難しい方には写真入りのお祝い色紙をプレゼントし、喜んでいただけたかと思ひます。 参加者数 20名	¥3,630
クリスマス会	12月	12月25日	クリスマスにちなんで冷凍ケーキの提供を行いました。日頃より提供する事が無い為、とても喜んで召し上がっていただきました。 参加者数 20名	¥2,986
合計				¥10,136

《反省と課題》

おやつ提供が中心になってしまったイベント行事になってしまいました。コロナ禍との事でなかなか外出行事等行う事が難しいですが、少しでも何か環境の変化を感じていただけるような行事を企画していけたらと思います。

課題として、出来るだけ入居者様全員に楽しんでいただけるような企画を考えたいと思います。

■ 令和4年度 4階 イベント委員会実施報告書

担当:金谷 章正

【活動内容】

イベント名	月	開催日	イベント内容・報告	支出
外ン(運動)会	6月	6月19日	ゲーム企画とおやつ提供をしました。ゲームは、ボーリングと玉入れをしました。おやつはフルーツ杏仁豆腐はとても好評でした。 参加者数 19名	¥2,289
敬老祝賀会	10月	10月23日	和菓子を100円均一で購入した可愛いお皿で提供。和菓子を美味しいと召し上がられ、お皿も可愛いと皆様で集合写真等撮影し沢山楽しい時間を過ごしました。 参加者数 17名	¥1,418
おやつレク	1月	1月29日	利用者様に生クリームとフルーツをプリンの上に添えていただく予定でしたが、今回はプリンのみ召し上がっていただきました。プリンの提供に喜ばれていました。 参加者数 17名	¥1,917
合計				¥5,624

《反省と課題》

反省点として、ゲーム企画では利用者様にわかりやすい内容でしたが、当日の用意に時間がかかってしまいました。毎回おやつ提供が中心となり、新しいイベント企画を提供することが出来ませんでした。1月のイベントはおやつに関するイベントでしたが、コロナ禍ということもあり予定通りのイベントを開催できず残念でした。

課題として、出来るだけ今までと違うイベントで利用者様全員に楽しんでいただき、喜んでいただける様な企画を考えたいと思います。

■令和4年度 広報委員実施報告書

担当者:市村・村瀬

【活動内容】

ご家族の手紙、新聞作成に取り組んで行こうと思います。
新聞作成を行っていく上で、入居様の日常の写真又は行事レクの様子などを撮ってもらいたいと思います。

《反省と課題》

イベントなどの行事も少なく写真撮影なども機会も減り、中々日常の撮影も時間が取れないままになってしまいました。今年度は、色んな場面でも撮影を行おうと思っております。

■令和4年度 スキルアップ委員会実施報告書

担当者:永井・本郷

【活動内容】

月 日	課題	担当部署	内容
R4.6.27 R4.7.4	医務学習会	特養	医療分野の勉強会を行う。
			意見交換

《反省と課題》

【活動内容】

毎月各部署より担当者を決めて全体で個人の技術を成長していただく事を目的に活動する。今季はコロナ感染対策の為、活動なし。

《反省と課題》

今年もコロナウイルスの影響でほとんどの活動が行えなかったが、6月・7月に医務学習会を行い、医療分野の知識を勉強する事が出来ました。活動としてはこの1つだけだったので、来期ではもっと多くの勉強会を開催して職員の知識を付けていきたいと思っています。

令和4年度 接遇委員会実施報告書

担当者:橋本・金谷

【活動内容】

月	開催日	勉強会内容	参加者
2月	8日	高齢者虐待防止について(1回目) 資料をもとに説明を行う。	市村副主任・村瀬副主任・ 輪島・チャン・本郷・西田
2月	16日	高齢者虐待防止について(2回目) 資料をもとに少し質問も取り入れ 説明を行う。	有田主任・永井・岡田・宮口・ ミン・梅澤

《反省と課題》

勉強会直前まで担当職員同士の打ち合わせができず、ぶっつけ本番の形になってしまい、ただ資料を読みながら説明をするといった形になってしまいました。次回勉強会を行う時には事前にしっかり打ち合わせを行い、もっと質問形式にし、参加職員で意見交換が出来るような勉強会を開きたいと思います。

令和4年度 車椅子委員実施報告書

担当者:輪島・宮口

【活動内容】

- ・一ヶ月に一回全車椅子の点検を行った。(出来ない月もあった)
- ・車椅子の空気入れや、故障箇所の把握等。
- ・修理後車椅子の重さの記載シールが剥がれている事がある為、再度計測し、テプラー等で車椅子重量が分かる様に貼付を行った。

《反省と課題》

- ・車椅子の管理や把握が出来ない事が見られた。汚染時や、修理後。
- ・車椅子修理の際、業者が取りに来る日の把握が出来ず、修理に持ち帰った番号が分からず、困惑してしまった。
- ・故障中であるが、使用している車椅子の把握を明確にしないといけない。

令和4年度 ユニット飲み物/おやつ管理担当委員会実施報告書

【活動内容】

3階・4階のユニットの飲み物を切らさない様に確認を行い、職員同士で無くなりかけていたら報告してもらう様に声掛けしてもらう。
おやつに関しては、賞味期限の確認を行う。

《反省と課題》

飲み物が無くなっている事や、賞味期限が切れている事あり。今後は3日に一度は確認するようにする。

令和4年度 三養福祉会 デイサービスセンター 四宮三養苑 事業報告書

新型コロナウイルスも少しずつ収まりの様子を見せて、4月からは少しずつ上昇傾向となり前年を上回る推移で運営できていましたが、8月に再び新型コロナの感染者が複数人発生したため利用者様が大幅に減少する形になってしまいました。

しかしながら10月以降は順調に回復し、翌年の3月まで連続で前年を上回る利用者数となっております。

利用者様のニーズも多種多様化してきており、個別対応への転換が望まれます。本人様のみならず、家族様の介護負担軽減も含めて、各ニーズに対応できるデイを目指します。

以下が令和4年度の実績と、過去5年間の推移比較となっております。

【 令和4年度 三養福祉会 デイサービスセンター 四宮三養苑 実績報告 】

介護保険 ・ 総合事業 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	27	27	28	30	25	28	28	29	27	26	23	23	321
女 性	34	34	38	36	37	40	38	37	37	34	37	34	436
合 計	61	61	66	66	62	68	66	66	64	60	60	57	757

介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34
要支援 1	3	3	5	3	3	4	4	4	2	2	2	2	37
要支援 2	3	3	3	4	4	5	5	5	5	5	7	5	54
要介護 1	20	22	21	24	22	23	21	21	21	19	18	18	250
要介護 2	18	17	14	20	20	21	20	19	19	17	16	16	217
要介護 3	9	9	10	7	6	7	8	9	9	9	9	8	100
要介護 4	4	3	3	3	2	2	2	3	3	2	2	3	32
要介護 5	2	2	1	2	2	3	3	2	2	3	3	2	27
合 計	61	61	60	66	62	68	66	66	64	60	60	57	751

介護度別 利用実績

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
総合事業 ・ 緩和型	32	53	54	49	39	61	55	58	58	46	58	53	584
総合事業 ・ 現行相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 ・ 2～3時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 ・ 3～4時間	11	8	6	2	2	4	5	4	7	4	6	8	56
要介護 ・ 4～5時間	18	6	11	12	10	6	11	14	11	7	10	17	115
要介護 ・ 5～6時間	106	101	112	132	105	129	141	142	142	122	116	144	1386
要介護 ・ 6～7時間	184	159	177	184	155	187	177	185	198	178	182	214	1996
要介護 ・ 7～8時間	130	145	137	123	60	140	134	135	137	113	105	111	1340
合 計	481	472	497	502	371	527	523	538	553	470	477	547	5958
営業日数	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311
利用平均人数	18.5	18.2	19.1	19.3	13.7	20.3	20.1	20.7	20.5	19.6	19.9	20.3	19.2
前年比(人数)	104%	102%	107%	102%	70%	100%	102%	104%	103%	104%	159%	129%	107%

- ※ 総合事業 ・ 緩和型⇒ 通所型サービスA・緩和型(全日)
 ※ 総合事業 ・ 現行相当⇒ 通所型サービスA・現行相当

介護保険 + 総合事業 利用実績 前年比較推移

平成30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	463	373	369	374	389	380	443	417	437	400	369	444
1日平均利用者数(人)	17.8	13.8	14.2	14.4	14.5	15.8	16.4	16.1	16.8	16.0	15.4	16.8
定員に対する稼働率(%)	50.7	55.3	56.7	57.5	57.5	63.3	65.6	64.3	67.2	64.0	61.5	67.2



令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	436	409	416	461	466	458	518	532	509	491	527	560
1日平均利用者数(人)	16.8	15.1	16.6	17.1	17.9	18.3	19.9	20.5	19.6	20.5	21.1	21.5
定員に対する稼働率(%)	67.1	60.6	66.6	68.3	71.7	73.3	76.7	81.8	78.3	81.8	84.3	86.2



令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	457	447	512	535	514	505	506	458	449	335	392	484
1日平均利用者数(人)	17.6	17.9	19.2	19.8	19.8	19.4	18.7	18.3	16.6	15.2	16.3	17.9
定員に対する稼働率(%)	73.1	71.5	78.8	79.3	79.1	77.7	75.0	73.3	66.6	60.9	65.3	71.7



令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	463	464	463	511	507	529	510	518	538	454	310	421
1日平均利用者数(人)	17.8	17.8	17.8	18.9	19.5	20.3	19.6	19.9	19.9	18.9	12.9	15.6
定員に対する稼働率(%)	71.2	71.2	71.2	75.7	78.0	81.4	78.5	79.7	79.7	75.7	51.7	62.4



令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数(人)	481	472	497	502	371	527	519	538	553	470	477	547
1日平均利用者数(人)	18.5	18.2	19.2	19.3	13.7	20.3	20.0	20.7	20.5	19.6	19.9	20.3
定員に対する稼働率(%)	74.0	72.6	76.5	76.6	54.9	81.1	79.8	82.7	81.9	78.3	79.5	81.0

養護老人ホーム 四宮三養苑
令和4年度事業報告書

1.利用及び入退所の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
入居者数(人)	25	25	25	26	25	25	26	26	27	26	25	25	306
退居者数(人)	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
男性入居者数	8	7	8	8	8	8	9	9	10	10	9	9	103
女性入居者数	17	17	17	18	17	17	17	17	17	16	16	16	202
月初日現在 在籍者数(人)	25	25	24	23	26	25	25	26	26	26	26	25	平均 23.0

2.入居者の年齢、性別状況 R5.3.31現在

	65歳 未満	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 以上	平均年齢
男性	0	0	1	0	3	5	0	0	0	79
女性	0	0	1	5	7	2	1	0	0	81.6
合計	0	0	2	5	10	7	1	0	0	80.7

3.要介護度別状況 R5.3.31現在

要介護度別	自立	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	未申請
人数	7	2	0	7	7	0	0	0	2

4.入居者の平均在所期間 R5.3.31現在

	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	10年以上
男性	2	2	1	1	3	0
女性	1	4	1	3	7	0

5.措置市町村別入居者数 R5.3.31現在

都道府県	大 阪 府									府外	
市町村	門 真 市	都 島 区	東 大 阪 市	豊 中 市	浪 速 区	旭 区	鶴 見 区	東 淀 川 区	住 吉 区	神 戸 市	京 都 市
人数	7	3	1	1	1	2	1	1	1	1	6

6.退所者状況 R5.3.31現在

区分	在宅復帰	他施設入所	長期入院	死亡	その他
退居者数	0	2	1	0	0

7.面会・外泊・入院・外出の状況 R5.3.31現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
面会者数	2	1	0	1	0	1	1	1	1	2	0	0	10
外出者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院者数	9	11	6	6	7	10	8	10	4	1	5	4	81
入院者数	1	1	2	2	3	2	2	1	1	0	1	3	19
入院日数	30	29	23	7	31	47	43	30	31	0	14	29	314

8.日常生活状況 R5.3.31現在

	自立	一部介助	全介助
食事	25		
排泄	22	2	1
入浴	17	8	
移動	23	2	

令和4年度 年間行事報告

4月	開苑9周年記念祭とおやつレク(薩摩芋と餡のどら焼き) 4月生まれお誕生日会
5月	母の日のお祝いとおやつレク(フレンチトースト ケーキシロップかけ) 5月生まれお誕生日会
6月	父の日を祝うおやつレク(父の日パフェ) 6月生まれお誕生日会
7月	七夕祭とおやつレク(フルーツサンド) 7月生まれお誕生日会
8月	おやつレクリエーション(冷やしソーメン) 8月生まれお誕生日会
9月	敬老の日を祝うとお月見を兼ねて(お抹茶と和菓子を頂く) 9月生まれお誕生日会、お月見に和菓子を頂く
10月	おやつレクリエーション(パンプキンのどら焼き) 10月生まれお誕生日会
11月	おやつレクリエーション(芋饅頭黒蜜かけ) 11月生まれお誕生日会
12月	クリスマス会を楽しむおやつレク(フルーツロールケ 小物作り教室(寅の干支の羽子板作り) 12月生まれお誕生日会、新年に向けた生け花教室

1月	手作り神社への初詣、書初め、1月生まれお誕生日会 おやつレクリエーション(たこ焼き)
2月	節分祭とおやつレク(新聞紙製豆まきと白玉ぜんざい) 2月生まれお誕生日会、バレンタインデーを楽しむ
3月	雛祭り会とおやつレク(お好み焼き) 3月生まれお誕生日会

介 護 付 き 有
料 老 人 ホ ー
ム

住之江の郷

令和4年度事業報告書

介護付有料老人ホーム住之江の郷
令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均
日数		30	31	30	31	31	30	30.5	31	30	31	31	29	31	30.5
特定施設	定員	60	60	60	60	60	60	60.0	60	60	60	60	60	60	60.0
定数		1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,800	1,830.0	1,860	1,800	1,860	1,860	1,740	1,860	1,830.0
在籍者数		52	51	50	52	52	53	51.7	51	53	52	53	52	50	51.8
実在籍者数		1,578	1,612	1,492	1,430	1,612	1,631	1,559.2	1,623	1,576	1,638	1,633	1,458	1,565	1,582.2
新規入所者数		0	0	1	4	0	2	1.2	0	1	0	1	2	0	0.7
退所者(内死亡者)		4	1	2	1	0	1	1.5	1	0	1	0	3(2)	2(1)	1.2
入院日数1ヵ月累計		63	119	96	10	23	53	60.7	46	9	36	104	44	15	42.3
1日当り入院者平均		2.1	3.8	3.2	0.3	0.7	1.8	2.0	1.5	0.3	1.2	3.4	1.5	0.5	1.4
入居実数月累計	定数-入院者数-空部屋	1,515	1,493	1,396	1,420	1,589	1,578	1,498.5	1,577	1,567	1,602	1,529	1,414	1,550	1,539.8
在籍者1日平均		52.6	52.0	49.7	46.1	52.0	54.4	51.1	52.4	52.5	52.8	52.7	50.3	50.5	51.9
入院者差し引く実数	④/①×100	84.2%	80.3%	77.6%	76.3%	85.4%	87.7%	81.9%	84.8%	87.1%	86.1%	82.2%	81.3%	83.3%	84.1%
平均入所率		87.7%	86.7%	82.9%	76.9%	86.7%	90.6%	85.2%	87.3%	87.6%	88.1%	87.8%	83.8%	84.1%	86.4%
短期入所者延べ人数	短期入所 体験入居	14	16	16	17	14	27	17.3	21	17	24	15	14	14	17.5
月当り登録者実数		1	1	1	1	1	2	1.2	1	1	1	1	1	1	1.0
1日当実質在籍者数		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.07	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
実利用者数(特定+短)		1529	1509	1412	1437	1603	1605	1516	1598	1584	1626	1544	1428	1564	1557
稼働率(特定+短)		84.9%	81.1%	78.4%	77.3%	86.2%	89.2%	82.9%	85.9%	88.0%	87.4%	83.0%	82.1%	84.1%	85.1%
要支援1		2	2	2	2	2	2	2.0	1	1	1	1	1	1	1.0
要支援2		4	4	4	4	4	3	3.8	3	3	3	3	3	3	3.0
要介護(1)		14	15	15	19	18	19	16.7	19	20	18	17	15	12	16.8
要介護(2)		11	10	11	11	11	10	10.7	10	9	9	9	10	12	9.8
要介護(3)		5	5	4	3	4	5	4.3	3	3	3	4	5	4	3.7
要介護(4)		7	6	7	7	7	8	7.0	9	11	12	13	13	13	11.8
要介護(5)		9	9	7	6	6	6	7.2	6	6	6	6	5	5	5.7
合計		52	51	50	52	52	53	51.7	51	53	52	53	52	50	51.8
入所者介護度平均		2.7	2.6	2.5	2.3	2.4	2.4	2.3	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6	2.5	2.4
外泊日数		0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0
外出数		0	2	1	2	2	1	1.4	1	1	2	2	1	1	1.4
通院者数		20	22	21	22	26	25	22.2	27	24	33	28	18	34	26.0
面会者数		3	7	19	17	18	20	12.8	14	15	16	18	10	24	14.6
実習生(累計)		0	0	0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0.0

利用者別状況表(令和5年3月末現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別
大阪市	41	47
くすのき広域連合	1	0
箕面市	1	0
堺市	2	0
羽曳野市	1	0
宝塚市	1	1
尼崎市	1	1
川西市	1	0
福山市	1	1
計	50	52

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	16	34	50
平均年齢	88	87	85
最高年齢	94	100	
最低年齢	69	74	

③障害老人の日常生活自立度

要たきり度		人数
軽度	J1	3
	J2	4
中度	A1	6
	A2	20
重度	B1	5
	B2	12
最重度	C1	0
	C2	0
合計		50

④痴呆性老人の日常生活自立

	レベル	人数
軽度	I	6
	IIa	10
中度	IIb	23
	IIIa	6
重度	IIIb	4
	IV	1
	M	0
合計		50

⑤日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	25	8	17	50
食事	46	3	1	50
排泄	19	21	10	50
入浴	10	35	5	50

⑥オムツ使用者状況

	人数
無し	10
夜間のみ	11
常時	29
合計	50

R4年度 利用者推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	55	52	50	49	52	52	53	52	53	52	53	51	52.1
新規入居	0	0	1	4	0	2	0	1	0	1	2	0	1.0
退居	4	1	2	1	0	1	1	0	1	0	3	2	1.3
体験入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
短期入居(1日平均)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.07	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04
施設見学者(組)	2	1	1	1	1	1	2	2	1	1	2	1	1.3
合計(短期入居含む)	51.0	51.0	49.0	52.0	52.0	53.1	52.0	53.0	52.0	53.0	52.0	49.0	51.6

特別養護老人ホーム 田辺の郷

- ・短期入所生活介護 田辺の郷
- ・デイサービスセンター田辺の郷
- ・ヘルパーステーション田辺の郷
- ・居宅介護支援事業所 田辺の郷

令和4年度 田辺の郷事業報告

		収入	人件費	業者支払い	収支
全体	R4年度	333,213,449	211,621,231	87,284,082	34,308,136
	R3年度	332,337,920	203,838,156	81,063,212	47,436,552
	前年比	100.3%	103.8%	107.7%	72.3%
特養・ショート	R4年度	295,298,845	178,870,046	84,677,000	31,751,799
	R3年度	288,857,519	167,443,288	77,746,221	43,668,010
	前年比	102.2%	106.8%	108.9%	72.7%
デイ	R4年度	23,004,950	17,155,456	2,086,728	3,762,766
	R3年度	27,993,920	20,496,386	2,277,740	5,219,794
	前年比	82.2%	83.7%	91.6%	72.1%
ヘルパー	R4年度	10,114,094	11,342,133	330,811	-1,558,850
	R3年度	10,492,641	11,716,720	699,718	-1,923,797
	前年比	96.4%	96.8%	47.3%	81.0%
居宅	R4年度	4,795,560	4,253,596	189,543	352,421
	R3年度	4,993,840	4,181,762	339,533	472,545
	前年比	96.0%	101.7%	55.8%	74.6%

【収入】

全体で前年比100.3%と同水準でありましたが、デイサービスについてはコロナの影響及び、職員の体制も安定しない中で大きく収入をさげる形となってしまいました。年明け早々は利用控え顕著にありましたが、3月には利用控えも少なくなってきたこともあり、今後挽回していきたいと考えております。

【支出】

業者支払いについては各種物品の高騰、特に電気料金の値上がり（338万円増）の影響を受け7.7%の増加となりました。節電や購入物品の見直し等を検討して削減に努めます。

【人員管理】

長年採用に苦慮していた看護師について、紹介を含め白浜日置の郷からの異動により常勤職員3名を確保することができました。

介護職についてはモンゴル人特定技能3名を採用いただきましたが、1名は妊娠により帰国、追加補充となった1名は家族介護の為帰国となってしまいました。しかしながら2名については勤続しており早番、遅番までは可能となってきています。また、3年勤続のインドネシア人EPA職員は2名が介護福祉士国家試験に合格し、当面は勤続となった事は明るい材料であります。介護福祉士については日本人職員も3名合格しており、ケアの充実を図ってまいります。

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名										定員：特別養護老人ホーム50名、短期入所10名										全体	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4-9月平均	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10-3月平均	合計	月平均						
定数	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,525	定数	1,550	1,500	1,550	1,400	1,550	1,517	18,250	1,521						
入居実数月累計	1,453	1,532	1,482	1,544	1,480	1,448	1,490	入居実数月累計	1,539	1,470	1,527	1,346	1,488	1,483	17,830	1,487						
在籍者1日平均	48.4	49.4	49.4	49.8	47.7	48.3	48.84	在籍者1日平均	49.6	49.0	49.3	48.1	48.0	48.9	48.9	48.87						
入院差し引き実数	1,447	1,530	1,438	1,502	1,454	1,447	1,470	入院差し引き実数	1,525	1,433	1,525	1,344	1,473	1,470	17,637	1,470						
入院者差し引き実数	96.5%	98.8%	95.9%	96.9%	93.8%	96.5%	96.4%	入院者差し引き実数	96.4%	95.5%	98.4%	96.0%	95.0%	96.9%	96.6%	96.63%						
1日当り実数定員率	3.5%	1.2%	4.1%	3.1%	6.2%	3.5%	3.61%	1日当り実数定員率	1.6%	4.5%	1.6%	4.0%	5.0%	3.1%	3.37%	3.37%						
旧借入所者数	0	0	0	0	0	0	0.0	旧借入所者数	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0						
新規入所者数	1	1	1	0	0	3	1.0	新規入所者数	0	0	1	0	0	0.5	9	0.8						
退所者(内死亡者)	0	1(1)	0	1(1)	2(2)	0	4(4)	退所者(内死亡者)	1(1)	0	1(1)	1	0	5(2)	9(6)	0.75(0.5)						
1日当り入院者平均	0.20	0.00	1.06	1.35	1.68	0.03	0.72	1日当り入院者平均	0.47	1.23	0.09	0.15	0.50	0.55	0.63	0.63						
入院1日数10月累計	6	0	44	42	52	1	24	入院1日数10月累計	14	37	2	13	15	13.3	228	19.0						
平均入所率	96.9%	98.8%	98.8%	99.6%	95.5%	96.5%	97.7%	平均入所率	99.3%	98.0%	98.5%	96.1%	96.0%	97.8%	97.73%	97.73%						
短期入所者数	279	265	269	298	265	219	265.8	短期入所者数	220	204	229	233	252	221.3	2,923	243.6						
特養+短期+定数	1,800	1,860	1,800	1,860	1,860	1,800	1,830	特養+短期+定数	1,860	1,800	1,960	1,740	1,860	1,830	21,960	1,830						
月当り在籍者実数	1,726	1,797	1,707	1,800	1,719	1,666	1,736	月当り在籍者実数	1,745	1,637	1,754	1,577	1,725	1,691	20,560	1,713						
1日当り実数定員率	57.7	58.0	56.9	58.1	55.5	55.5	56.9	1日当り実数定員率	56.3	54.6	58.5	52.6	55.65	55.7	56.3	56.3						
稼働率(特+短)	96.2%	96.6%	94.8%	96.8%	92.4%	92.6%	94.9%	稼働率(特+短)	93.8%	90.9%	94.3%	90.6%	92.7%	92.4%	93.63%	93.63%						
入所者介護度平均	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	入所者介護度平均	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.06	4.08	4.08						
要支援	0	0	0	0	0	0	0	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0						
要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	要介護(1)	0	0	0	0	0	0	0	0						
要介護(2)	1	1	1	1	1	1	1	要介護(2)	1	2	2	2	2	1.8	2	2						
要介護(3)	6	6	6	6	6	7	6	要介護(3)	8	8	9	7	8	8.0	8	8						
要介護(4)	27	27	28	28	28	29	28	要介護(4)	27	25	24	22	22	23.7	22	22						
要介護(5)	15	15	15	14	12	13	14	要介護(5)	13	14	14	16	16	14.8	16	16						
合計	49	49	50	49	47	50	49	合計	49	49	49	48	48	48.3	48	48						
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	外泊日数	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0						
外出数	0	0	0	0	0	0	0	外出数	0	0	0	0	0	0	0	0.0						
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0	実習生(累計)	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0						

令和4年度 事業報告書
短期入所生活介護

介護別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
■管	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	1	1	1	2	2	2	1	2	1	2	2	0	17
要介護2	7	7	6	6	8	8	7	9	9	5	8	5	85
要介護3	0	1	0	1	1	1	1	2	2	1	1	1	13
要介護4	5	6	7	5	6	5	4	4	3	5	8	8	65
要介護5	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	7
合計	29	31	26	30	33	26	26	31	27	24	32	31	346
夜間入居	243	227	267	267	226	192	191	166	194	189	197	227	2,586
平均	8.10	7.32	8.90	8.61	7.29	6.40	6.16	5.53	6.26	6.10	7.04	7.32	7.1

介護別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
申請中	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4
要支援1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3
要支援2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
1	8	8	7	8	10	10	8	11	10	7	10	5	102
2	6	7	7	6	7	6	5	9	6	6	6	9	79
3	5	5	5	5	6	2	4	4	3	3	6	5	54
4	7	8	6	7	8	5	5	4	5	6	7	6	74
5	3	3	1	3	2	2	3	2	3	3	3	2	30
合計	29	31	26	29	33	26	26	31	27	24	32	29	346

介護別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
田辺市	24	24	21	24	25	22	21	25	24	22	27	24	283
みなべ町	3	3	3	4	4	3	3	4	3	1	4	4	39
白浜町	2	2	2	2	3	1	2	1	0	1	0	0	16
上富田町	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	5
熊野市	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	29	31	26	30	33	26	26	31	27	24	29	344

新規利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	1	0	0	2	1	1	1	0	0	1	0	7
女	4	1	0	0	2	1	2	7	1	0	5	4	27
計	4	2	0	0	4	2	3	8	1	0	6	4	34

緊急ショート	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

事業所別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
居宅	2	2	1	3	2	3	2	2	1	2	5	5	30
他事業所	27	29	25	27	30	23	24	29	26	22	27	24	313
合計	0	29	31	26	30	32	26	26	31	27	24	29	343

新規利用	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
居宅	7	7	5	10	7	9	7	11	3	5	16	16	103
他事業所	274	258	264	288	254	210	213	193	228	185	217	236	2820
合計	281	265	269	298	261	219	220	204	231	190	233	252	2923
平均	9.4	8.5	9.0	9.6	8.4	7.3	7.1	6.8	7.5	6.1	8.0	8.1	8.0

利用者別状況表(令和5年3月末現在)

①保険者別入居者数

	保険者別	住所地別
田辺市	35	35
みなべ町	7	6
白浜町	4	4
すさみ町	1	1
上富田町	1	1
計	48	48

②入居者平均年齢

	男性	女性	全体
人 数	9	39	48
平均年齢	85.0	86.1	85.9
最高年齢	94	105	
最低年齢	73	54	

②障害老人の日常生活自立度

	寝たきり度	人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	0
	A2	13
重度	B1	8
	B2	23
最重度	C1	4
	C2	0
合計		48

③痴呆性老人の日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	2
	II a	3
	II b	3
中度	III a	11
	III b	8
重度	IV	19
	M	2
合計		48

④日常生活動作介助別数

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	4	4	40	48
食事	15	13	20	48
排泄	0	18	30	48
入浴	0	8	40	48

⑤おむつ使用者状況

	人数
日中	0
夜間	8
常時	23
合計	31

令和4年度 ケアプラン委員会 報告書

山田 三恵（ケアマネジャー）

柿平 雅代（生活相談員）

鈴木 裕明

坂本 直紀

塚崎 正樹

山本 弘太郎

村上 直志

出会 秀樹

○ケアプランについて

- ・ケアプラン更新表を作成し、相談員、管理栄養士、看護職員、介護職員に提出。

ケアチェックはユニットリーダー（医療面は看護職員）に聞き取りを行った。

ユニットリーダーはユニットスタッフと話し合い介護職の意見をまとめ、委員会にて発表した。

委員会にて情報の共有をし、問題点を話し合いそれに対しての目標をたて、ケアプランを作成した。

- ・栄養ケアプランについては管理栄養士が作成した。

○書類関係

- ・ケアプラン更新表を作成し、各情報がスムーズに収集することが出来た。

- ・各利用者のケースファイルに、新プランをファイリングし各職員がプランの内容が把握出来るようにした。

○アセスメント

- ・会議の度に現状把握の為、アセスメントを実施した。新たな問題点が無いか見直しも行った。

○モニタリング

- ・ユニットリーダーが毎月月末にサービスが計画通り実施され、状況がどう変わっているか評価しケアマネジャーに報告を行った。
- ・医療面に関しては、看護職員がケアプラン更新時に評価し、ケアマネジャーに報告した。
- ・ケアプラン更新時にはサービスが実施されているか、目標は達成しているか等のモニタリングを実施した。

【反省点】

- ・状態の変化時など、プラン内容の変更が速やかに行えなかった。
- ・リーダーをはじめユニットの職員全員がケアプランを把握できていなかった。

令和 4 年度 感染委員会報告書

委員長、特養ケアマネジャー 特養相談員 施設管理栄養士 ユニットリーダー
各フロアより委員 2 名
計 7 名

感染の発生状況

季節性インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルスに関して

令和 4 年度 特養入居者様で、入居者様の季節性インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルスの発症はありませんでしたが、職員の新型コロナウイルス、季節性のインフルエンザの発症者が多数出ました。

職員の新型コロナウイルス、季節性のインフルエンザの発症時は、厚生労働省・医療機関が定められている療養期間の指示に従い、自宅待機とした。

感染が拡大中は、週に 2 回、出勤前に抗原検査を実施した。飛沫防止の為、業務中はフェイスシールドを着用した。入浴介助時もゴーグルを着用し入浴介助を行った。

食事休憩の際、車で出勤している職員はなるべく自家用車で休憩をとるようにした。休憩室で休憩をとる際、間隔をあけて黙食を徹底した。

ショートステイ入居者様で新型コロナウイルスの発症が何名か見られました。

コロナ陽性の反応があったら、ショートステイの利用を中止とした。

ショートステイ入居者様は、入居前に抗原検査を実施し、陰性の判定が出たら利用可能とする。

その他

口呼吸にて入眠している方について

夜間巡回時に時折口呼吸している方は何人もおられるが頻繁にみられる方もおられる。頻繁に見られる方については、口腔内にスプレーを噴霧して湿潤を保てるようにしている

新型コロナウイルスの為、現在、外部からの面会中止になっている。

コロナ感染症の類型が 5 月 8 日より 2 類から 5 類に変更となります。

入居者様の面会について・・・5 月 15 日～1 階ロビーで再開予定になる。

面会時に、手指消毒、検温、マスク着用の上、人数は 3 名（幼児は人数に含まない）

今まで通り、事前予約制で、面会の曜日、時間変更はなし。

但し、終末期の入居者様については居室での面会になります。面会時間は通常の面会時間と同じです。

窓口で検温、手指消毒をし外階段でベランダから居室へ入って頂きます。

階段の昇り降りが難しい場合は、エレベーター使用になります。

令和4年度の目標

感染症の発生・予防する。(インフルエンザ、ノロウイルス、新型コロナウイルス含む)

- ・ 早期に感染症の発生状況を行う。
 - ・ 職員からの持ち込み予防の声かけを続ける。
 - ・ 来所者への持ち込み予防の声かけを行う。
 - ・ 職員出勤時は、必ず通用口、エレベーター、内部階段でアルコール消毒を実施し、他の部署に菌を持ち込まないように徹底する。その後手洗い・うがい・マスク使用を徹底する。
 - ・ 職員出勤前は必ず爪切りを行う。
-
- ・ 施設内の清潔、加湿をする
 - ・ 四季で流行する感染症予防の啓発

入居者様の感染予防

毎食時前の手洗い・うがい、爪切りの励行

口呼吸の予防

夜間頻繁に口呼吸して睡眠している方は枕の位置を工夫する。それでも効果がなければ加湿（洗面台に水を張る。濡れタオルを干す、加湿器を入れる等）実施する

口呼吸で呼吸されている入居者様は毎食後番茶でうがい、口腔スプレーにて噴霧する。

新人職員への口腔ケア指導を活用

翌年度も継続して指導を受けることになった。

指導を受ける事によりブラッシング方法等、技術・技能を学ぶ。

令和4年度 教育研修委員会 報告書

委員責任者：下地 敦司

委員：施設介護支援専門員、生活相談員、各ユニットリーダー

委員会開催：毎月1回

開催時間：30分～1時間程度

○1年間の活動

- ・年間計画を元に内部研修(勉強会)を実施

○研修実施、参加実績

【内部研修(勉強会)】

- ・全体会議【人権擁護、虐待防止、労務関連(処遇改善加算、特定処遇改善加算について)など】

→ コロナウイルス感染症対策のため、全職員への資料配布と運営会議での説明をもって研修に替える

- ・高齢者虐待・身体拘束について
- ・避難訓練(日中・夜間想定)、津波想定訓練
- ・感染予防について
- ・事故予防について
- ・業務継続計画(BCP)について

【外部研修】

- ・介護施設における安全対策担当者養成研修
- ・神経難病や障害を有する方へのテクノロジーの活用について
- ・よりよい関係性を築くために～自己覚知とストレスマネジメント
- ・呼吸器がんの最新治療とつきあい方
- ・施設等における高齢者虐待防止と身体拘束廃止について

○令和4年度のまとめ

・内部研修(勉強会)については毎月計画通り行えた。研修内容に関しても研修受講スタッフ(ユニットリーダーまたは各委員会委員)がフロア会議で伝達研修を行い、他スタッフへの研修内容共有に努めた。

○令和5年度の取り組み

・運営上実施が必須となっている研修が増加しているため、実施漏れのないように計画的に取り組む。

・介護、福祉に関する知識の習得と技術の獲得を通じて、人権感覚や業務遂行能力を身につける。

- ・コロナウイルスの地域における感染状況を見ながら外部研修への参加を検討する。

令和4年度 苦情対応委員会 報告書

田辺の郷

委員責任者 柿平 雅代（生活相談員）
委員責任者補佐 山田 三恵（介護支援専門員）
委員 山本賢志郎 山本弘太郎 塚崎正樹 坂本直紀
鈴木裕明 出合秀樹（各ユニットリーダー）
委員会開催 毎月1回
開催時間 30分程度

令和4年4月～令和5年3月

苦情件数・・・1件

- ・はや1丁目（ショート） 0件
- ・はや2丁目件 0件
- ・はや3丁目件 0件
- ・はや4丁目件 0件
- ・はや5丁目件 1件
- ・はや6丁目件 0件

令和4年度のまとめ

1件の苦情がありました。コロナの為、衣替えも職員で行っていたため、確認不足、配慮不足があったものと思います。

今後の課題

- ・職員間の連携、情報共有をしっかりと行う。
- ・積極的に報告書の作成を行う。
- ・苦情を受けた際は、丁寧な対応を行う。
- ・苦情を受けた職員が、詳細な書類作成を行う。
- ・日頃から利用者、家族とコミュニケーションを図り、信頼関係を築く。

令和 4 年度広報委員会報告書

担当職員 柿平相談員、山田ケアマネジャー、山本（賢）ユニットリーダー、
塚崎ユニットリーダー、田上（尚）職員

・今年度は広報紙の発行を行わず、数か月に 1 度イベントや普段の様子の写真を手紙と一緒に送りました。

令和 4 年度 行事委員会 報告書

○行事委員会担当職員

柿平相談員、山田ケアマネジャー、山本（賢）ユニットリーダー、塚崎ユニットリーダー、田上（尚）職員

○令和 4 年度の大型行事は新型コロナウイルスの流行の為に中止となり、各ユニットにて代替の行事を行いました。

クリスマス会、花見会等は各ユニットで企画、実施を行いました。

○来年度の課題

- ・新型コロナウイルスの状況をみながら、大型行事の計画を行う。
- ・毎月のイベントレクリエーションに関しては各ユニット行事委員が主となり計画し実施する。実施後はレクリエーション報告書を作成しユニット保管する。

令和4年度 事故予防・安全対策委員会 報告書

田辺の郷 事故予防・安全対策委員会メンバー

責 任 者 : 井上章雄

責任者補佐 : (安全対策管理担当者) 山田三恵ケアマネジャー 柿平雅代相談員

委 員 : 山本弘太郎 鈴木裕明ユニットリーダー 崎口和也 池田恵美介護職員

計7名

委員会開催

毎月1回 第3木曜日

時間 30分間程度

令和4年度の件数報告

4月

ヒヤリハット・・・41件	2階・・・25件	3階・・・3件	4階・・・3件
事故・・・5件	2階・・・3件	3階・・・1件	4階・・・1件
服薬ミス・・・3件	2階・・・1件	3階・・・1件	4階・・・1件

5月

ヒヤリハット・・・21件	2階・・・13件	3階・・・5件	4階・・・3件
事故・・・3件	2階・・・0件	3階・・・2件	4階・・・1件
服薬ミス・・・1件	2階・・・1件	3階・・・0件	4階・・・0件

6月

ヒヤリハット・・・37件	2階・・・13件	3階・・・22件	4階・・・2件
事故・・・7件	2階・・・3件	3階・・・1件	4階・・・3件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

7月

ヒヤリハット・・・37件	2階・・・6件	3階・・・28件	4階・・・3件
事故・・・3件	2階・・・0件	3階・・・3件	4階・・・0件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

8月

ヒヤリハット・・・36件	2階・・・7件	3階・・・24件	4階・・・5件
事故・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件
服薬ミス・・・0件	2階・・・0件	3階・・・0件	4階・・・0件

9月

ヒヤリハット・・・20件	2階・・・6件	3階・・・11件	4階・・・3件
事故・・・1件	2階・・・1件	3階・・・0件	4階・・・0件

服薬ミス . . . 1件 2階 . . 1件 3階 . . 0件 4階 . . 0件
10月

ヒヤリハット . . . 24件 2階 . . 11件 3階 . . 5件 4階 . . 8件
事故 . . . 2件 2階 . . 0件 3階 . . 2件 4階 . . 0件
服薬ミス . . . 0件 2階 . . 0件 3階 . . 0件 4階 . . 0件

11月

ヒヤリハット . . . 16件 2階 . . 6件 3階 . . 9件 4階 . . 1件
事故 . . . 1件 2階 . . 0件 3階 . . 0件 4階 . . 1件
服薬ミス . . . 3件 2階 . . 1件 3階 . . 1件 4階 . . 1件

12月

ヒヤリハット . . . 5件 2階 . . 2件 3階 . . 2件 4階 . . 1件
事故 . . . 3件 2階 . . 2件 3階 . . 0件 4階 . . 1件
服薬ミス . . . 1件 2階 . . 1件 3階 . . 0件 4階 . . 0件

令和5年1月

ヒヤリハット . . . 39件 2階 . . 7件 3階 . . 30件 4階 . . 2件
事故 . . . 7件 2階 . . 5件 3階 . . 1件 4階 . . 1件
服薬ミス . . . 2件 2階 . . 1件 3階 . . 1件 4階 . . 0件

2月

ヒヤリハット . . . 14件 2階 . . 6件 3階 . . 7件 4階 . . 1件
事故 . . . 2件 2階 . . 1件 3階 . . 1件 4階 . . 0件
服薬ミス . . . 1件 2階 . . 0件 3階 . . 1件 4階 . . 0件

3月

ヒヤリハット . . . 21件 2階 . . 6件 3階 . . 16件 4階 . . 6件
事故 . . . 3件 2階 . . 2件 3階 . . 1件 4階 . . 0件
服薬ミス . . . 2件 2階 . . 1件 3階 . . 0件 4階 . . 1件

フロア別件数

2階 ヒヤリハット件数 . . 118件 事故件数 . . 17件 服薬ミス件数 . . 7件
3階 ヒヤリハット件数 . . 162件 事故件数 . . 12件 服薬ミス件数 . . 4件
4階 ヒヤリハット件数 . . 38件 事故件数 . . 8件 服薬ミス件数 . . 3件

令和4年度の種別別件数

ヒヤリハット件数 . . 318件 事故件数 . . 37件 服薬ミス件数 . . 14件

令和4年度のまとめ

- ・ヒヤリハットや事故が発生した際に、関係者間での対策の検討や情報共有を行い、必要に応じて安全対策部門への報告、相談、対応依頼等を行いました。
- ・報告書は比較的些細な件にいたるまで報告書として書類に残し、多職種間の情報の共有に役立てたと思います。
- ・委員会として、職員の事故予防意識、介護技術の向上となるよう、責任者と池田委員が講師となり介護技術勉強会を毎回委員会で実施し、その内容を各フロアの事故委員が所属のフロアに伝達することで、職員全員が介護能力の向上、自己の予防能力を高め、事故の減少に努めました。

今後の課題

- ・安全対策部門の下部組織として事故防止に取り組み、万一事故が発生した場合は必要な対応を迅速に行えるよう体制を整える。
- ・事故報告書・ヒヤリハット報告書は早急に提出すると共に、職員全員が把握し未然に事故を防ぐ。
- ・事故発生時には他職種と連携を図り、早急にユニット職員間で話し合える機会を設ける。
- ・業務優先にとらわれず入居者様の状態の変化により気づきが持てるよう努める。
- ・事故予防、介護技術向上のため継続して勉強会を実施する。

令和4年度 身体拘束防止委員会 報告書

田辺の郷

委員責任者 山田 三恵

委員 施設長 看護職員 生活相談員 ケアマネ 管理栄養士 介護職員

委員会開催 3ヶ月に1回

開催時間 30分程度

令和4年度のまとめ

令和4年度は身体拘束につながる可能性のものは該当ありませんでした。

身体拘束についての勉強会も年2回開催しました。

今後の課題

- ・職員間の連携、情報共有をしっかりと行う。
- ・各職員に身体拘束に対しての知識を持ってもらう。

令和 4 年度 物品委員会 報告書

委員会メンバー 3名

<委員責任者>大出ゆりあ

<責任者補佐>村上直志

<委員>上野大葵

○令和 4 年 4 月 1 日からの活動

- ・ 第 4 木曜日に委員会で集まり物品使用状況等について話し合いました。
- ・ 物品の在庫をきらさないよう、物品倉庫の確認を行い発注していました。
- ・ 各階へ物品を分配できるように取り組みました。
- ・ 各階が必要とする物品を把握し、見積もりをとりました。

○反省と対策

- ・ 今年度からは各委員メンバーが月担当で物品の発注を行いました。
各委員に発注方法や提出書類の仕様も改善し、把握しやすいようにした。
- ・ 物品の在庫状態が危うくなる事があった。
職員で都度確認し、在庫を切らさないように努めた。

令和4年度 褥瘡委員会 報告書

褥瘡予防委員会

委員長、特養ケアマネジャー、特養相談員、施設管理栄養士、ユニットリーダー
各フロアーより2名 計7名

褥瘡発生状況

施設に入居している入居者様で、現在褥瘡発症者1名おられます。
エアーマットに変更している。
継続して2時間おきに体位変換実施する。

発生の原因

発生部位は、仙骨部で、施設へ入居中に発生したもので現在処置中です。
本人様の普段の生活習慣から、車いすで長時間座って過ごされていたり、臥床時、仰臥位から動かずに眠ったりしているケースが多かった。2時間おきの体位変換を行い、適宜離床時間、臥床時間を設け褥瘡リスクを軽減している。

褥瘡発生のリスクが高そうな方について・・・

必要に応じて、マットレスを耐圧分散マット、エアーマットに変更し、リスク軽減につとめている。適宜体位変換の実施を行う。

デイサービスセンター 田辺の郷 令和4年度報告

第一号通所事業 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	8
女	5	4	3	3	3	4	3	4	4	5	4	4	46
合計	7	5	4	4	4	5	4	4	4	5	4	4	54

通所介護 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	8	8	7	8	7	7	8	9	9	10	9	9	99
女	30	28	28	26	26	25	28	29	28	27	28	28	331
合計	38	36	35	34	33	32	36	38	37	37	37	37	430

要介護度 来た人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	0	0	6	4	8	11	12	11	8	8	8	77
要支援2	29	28	19	16	16	16	11	8	16	14	16	16	205
要介護度1	59	54	44	50	44	44	62	57	57	33	60	72	636
要介護度2	106	107	101	107	87	114	119	116	127	77	120	136	1317
要介護度3	38	37	29	26	23	20	18	17	16	9	11	21	265
要介護度4	11	8	14	15	14	18	14	16	12	6	12	13	153
要介護度5	12	14	8	11	12	12	13	13	11	7	11	8	132
計	256	248	215	231	200	232	248	239	250	154	238	274	2785
男性	64	59	47	62	55	55	57	64	57	30	56	68	674
女性	192	189	168	169	145	177	191	175	193	124	182	206	2111

デイサービスセンター実績 (延べ人数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通所型サービス 1回数	男	1	0	0	4	4	4	4	2	0	0	0	0	19
	女	0	0	0	2	0	4	7	10	11	8	8	8	58
通所型サービス 2回数	男	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	女	25	24	15	16	16	16	11	8	16	14	16	16	193
通所介護Ⅰ11	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	6
通所介護Ⅰ12	男	8	9	5	8	8	8	9	9	9	4	8	9	94
	女	0	0	0	0	0	6	0	0	0	2	1	2	11

通所介護 I 13	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
通所介護 I 14	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
通所介護 I 15	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
通所介護 I 21	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4	
通所介護 I 22	男	9	8	9	9	6	8	9	8	5	3	8	90	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	
通所介護 I 23	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	女	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	
通所介護 I 24	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	3	
通所介護 I 25	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
通所介護 I 31	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	4	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	10	
通所介護 I 32	男	0	3	4	4	4	4	4	5	4	2	4	42	
	女	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
通所介護 I 33	男	4	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
通所介護 I 34	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	4	2	0	0	0	0	0	1	1	8	
通所介護 I 35	男	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	女	4	5	0	2	4	3	5	4	4	2	3	36	
通所介護 I 41	男	3	3	0	0	0	0	2	4	4	1	4	31	
	女	50	48	44	52	44	42	59	54	54	32	55	591	
通所介護 I 42	男	27	21	17	19	14	19	17	17	20	16	24	238	
	女	62	66	65	68	60	69	79	78	87	50	75	845	
通所介護 I 43	男	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	6	
	女	34	33	28	25	18	20	18	13	10	8	11	237	
通所介護 I 44	男	0	0	0	3	4	4	4	5	2	0	0	22	
	女	11	8	9	8	8	13	9	9	10	6	10	111	
通所介護 I 45	男	6	9	8	9	8	8	8	9	7	3	8	91	
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
計		256	248	215	231	200	232	248	239	250	154	238	274	2785

勉強会・研修
4月 人権擁護、虐待防止について
5月
6月
7月 感染予防
8月
9月
10月
11月 日中想定避難訓練
12月
1月 事故時(緊急時)の対応について
2月
3月 津波想定避難訓練

4月
5月 母の日(プレゼント)
6月
7月 セタ会
8月
9月 敬老会
10月
11月
12月 クリスマス会(ケーキ、プレゼント)
1月
2月 節分豆まき
3月 桜お花見(コロナウイルス感染予防の為中止)

【介護保険者】

訪問回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護1	4	5	5	6	5	4	4	4	4	4	4	5	54
身体介護1・2人													0
身体介護1・夜朝													0
身体介護1・深夜													0
身体介護2	2	2					3	5	5	2			19
身体介護2・夜朝													0
身体介護2・2人	5	3	4	4	3	6	4	4	5	4	4	5	51
身体介護3													0
身体介護3・夜朝													0
身体介護4													0
身体介護4・夜朝													0
身体介護5													0
身体介護6													0
身体介護7													0
身体介護8													0
身体介護9													0
身体介護9・2人													0
平均	11	10	9	10	8	10	11	13	14	10	8	10	124

【訪問時間】

介護保険者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問型サービス	35	37	37	35	27	37	41	38	46	42	36	40	451
身体介護	9	7.5	6.5	7	5.5	8	9	11	12	8	6	7.5	97.0
生活援助	65.5	53.75	52.75	36.5	26.75	44.25	33.75	42.5	34	35.75	40	51	516.5
複合介護	153.75	162.8	177.5	154.8	117.5	141.8	171.3	169.3	181	158.8	135.3	154.8	1878.3
合計	263.3	261.0	273.8	233.3	176.8	231.0	255.0	260.8	273.0	244.5	217.3	253.3	2942.8

訪問時間総計	263.3	261.0	273.8	233.3	176.8	231.0	255.0	260.8	273.0	244.5	217.3	253.3	2942.8
前年度実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【利用者状況】

利用者数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険者	34	33	34	32	31	32	33	33	31	30	30	29	382
実費													0
													0
計	34	33	34	32	31	32	33	33	31	30	30	29	382

利用者終了内容	入所	死亡	中止	他事業所	転居		合計
	11	3	5	3	2		24

利用者男女対比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
男女計	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4	3	50
	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	5	4	62
要介護者	6	5	5	5	3	3	3	4	3	3	3	3	46
男女計	23	23	24	22	23	24	25	23	22	21	22	22	274
	29	28	29	27	26	27	28	27	25	24	25	25	320

令和元年度 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4	4	51
介護度1	16	16	15	14	14	15	12	12	10	10	8	8	150
介護度2	9	8	8	8	8	8	9	9	10	10	12	11	110
介護度3	2	2	3	3	3	3	3	1	1	0	0	0	21
介護度4	2	2	3	2	1	1	4	5	4	3	4	4	35
介護度5										1	1	1	3
合計	34	33	34	32	31	32	33	33	31	30	30	29	382

【令和4年度ヘルパー会議報告】

第1回	4月27日	施設内勉強会	西谷 飛田 栗原 谷
第2回	6月17日	支援区分(身体介護、生活援助)	岡本 西谷 谷
第3回	8月27日	熱中症対策	岡本 西谷 栗原 野口 谷
第4回	10月21日	尿路感染症	岡本 西谷 栗原 野口 谷
第5回	12月10日	コロナ対策	西谷 野口 谷 栗原
第6回	1月17日	緊急時の対応	野口 西谷 栗原 谷

令和4年度 事業報告書
居宅介護支援事業所 田辺の郷

実施業務

1、ケアマネジメント業務

令和4年	居宅サービス計画数				
	通所介護(件)		訪問介護(件)		福祉用具貸与(件)
	全 体	法 人	全 体	法 人	
4月	26	12	19	2	18
5月	23	11	16	2	18
6月	23	9	15	2	19
7月	22	8	13	2	19
8月	24	9	15	2	23
9月	23	9	16	2	22
10月	27	11	15	2	23
11月	28	12	16	2	24
12月	27	12	14	2	24
令和5年1月	26	12	15	1	26
2月	28	11	17	1	26
3月	29	11	17	1	24
	306	127	188	21	266

関わりのあった事業所（施設内サービス、営業活動除く）

病院、診療所：8 件 地域包括支援センター： 1 件 保険者：市町村 田辺市、白浜町、みなべ町

訪問介護事業所：8件 通所介護：11件 福祉用具：4件 訪問看護：6件 薬局：2件

（同一施設内サービス 訪問介護 通所介護 短期入所生活介護）

2、レセ発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅在籍ケース	37	36	38	35	38	39	41	42	40	41	41	41	469
レセ発生(介護1・2)	19	17	17	15	20	19	21	22	17	17	18	18	220
レセ発生(介護3・4・5)	10	10	10	11	11	12	12	12	14	15	15	15	147
レセ発生(介護予防)	5	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	74
レセ発生合計	34	33	33	32	37	37	39	40	37	39	40	40	441
月遅れ	1	1	1	0	1	0	1	0	1	2	1	1	10
入院等休止	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
新規契約者	0	0	1	1	4	1	2	1	1	2	0	0	13

3、単位数

令和4年	田辺の郷			白浜日置の郷	
	通所介護	訪問介護	短期入所	通所介護	短期入所
4月	46,277	4,047	5,938	8,113	0
5月	50,289	3,823	5,938	8,113	0
6月	39,451	4,230	3,938	8,113	0
7月	42,574	3,394	7,508	5,629	0
8月	41,187	2,924	6,026	4,387	0
9月	41,936	4,272	7,638	7,478	0
10月	45,675	3,760	6,026	8,113	0
11月	38,390	4,314	12,420	8,113	0
12月	43,916	2,583	2,714	0	0
令和5年1月	26,285	1,722	4,142	0	0
2月	26,285	1,722	4,142	0	0
3月	39,470	2,025	7,508	0	0
	488,063	39,094	77,446	58,059	0

4、研修参加

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修参加		1						3		1	1	1	7

ケアハウス

白浜椿の郷

令和4年度事業報告書

ケアハウス白浜椿の郷

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

・入退居及び外泊入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
在籍者数(月末)	50	50	49	48	46	47	47	49	49	48	48	47	578
新規入居者数	2	0	0	0	0	2	1	2	0	1	3	1	12
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退居者	他施設入居	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	4
	病院入院	0	0	1	1	1	0	1	0	0	2	0	6
	家族宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	死亡退居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

・認定区分別(各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自 立	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4
要支援 1	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1
要支援 2	4	4	4	4	4	6	7	8	8	8	8	7
要介護 1	19	18	16	17	15	15	12	12	13	11	9	9
要介護 2	14	14	15	13	13	13	12	13	13	14	16	18
要介護 3	4	4	5	5	6	6	6	6	5	5	4	4
要介護 4	2	3	3	3	2	2	5	5	5	4	4	3
要介護 5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	50	50	49	48	46	47	47	49	49	48	48	47

・法人内サービス利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
訪問介護	263	257	270	227	171	227	253	257	266	242	217	257	2907
体験宿泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1.入居者平均年齢

	男 性	女 性	全 体
人 数	6	41	47
平均年齢	75.7	88.3	86.7
最高年齢	94	100	
最低年齢	63	64	

3.住所別入居者数 (R5.3.30)

住所地別	
白浜町	3
白浜町椿	11
白浜町大古	1
白浜町日置	6
白浜町市鹿野	1
白浜町堅田	6
白浜町富田	1
白浜町その他	3
田辺市	4
上富田町	2
串本町	3
すさみ町	1
みなべ町	1
和歌山市	1
静岡県	1
兵庫県	1
大阪府	1
合 計	47

2.保険者別入居者数 (R5.3.30)

保険者別	
白浜町	19
上富田町	2
串本町	4
和歌山市	1
新宮市	1
田辺市	5
みなべ町	1
大阪市	1
その他	9
自立(介護保険適用外)	4
合 計	47

4.日常生活動作介助別人数 (R5.3.30)

	自立	一部介助	全介助	合計
移動	41	3	3	47
食事	42	5	0	47
排泄	32	12	3	47
入浴	2	42	3	47

(総括)

①入居者の快適環境

- ・コロナウィルス対策に関して、南和歌山医療センターの感染対策の医師に訪問していただき研修を行った。
- ・コロナウィルスの拡大を防ぐ為に、空調関係の調整を随時行った。
- ・毎日、耳にする施設内の音楽を入居者の親しみやすい音楽に変更した。
- ・レジオネラ対策として、週1回の水抜きと浴槽内の掃除。1日2回の残留塩素の測定を実施。(継続)

②入居者が満足する食事提供

- ・身体状況によって調理形態(一口大、刻み)を変えている。
- ・美味しく食事をして頂けるように口腔内の清潔、歯科受診なども積極的に声掛けを行った。
- ・目で見て、鼻で匂い、口で味わうを基本に置き食事を提供した。
- ・体調の変化により当日でも食事形態を変えて提供した。
- ・透析患者、腎機能低下などの方への減塩食の提供。
- ・行事食やお誕生日メニュー等の工夫をしている。

③入居者の健康で安全な生活

- ・食堂へ移動時の見守り、声掛け。
- ・病院受診の付き添い、Dr.の説明付き添い、その後、受診報告書作成。必要ならば家族に提示。
- ・病院の往診の実施
- ・入院時の対応 遠方の家族様が多い為、洗濯物などの手配や様子を見に顔を出し入院生活に不安が無いように配慮した。

④入居者への各種サービス

- ・月1回の理容店の訪問。
- ・週1回のカラオケの時間を実施した。
- ・月に1度のおやつ作りを実施。
- ・週1回パンの販売、移動スーパー、ヤクルト販売を行っている。

⑤入居者とスタッフの関係性

- ・遠慮なく話せる雰囲気作り。
- ・スタッフからの挨拶、何気ない声掛けなど。
- ・事務所の堅苦しさをなくし、オープンに出入りできるように心がけた。

⑥行事

	楽しむ行事
4月	※
5月	※
6月	バーベキュー
7月	流しそうめん
8月	※
9月	※
10月	※
11月	運動会
12月	クリスマス会
1月	鏡開き・餅つき・カラオケ大会
2月	節分劇
3月	お茶会

※コロナの為、行事中止

	手作り行事
4月	みたらし団子
5月	フルーツあんみつ
6月	冷やしぜんざい
7月	※
8月	※
9月	たこ焼き
10月	さつまいも餅・かぼちゃ茶巾
11月	くず餅
12月	※
1月	たこ焼き
2月	いちごパフェ
3月	※

※コロナの為、行事中止

網島の郷

- ・ 短期入所生活介護 網島の郷
- ・ デイサービスセンター網島の郷

特別養護老人ホーム 網島の郷 令和4年度 報告書

令和4年度(R4年4月1日～R4年9月30日)

特別養護老人ホーム	定員：特別養護老人ホーム90名、短期入所10名						
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	4～9月平均
定 数	2700	2790	2700	2790	2790	2700	2745
入居実数月累計	2338	2372	2293	2342	2313	2194	2308.7
在籍者1日平均	75.4	79.1	74.0	75.5	82.6	70.8	76.2
入院差し引く実数	2209	2246	2164	2167	2120	2039	2157.5
入院者差し引く実数	71.3	74.9	69.8	69.9	75.7	65.8	71.2
1日当り実質空床率	18.2%	19.5%	19.9%	22.3%	24.0%	24.5%	21.39%
新規入所者数	0	2	1	0	1	0	0.67
退所者(内死亡者)	3(3)	2(0)	1(0)	2(0)	2(1)	2(0)	2.17
1日当り入院者平均	4.30	4.06	4.30	5.65	6.23	5.17	4.95
入院 日数1ヵ月累計	129	126	129	175	193	155	151.2
平均入所率	86.6%	85.0%	84.9%	83.9%	82.9%	81.3%	84.1%
短期入所者延べ人数	183	207	220	243	244	193	221.4
特養＋短期 定数	3000	3100	3000	3100	3100	3000	3050.0
月当り在籍者実数	2392	2453	2384	2410	2364	2232	2372.5
1日当実質在籍者数	79.7	81.8	79.5	80.3	78.8	74.4	79.1
稼働率(特＋短)	79.7%	79.1%	79.5%	77.7%	76.3%	74.4%	77.8%
入所者介護度平均	3.58	3.54	3.54	3.53	3.53	3.52	3.54
要介護 (1)	1	1	1	1	1	1	1.0
要介護 (2)	2	2	2	2	2	2	2.0
要介護 (3)	37	38	37	37	37	37	37.2
要介護 (4)	34	34	34	34	35	33	34.0
要介護 (5)	9	7	7	6	6	6	6.8
合 計	83	82	81	80	81	79	81.0
外泊日数	0	0	0	0	0	0	0.0
外出数	0	0	0	0	0	0	0.0
通院者数	39	23	30	35	34	25	31.00
面会者数	21	30	27	29	22	32	26.8
実習生(累計)	0	0	0	0	0	0	0.0

令和4年度(R4年10月1日—R5年3月31日)

[illegible]

②障害高齢者日常生活自立度

寝たきり度		人数
軽度	J1	0
	J2	0
中度	A1	0
	A2	3
重度	B1	29
	B2	31
最重度	C1	2
	C2	9
合計		74

③認知症高齢者日常生活自立度

	レベル	人数
軽度	I	0
	IIa	0
	IIb	9
中度	IIIa	57
	IIIb	0
	IV	8
重度	M	0
合計		74

④日常生活動作介助別数

	自立	部分介助	全介助	合計
移動	38	7	29	74
食事	51	8	15	74
排泄	19	19	36	74
入浴	4	36	34	74

⑤オムツ使用者状況

	人数
常時	26
夜間のみ	46
合計	72

⑥在所期間の状況

	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上	平均在所
男	4人	1人	3人	0人	0人	0人	2.1年
女	10人	21人	35人	0人	0人	0人	2.8年
計	14人	22人	38人	0人	0人	0人	2.7年

⑦日常生活の状況調査

区 分				実数	割合	区 分				実数	割合
移動 食事 入浴 着脱 衣 じよくそう者数	自立	独立歩行		7人	9.5%	排泄 間 夜 間	便所	自己で可能		20人	27.0%
		杖等の歩行補助器使用		6人	8.1%			一部介助		20人	27.0%
		車椅子使用		30人	40.5%			全部介助		8人	10.8%
	要介助			31人	41.9%		ポータブル便器	自己で可能		1人	1.4%
		自己で可能		51人	68.9%			一部介助		人	0.0%
		一部介助		8人	10.8%			全部介助		人	0.0%
	全部介助			15人	20.3%		おむつ使用			30人	40.5%
		自己で可能		4人	5.4%		便所	自己で可能		16人	21.6%
		一部介助		38人	51.4%			一部介助		4人	5.4%
		全部介助		32人	43.2%			全部介助		1人	1.4%
認知症	重度	自己で可能		9人	12.2%	排泄 間 夜 間	ポータブル便器	自己で可能		2人	2.7%
		一部介助		35人	47.3%			一部介助		人	0.0%
		全部介助		30人	40.5%			全部介助		人	0.0%
	じよくそう者数			3人	4.1%		おむつ使用			51人	68.9%
認知症	中度			8人	10.8%		トイレ誘導実施者数			22人	29.7%
				57人	77.0%						
				9人	12.2%						

令和4年度 事業報告書

短期入所生活介護 網島の郷

1. 介護度別利用者数 (延べ)

介護度別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護1	男	0	7	4	1	0	0	0	0	2	6	5	4	29
	女	15	9	19	18	14	16	9	20	15	9	12	14	170
要介護2	男	15	22	22	23	46	25	0	0	0	0	7	0	160
	女	4	8	10	44	57	46	34	25	28	25	28	31	340
要介護3	男	17	15	8	6	6	4	22	17	10	0	37	3	145
	女	22	22	18	15	15	24	30	27	22	28	38	30	291
要介護4	男	18	28	43	67	66	41	50	4	4	13	16	6	356
	女	78	80	84	60	41	32	22	25	22	30	33	29	536
要介護5	男	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	女	14	18	13	14	8	10	8	8	8	8	5	10	124
合計		183	213	221	248	253	198	175	128	111	119	181	127	2157
夜間入数		146	170	181	214	217	158	140	95	89	88	148	101	1747
平均		6.1	6.9	7.4	8.0	8.2	6.6	5.6	4.3	3.6	3.8	6.5	4.1	5.9

2. 保険者別利用者数

保険者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市	181	209	212	248	253	196	167	126	105	107	166	121	2091
寝屋川市			9										9
くすのき広域連合							4		4	10	6	6	30
大和高田市	2	4				2		2	2	2	6		20
吹田市											3		3
奈良市							4						4
合計	183	213	221	248	253	198	175	128	111	119	181	127	2157

新規利用		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	4	2	5	1	1	0	1	0	1	1	1	0	17
	女	0	1	1	3	1	2	2	1	0	1	1	1	14
計		4	3	6	4	2	2	3	1	1	2	2	1	31

緊急ショート		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

年齢層		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
60以下	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
61～65	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
66～70	男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
71～75	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11
76～80	男	3	2	2	2	2	2	3	1	2	2	3	1	25
	女	0	0	0	0	0	0	2	1	1	2	2	2	10
81～85	男	0	0	2	2	2	1	2	1	0	0	0	0	10
	女	3	3	3	3	2	3	3	2	3	3	2	1	31
86～90	男	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	女	8	11	9	9	6	9	3	6	3	3	4	3	74
91～95	男	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	7
	女	5	3	3	3	3	4	5	7	4	5	5	5	52
96以上	男	1	1	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	7
	女	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	5
合計		24	25	26	24	20	23	21	20	15	17	22	15	252

3. 地域別利用者数

住所地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市 都島区	9	10	7	10	6	8	6	7	2	5	12	9	91
大阪市 北区	7	8	8	6	6	7	8	7	7	4	3	2	73
大阪市 中央区	4	2	5	3	4	3	3	3	2	4	4	2	39
大阪市 旭区			1										1
大阪市 福島区	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	1	21
大阪市 城東区		1				3							4
大阪市 東成区					1								1
大阪市 此花区	1	1	1	2	1	1	1						8
大阪市 東淀川区			1	1									2
その他	1	1	1			0	1	1	2	2	2	1	12
合計	24	25	26	24	20	23	21	20	15	17	22	15	252

事業所別延べ利用人数詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
あいあい			2										2
あかり				5	15	10	11						41
アリスケア					13								13
あったかい手	4	4	4	4	4	4	4	4	7	4	6	8	57
あまねケアプランセンター	8	2	7	6	5	6	7	4	6	5			56
アルカンシエル東成					6								6
アンポートケアプランセンター	7	9	7	9	9	8	8	8	7	9	8	8	97
エバーグリーンれんげ							4		4	10	6	6	30
おおみち		4				12							16
おかだ										3	6	6	15
皆輪ケアプランセンター		5											5
からまつ			9										9
グッドライフケア大阪北	17	11	10	7	10	10	10	10	20	2	25		132
ケア21 都島				14	2								16
ケア21 福島	3	3	5	5									16
ケア21中央			2		2			2					6
ケア21 北	2	2		2		2	2	2	4	7	9	2	34
ケア21 しぎの						2							2
コスモ							2	2	2	2	2	2	12
秋桜会			3										3
さくしあ	14	14	26	45	40	20	12	8	10	12	13	14	228
サンアドバンスケアプランセンター	7						3						10
湊風大阪	28	38	32	22	17	16	18	17	10				198
スマイル	4	4	4	5	6	5				3	10		41
青都荘ケアプランセンター	10	10	16	32	26	4	10	3			9		120
つくも											3		3
つむぎ				5		5		5	3	5		6	29
とんとん			4	1									5
なにわ保健生協		4											4
ハート介護					2		5	7		18	19	22	73
バリー	8	15											23
藤 ミレニウム	15	29	30	31	30	30	31	4					200
フレンズ		3	5			4	6	8			10	3	39
法円坂ケアプランセンター	38	42	36	34	53	40	30	23	23	23	27	23	392
ほんわり	6	6	6	6		8		8			10	6	56
ますや	2												2
ユーアイ	10	8	14	15	13	12	12	13	15	16	19	21	168
合計	183	213	222	248	253	198	175	128	111	119	182	127	2159

4. エリア別 居宅支援事業所

住所地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(件)
大阪市 都島区	7	9	9	8	5	7	7	7	1	3	9	5	77
大阪市 北区	7	7	9	9	8	7	8	7	8	8	8	6	92
大阪市 東成区	0			0	1								1
大阪市 中央区	6	5	5	3	4	3	3	4	3	3	3	2	44
大阪市 城東区	2	2	0	1		4		1	1	1		1	13
東淀川区			1										1
大阪市 福島区	2	2	2	3	2	2	2	1	1	1			18
その他							1		1	1	2	1	6
合計	24	25	26	24	20	23	21	20	15	17	22	15	252

令和4年度 デイサービスセンター網島の郷 事業報告書

【 令和4年度 デイサービスセンター網島の郷 実績報告(介護保険) 】

介護保険 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	10	12	13	15	15	15	15	15	15	15	14	14	168
女 性	22	21	19	24	26	27	27	23	22	21	21	22	275
合 計	32	33	32	39	41	42	42	38	37	36	35	36	443

要介護度別 登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
要介護度 1	8	7	6	11	11	12	11	11	11	9	8	8	113
要介護度 2	10	10	10	11	12	12	13	10	11	11	12	12	134
要介護度 3	9	9	9	9	9	9	9	7	7	8	8	9	102
要介護度 4	3	5	6	7	7	7	7	8	6	6	6	6	74
要介護度 5	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	20
合 計	32	33	32	39	41	42	42	38	37	36	35	36	443

要介護度別 利用実績(延べ)

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
通所介護 I 21・時減									1				1
通所介護 I 22・時減													0
通所介護 I 23・時減	1				1								2
通所介護 I 11	43	44	39	55	65	71	68	73	64	50	40	56	668
通所介護 I 12	73	68	69	62	76	70	49	44	50	48	58	66	733
通所介護 I 13	35	41	38	39	28	44	41	47	42	35	40	48	478
通所介護 I 14	22	29	30	28	43	42	36	52	39	30	31	39	421
通所介護 I 15	9	8	7	8	9	7	8	8	7	5	8	8	92
合 計	183	190	183	192	222	234	202	224	203	168	177	217	2395
営業日数	21	22	22	21	23	22	21	22	22	20	20	23	259
利用平均	8.7	8.6	8.3	9.1	9.7	10.6	9.6	10.2	9.2	8.4	8.9	9.4	9.2

【 令和4年度 デイサービスセンター網島の郷 大阪市介護予防・日常生活支援総合事業 実績報告 】

総合事業 利用登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
男 性	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	2	2	35
女 性	16	15	16	16	18	17	18	20	21	20	20	17	214
合 計	20	19	20	20	21	20	21	22	23	22	22	19	249

○ 大阪市介護予防型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	7	7	8	9	10	10	10	10	10	10	9	7	107
要支援2	13	12	12	11	11	10	11	12	13	12	13	12	142
合 計	20	19	20	20	21	20	21	22	23	22	22	19	249

○ 大阪市短時間型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大阪市介護予防・日常生活支援総合事業 利用実績(延べ)

○ 大阪市介護予防型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	30	28	32	26	30	38	38	31	25	22	27	22	349
要支援2	78	77	80	64	76	64	59	67	82	71	71	86	875
合 計	108	105	112	90	106	102	97	98	107	93	98	108	1224
営業日数	21	22	22	21	23	22	21	22	22	20	20	23	259
利用平均	5.1	4.8	5.1	4.3	4.6	4.6	4.6	4.5	4.9	4.7	4.9	4.7	4.7

○ 大阪市短時間型通所サービス

サービス内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
事業対象者													0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業日数													0
利用平均													

介護保険 + 総合事業 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実利用者数(人)	47	48	49	54	55	60	55	54	53	48	50	51
1日平均 利用者数(人)	13.9	13.4	13.4	13.4	14.3	15.3	14.2	14.6	14.1	13.1	13.8	14.1
定員に対する 稼働率(%)	36%	35%	35%	35%	38%	40%	37%	39%	37%	34%	36%	37%

プライムガ ーデنز高 円寺

- ・短期入所生活介護 プライムガーデンズ高円寺
- ・高円寺わくわく保育園

令和 4 年度

特別養護老人ホーム プライムガーデンズ高円寺

事業報告書

【特別養護老人ホーム】

【短期入所生活介護】

【高円寺わくわく保育園】

特別養護老人ホーム プライムガーデンズ高円寺

令和4年度事業報告書

【総括】

開設から3年目を迎える中、入居者が10月に特養84名で満床となり、ショートを含わせて令和5年3月度に稼働率が99.1%となりました。

新型コロナウイルスの感染症拡大により、新規入居中請者数が年度半ば頃より大きく減少してきており、コロナ発生により併せてショートステイの利用者数が大きく減少いたしました。

コロナウイルス感染症の発症が、7月入居者12名、職員3名、11月入居者13名、職員2名、3月入居者25名、職員6名発生したことから、保健所から協力を得て17名の入居者を病院もしくは療養施設に搬送することになりました。その後は終息し落ち着いた状況にはなっていますが、新規入居者のPCR検査、抗原検査は引き続きおこなわれています。家族面会についてもガラス越し面会を継続しており、引き続き感染対策の徹底を図っております。

職員の状況については以前より介護・看護共に確保が難しい状況ではありましたが、外国人介護職員の採用が進み、経験のある職員が即戦力として活躍してくれています。

【入居者の状況】

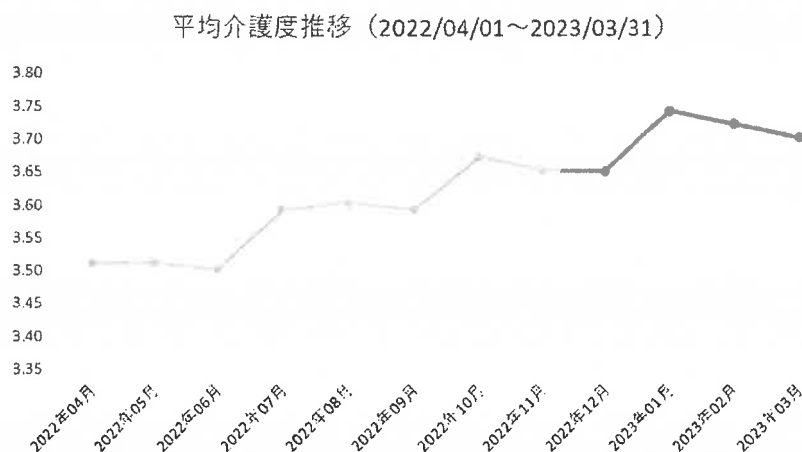
平均年齢 全体 88歳（男性84歳、女性89歳） 最高年齢 101歳

最高年齢 男性94歳 女性101歳

最低年齢 男性70歳 女性62歳

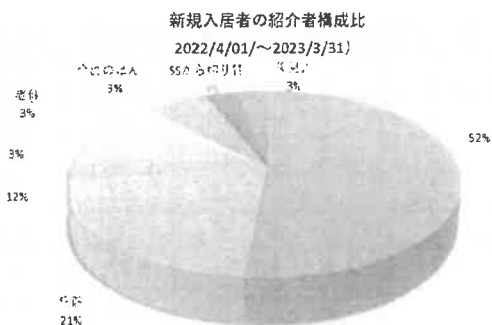
① 【平均介護度】

	平均介護度
2022年04月	3.51
2022年05月	3.51
2022年06月	3.50
2022年07月	3.59
2022年08月	3.60
2022年09月	3.59
2022年10月	3.67
2022年11月	3.65
2022年12月	3.65
2023年01月	3.74
2023年02月	3.72
2023年03月	3.70
合計	3.62



② 【新規入居者数】

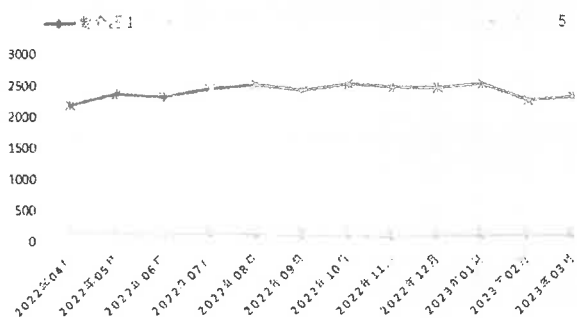
紹介者	人数
ご家族	17
病院	7
ケアサービス	4
グループホーム	1
老健	1
介護のほんね	1
SSから切り替え	1
後見人	1
合 計	33



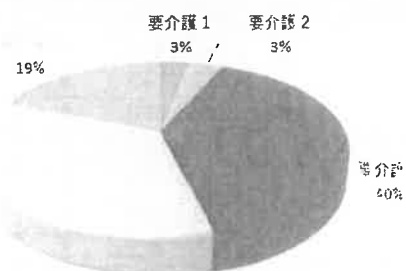
③ 【延べ人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2022年04月	120	45	923	740	356	2,184
2022年05月	93	62	988	806	409	2,358
2022年06月	90	75	947	802	390	2,304
2022年07月	93	93	995	823	424	2,428
2022年08月	84	93	1,006	880	422	2,485
2022年09月	60	90	974	854	420	2,398
2022年10月	62	93	1,019	849	477	2,500
2022年11月	30	90	990	843	503	2,456
2022年12月	62	93	940	879	467	2,441
2023年01月	62	93	927	880	543	2,505
2023年02月	56	84	812	775	517	2,244
2023年03月	62	93	816	801	516	2,288
合 計	874	1,004	11,337	9,932	5,444	28,591

要介護度月別延べ人数推移
(2022/04/01～2023/03/31)

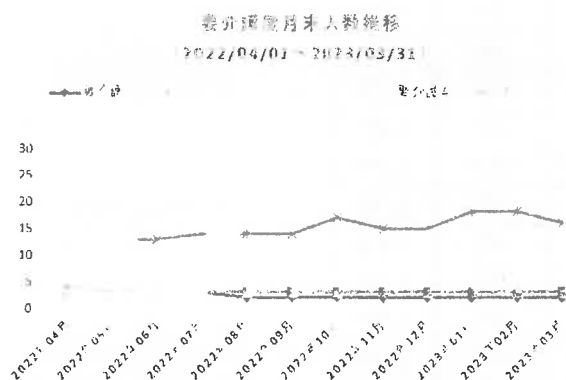


年間要介護度別延べ人数構成比
(2022/04/01～2023/03/31)

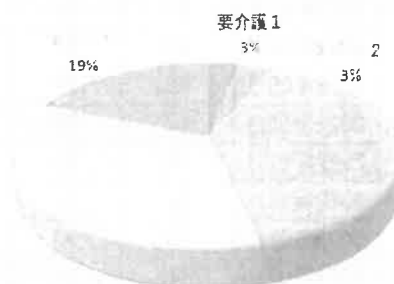


④ 【月末人数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2022年04月	4	2	32	25	12	75
2022年05月	3	2	31	26	13	75
2022年06月	3	3	32	26	13	77
2022年07月	3	3	33	27	14	80
2022年08月	2	3	32	30	14	81
2022年09月	2	3	33	27	14	79
2022年10月	2	3	33	28	17	83
2022年11月	2	3	33	29	15	82
2022年12月	2	3	30	29	15	79
2023年01月	2	3	30	28	18	81
2023年02月	2	3	29	29	18	81
2023年03月	2	3	28	26	16	75
合 計	29	34	376	330	179	948

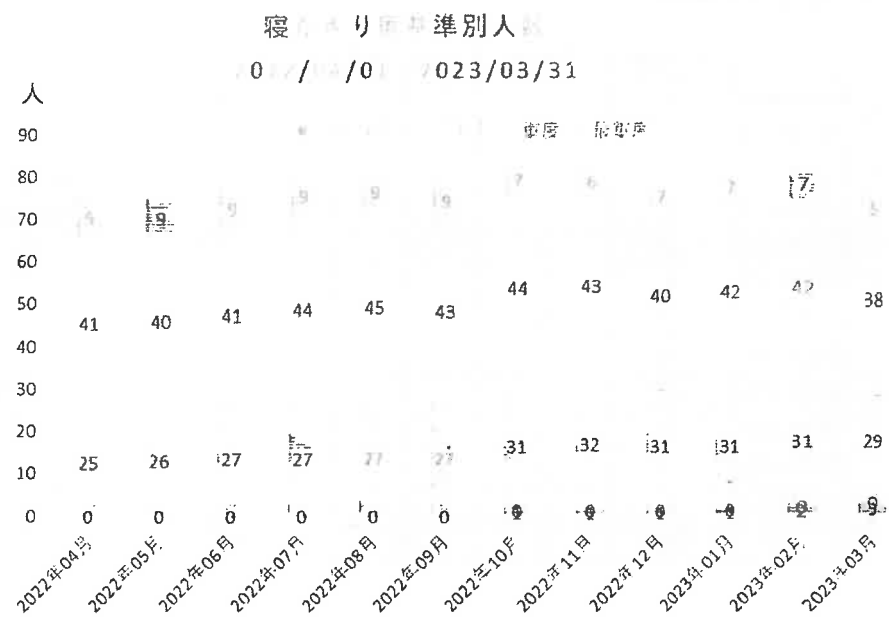


要介護度別年度末人数構成比
(2022/04/01～2023/03/31)



⑤ 【寝たきり度基準】

	正常	ランクJ (自立)	ランクA (要介護1 要介護2)	ランクB (要介護3)	ランクC (要介護4 要介護5)	合計
2022年04月	0	0	25	41	9	75
2022年05月	0	0	26	40	9	75
2022年06月	0	0	27	41	9	77
2022年07月	0	0	27	44	9	80
2022年08月	0	0	27	45	9	81
2022年09月	0	0	27	43	9	79
2022年10月	1	0	31	44	7	83
2022年11月	1	0	31	43	6	82
2022年12月	1	0	31	40	7	79
2023年01月	1	0	31	42	7	81
2023年02月	2	0	31	42	7	82
2023年3月	3	0	29	38	5	75



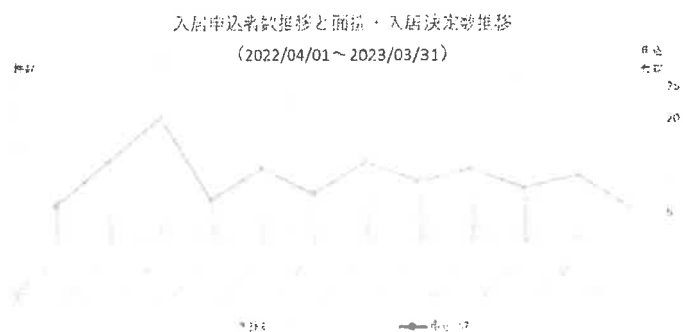
⑥ 【認知症高齢者の生活自立度】

	正常	ランクⅠ	ランクⅡ	ランクⅢ	ランクⅣ	ランクⅤ	合計
2022年04月	0	1	58	15	1	0	75
2022年05月	0	1	60	13	1	0	75
2022年06月	0	1	62	13	1	0	77
2022年07月	0	1	63	15	1	0	80
2022年08月	0	1	63	16	1	0	81
2022年09月	0	1	62	15	1	0	79
2022年10月	0	8	58	16	1	0	83
2022年11月	0	8	58	15	1	0	82
2022年12月	0	8	54	16	1	0	79
2023年01月	0	8	56	16	1	0	81
2023年02月	1	8	56	16	1	0	82
2023年03月	2	8	51	13	1	0	75



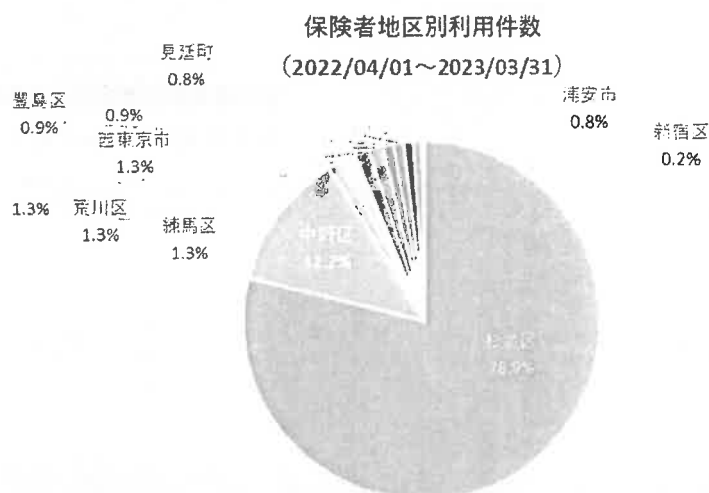
⑦ 【入居者待機者数】

	申込総数	面接数	入居決定者数
2022年04月	6	7	3
2022年05月	13	6	2
2022年06月	20	5	2
2022年07月	7	4	4
2022年08月	12	2	2
2022年09月	8	9	4
2022年10月	13	6	3
2022年11月	10	6	3
2022年12月	12	5	3
2023年01月	9	6	3
2023年02月	11	3	1
2023年03月	6	0	0
合 計	127	59	30



⑧ 【保険者別利用件数】

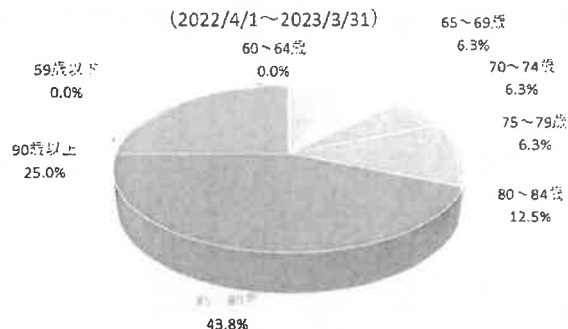
	杉並区	中野区	練馬区	荒川区	三鷹市	西東京市	豊島区	大田区	見延町	浦安市	新宿区	合計
2022年04月	58	11	1	1	1	1	1	0	1	0	0	75
2022年05月	60	9	1	1	1	1	1	0	1	0	0	75
2022年06月	61	9	1	1	1	1	1	0	1	1	0	77
2022年07月	63	9	1	1	1	1	1	1	1	1	0	80
2022年08月	64	9	1	1	1	1	1	1	1	1	0	81
2022年09月	63	8	1	1	1	1	1	1	1	1	0	79
2022年10月	66	9	1	1	1	1	1	1	1	1	0	83
2022年11月	65	9	1	1	1	1	1	1	1	1	0	82
2022年12月	62	10	1	1	1	1	1	1	0	1	0	79
2023年01月	64	11	1	1	1	1	0	1	0	1	0	81
2023年02月	64	11	1	1	1	1	0	1	0	0	1	80
2023年03月	58	11	1	1	1	1	0	1	0	0	1	74
合 計	748	116	12	12	12	12	9	9	8	8	2	946



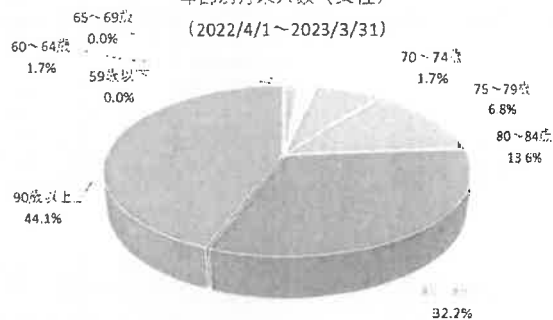
【年齢別月末人数】

		59歳以下	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計
2022年04月	男性			1	1	1	2	7	4	16
	女性		1	0	1	4	8	19	26	59
	合計		1	1	2	5	10	26	30	75
2022年05月	男性			1	1	1	2	7	3	15
	女性		1	1	1	4	8	19	26	60
	合計		1	2	2	5	10	26	29	75
2022年06月	男性			1	1	1	2	7	3	15
	女性		1	1	1	4	8	18	29	62
	合計		1	2	2	5	10	25	32	77
2022年07月	男性			1	1	1	2	8	3	16
	女性		1	1	1	4	8	19	30	64
	合計		1	2	2	5	10	27	33	80
2022年08月	男性			1	1	1	2	6	3	14
	女性		1	1	1	3	9	20	32	67
	合計		1	2	2	4	11	26	35	81
2022年09月	男性			1	1	1	2	6	3	14
	女性		1	1	1	3	8	19	32	65
	合計		1	2	2	4	10	25	35	79
2022年10月	男性			1	1	1	3	6	3	15
	女性		1	1	1	3	9	18	35	68
	合計		1	2	2	4	12	24	38	83
2022年11月	男性			0	2	1	3	6	3	15
	女性		1	1	1	3	8	19	34	67
	合計		1	1	3	4	11	25	37	82
2022年12月	男性				3	1	3	6	2	15
	女性		1	1	1	3	8	18	32	64
	合計		1	1	4	4	11	24	34	79
2023年01月	男性				3	1	3	6	4	17
	女性		1	1	1	3	8	18	32	64
	合計		1	1	4	4	11	24	36	81
2023年02月	男性				3	1	3	6	4	17
	女性		1	1	1	3	8	19	31	64
	合計		1	1	4	4	11	25	35	81
2023年03月	男性				3	0	2	5	4	14
	女性		1	1	1	3	6	16	33	61
	合計		1	1	4	3	8	21	37	75

年齢別月末人数(男性)
(2022/4/1～2023/3/31)



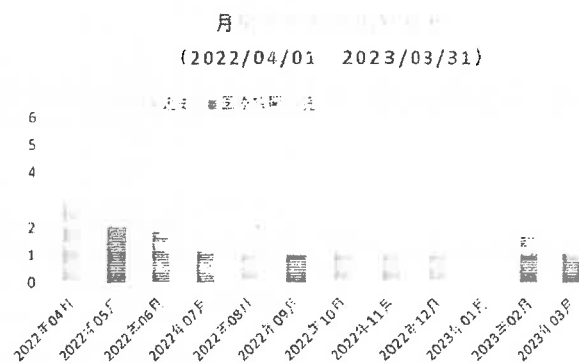
年齢別月末人数(女性)
(2022/4/1～2023/3/31)



⑨ 【退去者状況】

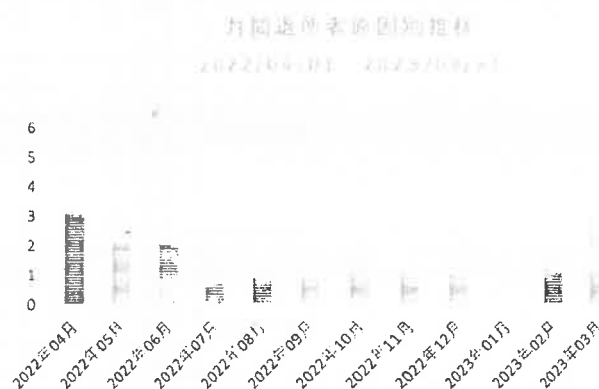
月間退所者原因別

	逝去	医療機関 入院	介護施設	その他	合計
2022年04月	3	0	2	0	5
2022年05月	2	1	0	0	3
2022年06月	0	2	0	0	2
2022年07月	0	2	0	1	3
2022年08月	1	0	0	0	1
2022年09月	1	0	0	0	1
2022年10月	1	1	0	1	3
2022年11月	1	0	0	0	1
2022年12月	1	0	0	2	3
2023年01月	0	0	0	0	0
2023年02月	1	1	0	0	2
2023年03月	1	2	0	0	3
合 計	12	9	2	4	27



⑩ 【月間退所者原因別】

	逝去	医療機関 入院	介護施設	その他	合計
2022年04月	3	0	2	0	5
2022年05月	2	1	0	0	3
2022年06月	0	2	0	0	2
2022年07月	0	2	0	1	3
2022年08月	1	0	0	0	1
2022年09月	1	0	0	0	1
2022年10月	1	1	0	1	3
2022年11月	1	0	0	0	1
2022年12月	1	0	0	2	3
2023年01月	0	0	0	0	0
2023年02月	1	1	0	0	2
2023年03月	1	2	0	0	3
合 計	12	9	2	4	27

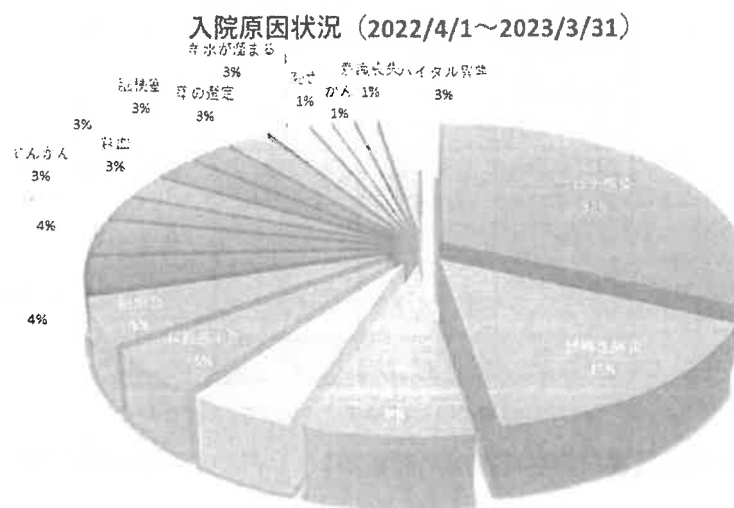


【入院の状況】

	月間入院 等人数	月間入院等 延べ人数
2022年04月	10	117
2022年05月	9	119
2022年06月	4	61
2022年07月	2	30
2022年08月	4	61
2022年09月	6	91
2022年10月	5	72
2022年11月	2	30
2022年12月	8	137
2023年01月	6	90
2023年02月	5	102
2023年03月	20	234
合 計	81	1,144

【入院の内容】

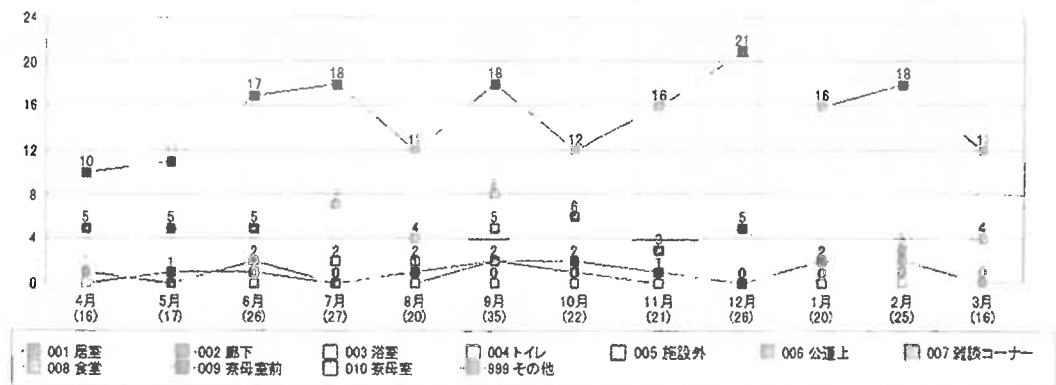
入院内容	人数
コロナ感染	25
誤嚥性肺炎	12
骨折	6
心不全	4
尿路感染症	4
脳出血	4
食意不振	3
胸膜炎肺炎	3
てんかん	2
貧血	2
感染症	2
脳梗塞	2
薬の選定	2
羊水が溜まる	2
死亡	1
がん	1
意識喪失	1
バイタル異常	2
合 計	78



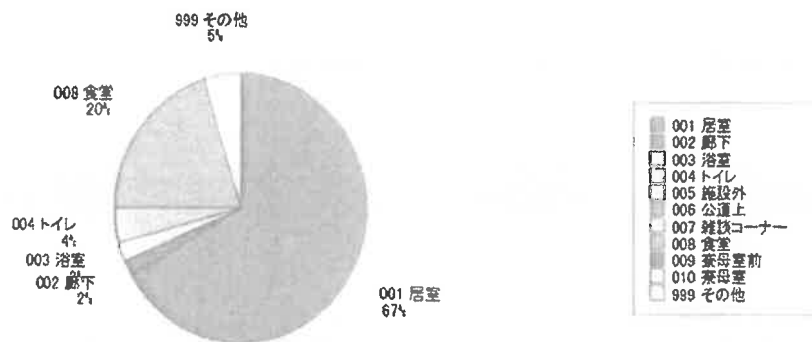
【事故・ヒアリハットについて】

	事故報告	ヒアリハット
2022年04月	16	17
2022年05月	17	12
2022年06月	26	11
2022年07月	27	27
2022年08月	20	6
2022年09月	35	5
2022年10月	22	4
2022年11月	21	2
2022年12月	26	5
2023年01月	20	3
2023年02月	25	3
2023年03月	16	1
合 計	271	96

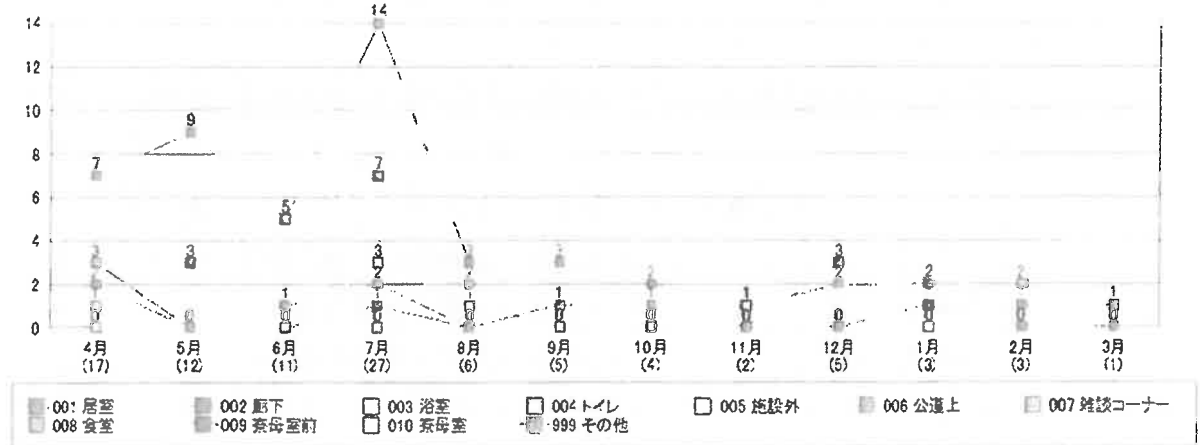
【事故発生場所別件数推移】



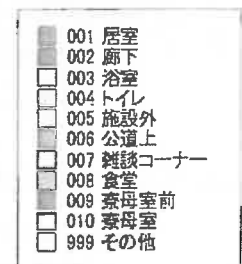
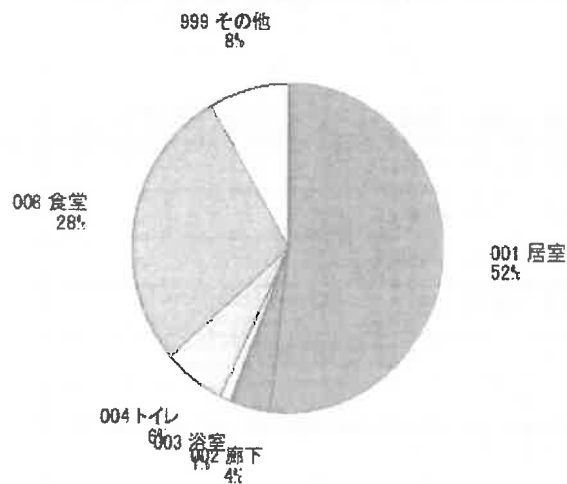
【事故発生場所別構成比】



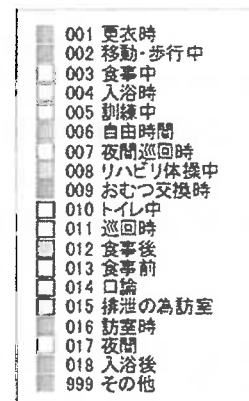
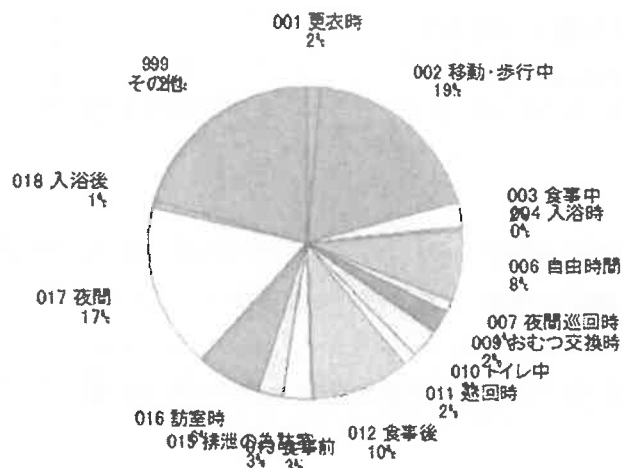
【ヒアリハット場所別件数推移】



【ヒアリハット場所別件数構成比】



【事故場面別件数構成比】



【職員研修について】

・新任研修

入職時には個別にオリエンテーションを実施し、職員手帳に添って法人理念や施設の方針、介護についての基本方針などの説明を実施。

介護の基本となる事項を中心として入職1ヶ月日から3ヶ月目まで実施。

	内 容
入職月	介護の仕事の基本・尊厳とプライバシー・接遇マナー
	身体拘束・虐待防止・法令遵守
入職2ヵ月目	新人研修「介護の仕事の基本」
入職3ヵ月目	新人研修「介護の仕事の基本」

・新任・現任共通研修

年間を通じて毎月の計画に添って法定研修を中心に毎月オンライン研修を実施しました。
ユニット会議を活用して、ユニットへの研修・周知を行いました。

研修	内 容
2022年04月	職員倫理・個人情報・プライバシー保護
2022年05月	リスクマネジメント
2022年06月	虐待防止・身体拘束
2022年07月	ターミナルケア・褥瘡
	医療知識・緊急対応
2022年08月	感染症（コロナ「介護現場編」）
2022年09月	認知症ケア
2022年10月	リスクマネジメント
2022年11月	虐待防止・身体拘束
2022年12月	感染症・災害対策
2023年01月	ターミナルケア・褥瘡
2023年02月	医療知識・緊急対応
2023年03月	苦情処理対応

【外国人の採用状況】

・今年度採用人数 特定技能 10名

2022年3月末現在在籍数16名（内 介護福祉士 4名）

ベトナム：4名、ミャンマー：5人、モンゴル：7名

2023年1月 介護福祉士資格受験4名うち1名合格

【新型コロナウイルスについて】

・発生状況

感染経路については不明ですが、新型コロナウイルス感染症の発症が、7月入居者12名、職員3名、11月入居者13名、職員2名陽性者が発生し、それぞれ医師及び保健所へ連絡し、処方薬で施設内対応を行ったが3名が入院対応となりました。令和5年度に入り3月に複数のフロアにて短期間で入居者25名、職員6名発生したため、保健所から協力を得て17名の入居者を病院もしくは療養施設に搬送することになりました。

・新型コロナ感染状況

	7月	11月	3月
入居者	12名	13名	25名
職員	3名	2名	6名

・ワクチン接種状況

4回目	令和4年7月～10月
5回目	令和5年1月～2月

・感染症予防対策について

感染症予防対策
・入居者、職員の手指消毒、うがいの徹底
・入居者、職員の毎日の検温・体調管理の徹底
・来客・業者等への検温・手指消毒の徹底
・感染症予防対策啓発ポスターの掲示
・食堂でのアクリルボード設置
・館内のアルコール消毒の実施
・換気の徹底
・家族面会はガラス越しでの対応
・ショートステイ新規入居者への抗原検査実施
・体調不良（入居者・職員）者への抗原検査の実施

短期入所生活介護 プライムガーデンズ高円寺

令和4年度事業報告書

【総括】

3月に蔓延防止策の適応除外となり、東京都における感染者数も徐々に減少傾向となりましたが、7月に入り急激に感染者数が増加しだして7月末には4万人超えとなり、過去最大の感染者数を記録しました。ショートステイユニットと同じフロアにて、感染者が発生したことでショートステイ利用者も減少しました。又、11月にも5階にて感染者が発生し、ショートステイユニットでも感染者が発生し、利用者が再度減少する状況となりました。感染者が落ち着いてからは当施設を気に入って定期的に利用して下さる利用者の方も徐々に増えてきており、そのような方はコロナが発生したとしても引き続き利用して下さいました。

【新型コロナウイルス等感染対策】

- ・新規利用者様については利用時に抗原検査の実施
- ・複数回利用していただいている利用者様については利用前体温・体調変化記録の提示願い
- ・マスク着用の促しと手洗い・手指消毒の励行
- ・座席の配置の工夫とアクリルボードの設置
- ・換気の実施

【営業活動について】

- ・コロナ禍でもあり、直接訪問は難しい状況ではありましたが、近隣の居宅介護支援事業所、病院の地域連携室、老人保健施設への電話と郵送にて営業活動の実施
- ・担当ケアマネとの連絡を密に取り合い、信頼関係の構築を図りました
- ・ケアマネからの緊急ショート依頼や急な退院後の利用者の受入対応を図りました

【ケアの充実・リピーターの獲得・業務の見直しについて】

- ・接遇（挨拶・言葉づかいなど）の見直しを実施
- ・持ち物チェックと忘れ物がないかチェック方法の見直しを行いました
- ・送迎時の安全な運行ができるように、送迎ルートの見直しや車内での健康状態の確認の実施を行いました
- ・レクリエーションの充実（季節に合わせたレクリエーション等の実施）に

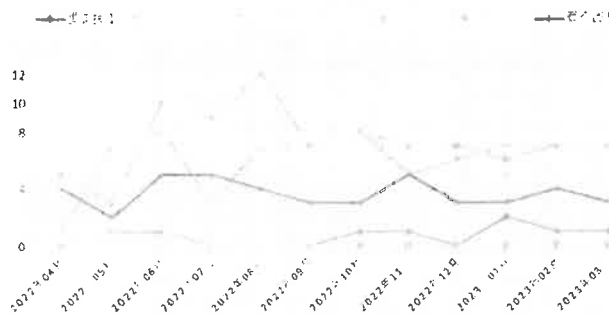
【柔軟な対応の実施】

- ・ご家族の都合による入退居時間の変更に対するできる限り希望を受け入れるように対応しました
- ・利用者・家族等による入居日の変更、利用日数の短縮や園長にも柔軟に対応いたしました。

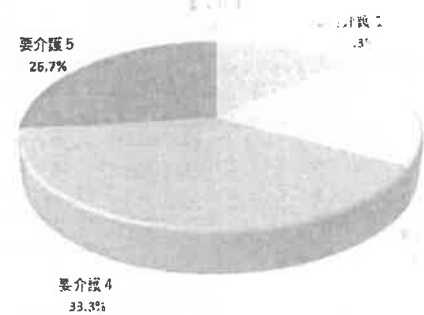
① 【利用実人数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
2022年04月	0	0	2	3	1	5	4	15
2022年05月	1	1	4	5	7	3	2	23
2022年06月	1	0	8	4	8	10	5	36
2022年07月	0	0	5	1	3	9	5	23
2022年08月	0	0	5	0	7	12	4	28
2022年09月	0	0	9	3	7	7	3	29
2022年10月	1	0	9	3	8	8	3	32
2022年11月	1	0	5	3	5	7	5	26
2022年12月	0	0	6	6	6	7	3	28
2023年01月	2	0	5	6	7	6	3	29
2023年02月	1	0	6	8	7	7	4	33
2023年03月	1	0	4	7	7	7	3	29
合 計	8	1	68	49	73	88	44	331

利用者実人数推移
(2022/4/1～2023/3/31)

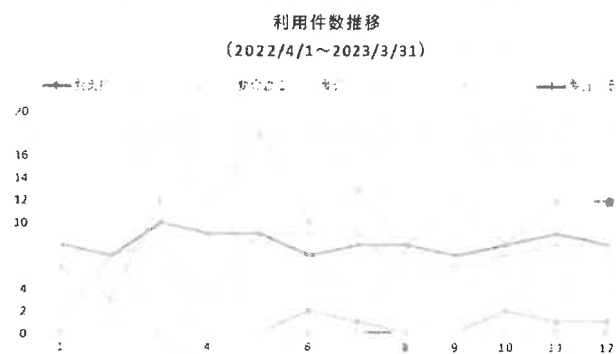


利用者実人数介護度別構成比
(2022/04/01～2023/03/31)



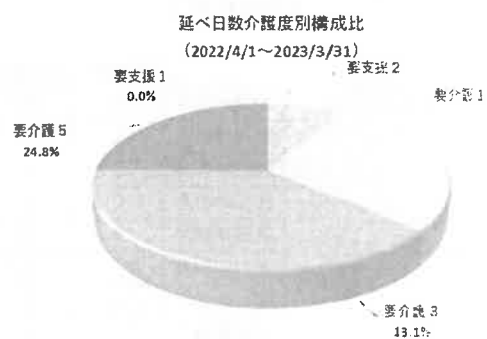
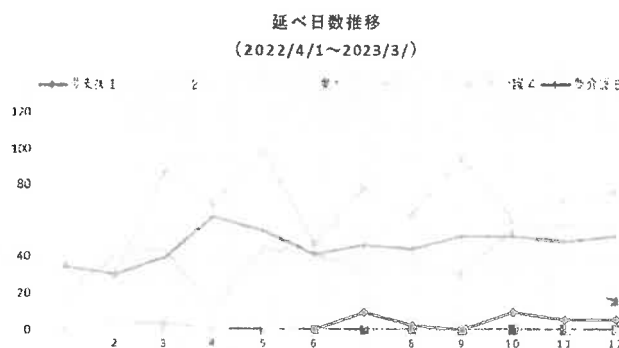
② 【利用件数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2022年04月	0	0	3	4	1	6	8	22
2022年05月	1	1	5	7	7	3	7	31
2022年06月	0	0	10	4	8	12	10	44
2022年07月	0	0	9	3	3	12	9	36
2022年08月	0	0	7	0	9	18	9	43
2022年09月	2	0	11	6	9	10	7	45
2022年10月	1	0	12	6	9	13	8	49
2022年11月	0	0	7	4	5	8	8	32
2022年12月	0	0	8	6	6	12	7	39
2023年01月	2	0	6	7	7	8	8	38
2023年02月	1	0	8	11	8	12	9	49
2023年03月	1	0	7	9	8	12	8	45
合 計	8	1	93	67	80	126	98	473



③ 【延べ日数】

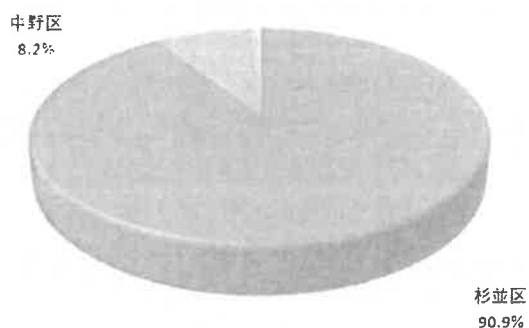
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2022年04月	0	0	12	38	18	35	34	137
2022年05月	3	4	17	45	41	30	30	170
2022年06月	3	0	57	26	44	87	39	256
2022年07月	0	0	46	20	10	69	62	207
2022年08月	0	0	32	0	44	98	54	228
2022年09月	0	0	59	23	41	47	41	211
2022年10月	9	0	76	22	32	78	46	263
2022年11月	2	0	40	24	31	63	44	204
2022年12月	0	0	28	37	31	94	51	241
2023年01月	9	0	19	38	54	60	51	211
2023年02月	5	0	24	57	57	70	48	261
2023年03月	5	0	16	56	58	76	51	262
合 計	36	4	426	386	461	807	551	2,671



④ 【保険者別実人数】

	杉並区	中野区	練馬区	新宿区	合計
2022年04月	13	1	0	1	15
2022年05月	21	2	0	0	23
2022年06月	33	3	0	0	36
2022年07月	21	2	0	0	23
2022年08月	27	1	0	0	28
2022年09月	27	2	0	0	29
2022年10月	30	2	0	0	32
2022年11月	23	3	0	0	26
2022年12月	25	3	0	0	28
2023年01月	28	1	0	0	29
2023年02月	28	4	1	0	33
2023年03月	25	3	1	0	29
合 計	301	27	2	1	331

保険者別実人数構成比
(2022/04/01～2023/03/31)
件



⑤ 【保険者別利用件数】

	杉並区	中野区	練馬区	新宿区	合計
2022年04月	19	2	0	1	22
2022年05月	26	3	0	0	29
2022年06月	41	3	0	0	44
2022年07月	32	4	0	0	36
2022年08月	42	1	0	0	43
2022年09月	41	2	0	0	43
2022年10月	45	3	0	0	48
2022年11月	29	3	0	0	32
2022年12月	34	5	0	0	39
2023年01月	35	1	0	0	36
2023年02月	41	6	1	0	48
2023年03月	37	5	2	0	44
合 計	422	38	3	1	464

保険者別利用件数構成比
(2022/04/01～2023/03/31)



事業所内保育所 高円寺わくわく保育園

令和4年度事業報告書

【総括】

令和3年7月から開園し、当初は従業員枠のみでの開園予定でしたが、児童育成協会及び杉並区と相談の上、地域枠も加えることとしました。その後近隣の住宅地や企業へのパンフレット配布等の営業活動を実施。地域枠は少しずつ入園者も増えてきましたが、従業員枠としての入園希望者が増えない為、厨房業者や提携医院との共同利用契約を4社で締結し、今年1月に一般企業との接触を深めるため企業とのマッチング会に参加し、当園のアピールを図りました。その結果年度末に企業枠3名、地域枠6名まで園児も増えてきました。しかしながら今年4月には3名が認可保育園へ転園するよていとなっており、さらに従業員子息の入園を勧めるとともに、共同利用での園児獲得の為アピールを強化していきます。

新型コロナ猛威を振るう中、職員2名で陽性者が発生し、6日間の休園をせざるをえない状況となりました。手洗い、換気等感染対策には引き続き十分注意しながら運営していきます。

特養との世代間交流や地域との交流については、コロナ禍ということもありなかなか実施できずに終わりました。

【保育の質の向上と保育環境の整備】

- ・それぞれの子どもに適した保育の実施

0歳児、1歳児、2歳児とそれぞれの児童に

- ・規則正しい生活リズムを身に付けられるプログラムの提供

・午前中は天候が良ければ屋外活動(近隣公園へのお出かけ)し、天候が悪い場合は屋内の6階地域交流スペースやベランダへ行きできるだけ体を動かせる方法をとりました。

又、午後からは机上遊びなどを行い、メリハリのある生活ができるようにしました。

【世代間交流と異年齢保育の実施】

- ・コロナ禍の為、入居者との交流を持つ機会がありませんでした。

【保育職員人財確保について】

- ・現状、介護職員のお子さんをお預かりした実績はありませんでしたが、介護職員との関わりを大切に、安心して預けられる環境をアピールしました。
- ・福利厚生充実した特養の魅力のアピールしながら、人財の確保に努めておりましたが、現状保育利用目的での人職には至りませんでした。

【研修の実施について】

- ・できうる限り、社内及び社外での研修に参加するように努め、最低1回/月の研修参加をすることができました。9月には消防署よりきていただき、心肺蘇生の講習会を実施いたしました。

【利用園児数】

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠
0歳児		2		2		2		2		2		2
1歳児												
2歳児		2		2		2		2		2		1
3歳児												
小 計	0	4	0	4	0	4	0	4	0	4	0	3
合 計	4		4		4		4		4		3	

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠	従業員枠	地域枠
0歳児		2		2		2	1	2	2	2	2	2
1歳児	1		1		1	1	1	3	1	3	1	3
2歳児		1		1		1		1		1		1
3歳児												
小 計	1	3	1	3	1	4	2	6	3	6	3	6
合 計	4		4		5		8		9		9	

【研修受講記録】

	研修内容
7月	食品の衛生管理と食中毒
8月	発達が気になる子供への対応
	事故防止と事故対応
9月～11月	企業指導型保育施設安心・安全な運営
	子どもの予防接種と感染対策
	保育施設等における事故防止の取り組み ・事故発生時の対応
	保育施設等におけるアレルギー対応
	乳幼時期の発達と事故防止
	保護者とのコミュニケーション
	自園の安全に対する取り組み
9月	救命講習
10月	嘔吐処理について
11月	施設長研修
	乳幼児保育（乳幼児の遊びと発達の援助）
12月	乳幼児の健康管理
1月	虐待防止研修①
2月	虐待防止研修②

【年間行事】

	行 事
4月	-
5月	子どもの日の会
6月	健康診断・歯科検診
7月	七夕の会
8月	水遊び
9月	敬老の日
10月	ハロウィン
11月	遠足
12月	クリスマス会
1月	お正月遊び
2月	節分の会
3月	ひな祭りの会
	お別れ遠足
	お別れ会

ゆめの樹 保育園

令和4年度 社会福祉法人 三養福社会 ゆめの樹保育園 事業報告書

総 括

令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染予防をしながらの1年だった。家庭からの感染が目立っていたが、大きく拡大することはなかった。コロナ禍においても、子どもが毎日の生活の中で自己を発揮しながら、満足して過ごせることや日々の保育において、コロナ対策を周知し、感染予防等を優先しながら保育を行った。子どもが人との関りを大事にしながら「見て・まねて・関わって・教えて・一緒にやって」の育ちあいができるよう職員が見守り、子どものやりたいことやあそびたい場所・安心できる場所で過ごせるように職員同士が連携をとるよう配慮し、その中で、子どものあそびや視野が広がり好きな場所でのびのびと遊ぶことができた。また、子どもの成長を促すことができるような活動が継続できることを第一に考え、行事は中止にすることはせず、限られた環境の中で感染予防対策をしっかりと行い、実施方法を工夫をしながら実施することができた。

またコロナ禍ということで保育園を取り巻く環境になかなか保護者とのコミュニケーションがとりづらいことが続いたが、行事を行うたびに保護者からコロナ禍の中でも実施してくれることは有難いとお声をいただいた。

11月に実施した運動会では、近隣の小学校の体育館をお借りし行ったが、人数制限の都合もあり縦割りの3部制にて実施した。なぜ縦割りにするのか、なぜ3部制にするのかを保護者に伝えたものの、一部の保護者に理解をしていただけず、また当日保護者同士で不満をみせ気持ちの衝突をあらわにされる方もいらっしゃった。運動会に参加された全保護者に意見を書面にてお聞きし、取りまとめをしたものと園の思いや対応を書面にまとめ、配布する事で再度理解を求めた。

今後も保護者とのコミュニケーションの重要性を前提に毎日の保育を進めていきたい。

昨年同様、今年度も外部研修への参加が難しかったため、非常勤職員も含めた園内研修を姉妹園と合同でズームを活用しながら行った。

同じ研修を通して、当園の保育理念や保育で大切にしていること、子ども達にどのようなまなざしを向けていくかということ、同じ研修を通して伝えられることができた。

また、非常勤職員と同じ保育を行なう中で、職員の行なっている意図や何を大切にしているのか等を共有してもらえよう、今後ドキュメンテーションを作ってもらうために、園内研修に全員参加できるようにしていったことで、意図や何を大切にしているのか等を伝えられることができた。

子どもたちが主体的に活動するためには、保育者が子どもの話をよく聞き、子どもたちが安心して自分の想いを話すことができるようになることが不可欠であるということを、保育の中で証明していた

クラスがあった。“子どもの話をしっかりと聞くことを大切にする”次年度、しっかりと職員と共有し、見守る保育の実践に繋げていきたい。

大阪市より認可を受けて令和5年4月1日より、認定こども園へ移行するようになった。

コロナ禍ということもあり、移行にともなう説明は書面にて行った。

質問は全保護者間で共有をし、書面にて回答を行った。

不安に思う声よりも、認定こども園へ移行するとどうなるのかという質問が多かった。

1. 保育の概要

(1) 所在地

大阪市城東区今福西6-6-30

(2) 入園児数

利用定員260名

入園率

[令和4年 4月 92 %
令和5年 3月 93 %

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月	19	30	35	51	54	52	241
5月	20	30	35	51	54	52	242
6月	20	29	35	52	55	52	243
7月	20	30	37	52	55	52	246
8月	20	30	39	52	55	52	248
9月	20	30	38	52	55	52	247
10月	20	30	38	52	55	51	246
11月	20	30	39	52	55	51	247
12月	20	30	39	52	55	51	247
1月	20	30	39	50	55	51	245
2月	20	30	39	50	54	51	244
3月	20	30	39	50	54	51	244

(3) 職員数

職種	園長	副園長	主任 保育士	正規 保育士	非正規 保育士	保育補助	子育て 支援員	看護師	事務員
4月人数	1	1	1	26	7	9	4	1	1
3月人数	1	1	1	26	6	6	10	0	1

(4) 保育理念

一人ひとりの個性を大切に見守り、健康で意欲のある子どもに育てます

どの子も きらきら のびのびと 「明るく素直で元気な子」

(5) 保育目標

- 心も体も健康な子ども
元気にあいさつができ、また生活習慣を身につけたり、活動的な遊びを通して心身の健康と自立をめざす。
- 豊かに感じて表現できる子ども
自分のありのままの姿を認めてもらうことで安心し、見たことや考えを自由にイメージでき素直に伝えたり行動に移せる。
- よく見て、よく聞いて、よく考える子ども
いつも自分の思いを聞いてもらう経験から、相手の話にも耳を傾け、好奇心や探求心をもって積極的に物事に関わる。
- 優しく感謝のできる子ども
自分を認め、他者を認められる肯定感や共感できる力を育み、全てのものに対する感謝や大切に扱うことを知る。

(6) 保育方針

- 子ども達が日々の生活を通して安心して楽しく自分らしく過ごし、見通しを持って生活する生活することで自立した活動ができ、また保護者にとっても安心して任せられる場所にしていきます。
- 家庭的な雰囲気の中で、保育士に対して安心感と信頼感が持てるように一人ひとりを大切に優しく関わっていきます。
- 相手の話に耳を傾け、自分の言葉で挨拶や気持ちを伝えられるよう育みます。
- 子ども、保護者、保育者にとっても幸せであるための居場所となり、一人ひとりが輝ける環境作りに励みます。

(7) 保育をするうえで大切にしていること

「一人ひとりを丁寧に育む保育」

基本的信頼関係の築きが大切な1歳児期は、「愛着関係を基に丁寧に一人ずつ関わる保育（自分を受容してもらう）」、1歳児期は、「自我（自分からやりたい）を大切にする保育（自己主張を受け入れてもらう）」、2歳児期は、「みんな（少しずつ友だちどうし）でやる（集団の）楽しさやルールに気づかせる保育」を展開していく。社会性の芽生えと共に自我のコントロールと基本的生活習慣の自立を目指す。

「一人ひとりが大切にされる保育」

子どもの成長、発達、やりたいことに合わせた活動を見守り、重視しながら保育をしていく。それぞれの子どもの違いを認め、自分の考えを持ち、それを他人に伝えていくことを通して「生きる力」を育めるよう援助していく。

(8) 保育時間

(平 日)	7時30分	～	19時30分
(土曜日)	7時30分	～	18時30分
保育標準時間	7時30分	～	18時30分
保育短時間	8時00分	～	16時00分

(9) 特別保育事業

● 延長保育

保育時間は、午前7時30分～午後6時30分までの11時間とするが、保護者の就労時間や家庭状況等を考慮し、時間外保育の必要があれば、保育時間を延長する

[	保育標準時間	18時30分	～	19時30分
	保育短時間	7時30分	～	8時00分
		16時00分	～	19時30分

● 障害児保育

配慮が必要な子どもを受け入れ、発達の遅れや、それぞれの障害を理解し、保護者や子ども発達支援センター、児童相談所等の療育機関や専門機関との連携をとりながら、保育・支援していった。また、障害児ではないが、身体的、体力的、精神的、知的等に特別な配慮を要する子どもに対しても、家庭や関係機関と連携を図りながら、大切に見守りをしていった。

(10) 地域交流活動

- | | | |
|------------------------------|---|--|
| ① 親子教室
② 子育てカフェ
③ 園庭開放 | } | コロナウイルスの影響により、外部、内部の保護者が集う活動を取りやめた。そのことにより、次の活動の開催を見送った。 |
|------------------------------|---|--|

3. 年齢別保育目標

0歳児	○安全で清潔な環境の中、心地よく過ごし身の回りの物、人への興味・関心を育てる。 ○特定の保育者の応答的な関わりにより情緒的な絆を深め信頼関係を築く。
1歳児	○自分でしようとする気持ちの芽生えを受け止められ、保育者との信頼関係の中で安心して過ごす。 ○五感を使って探索活動を通し、周囲の物・人への視野を広げる。
2歳児	○基本的な生活習慣が身に付き、自分でできることを喜ぶ。 ○日常生活に必要な言葉が分かり、模倣遊びや戸外遊びを通して、保育者やとだちとのやりとりや表現する楽しさを味わう。
3歳児	○基本的な生活習慣が身に付き自分でできることを喜ぶ。 ○様々なことに興味を持ち、楽しんで参加する。 ○自分の気持ちを様々な方法で表現し、友だちとのつながりを広げる。
4歳児	○自立に向けて葛藤や経験をしながら、自分の感じたことや想いを表現する。 ○友だちとの関わりを深め、相手を思いやる気持ちを育てたり、みんなで決まりを考え、継続的に活動できることの楽しさを感じる。
5歳児	○自分でできることの範囲を広げ、様々なことに好奇心や興味、関心を持ち、工夫しながら、意欲的に活動する。 ○友だちどうしで認めあい、自分の役割を果たそうとしたり目標に向かって取り組みやり遂げることの達成感や喜びを味わう。

- ① 子ども達にとって保育園が「第2のおうち」となるよう一人ひとり丁寧に、その成長を見守る保育を進めた。また、コーナー保育により自らしたい遊びが直ぐでき、遊び込める空間があることで主体性や自主性、集中力を育てていった。落ち着いて遊べる室内環境を心掛け、食事や午睡は決まったところで行い、家庭的な温かい雰囲気づくりを心掛ける保育を行った。
- ② 保育士が保育園内での”お母さん”になれるよう、乳児クラスは育児担当保育を実施し、子ども達と密な信頼関係を築くことで安心して過ごしていった。
また、そのことで保育士も子どもの心身の小さい変化に気付いたり、保護者も安心して何でも相談できる関係を構築していった。
- ③ 一人ひとりの成長や生活リズムを大切にできるよう、家庭との連携をとった。特に乳幼児期は、その子の一日の生活リズムに無理がないようタイムスケジュールを作成し、食事を摂ったり午睡したり毎日規則正しい生活リズムで過ごした。幼児クラスになってからも、日々同じリズムで見通しを持ちながら保護者と連絡を取り合い、夜遅くに寝ていたり、また体調がおもわしくない時は、保育内容を変えたり休息をとったりと、その子に応じた活動をした。

- ④ 幼児クラスでは、乳児の時に培った大人との信頼関係を基に、友だちの中で自分の存在をうまく発揮できるよう関わっている。また、体育指導や英会話を取り入れ、無理なく興味を持って楽しく参加できるように進めた。 コロナウイルス感染症の影響により発令された、緊急事態宣言や、蔓延防止等重点措置の期間は、外部講師（正課活動・・・英語教室・絵画教室・体育教室）にも協力をいただき、子どもが集まって活動する内容を自粛した。
- ⑤ 幼児クラスは、様々な事物に対して不思議に思ったり関心を持てるような働きかけを意識した関わりをし季節の事や動植物等、興味をもったことを五感を使って実際に感じたり、絵本や図鑑を使って調べていくという活動を進めた。
- ⑥ 年齢に応じた内容の月刊絵本を取り入れている。お話絵本を選び、ひと月楽しんで持ち帰った。
- ⑦ 3～4歳児は、ピアノの音に合わせてながら音楽やリズムで楽しく遊びながらリズム運動を実施し、集中力を高める即時反応の活動を行うことで、一定の速さで拍子を保つ事や頭で考え体を使って表現することが出来るよう進めた。身体的・感覚的・知的にもあらゆる教育を十分に吸収し大きく育つための基礎作りとなる事を目的とする。
- 体を動かすことが好きになる
 - 姿勢を保持する力が育つ
 - しなやかな体をつくる
 - 健康な体をつくっていく
- ⑧ 同じ年齢の中で育まれる「人と関わる力」もあるが、色々な年齢と多く関わることで、より育まれる。また、色々な人と関わるということは、色々な人がいるということを知るきっかけとなる。一人ひとりの想いを認め受け入れることが「人と関わる力」になり、また相手の立場になる、友だちを好きになる「心」の育ちを助長できる取組みとして、異年齢保育を進めていく。

4. 給 食

給食は 株式会社魚国総本社 に業務委託し、提供している。

- 給食は、離乳食(初期食・中期食・後期食・完了食)・乳児食・幼児食・アレルギー食に分類し、子どもに応じた調理によって提供をした。
- 0歳児は その子に合った離乳食を食べる。
一対一で食事をしながら食事を摂る中で、咀嚼や嚥下状態、また歯の本数や便の様子を見ながら、保護者と相談して初期～中期～後期～完了期～乳児食と進めていった。
- 乳児は、生活リズムを整え担当保育士と少人数で食事をし、幼児はランチルームにて、食べるが、コロナ感染予防の為、園児が同じ方向をむき間隔を開け食事を摂った。

- 献立は、委託による栄養士により作成し、自園で調理したものを温かく食べると美味しく、美味しい物は温かい状態で、冷たく食べると美味しいものは冷たい状態で提供する。
- 給食は、食育という保育の重要な一部である。給食を通し、心身の成長発達と健康の保持増進に必要な食べ物を提供すると共に、望ましい生活習慣をしつけ、栄養や衛生の知識を与える等、重要な役割を果たすと考え。
- 乳児クラスは朝のおやつ、全園児に給食と午睡のおやつ(手作り)を提供する。
- 日々の給食、おやつで話しかけを行い、見た目も美味しさを味わったり食材の名前やその栄養について話をする他、幼児クラスを中心に指導計画に基づいた食育活動を行う
- 年齢に関わらず、その子の状態に合った食事を食べる。

【食育活動】

新型コロナウイルス感染拡大予防を第一に考え、工夫しながらの少人数で行える食育活動を行った。

幼児期は食習慣を決める第一歩となる大切な時期ということを職員が理解し園児達は、活動を通して、土や自然に触れ育てる喜び、作る楽しさ（食体験）、食べる楽しさなどの関心を高めた。生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送る基礎となる（食を営む力）

5. 避難訓練および消火訓練

- 消防法に則り防火管理者の指揮の下、乳幼児の生命を守り、安全対策を行う。
- 各種災害時に非難訓練および消火訓練を行うことにより、各々の状態で臨機応変に判断し、避難誘導等の適切な対応が出来るようにする。

(避難訓練等実施状況)

実施月	訓練内容	消防署立合	消防署届出	その他
4	火災	無	無	
5	地震	無	無	
6	火災（避難・通報・消火）	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
7	地震（プール入水時）	無	無	
8	台風	無	無	
9	地震	無	無	大阪880万人訓練
10	火災（午睡時）	無	無	
11	地震（引き渡し訓練）	無	無	実際に保護者の方に引き渡す
12	火災（避難・通報・消火）	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
1	地震・火災	無	無	
2	不審者対応	無	無	
3	地震・火災	無	無	南海トラフを想定しての訓練

6. 職員研修

コロナ禍の為、現地に向かう研修は、中止になったものや、現地に向かう研修には出席を控えた。しかし、職員の資質と職務能力を高め、乳幼児保育の向上を図り、自己研鑽に努められるよう外部研修を招いたり、ズームにて積極的に研修を実施した。

4月17日(日)	テーマのある遊び／子どもの主体性とは
5月11日(水)	職員一人ひとりが気をつけること
5月13日(金)	子どもと対峙する上できをつけるべきこと
6月21日(火)	保育を見える化する
6月24日(金)	保育所型認定こども園 白鷺園 見学
7月5日(火)	幼保連携型認定こども園 子ロバ保育園 見学
9月29日(月)	絵本の読み聞かせ／絵本の選び方
10月8日(土)	子どもの人権について／事例を基に考える
11月26日(土)	職員合同研究発表会

○ 園外研修

キャリアアップのための各種研修会にズームにて参加をした。

7. 年間行事報告

新型コロナウイルス感染予防の観点から、中止にしたものもあるが、クラス毎に実施する等実施できるものは工夫をしながら実施に努めた。

4月	入園式 子どもの日のつどい
5月	遠足(雨天のため京都交通博物館)
6月	内科検診 歯科検診
7月	水あそび・プール活動
8月	水あそび・プール活動
9月	あきまつり 特別保育
10月	親子であそぼう会 内科検診
11月	運動会 親子遠足(大泉緑地公園) 引き渡し訓練
12月	音楽会 クリスマス会
1月	たこあげ会
2月	節分豆まき会(各クラスで実施) 生活発表会 懇談会
3月	お別れ遠足(大阪城公園) お別れ会 卒園式 新入園児説明会・健康診断
毎月	○避難訓練 ○身体測定 ○食育活動 ○リズム運動 ○体育教室 ○英語教室 ○絵画教室

8. 要支援園児への対応

- ・気になる園児に対し、関係機関と密に連絡を取り合い、情報共有を図った。
- ・子ども中央相談センターの方とも情報共有しながら要保護園児の対応を行った。

9. 監査

令和4年度の監査は12月に実施

大正ゆめの 樹保育園

令和4年度 社会福祉法人 三養福社会 大正ゆめの樹保育園 事業報告書

総 括

保育園は子どもの生活の大半を過ごす場所であり、乳幼児期は人間形成の基盤を作る大切な時期でもあるため、コロナ禍ではあったが感染対策を十分に行いながら、出来る限りでの通常に近い形で保育を行った。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、行事などを見直す機会があったが、内容を工夫することで子どもも大人も楽しめる新たな契機となった。

依然として、コロナ禍の収束を見ない状況が続いていたが、平時と違う保育園の在り方を模索しながらの一年であった。

また、職員においては、保育園という感染リスクのある職場の中で、衛生管理を徹底したり活動の工夫などに真摯に考えながら、保育を進めた。

職員確保が課題の1年で、日々の保育以外の職員数の余裕がなかったこともあり、園庭開放や子育てサークルなど子育て支援活動を積極的に行うことが出来ず、地域の保護者様やお子様が来園し共に過ごす中で、子育ての悩みに耳を傾ける時間を多くもつことはできなかった。

職場環境の改善の取組では、全体職員会議 職員間の意思疎通を図るということは、保育がうまく機能していく上で欠かせない要素だと考える。

職種による違い、年齢や性別といった違いから生じる「壁」は遠慮という形で根強く存在していたが、その壁を高く・厚くしているものをできるだけ取り除き、より低く、より薄くしていく努力をすることで、少しでも職員が気持ちよく楽しく働ける環境を作ることができるのではないかと考え、職員全員参加の職員会議やミニ研修の場を多く持つように心掛けた。正職とパート職員といった雇用状態の違いや、保育者と保育者以外といった全職員で、どのような運営方針で進めていくかについて、認知してもらう機会を設けた。それほど多くの時間を割けなかったため深まるまでには至らないものの、一つの契機にはなったかと思われる。

職員の確保に繋がればと、実習生の受け入れも積極的に行い、年間10名の学生が実習生を受け入れたが、実習生からの就職には繋がらなかった。

近隣の中学校から職場体験の依頼があり、5名の生徒を受け入れた。

また、《保幼小連携プロジェクト》に参加し、近隣の三軒家西小学校、三軒家西幼稚園、大浪保育所との研究を行っている。

保育士養成校のみならず、近隣の各学校園所に対しての知名度に繋げることはできたのではないかと思われる。

インスタグラムに加えて、令和4年11月からは、TikTokを活用した園の周知及び、職員採用への取り組みを行った。

問い合わせは数件あり、周知になっていることは実感できるものの、採用に繋げることはできなかった。

大阪市より認可を受けて令和5年4月1日より、認定こども園へ移行するようになった。

コロナ禍ということもあり、移行にともなう保護者への説明は書面にて行った。

保護者から質問を書面にて回答をすることにより、全保護者間で共有を行った。保護者からの声は、認定こども園へ移行するとどうなるのかという質問が多かったが、特に大きな反応はなく、どの保護者からも受け入れていただけていると感じる。

1. 保育の概要

(1) 所在地

大阪市大正区三軒家西1-3-21

(2) 入園児数

利用定員120名

入園率

〔 令和4年 4月 80%
令和5年 3月 86%

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月	5	15	16	23	18	20	97
5月	6	15	16	23	18	21	99
6月	6	15	17	23	18	21	100
7月	7	15	17	23	18	20	100
8月	8	15	17	24	18	20	102
9月	9	15	18	25	18	20	105
10月	9	15	18	25	18	20	105
11月	9	15	18	25	18	20	105
12月	9	15	18	25	18	20	105
1月	9	14	18	25	18	20	104
2月	9	14	18	25	18	20	104
3月	9	14	18	25	18	20	104

(3) 職員数

職種	園長	副園長	主任 保育士	正規 保育士	非正規 保育士	子育て 支援員	保育補助	事務員	計
4月人数	1	1	1	17	4	2	3	1	30
3月人数	1	1	1	16	4	2	4	1	30

(1) 保育理念

一人ひとりの個性を大切に見守り、健康で意欲のある子どもに育てます

どの子ども きらきら のびのびと 「明るく素直で元気な子」

(2) 保育目標

○ 心も体も健康な子ども

元気にあいさつができ、また生活習慣を身につけたり、活動的な遊びを通して心身の健康と自立をめざす。

○ 豊かに感じて表現できる子ども

自分のありのままの姿を認めてもらうことで安心し、見たことや考えを自由にイメージでき素直に伝えたり行動に移せる。

○ よく見て、よく聞いて、よく考える子ども

いつも自分の思いを聞いてもらう経験から、相手の話にも耳を傾け、好奇心や探求心をもって積極的に物事に関わる。

○ 優しく感謝のできる子ども

自分を認め、他者を認められる肯定感や共感できる力を育み、全てのものに対する感謝や大切に扱うことを知る。

(3) 保育方針

- 子ども達が日々の生活を通して安心して楽しく自分らしく過ごし、見通しを持って生活することで自立した活動ができ、また保護者にとっても安心して任せられる場所していきます。
- 家庭的な雰囲気の中で、保育士に対して安心感と信頼感が持てるように一人ひとりを大切にし優しく関わっていきます。
- 相手の話に耳を傾け、自分の言葉で挨拶や気持ちを伝えられるよう育みます。
- 子ども、保護者、保育者にとっても幸せであるための居場所となり、一人ひとりが輝ける環境作りに励みます。

(4) 保育をするうえで大切にしていること

「一人ひとりを丁寧に育む保育」

基本的信頼関係の築きが大切な1歳児期は、「愛着関係を基に丁寧に一人ずつ関わる保育（自分を受容してもらう）」、1歳児期は、「自我（自分からやりたい）を大切にする保育（自己主張を受け入れてもらう）」、2歳児期は、「みんな（少しずつ友だちどうし）でやる（集団の）楽しさやルールに気づかせる保育」を展開していく。社会性の芽生えと共に自我のコントロールと基本的生活習慣の自立を目指す。

「一人ひとりが大切にされる保育」

子どもの成長、発達、やりたいことに合わせた活動を見守り、重視しながら保育をしていく。それぞれの子どもの違いを認め、自分の考えを持ち、それを他人に伝えていくことを通して「生きる力」を育めるよう援助していく。

(5) 保育時間

(平 日)	7時30分	～	19時30分
(土曜日)	7時30分	～	18時30分
保育標準時間	7時30分	～	18時30分
保育短時間	8時00分	～	16時00分

(6) 特別保育事業

○ 延長保育

保育時間は、午前7時30分～午後6時30分までの11時間とするが、保護者の就労時間や家庭状況等を考慮し、時間外保育の必要があれば、保育時間を延長する

保育標準時間	18時30分	～	19時30分
	7時30分	～	8時00分
保育短時間	16時00分	～	19時30分

○ 障害児保育

配慮が必要な子どもを受け入れ、発達の遅れや、それぞれの障害を理解し、保護者や子ども発達支援センター、児童相談所等の療育機関や専門機関との連携をとりながら保育・支援していった。また、障害児ではないが、身体的、体力的、精神的、知的等に特別な配慮を要する子どもに対しても、家庭や関係機関と連携を図りながら、大切に見守りをしていった。

(7) 地域交流活動

コロナウイルスの影響により、外部、内部の保護者が集う活動を取りやめた。
そのことにより、次の活動の開催を見送った。

- ① 親子クッキング
- ② 子育てカフェ

3. 年齢別保育目標

0歳児	○安全で清潔な環境の中、心地よく過ごし身の回りの物、人への興味・関心を育てる。 ○特定の保育者の応答的な関わりにより情緒的な絆を深め信頼関係を築く。
1歳児	○自分でしようとする気持ちの芽生えを受け止められ、保育者との信頼関係の中で安心して過ごす。 ○五感を使って探索活動を通し、周囲の物・人への視野を広げる。
2歳児	○基本的生活習慣が身に付き、自分でできることを喜ぶ。 ○日常生活に必要な言葉が分かり、模倣遊びや戸外遊びを通して、保育者やとだちとのやりとりや表現する楽しさを味わう。
3歳児	○基本的生活習慣が身に付き自分でできることを喜ぶ。 ○様々なことに興味を持ち、楽しんで参加する。 ○自分の気持ちを様々な方法で表現し、友だちとのつながりを広げる。
4歳児	○自立に向けて葛藤や経験をしながら、自分の感じたことや想いを表現する。 ○友だちとの関わりを深め、相手を思いやる気持ちを育てたり、みんなで決まりを考え、継続的に活動できることの楽しさを感じる。
5歳児	○自分でできることの範囲を広げ、様々なことに好奇心や興味、関心を持ち、工夫しながら、意欲的に活動する。 ○友だちどうしで認めあい、自分の役割を果たそうとしたり目標に向かって取り組みやり遂げることの達成感や喜びを味わう。

- ① 子ども達にとって保育園が「第2のおうちとなるよう」一人ひとり丁寧に、その成長を見守る保育を進めた。また、コーナー保育により自らしたい遊びが直ぐでき、遊び込める空間があることで、主体性や自主性、集中力を育てていった。落ち着いて遊べる室内環境を心掛け、食事や午睡は決まったところで行い、家庭的な温かい雰囲気づくりを心掛ける保育を行った。
- ② 保育士が保育園内での”お母さん”になれるよう、乳児クラスは育児担当保育を実施し、子ども達と密な信頼関係を築くことで安心して過ごしていった。
また、そのことで保育士も子どもの心身の小さい変化に気付いたり、保護者も安心して何でも相談できる関係を構築していった。
- ③ 一人ひとりの成長や生活リズムを大切にできるよう、家庭との連携をとった。特に乳幼児期は、その子の一日の生活リズムに無理がないようタイムスケジュールを作成し、食事を摂ったり午睡したり毎日規則正しい生活リズムで過ごした。幼児クラスになってからも、日々同じリズムで見通しを持ちながら保護者と連絡を取り合い、夜遅くに寝ていたり、また体調がおもわしい時は、保育内容を変えたり休息をとったりと、その子に応じた活動をした。

- ④ 幼児クラスでは、乳児の時に培った大人との信頼関係を基に、友だちの中で自分の存在をうまく発揮できるように関わっている。また、体育指導や英会話を取り入れ、無理なく興味を持って楽しく参加できるように進めた。 コロナウイルス感染症の影響により発令された、緊急事態宣言や、蔓延防止等重点措置の期間は、外部講師（正課活動・・・英語教室・絵画教室・体育教室）にも協力をいただき、子どもが集まって活動する内容を自粛した。
- ⑤ 幼児クラスは、様々な事物に対して不思議に思ったり関心を持てるような働きかけを意識した関わりをし季節の事や動植物等、興味をもったことを五感を使って実際に感じたり、絵本や図鑑を使って調べていくという活動を進めた。
- ⑥ 年齢に応じた内容の月刊絵本を取り入れている。0・1歳児クラスは、お話絵本、2～5歳児は総合絵本を選び、ひと月楽しんで持ち帰った。
- ⑦ 3～4歳児は、ピアノの音に合わせてながら音楽やリズムで楽しく遊びながらリズム運動を実施した。集中力を高める即時反応の活動を行うことで、一定の速さで拍子を保つ事や頭で考え体を使って表現することが出来るよう進めた。身体的・感覚的・知的にもあらゆる教育を十分に吸収し大きく育つための基礎作りとなる事を目的とする。
- 体を動かすことが好きになる
 - 姿勢を保持する力が育つ
 - しなやかな体をつくる
 - 健康な体をつくっていく
- ⑧ 同じ年齢の中で育まれる「人と関わる力」もあるが、色々な年齢と多く関わることで、より育まれる。また、色々な人と関わるということは、色々な人がいるということを知るきっかけになる。一人ひとりの想いを認め受け入れることが「人と関わる力」になり、また相手の立場になる、友だちを好きになる「心」の育ちを助長できる取組みとして、異年齢保育を進めていく。

4. 給 食

給食は 株式会社魚国総本社 に業務委託し、提供している。

- 給食は、離乳食(初期食・中期食・後期食・完了食)・乳児食・幼児食・アレルギー食に分類し、子どもに応じた調理によって提供をした。
- 0歳児は その子に合った離乳食を食べる。
一対一で食事をしながら食事を摂る中で、咀嚼や嚥下状態、また歯の本数や便の様子を見ながら、保護者と相談して初期～中期～後期～完了期～乳児食と進めていった。
- 乳児は、生活リズムを整え担当保育士と少人数で食事をし、幼児はランチルームにて、食べるが、コロナ感染予防の為、園児が同じ方向をむき間隔を開け食事を摂った。
- 献立は、委託による栄養士により作成し、自園で調理したものを温かく食べると美味しい美味しい物は温かい状態で、冷たく食べると美味しいものは冷たい状態で提供する。
- 給食は、食育という保育の重要な一部である。給食を通し、心身の成長発達と健康の保持増進に必要な食べ物を提供すると共に、望ましい生活習慣をしつけ、栄養や衛生の知識を与える等、重要な役割を果たすと考える。
- 乳児クラスは朝のおやつ、全園児に給食と午睡のおやつ(手作り)を提供する。

- 日々の給食、おやつで話しかけを行い、見た目も美味しさを味わったり食材の名前やその栄養について話をする他、幼児クラスを中心に指導計画に基づいた食育活動を行う。
- 年齢に関わらず、その子の状態に合った食事を食べる。

【食育活動】

新型コロナウイルス感染拡大予防を第一に考え、工夫しながらの少人数で行える食育活動を行った。

保護者向け 試食会（離乳食・乳幼児食・アレルギー食）
 食材皮むき ・ さやとり ・ 食材トッピング ・ おにぎり作り ・ クッキー型抜き
 幼児向け 旬の食材についての紙芝居

5. 避難訓練および消火訓練

- 消防法に則り防火管理者の指揮の下、乳幼児の生命を守り、安全対策を行う。
- 各種災害時に非難訓練および消火訓練を行うことにより、各々の状態で臨機応変に判断し、避難誘導等の適切な対応が出来るようにする。

（避難訓練等実施状況）

実施月	訓練内容	消防署立合	消防署届出	その他
4	火災	無	無	
5	地震	無	無	
6	火災（避難・通報・消火）	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
7	地震（プール入水時）	無	無	
8	台風	無	無	
9	地震	無	無	大阪880万人訓練に参加
10	火災（午睡時）	無	無	
11	地震（引き渡し訓練）	無	無	実際に保護者の方に引き渡す
12	火災（避難・通報・消火）	有	有	消防署の方立ち合いの元、実施
1	地震・火災	無	無	
2	不審者対応	無	無	
3	地震・火災	無	無	南海トラフを想定しての訓練

6. 職員研修

職員の資質と職務能力を高め、乳幼児保育の向上を図り、自己研鑽に努められるよう外部研修を招いたり、他園の見学をさせていただいたり、ズームにて積極的に研修を実施した。

4月17日（日）	テーマのある遊び／子どもの主体性とは
5月11日（水）	職員一人ひとりが気をつけること
5月13日（金）	子どもと対峙する上できをつけるべきこと
6月21日（火）	保育を見える化する
6月24日（金）	保育所型認定こども園 白鷺園 見学
7月5日（火）	幼保連携型認定こども園 子ロバ保育園 見学
9月29日（月）	絵本の読み聞かせ／絵本の選び方
10月8日（土）	子どもの人権について／事例を基に考える
11月26日（土）	職員合同研究発表会

○ 園外研修

キャリアアップのための各種研修会にズームにて参加をした。

7. 年間行事報告

新型コロナウイルス感染予防の観点から、中止にしたものもあるが、クラス毎に実施する等実施できるものは工夫をしながら実施に努めた。

4月	入園式 子どもの日のつどい
5月	遠足（雨天のため京都交通博物館）
6月	内科検診 歯科検診
7月	水あそび・プール活動
8月	水あそび・プール活動
9月	あきまつり 特別保育
10月	親子であそぼう会 内科検診
11月	運動会 親子遠足（大泉緑地公園） 引き渡し訓練
12月	音楽会 クリスマス会 0・3歳参観
1月	たこあげ会（園内で開催 5歳児クラスは三軒家西小学校校庭を借りる） 1・2・4・5歳参観
2月	節分豆まき会（各クラスで実施） 生活発表会 懇談会
3月	お別れ遠足（大阪城公園） お別れ会 卒園式 新入園児説明会・健康診断
毎月	○避難訓練 ○身体測定 ○食育活動 ○リズム運動 ○体育教室 ○英語教室 ○絵画教室

8. 子育て支援活動

地域の親子を対象とする子育て支援活動を、12月14日より月に1回のペースで実施。一組ずつの参加であったが、穏やかな時間を共に過ごした。

	参加組数	内容
12月	1	園庭開放・絵本読み聞かせ・室内遊び（クリスマス製作）
1月	1	園庭開放・絵本読み聞かせ・室内遊び
2月	0	園庭開放・絵本読み聞かせ・室内遊び
3月	0	園庭開放・絵本読み聞かせ・室内遊び

9. 要支援園児への対応

- ・気になる園児に対し、関係機関と密に連絡を取り合い、情報共有を図った。
- ・子ども中央相談センターの方とも情報共有しながら要保護園児の対応を行った。

10. 監査

令和4年度の監査は12月に実施